IBM

System x3650 M4 BD
Type 5466
インストールとサービスのガイド





System x3650 M4 BD
Type 5466
インストールとサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 757 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および IBM *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3650 M4 BD
Type 5466
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1版第1刷 2014.1

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について vii
安全について ix

第 1 章 IBM System x3650 M4 BD Type 5466 サーバー 1
IBM Documentation CD 4
ハードウェアおよびソフトウェアの要件 4
Documentation Browser の使用 4
関連資料. 5
本書で使用する注記 6
サーバーの機能および仕様. 7
サーバーが提供する機能 11
信頼性、可用性、および保守容易性 15
IBM Systems Director 16
サーバーのコントロール、LED、および電源 . . . 17
正面図 17
オペレーター情報パネル 18
背面図 19
PCI ライザー・カード・アダプターの拡張スロットの位置 21
パワー・サプライ LED 22
サーバーのパワー・サプライ 23
サーバーの電源をオンにする 23
サーバーの電源をオフにする 24

第 2 章 オプション装置の取り付け . . . 25
サーバーへのオプションのハードウェア・デバイスの取り付け 26
IBM ビジネス・パートナー用の手順 26
IBM への DSA データの送信方法. 26
サーバー・コンポーネント 27
サーバー内部 LED、コネクター、およびジャンパー 27
システム・ボードの内部コネクター 28
システム・ボードの DIMM コネクター . . . 28
システム・ボードの外部コネクター 29
システム・ボードのジャンパー. 30
システム・ボードの LED. 31
PCI ライザー・カード・アダプターの拡張スロット・コネクター 33
取り付けに関するガイドライン. 35
システムの信頼性に関するガイドライン. . . 37
電源オンされているサーバー内部での作業 . . 37
静電気に弱い装置の取り扱い 38
サーバーのトップ・カバーの取り外し 38
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転. 40
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し 41
エアー・バッフルの取り外し 43
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し 44
PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し 45
PCI ライザー・カード・アセンブリーからの ServeRAID アダプターの取り外し 47
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 49
PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け 51
シングル / デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き) の取り付け 53
PCI ライザー・カード・アセンブリーへの ServeRAID アダプターの取り付け 55
ServeRAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのリモート・バッテリー・トレイへの取り付け 59
背面ハード・ディスク・ケージへのホット・スワップ・バックプレーンの取り付け 62
前面ファンの取り付け. 64
メモリー・モジュールの取り付け 66
DIMM の取り付け順序 68
メモリー・ミラーリング 70
ランク・スペアリング. 71
DIMM の取り付け 72
追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け 73
熱伝導グリース 81
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け 82
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け 85
取り付けの完了 88
エアー・バッフルの取り付け 89
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け 90
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転 91
サーバーのトップ・カバーの取り付け . . . 92
サーバー構成の更新 93

第 3 章 構成情報と説明. 95
ファームウェアの更新. 95
UEFI と互換性のあるデバイスの構成. 96
サーバーの構成 97
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 . . 99
ServerGuide の機能 99
セットアップおよび構成の概要 100
標準的なオペレーティング・システムのインストール 100
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール. 101
Setup ユーティリティーの使用 101

© Copyright IBM Corp. 2013

Setup ユーティリティーの開始 101
Setup ユーティリティーのメニュー選択項目 102
パスワード 109
Boot Manager プログラムの使用 110
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 111
Update*Xpress* System Pack Installer 111
統合管理モジュール II の使用. 111
組み込みハイパーバイザーの使用. 113
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用 114
IMM 用の IP アドレスの取得. 115
Web インターフェースへのログオン. . . . 116
Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能化 116
Gigabit Ethernet コントローラーの構成 117
RAID アレイの構成 117
LSI Configuration ユーティリティー・プログラムの開始 118
Human Interface Infrastructure (HII) 構成アプリケーションの開始 119
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム. 119
IBM Systems Director. 120
汎用固有 ID (UUID) の更新 121
DMI/SMBIOS データの更新 124

第 4 章 トラブルシューティング . . . 129
ここから開始します 129
問題の診断 129
文書化されていない問題. 132
Service Bulletin 132
チェックアウト手順 133
チェックアウト手順について 133
チェックアウト手順の実行 134
診断ツール 135
Light Path 診断. 138
イベント・ログ. 140
Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示 141
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する. 142
エラー・ログの消去 144
UEFI/POST 145
IBM Dynamic System Analysis 145
DSA のエディション 146
DSA Preboot 診断プログラムの実行 147
診断テキスト・メッセージ 148
テスト・ログの結果表示. 148
コール・ホーム (自動化サービス要求) 148
Service Advisor 149
IBM Electronic Service Agent 149
エラー・メッセージ 149
現象別トラブルシューティング 149
ハイパーバイザーの問題. 150
一般的な問題 150
ハード・ディスクの問題. 151
再現性の低い問題 153
キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題 154
メモリーの問題. 156
マイクロプロセッサー問題 157
モニターおよびビデオの問題 158
ネットワーク接続の問題. 160
オプション装置の問題 162
電源問題 163
シリアル装置の問題 164
ServerGuide の問題 165
ソフトウェアの問題 166
USB ポートの問題 167
ビデオの問題 167
電源の問題の解決 167
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 168
未解決問題の解決 169
問題判別のヒント 170
サーバー・ファームウェアのリカバリー 171
自動ブート・リカバリー (ABR) 174
Nx 回ブート失敗 174

第 5 章 部品リスト 175
交換可能なサーバー・コンポーネント 175
消耗部品および構造部品. 180
電源コード 181

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 185
装置またはコンポーネントの返却. 186
内部ケーブルのルーティング 186
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン・ケーブルの接続. 186
コンポーネントの取り外しと交換. 188
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 189
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し 189
ホット・スワップ・ハード・ディスクの再取り付け. 190
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転 192
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転 193
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの取り外し. 194
ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの再取り付け 195
PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し 203
PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの再取り付け 204
前面ファンの取り外し 206
前面ファンの再取り付け. 208
後部ファンの取り外し 209
後部ファンの再取り付け. 210
メモリー・モジュールの取り外し. 211

メモリー・モジュールの再取り付け 212
PCI ライザー・カード・アセンブリーからの ServeRAID アダプターの取り外し 215
PCI ライザー・カード・アセンブリーの ServeRAID アダプターの再取り付け. . . . 217
RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの RAID バッテリー・トレイからの取り外し 221
RAID バッテリー・トレイの RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの再取り付け 222
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し. 225
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け 226
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し. 229
ホット・スワップ AC パワー・サプライの再取り付け 230
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し 234
PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け. 236
システム・バッテリーの取り外し. 237
システム・バッテリーの再取り付け 240
前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの取り外し. 242
前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの再取り付け 244
前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し 246
前面 USB コネクター・アセンブリーの再取り付け. 248
上部パワー・サプライ・カードのパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーからの取り外し 249
パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーの上部パワー・サプライ・カードの再取り付け 251
下部パワー・サプライ・カードのパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーからの取り外し 252
パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーの下部パワー・サプライ・カードの再取り付け 255
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し 257
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの再取り付け. 260
背面ハード・ディスク・ケージにあるホット・スワップ・バックプレーンの取り外し. . 262
背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンの再取り付け . . . 264
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 267
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 267
マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け. 273
システム・ボードの取り外し 281
システム・ボードの再取り付け 286
消耗部品および構造部品の取り外しと交換. . . 289
サーバーのトップ・カバーの取り外し . . . 289
サーバーのトップ・カバーの再取り付け . . 291
エアー・バッフルの取り外し 292
エアー・バッフルの再取り付け 294
パドル・カード安全カバー (240VA カバー) の取り外し 295
パドル・カード安全カバー (240VA カバー) の再取り付け 296

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ 297

付録 B. UEFI/POST エラー・コード 631

付録 C. DSA 診断テスト結果 653
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 653
DSA Brocade テスト結果 659
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 664
DSA CPU ストレス・テスト結果. 666
DSA Emulex アダプター・テスト結果 668
DSA EXA ポート ping テスト結果 671
DSA ハード・ディスク・テスト結果 672
DSA Intel ネットワーク・テスト結果 673
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 677
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 678
DSA メモリー分離テスト結果. 680
DSA メモリー・ストレス・テスト結果. 728
DSA Nvidia GPU テスト結果 730
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 734
DSA システム管理テスト結果. 738
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 747

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 753
依頼する前に 753
資料の使用 754
ヘルプおよび情報を WWW から入手する 754
IBM への DSA データの送信方法 755
個別設定したサポート Web ページの作成. . . . 755
ソフトウェアのサービスとサポート 755
ハードウェアのサービスとサポート 756

特記事項. 757
商標 758
重要事項 758
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意. 759
粒子汚染 760
通信規制の注記. 761
電波障害自主規制特記事項 761

Federal Communications Commission (FCC) statement 761
Industry Canada Class A emission compliance statement 762
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada. 762
Australia and New Zealand Class A statement . . 762
European Union EMC Directive conformance statement 762
Germany Class A statement 763
VCCI クラス A 情報技術装置. 764
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示. 764
Korea Communications Commission (KCC) statement 764
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 764
People's Republic of China Class A electronic emission statement 765
Taiwan Class A compliance statement. 765

電源コードの安全に関する注意書き. . . 767

索引 769

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

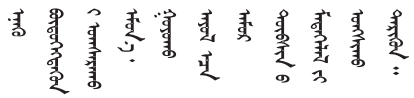
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2013

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

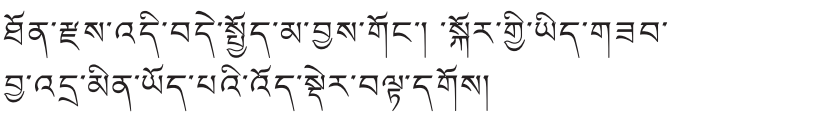
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.



Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに `Statement 1` のラベルが付いている場合、「*Safety Information*」資料の `Statement 1` にその注意書きに対応した翻訳文が記載されています。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や取り外し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2



注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM® 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

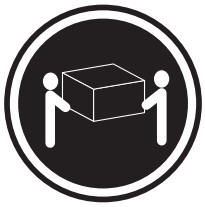
カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

安全 4



注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg



≥ 32 kg

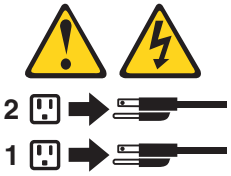


≥ 55 kg

安全 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 11



注意:
このラベルが貼られている近くには鋭利な先端の部品やジョイントが存在します。



安全 12



注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 13



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 15



注意:
ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 17



注意:
このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。



安全 26



注意:
ラック・マウント装置の上には何も置かないでください。



安全 27



注意:
近くに動く部品が存在します。



第 1 章 IBM System x3650 M4 BD Type 5466 サーバー

本「*インストールとサービス・ガイド*」には、ご使用の IBM System x3650 M4 BD Type 5466 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

25 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 26 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3650 M4 BD Type 5466 は、仮想化、データベース、および計算集約型コンピューティングに適した、高さ 2 U のラック・モデルの 2 ソケット・サーバーです。この高性能なマルチコア・サーバーは、優れた入出力の柔軟性、スケーラビリティー、および高度な管理の容易性が必要なエンタープライズ環境に最適です。

パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能が、このサーバーの設計における重要な考慮事項でした。このような設計特性により、お客様が現在のニーズに合わせてシステムのハードウェアをカスタマイズできるだけでなく、将来に備えるための柔軟な拡張機能が提供されます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*IBM 保証情報*」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスおよび信頼性を高めるのに役立つ IBM 次世代テクノロジーが使用されています。詳しくは、11 ページの『サーバーが提供する機能』および 15 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、http://www.ibm.com/systems/x/ から入手できます。 http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

サーバーは、サポートされるドライブ・バックプレーン構成を使用して、最大 14 個の 3.5 型ホット・スワップ・ドライブ (2 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクはサーバー背面に配置されます) をサポートします。また、3.5 型ホッ

© Copyright IBM Corp. 2013

ト・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハード・ディスクをサポートします。本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

注: ハード・ディスク状況報告は ServeRAID ソフトウェアで管理できます。RAID コントローラーについては、IBM ServeRAID Support CD に収められている RAID の資料を参照してください。

下の図は、サーバー前面のコントロール・ボタン、コネクター、およびハード・ディスク・ベイを示しています。

12 ホット・スワップ・ハード・ディスク構成:

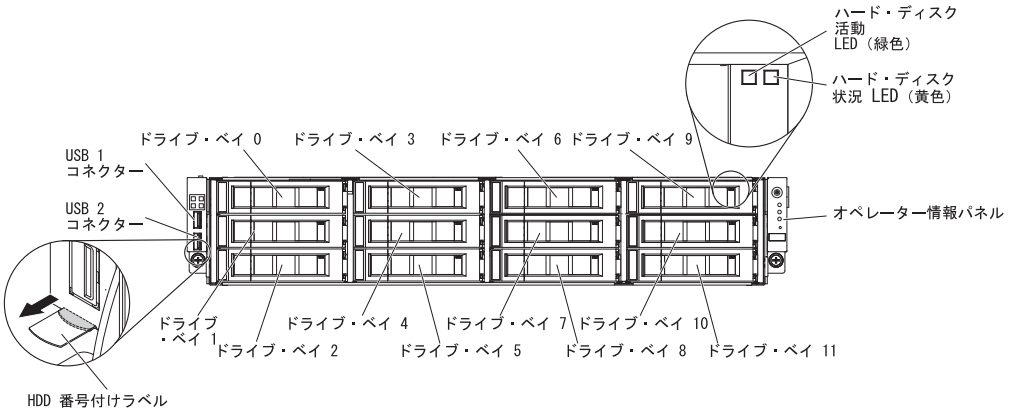


図 1. 12 ホット・スワップ・ハード・ディスク構成

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

このサーバーに関する情報を、以下の表に記録してください。

表 1. : システム情報の記録

製品名	マシン・タイプ	型式番号	シリアル番号
IBM System x3650 M4 BD	Type 5466		

モデル番号とシリアル番号は、サーバーの前面で見つけることができます。ご使用のサーバー・モデルに応じて、以下の 2 つの図のいずれかで、それぞれの位置を見つけることができます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

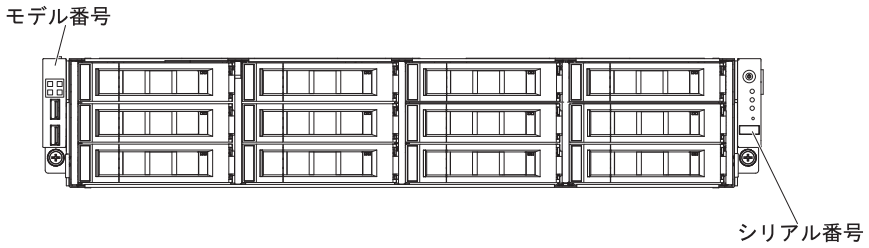


図 2. モデル番号および製造番号

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (http://ibm.co/18gSeXv)。



図 3. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはこれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser の使用

Documentation Browser は、本 CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。 Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。 その地域の言語による資料がない場合は、英語版が表示されます。

以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 自動始動が使用可能になっている場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入します。 Documentation Browser が自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはこの機能がユーザー全員に対しては使用可能でない場合は、以下のいずれかの手順を実行します。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD または DVD ドライブに挿入して、「**スタート**」->「**ファイル名を指定して実行**」をクリックします。「**名前**」フィールドに次のように入力します。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

    ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックします。
  - Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

    ```
    sh runlinux.sh
    ```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の文書を選択するには、Ctrl キーを押したままそれらの文書を選択します。選

択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。 複数の文書を選択した場合は、選択したすべての文書が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。 その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

本「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、およびサーバーの構成方法、さらに問題解決の手助けとなるユーザーのための情報およびサービス技術員のための情報など、サーバーに関する一般情報が記載されています。 サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *保証情報：*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。
- *重要な注:*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。
- *Environmental Notices and User Guide:*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。
- *IBM 機械コードのご使用条件:*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。
- *Licenses and Attributions Document:*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。 オープン・ソースの注意が記載されています。
- *Safety Information*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。 この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。
- *ラック搭載手順*

この印刷資料には、サーバーをラックに搭載するための手順が記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。System x および BladeCenter の ToolsCenter は、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/index.jsp にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。このような更新は IBM Web サイトで入手できます。更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

本書で使用する注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) 毎にマークされています。 それぞれの増分を、ユニットまたは「U」と呼びます。 1-U の高さの装置は、1.75 インチの高さになります。

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- マルチコア・マイクロプロセッサーを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み)
- 2 つの最大速度 8.0 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク
- LGA 2011 ソケット設計
- 最大 12 コアまで拡張可能
- 32 KB 命令キャッシュ、32 KB データ・キャッシュ、およびコア間で共用する最大 30 MB の L3 キャッシュ

注:

- マイクロプロセッサーのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティーを使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

メモリー (モデルにより異なる):

- 最小: 4 GB
- 最大: 512 GB
- タイプ: 1600 MHz または 1866 MHz (構成により異なる)
  - UDIMM: 4 GB または 8GB
  - RDIMM: 4 GB、8 GB、または 16 GB
  - LRDIMM: 32 GB
- single-rank または dual-rank
- スロット: 16

ドライブ拡張ベイ:

- 12 個の前面 3.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ
- 2 個の背面 3.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ
- 12 個の前面 2.5 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ (コンバーター・トレイを使用)
- 2 個の背面 2.5 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ・ベイ (コンバーター・トレイを使用)

PCI 拡張スロット:

サーバー・モデルに応じて、3 つの異なる PCI アダプターおよび最大 3 つの PCI 拡張スロットをサポートします。

- ライザー 1
  - タイプ 1
    - スロット 1: PCI Express* 3.0 x8 (フルハイト、フルサイズ、ロー・プロファイル)
    - スロット 2: PCI Express* 3.0 x8 (ロー・プロファイル)
  - タイプ 2
    - スロット 1: PCI Express* 3.0 x16 (フルハイト、フルサイズ)
- ライザー 2
  - スロット 3: PCI Express* 3.0 x8 (ロー・プロファイル)

内蔵機能:

- 統合管理モジュール II (IMM2)。これは、サービス・プロセッサー制御およびモニタリング機能、ビデオ・コントローラー、リモート・キーボード、ビデオ、マウス、およびリモート・ハード・ディスク機能を提供します。
- オンボード Intel Powerville 3 ポート Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き)
- 7 個の USB 2.0 ポート (サーバーの前面に 2 個と背面に 4 個、ハイパーバイザー USB キー用に 1 個)
- 1 個のシリアル・ポート
- サーバー背面に 1 個のビデオ・ポート

  注:
  1. 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
  2. メッセージおよび資料内で使用する用語の「サービス・プロセッサー」は、統合管理モジュール II (IMM2) のことを指します。

内蔵ビデオ・コントローラー:

- Matrox G200eR2

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
  - SVGA 互換ビデオ・コントローラー
  - DDR2-250MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー
  - DVI コネクターなし
  - Avocent デジタル・ビデオ圧縮
  - 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可)

ServeRAID コントローラー:

- ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー (IBM System x 用)
- ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー (IBM System x 用)
- ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (IBM System x 用)
- ServeRAID H1110 SAS/SATA コントローラー (IBM System x 用)
- ServeRAID M5100 Series Battery Kit (IBM System X 用)
- M5210 SAS/SATA コントローラー (IBM System x 用)
- N2115 SAS/SATA HBA (IBM System x 用)
- IBM 6Gb Performance Optimized HBA

ServeRAID コントローラー・アップグレード:

- ServeRAID M5100 Series 512MB Cache/RAID 5 Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M5100 Series 512MB Flash/RAID 5 Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M1100 Series Zero Cache/RAID 5 Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M5100 Series Zero Cache/RAID 5 Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M5100 Series RAID 6 Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M5100 Series 1GB Flash/RAID Upgrade for IBM System x
- ServeRAID M5100 Series 2GB Cache/RAID 5 Upgrade for IBM System x

IBM ToolsCenter または IBM Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM System x Features on Demand User's Guide* 」(『Help』セクションの下) を参照してください。

環境:

- 室温:
  - サーバー電源オン時: 5°C から 40°C、許容高度: 0 から 915 m。
  - サーバー電源オン時: 5°C から 32°C、許容高度: 915 m から 2134 m。
  - サーバー電源オン時: 5°C から 28°C、許容高度: 2134 m から 3050 m。
  - サーバー電源オフ時: 5°C から 45°C。
  - 出荷時: -40°C から 60°C
- 湿度:
  - サーバー電源オン時: 8% から 80%、最大露点: 21°C、最大変化率: 5°C/時間
  - サーバー電源オフ時: 8% から 80%、最大露点 27°C。
- ASHRAE クラス A3、室温 35°C から 40°C 対応の設計 (厳密な対応ではありません):
  - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off)
  - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。
- 粒子汚染:

  重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限については、 760 ページの『粒子汚染』を参照してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライ使用時の電源入力:

- 低電圧入力レンジ:
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力レンジ:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) が必要
- 自動的に選択される入力電圧範囲

- 入力キロボルト・アンペア (kVA) (近似値):
  - 最小: 0.11 kVA
  - 最大: 0.9 kVA

サイズ:

- 2U
- 高さ: 86.5 mm
- 奥行き:
  - EIA フランジから背面: 720.2 mm
  - 全体: 748.8 mm
- 幅:
  - トップ・カバーを含む: 447 mm
- 質量: 約 16.4 kg (最小) から 29.8 kg (最大) (構成により異なる)

システム・ファン:

前面: 3 個

背面: 2 個

ホット・スワップ・パワー・サプライ (モデルにより異なる):

- 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長性サポート用)
  - 750 ワット AC
  - 900 ワット AC

注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

音響放出ノイズ:

- 音響出力、アイドル時: 6.5 ベル
- 音響出力、動作時: 6.5 ベル

注:

1. 電力消費量および発熱量は、取り付けたオプション機構の数とタイプ、および使用する電源管理オプション機構によって異なります。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

- **Features on Demand**

  サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプションの装置に Features on Demand フィーチャーが組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ を参照してください。

- **統合管理モジュール II** 統合管理モジュール II (IMM2) は、第 2 世代の IMM です。IMM2 は、IBM System x ハードウェア用の共通管理コントローラーです。IMM2 は、複数の管理機能を、サーバーのシステム・ボードにある単一のチップに統合します。

  IMM2 に固有の一部の機能として、拡張パフォーマンス、ブレード・サーバーとの拡張互換機能、より高解像度のリモート・ビデオ、拡張セキュリティー・オプション、およびハードウェアとファームウェアのオプションに対する Feature on Demand の使用可能化などがあります。

  詳細は、 111 ページの『統合管理モジュール II の使用』を参照してください。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア** IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) は、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 2.1 準拠、Active Energy Manager テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、ならびに BIOS (基本入出力システム) 互換性サポートなどの、複数の機能が備わっています。 UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。 UEFI 準拠の System x サーバーは、UEFI 準拠のオペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および UEFI 準拠のアダプターに加えて BIOS ベースのアダプターもブートすることができます。

  注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **IBM Dynamic System Analysis Preboot 診断プログラム** Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムは、内蔵 USB メモリーに格納されています。これは、サーバー問題を診断するためにシステム情報を収集して分析します。 診断プログラムは、サーバーに関する次の情報を収集します。
  - システム構成
  - ネットワーク・インターフェースおよび設定
  - 取り付けられているハードウェア
  - Light Path 診断状況
  - サービス・プロセッサーの状況および構成
  - 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI (以前の BIOS) 構成
  - ハード・ディスクの正常性
  - RAID コントローラー構成
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ

診断プログラムは、収集したすべてのログに記載されたイベントを組み込んだマージ・ログを作成します。この情報は 1 つのファイルに収集され、ユーザーはこのファイルを IBM サービスおよびサポートに送ることができます。また、生成されたテキスト・レポート・ファイルを使用して、ローカル側で情報を表示することもできます。ログを取り外し可能メディアにコピーして、Web ブラウザーからログを表示することもできます。

DSA Preboot 診断プログラムについて詳しくは、IBM *System x Documentation* CD に収められている「*問題判別の手引き*」を参照してください。

- **マルチコア・プロセッシング**

  このサーバーは、最大 2 つの Intel Xeon™ E5-2600v2 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。ご使用のサーバーには、1 個のマイクロプロセッサーのみが取り付けられています。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、 1 ページの『第 1 章 IBM System x3650 M4 BD Type 5466 サーバー』 のページにある QR コード情報を参照してください。

- **IBM Systems Director CD**

  IBM Systems Director は、ワークグループ・ハードウェア管理ツールであり、このツールを使用することによって、System x および xSeries サーバーを集中管理することができます。詳しくは、IBM Systems Director CD の IBM Systems Director 資料および 16 ページの『IBM Systems Director』を参照してください。

- **IBM X-Architecture® テクノロジー**

  IBM X-Architecture テクノロジーは、ご使用の Intel プロセッサー・ベースのサーバーに、実績のある、革新的な IBM 設計を結合させ、強力で、拡張が容易な、信頼性の高いサーバーを提供します。詳しくは、を参照してください。

  – **Active™ Memory**

    Active Memory 機能は、メモリー・ミラーリングを使用してメモリーの信頼性を向上させます。メモリー・ミラーリング・モードでは、同時に 2 つのチャネル内で 2 対の DIMM にデータが複製されて保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。メモリー・ミラーリングのための DIMM の取り付けについて詳しくは、 66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。

  – **大容量のシステム・メモリー**

    サーバーは、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3) - 1600 MHz または 1866 MHz (構成により異なる)、SDRAM (synchronous DRAM) registered デュアル・イン

ライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。詳しくは、IBM *System x Documentation* CD に収録されている「*問題判別の手引き*」を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア装置を検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。*ServerGuide Setup and Installation* CD についての詳細は、99 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

  サーバーには、内蔵 3 ポート Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれており、このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続をサポートします。詳しくは、117 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

  この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。 これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。 TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。 TPM インプリメンテーションの詳細については、http://www.ibm.com/servers/eserver/xseries/scalable_family.html を参照してください。Setup ユーティリティーの「**System Security**」メニュー・オプションで TPM サポートを使用可能にすることができます。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

  このホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 14 個の 3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクまたはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスクをサポートします。

  ホット・スワップ機能により、サーバーの電源をオフにしなくても、ハード・ディスクの追加、取り外し、交換ができるようになります。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断機能では、問題の診断に役立つ LED を提供します。 Light Path 診断について詳しくは、138 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

- **PCI アダプター機能**

  サーバー構成に基づいて、サーバーは、最大 3 個の PCI 拡張スロットをサポートできる可能性があります。詳しくは、51 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け』を参照してください。

- **Active Energy Manager**

  IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生に合わせて測定し、レポートする IBM Systems Director 拡張機能です。この機

能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と相関させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。 IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) または http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html を参照してください。

- **冗長接続**

  IMM2 を使用すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生すると、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット接続に自動的に切り替えられます。適切なデバイス・ドライバーがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

  このサーバーは、最大 2 つの 750 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライおよび 3 つのデュアル・モニター非ホット・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。このサーバーには、1 つの 750 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 3 つの非ホット・スワップ・ファンが付いています。

  注: サーバー内で 750 ワットと 900 ワットのパワー・サプライを混用することはできません。

- **ServeRAID サポート**

  ServeRAID アダプターは、構成を形成するためのハードウェア RAID (新磁気ディスク制御機構) サポートを提供します。標準の RAID アダプターは RAID レベル 0 および 1 を提供します。オプションの RAID アダプターを購入することができます。

- **システム管理機能**

  サーバーには統合管理モジュールII (IMM2) が備わっています。 サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアで IMM2 を使用することで、サーバーの機能をローカル側およびリモート側で管理することができます。IMM2 は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクターは IMM2 専用です。専用のシステム管理コネクターは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから分離することによってセキュリティーを強化します。Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。 RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

このサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 自動エラー再試行およびリカバリー
- 電源障害後の自動再始動
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- 二重化された冗長 UEFI サーバー・ファームウェア・イメージ
- エラー・コードおよびメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L2 キャッシュおよびシステム・メモリー
- 速度感知機能付きの冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク (当該ドライブをサポートするサーバー用)
- 情報および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール (サービス・プロセッサー)
- メモリー・ミラーリング
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- シリアル接続 SCSI (SAS) バスおよび PCI バス上のパリティー検査または CRC 検査
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- 電源オン自己診断テスト (POST)
- メモリー、SAS/SATA ハード・ディスク、およびファンの障害予知 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライ
- リモートのシステム問題判別のサポート
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- Preboot Execution Environment (PXE) ブート・エージェント・ユーティリティーまたは動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューによるシステムの自動構成
- システム・エラー・ロギング (POST およびサービス・プロセッサー)
- Inter-Integrated Circuit (I^2C) バスを通じたシステム管理モニター
- ローカル側または LAN 経由でアップグレード可能な POST、UEFI、診断、サービス・プロセッサー・マイクロコード、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサー、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS (ホット・スワップ・ドライブ) バックプレーン上の重要プロダクト・データ (VPD)
- リモート・パワーアップ用の Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下にリストされたものがあります。

- ディスカバリー
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニタリング
- アップデート
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、この設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成します。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、 IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (http://www.ibm.com/systems/management/) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、31 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

下の図は、サーバー前面のコントロール・ボタン、コネクター、およびハード・ディスク・ベイを示しています。

12 ホット・スワップ・ハード・ディスク構成:

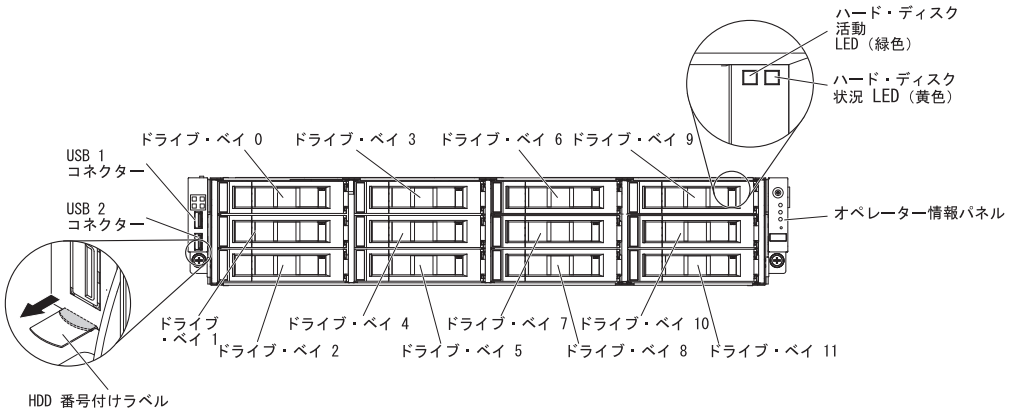


図 4. 12 ホット・スワップ・ハード・ディスク構成

- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **ハード・ディスク活動 LED (緑色):** この緑色の LED は、ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- **ハード・ディスク状況 LED (黄色):** この黄色の LED は、ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクで使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクに状況 LED があります。この LED が点灯しているときは、ドライブに障害があることを示します。この LED が低速で (毎秒 1 回) 点滅しているときは、ドライブが RAID 構成の一部として再ビルドされつつあることを示します。LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅しているときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** このパネルには、電源制御ボタンと発光ダイオード (LED) があります。

オペレーター情報パネル

このセクションは、オペレーター情報パネル上のコントロール部と LED を示しています。

オペレーター情報パネルは、サーバーの側面にあります。

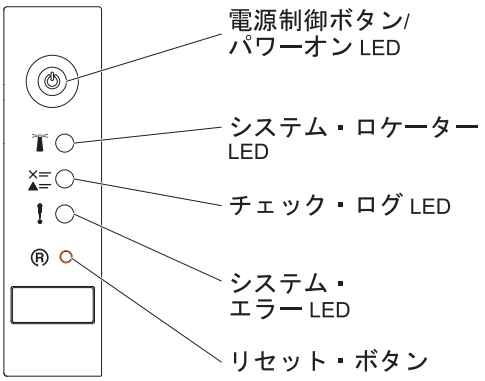


図 5. オペレーター情報パネル

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにするには、このボタンを押します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。
  - **オフ:** 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。
  - **高速で点滅 (1 秒間に 4 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。 この状態は約 5 秒から 10 秒継続します。
  - **低速で点滅 (1 秒間に 1 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 サーバーの電源をオンにするには、電源制御ボタンを押します。
  - **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。
- **システム・ロケーター・ボタン/LED** この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム・ロケーター LED もサーバー背面に付いています。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。 IBM Systems Director または IMM2 Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM2 によって制御されます。ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。
- **チェック・ログ LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 追加情報がないか、エラー・ログを確認してください。 イベント・ログについての詳細は、 149 ページの『エラー・メッセージ』を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 システム・エラー LED はサーバー背面にもあります。 オペレーター情報パネル上の Light Path 診断パネルの LED も点灯するため、エラーを特定するのに役立ちます。この LED は IMM2 によって制御されます。

- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

注: ご使用のサーバーに取り付けられているオペレーター情報パネルのタイプに応じて、リセット・ボタンはオペレーター情報パネルまたは Light Path 診断パネルにあります。

背面図

次の図は、サーバー背面にあるコネクターを示しています。

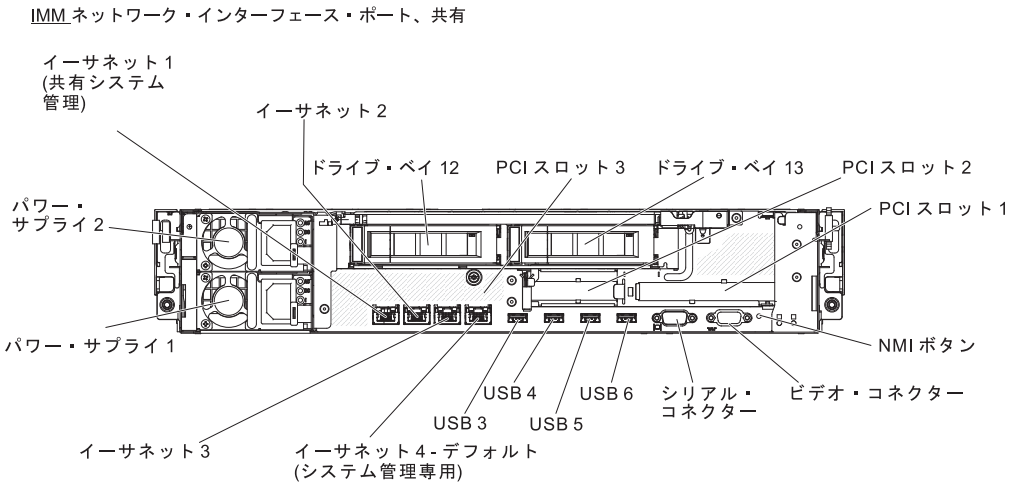


図 6. IMM ネットワーク・インターフェース・ポート

- **システム管理イーサネット・コネクター:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクターを使用します。 このコネクターは統合管理モジュール (IMM2) のみで使用されます。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。 Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。Setup ユーティリティーで IMM2 用の共有イーサネットを使用可能にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット (デフォルト - イーサネット 4) コネクターを使用して IMM2 にアクセスすることができます。詳しくは、『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
- **PCI スロット・コネクター:**
  - **PCI スロット 1:** このスロットには、フルハイト、ハーフサイズの PCI Express* アダプターを挿入します。
  - **PCI スロット 2:** このスロットには、ロー・プロファイル PCI Express* アダプターを挿入します。

– **PCI スロット 3:** このスロットには、ロー・プロファイル PCI Express* アダプターを挿入します。

このコネクターには、電源コードを接続します。

- **電源コード・コネクター:** このコネクターには電源コードを接続します。
- **USB コネクター:** 各パワー・サプライには DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示しています。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。 この他の LED の組み合わせについては、 22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサーにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。
- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクターに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 は、共用シリアル・ポートを制御することにより、テキスト・コンソール・リダイレクトの実行およびシリアル・トラフィックのリダイレクトを行うことができます。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。

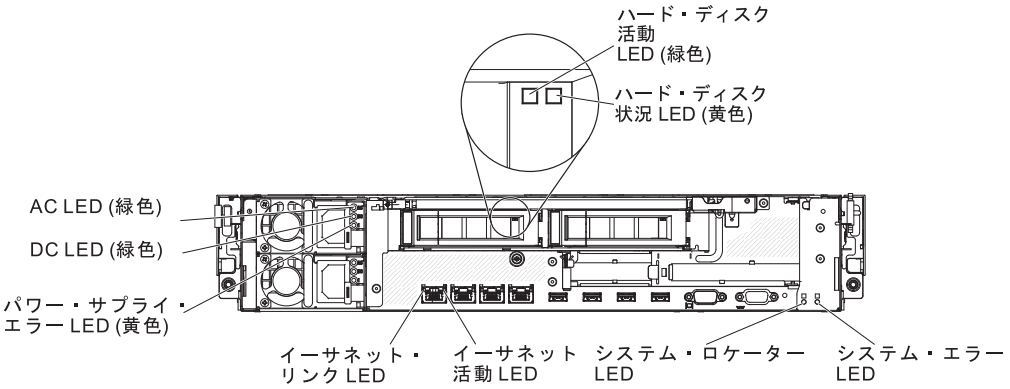


図 7. LED の背面図

- **イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ・パワー・サプライには、AC 電源 LED と DC 電源 LED が備わっています。 AC 電源 LED が点灯している場合は、電源

コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯しています。この他の LED の組み合わせについては、22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。

- **DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ・パワー・サプライには DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯しています。この他の LED の組み合わせについては、22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。
- **システム・ロケーター LED:** この LED は、他のサーバーの中からご使用のサーバーを視覚的に確認するのに使用します。 IBM Systems Director または IMM2 Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。
- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。

PCI ライザー・カード・アダプターの拡張スロットの位置

このセクションでは、サーバー上の PCI 拡張スロット・コネクターの位置を示します。

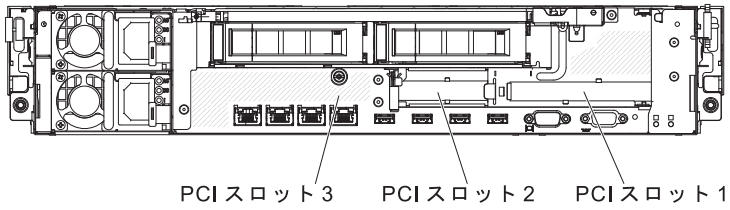


図 8. PCI 拡張スロット・コネクターの位置

パワー・サプライ LED

このセクションではサーバーのパワー・サプライ LED を示します。

下図は、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED を示しています。

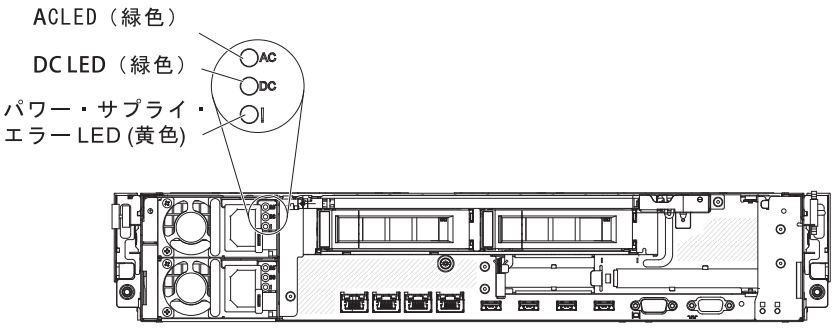


図 9. パワー・サプライ LED

次の表は、パワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨アクションを説明します。

表 2. パワー・サプライ LED の状況と必要なアクション

パワー・サプライ LED					
AC (緑色)	**DC (緑色)**	**エラー (黄色)**	**説明**	**処置**	**注**
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が供給されていないか、AC 電源に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーの電源をオフにしてから、オンに戻します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	サーバーに AC 電源が供給されていないか、AC 電源に問題がある。また、パワー・サプライで内部問題が検出された。	1. パワー・サプライを交換します。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。	これは、2 台目のパワー・サプライがサーバーに電源を供給している場合にのみ発生します。
オフ	オン	オフ	パワー・サプライの障害	パワー・サプライを交換します。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライの障害	パワー・サプライを交換します。	

表 2. パワー・サプライ LED の状況と必要なアクション (続き)

パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC (緑色)	DC (緑色)	エラー (黄色)			
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、パワー・サプライに障害があるか、あるいはシステムの電源がオンになっていない	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. パワー・サプライを交換します。 3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。	通常、パワー・サプライが完全に取り付けられていないことを示しています。
オン	オフまたは点滅	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、まだ作動可能	パワー・サプライを交換します。	

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを給電部に接続しても、電源をオンにしなければ、オペレーティング・システムは稼働せず、統合管理モジュール (IMM2) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされます。

ただし、IMM2 からサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。サーバーが電源に接続されてはいても、電源がオンになっていない場合は、パワーオン LED が点滅します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

サーバーを電源に接続してから約 40 秒経過すると、電源制御ボタンがアクティブになり、1 つ以上のファンが動作を開始します。これによって、サーバーが電源に接続されている間、冷却効果が得られます。電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにして、オペレーティング・システムを開始することができます。

次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオンにすることもできます。

- サーバーの電源が入れられたときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

32 ビット・オペレーティング・システムの場合のみ: 一部のメモリーはさまざまなシステム・リソースのために予約され、オペレーティング・システムから使用できません。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

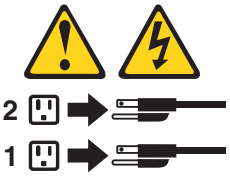
サーバーの電源をオフにしても、電源を接続したままにしておくと、IMM2 からサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。サーバーが電源に接続されたままの間は、1 つ以上のファンが回転を継続する場合があります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



サーバーは、次のいずれかの方法でオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。 オペレーティング・システムの正常なシャットダウンの後、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- IMM2 は、重大なシステム障害への自動的な応答としてサーバーの電源をオフにすることができます。
- IMM2 からの要求を介して、サーバーの電源をオフにできます。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 26 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。 必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。 サーバー内でファームウェアが格納される場所については、 95 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 サーバーでサポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/にアクセスしてください。
2. オプションのハードウェア装置を取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
3. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。 誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。
4. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。 *Firmware Update Guides* 資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5082923&brandind=5000008 にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
   - IBM サポート: http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview
   - System x 構成ツール: http://www-03.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html

© Copyright IBM Corp. 2013

サーバーへのオプションのハードウェア・デバイスの取り付け

以下のセクションでは、サーバーにオプションのハードウェア・デバイスを取り付ける手順を詳しく説明します。

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによる、新たに取り付けられた装置の検証に関する IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。 DSA の使用については、145 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルに保存し、IBM に送信します。 データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworld/pwhome.nsf/weblook/index_us.htmlで入手できます。

IBM への DSA データの送信方法

IBM Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM に診断データを送信します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www-05.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**
  https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

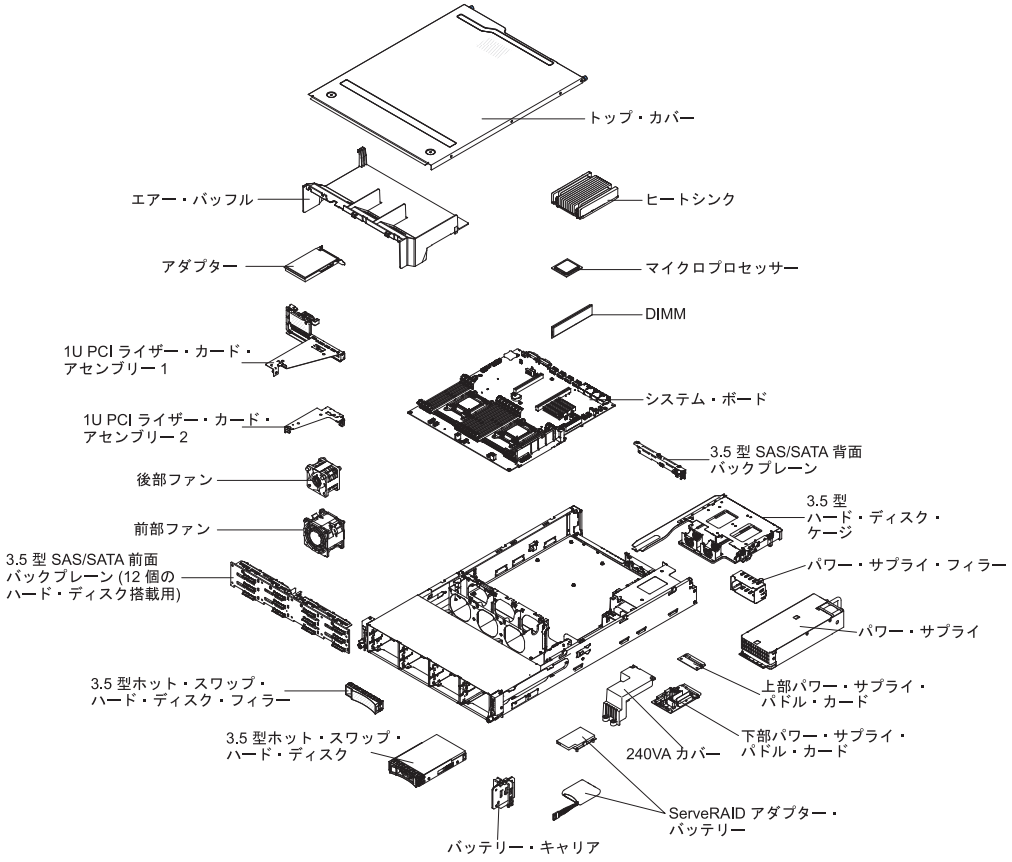


図 10. サーバー・コンポーネント

サーバー内部 LED、コネクター、およびジャンパー

このセクションにある図は、内部ボード上のコネクター、LED、およびジャンパーを示しています。

図はご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

システム・ボードの内部コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

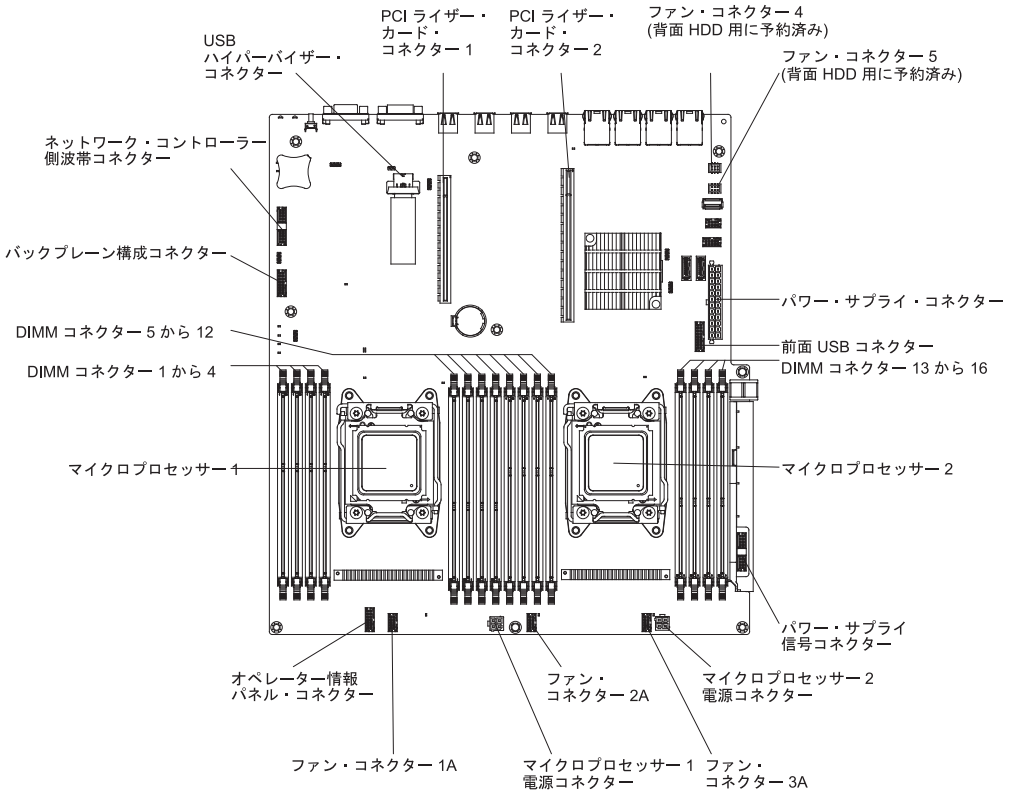


図 11. システム・ボードの内部コネクター

システム・ボードの DIMM コネクター

次の図は、システム・ボード上の DIMM コネクターを示しています。

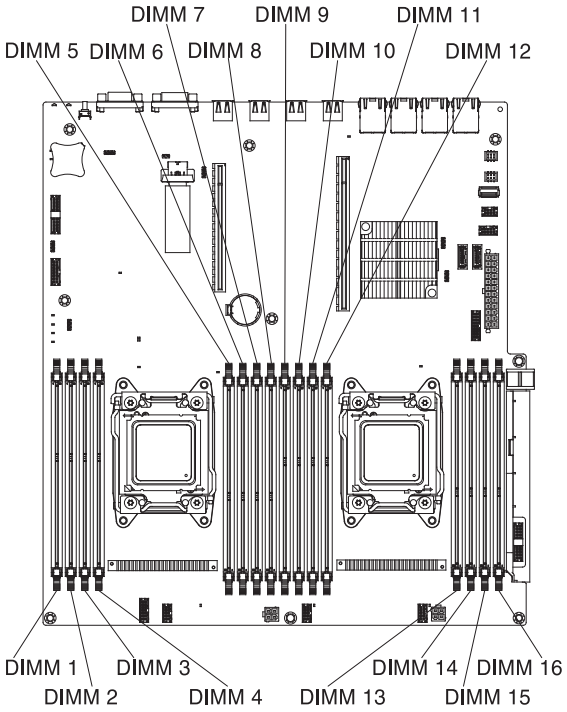


図 12. システム・ボード DIMM コネクター

システム・ボードの外部コネクター

次の図は、システム・ボード上の外部入出力コネクターを示しています。

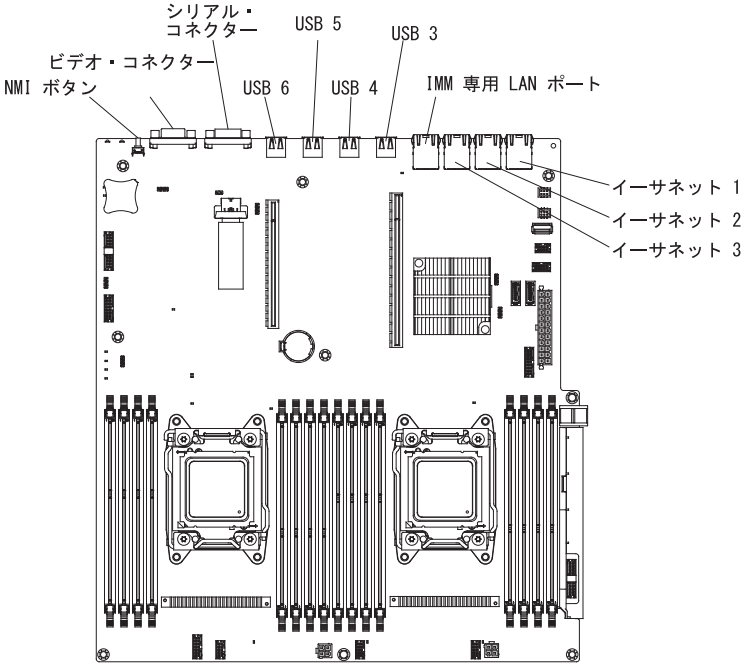


図 13. システム・ボードの外部コネクター

システム・ボードのジャンパー

このセクションでは、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

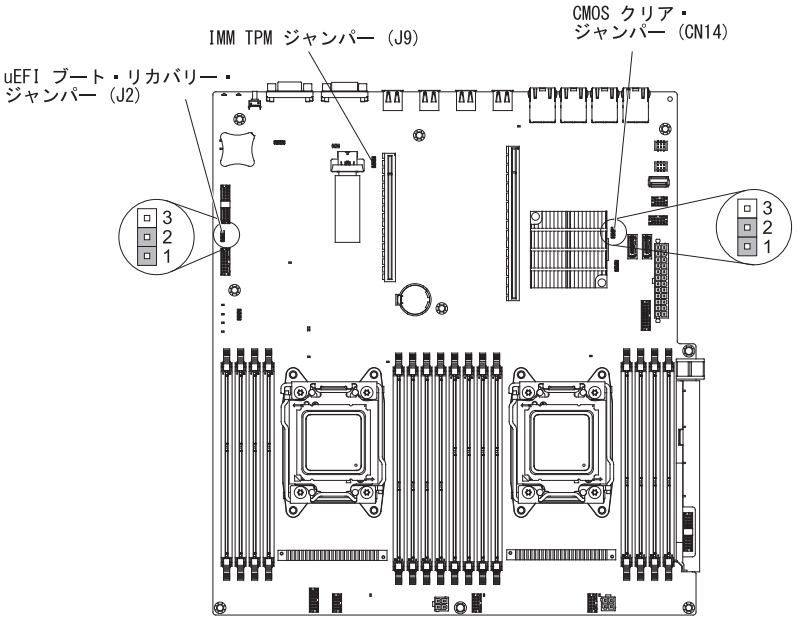


図 14. システム・ボードのジャンパー

表 3. システム・ボードのジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
CN14	CMOS クリア・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト) - CMOS データを保持します。 • ピン 2 と 3: 始動パスワードなどの CMOS データをクリアし、デフォルトの UEFI 設定をロードします。 **注 2**
J2	UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト) - プライマリー・ファームウェア ROM ページをロードします。 • ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) ファームウェア ROM ページをロードします。 **注 1 および 2**

表 3. システム・ボードのジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
J9	IMM TPM ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト) TPM の物理プレゼンスなし • ピン 2 と 3: TPM の物理プレゼンスあり
注: 1. ジャンパーがない場合、サーバーはピン 1 と 2 に設定されているものとして対応します。 2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI リカバリー・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、UEFI リカバリー・プロセスがセットされます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これは予測不能な問題の原因になることがあります。		

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 (vii ページの『安全について』、 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』、 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 24 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。)
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

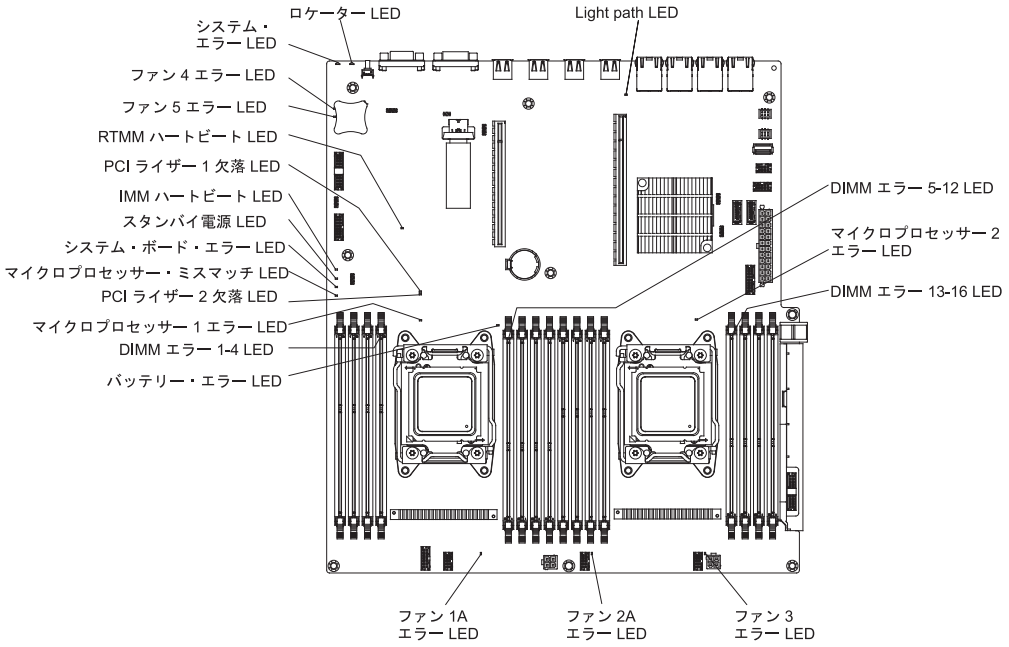


図 15. システム・ボード LED

表 4. システム・ボード LED の定義

LED 名	**説明**
エラー LED	エラー LED が点灯しているときは、対応するコンポーネントで障害が発生したことを示します。
RTMM ハートビート LED	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。
IMM 2 ハートビート LED	IMM2 のブート・プロセスの状況を示します。 サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを始動できます。
スタンバイ電源 LED	この LED が点滅している場合、サーバーが AC 電源に接続されていることを示しています。 この LED が点灯している場合、サーバーの DC 電源がオンになっていることを示します。
システム・ボード・エラー LED	システム・ボードに障害が発生しています。

表 4. システム・ボード LED の定義 (続き)

LED 名	説明
マイクロプロセッサー・ミスマッチ LED	この LED が点灯しているときは、マイクロプロセッサー 1 が取り付けられていないか、マイクロプロセッサーのキャッシュ・サイズとタイプ、およびクロック速度が同じでないことを示します。
DIMM エラー LED	メモリー DIMM に障害があるか、誤って取り付けられています。
マイクロプロセッサー・エラー LED	マイクロプロセッサーに障害が発生しているか、欠落しているか、または正しく取り付けられていません。
Light path LED	Light Path ボタンが機能しているかどうかを示しています。Light Path ボタンを押した後に Light Path LED が点灯する場合、Light Path ボタンが正常に機能していることを示しています。一方、Light Path ボタンを押しても Light Path LED が点灯しない場合は、Light Path ボタンが正常に機能していないことを示しています。

PCI ライザー・カード・アダプターの拡張スロット・コネクター

次の図は、サーバーがサポートできる 3 つの異なるタイプの PCI ライザー・カード・アセンブリーのそれぞれの拡張スロット・コネクターを示しています。

注: 次のスロットのラベル付け仕様は以下の形式で定義されます。

PCIe3 x *aa* (*b*、*c*、*d*、*e*)

ここで、

- *aa* = 物理コネクターのリンク幅
- *b*、*c*、*d*、*e* = ネゴシエーション可能リンク幅

PCI ライザー・カード・アセンブリー 1

- タイプ 1

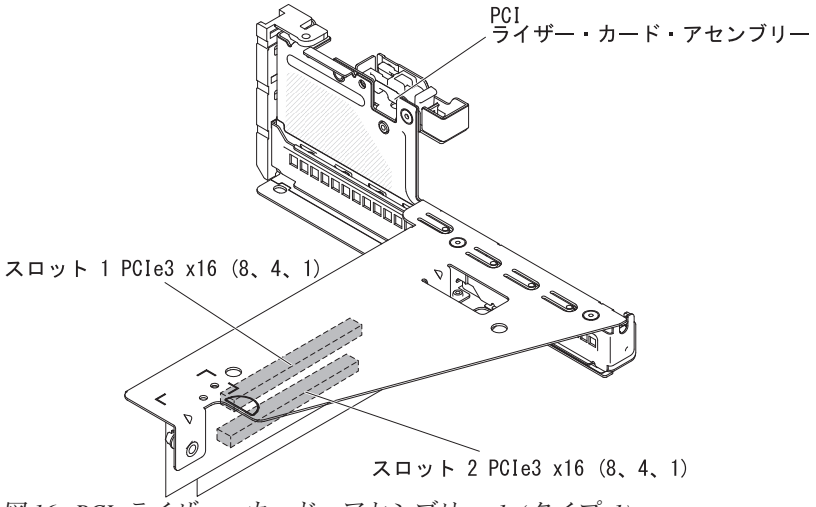


図 16. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 (タイプ 1)

- タイプ 2

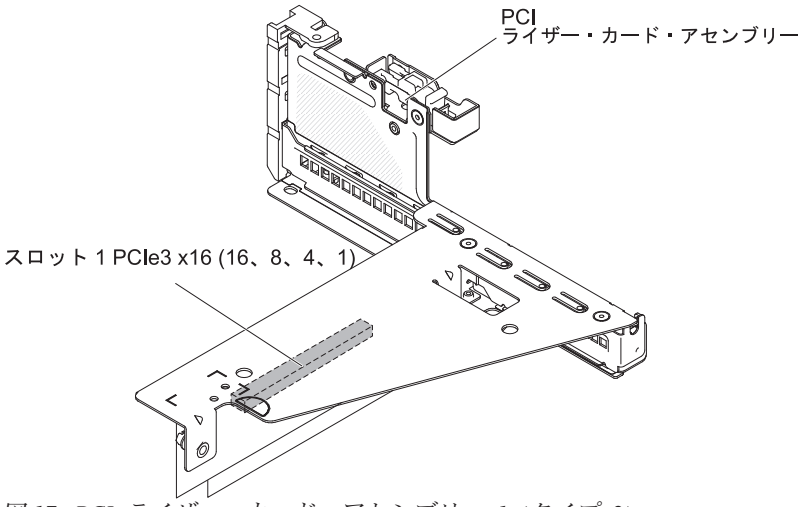


図 17. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 (タイプ 2)

PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

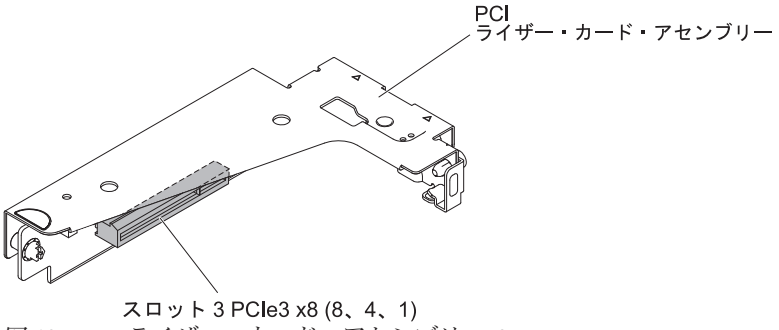


図 18. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

取り付けに関するガイドライン

取り付けに関するガイドラインを使用して、System x3650 M4 BD Type 5466 を取り付けます。

重要:

- サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、システムが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ対応デバイスの取り外しあるいは取り付けを行う場合は、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』 と 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』のガイドラインをお読みください。 この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/にアクセスしてください。
- 新規のサーバーを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。 このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、サーバーが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。 サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。

  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

  ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) を参照してください。
- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。または、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、サーバーが正しく作動していることを示します。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整とんを心掛けてください。 取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。 重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。

  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。 重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバーを用意してください。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。) 特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

適切なシステム冷却を確保するための、システムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能するように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。 約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。 ファンの前面には物を置かないでください。 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源をオンにする前にサーバー・カバーを取り付けます。
- オプション・アダプターに付属の配線用手順に従っていること。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換していること。
- ホット・スワップ・ドライブを取り外してから 2 分以内に元に戻した。
- エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要:

- IBM System x3650 M4 BD Type 5466は、ラックでの保守をサポートしません。
- サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

Light Path 診断 LED を覗くか、ホット・スワップ・コンポーネントを交換するために、カバーが外れているときにサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。 サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- ネクタイやスカーフがサーバー内部に垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレットや、ネックレス、指輪、腕時計などの宝石類は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、ペンや鉛筆などの落下する可能性があるものをシャツのポケットから取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすい部品は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。 動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 接地システムの使用が強く推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。 電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁または枠を持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ付けの部分やピン、露出した回路には触れないでください。
- 部品は他人が手で触れたり、損傷したりする可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。 部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品は、サーバーのトップ・カバーや金属面の上に置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房によって室内の湿度が下がり、静電気が増えます。

サーバーのトップ・カバーの取り外し

サーバーのトップ・カバーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのトップ・カバーを取り外すには、次の手順に従ってください。

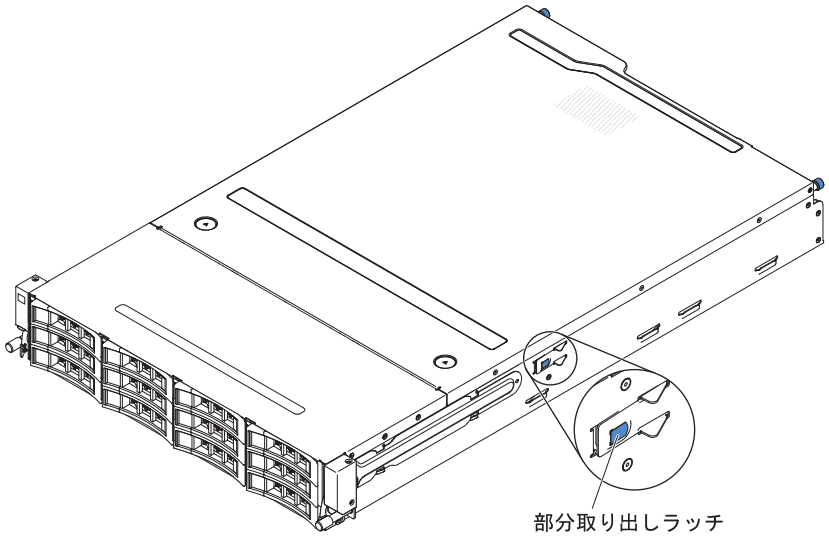
手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバー前面の 2 つのリリース・ラッチを押し、ラックからサーバーを取り出します。

重要:

- ラック・キャビネットからシステムを取り外すには、2 人以上の人員が必要です。
- ラックから完全にサーバーを取り外すには、スライド・レールの側面にあるラッチを押します。

図 19. ラッチ



4. カバーをサーバーの背面に固定している 2 つのつまみねじを緩めます。
5. 2 つの青色のグリップ・ポイントを押してカバーを後方にスライドさせます。次に、カバーを持ち上げてサーバーから外し、脇に置いておきます。

   重要: サーバーの電源を入れる前に、適切な冷却と空気の流れを得るため、およびサーバー・コンポーネントの損傷を避けるためにカバーを元に戻してください。

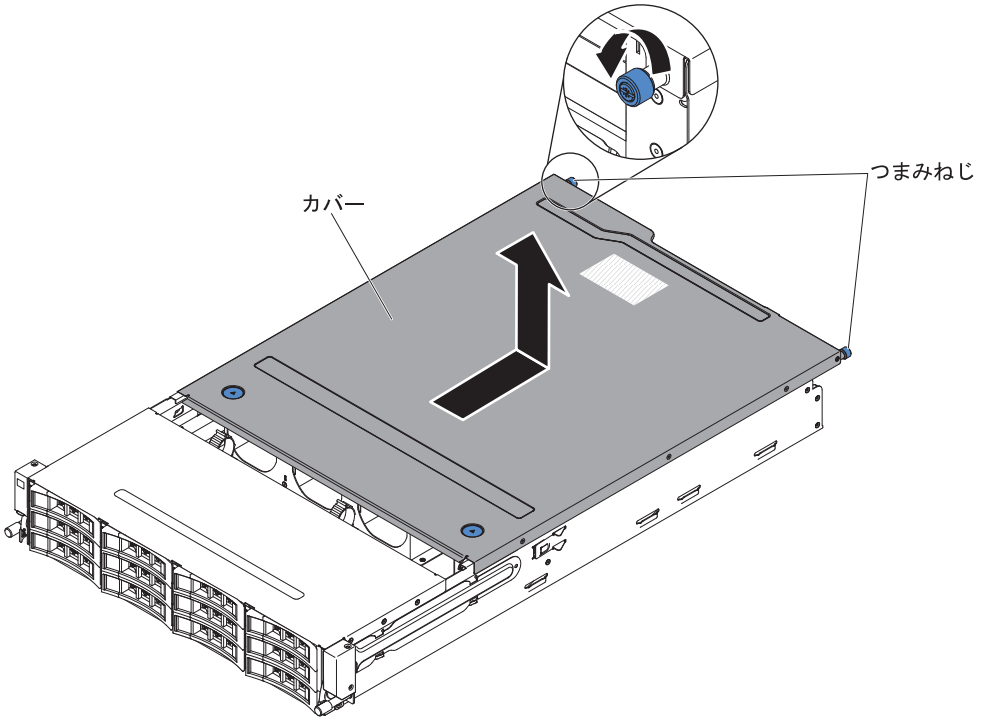


図 20. カバーの取り外し

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上に回転させるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを上に回転させるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. シャーシ **1** の 2 個の青色のラッチをそれぞれ開きます。
5. 背面ハード・ディスク・ケージを、止まるまで **2** 外側に回転させます。

6. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチをロック位置に切り替え、ハード・ディスク・ケージが固定されるようにします **3** 。

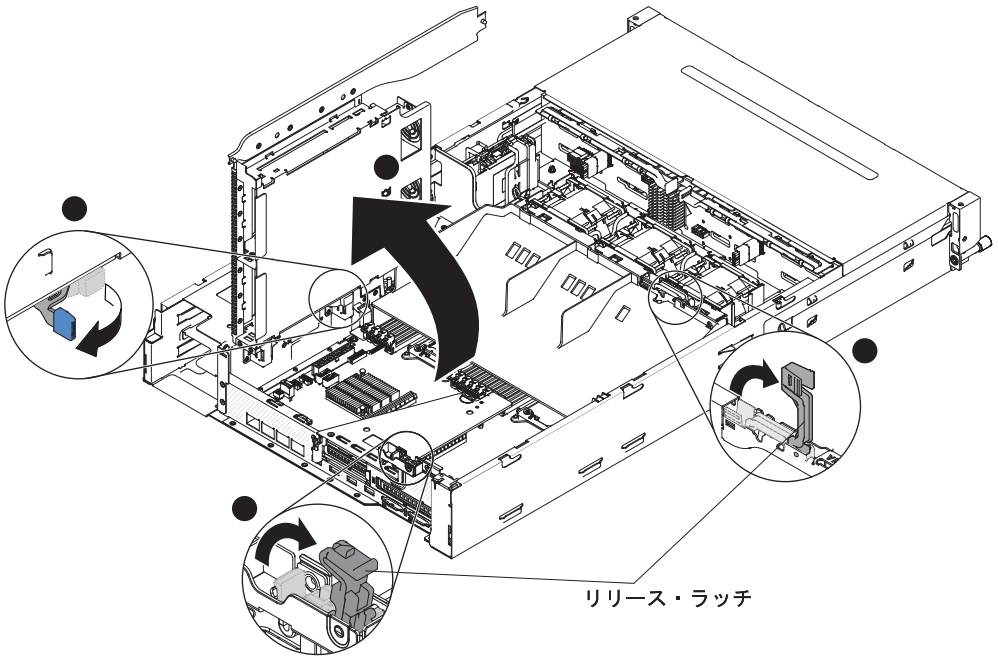


図 21. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの回転

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバーから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。

4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部と後部にある青いタッチ・ポイントをつかみ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・コネクターから出します。

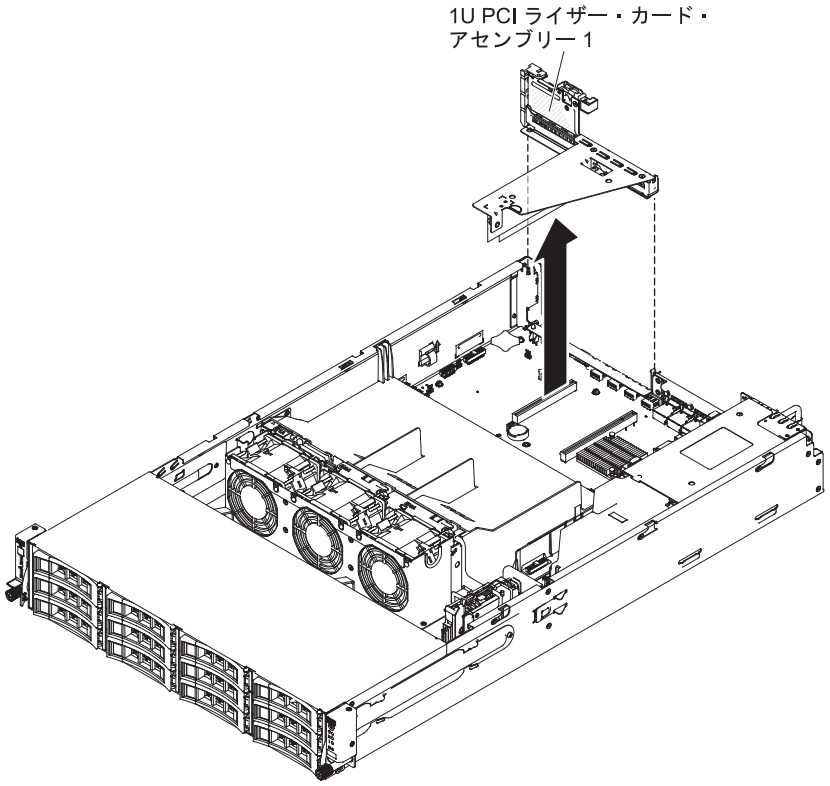


図 22. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の取り外し

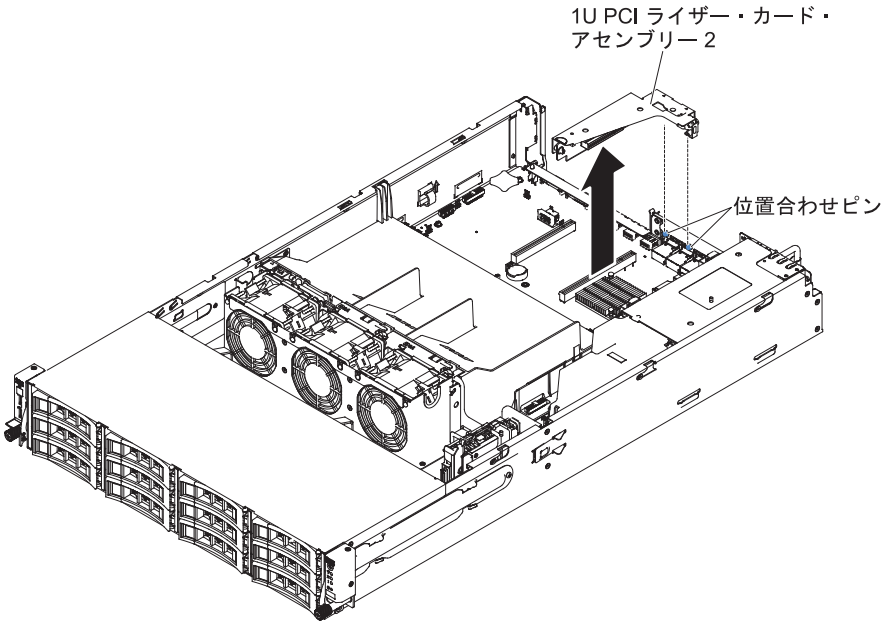


図 23. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の取り外し

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

一部のオプション装置を取り扱う場合、システム・ボード上のいくつかのコンポーネントまたはコネクターにアクセスするには、最初にエアー・バッフルを取り外す必要があります。次の図は、エアー・バッフルを取り外す方法を示しています。

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. トップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. エアー・バッフルの上部をつかみ、エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

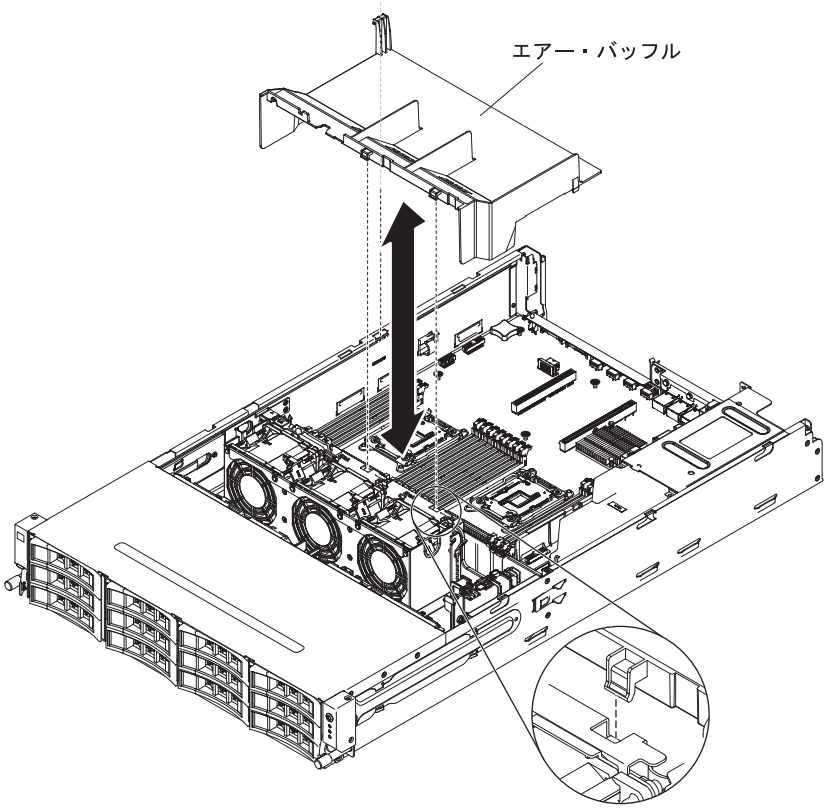


図 24. エアー・バッフルの取り外し

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクをサーバーから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注意:

- ドライブ・コネクターを損傷しないように、ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにドライブかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

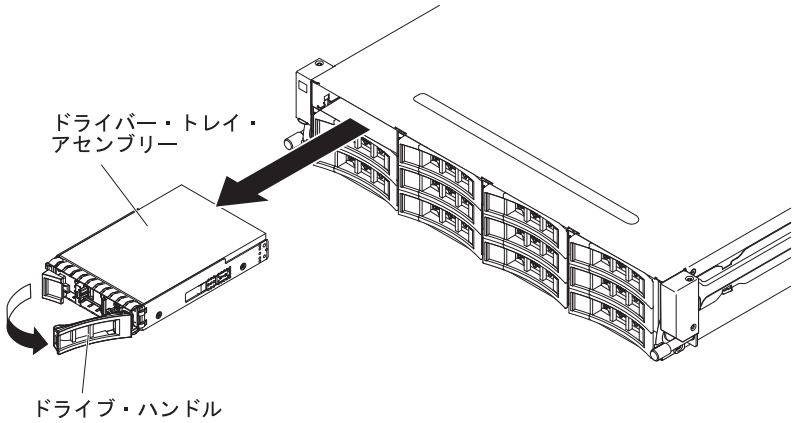


図 25. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ドライブ前部の側面にある解放ラッチを押します。
3. ハンドルをつかんで、ホット・スワップ・ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイから引き抜きます。

   注: ハード・ディスクを取り外した後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。 RAID コントローラーについては、IBM ServeRAID Support CD に収められている RAID の資料を参照してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. サーバーのカバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. アダプターからケーブルを切り離します (後でアダプターを再取り付けする場合は、ケーブル・ルーティングをメモしておきます)。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2 を取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
     b. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

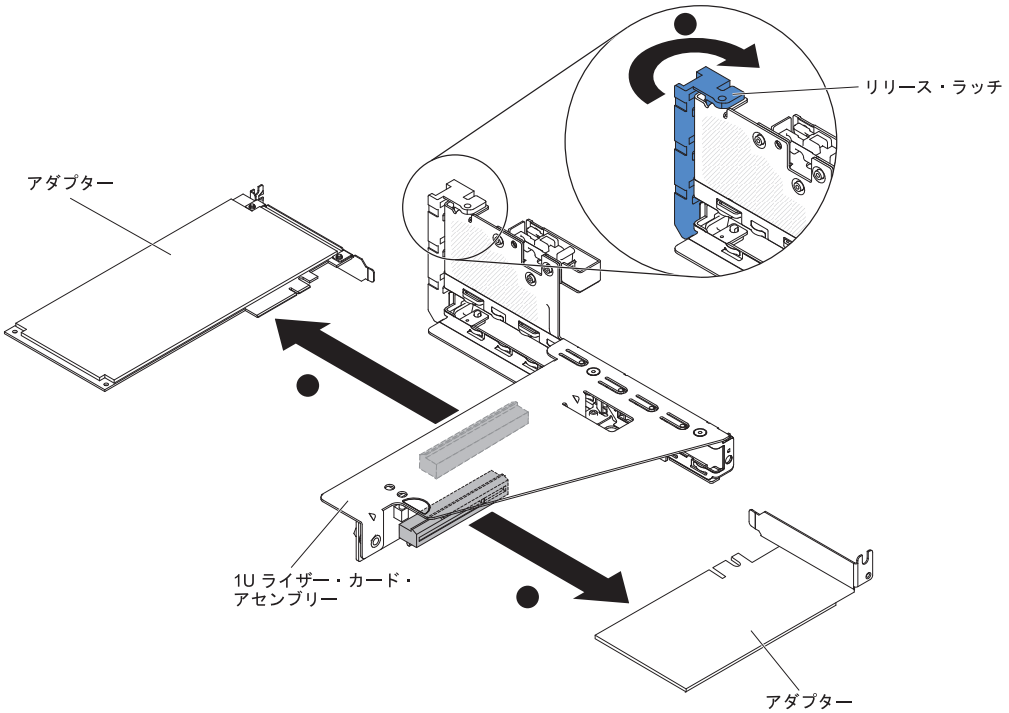


図 26. アダプターの取り外し

8. アダプターを平らな静電防止板の上に置きます。
9. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからの ServeRAID アダプターの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーから ServeRAID アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのカバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2 を取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
     b. ServeRAID アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

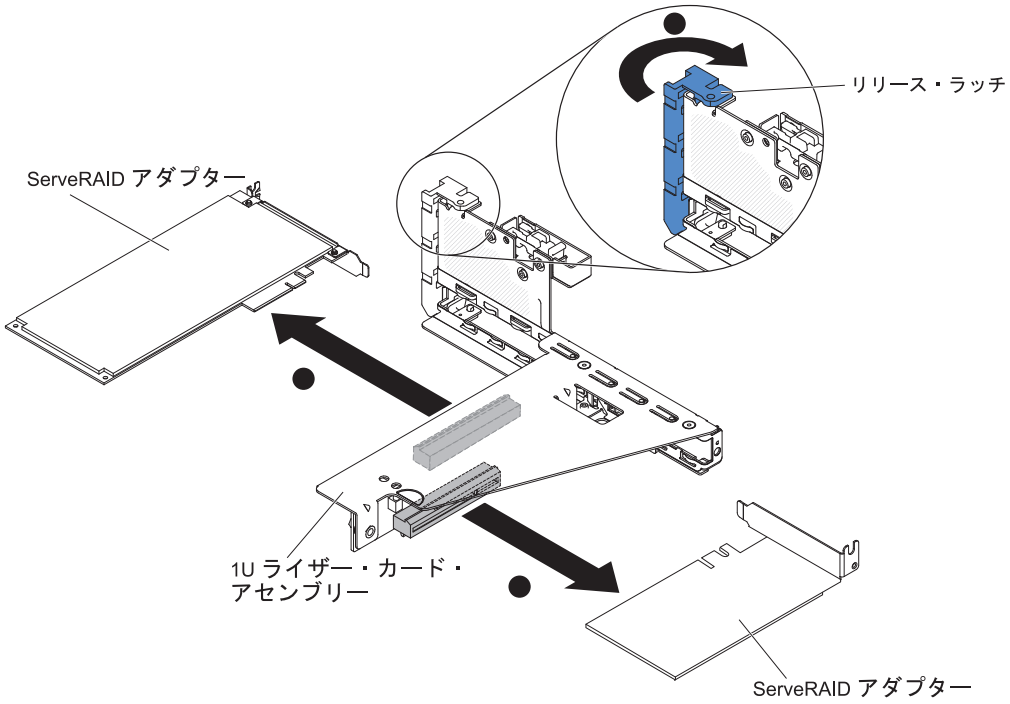


図 27. ServeRAID アダプターの取り外し

- PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の場合:
  a. リリース・ピンを引いて、保持ラッチのロックを解除します。次に、保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
  b. ServeRAID アダプターの端を慎重につかんで、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 から引き出します。

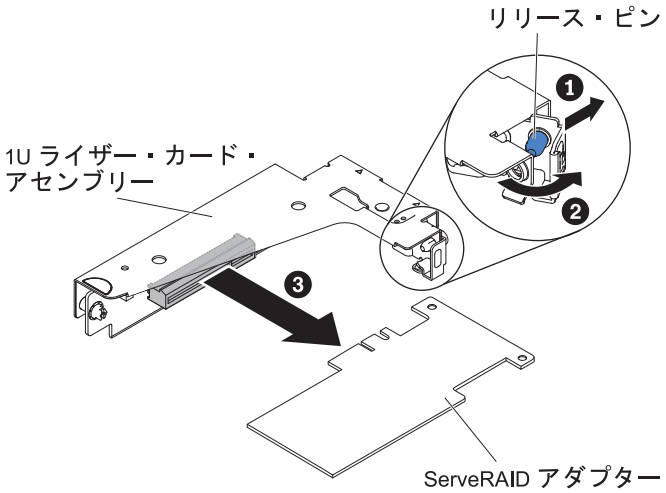


図 28. ServeRAID アダプターの取り外し

7. ServeRAID アダプターの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

注: ServeRAID アダプターが取り外されているときは、ソフトウェア RAID はサポートされません。このシステムでは、ハードウェア RAID 構成からのダウングレードとなるソフトウェア RAID 機能をサポートしません。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクをサーバーに取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注意書きは、サーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ドライブを取り付けるときに考慮するべきその他の情報について説明します。サポートされるドライブのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- システムは、最大 14 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク (2 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクはサーバー背面に配置されます) をサポートします。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければなりません。速度定格が異なるハード・ディスクを使用すると、すべてのドライブが最も遅いドライブのスループット速度で作動することになります。

重要: システムを正しく冷却するために、各ベイにドライブまたフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分を超えてサーバーを動作させないでください。

ドライブをホット・スワップ・ベイに取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. 空のホット・スワップ・ベイの 1 つから、ドライブ・フィラー・パネルを取り外します。
4. 次のようにしてハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
   a. 図に示すようにドライブの方向を合わせます。
   b. トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
   c. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

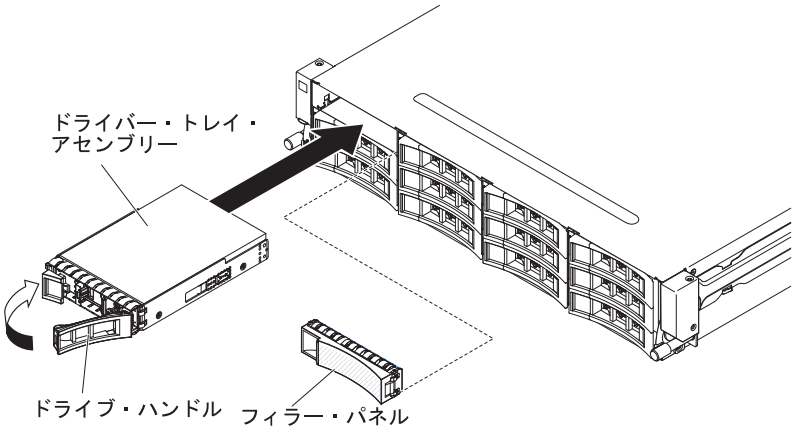


図 29. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

d. ドライブ・アセンブリーを、ドライブが停止するまで静かにベイに挿入します。

e. トレイ・ハンドルを閉じた (ロックされた) 位置に押します。

f. システムの電源が入っている場合は、ハード・ディスク状況 LED を調べて、ハード・ディスクが正しく作動していることを確認します。

5. ドライブの状況 LED をチェックして、ドライブが正しく作動しているか確認します。ドライブの黄色のドライブ状況 LED が点灯したままの場合は、ドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセスされています。

   注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ドライブの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要が生じる可能性があります。RAID 操作の詳細と、ServeRAID アダプターを使用するための詳細な説明に関しては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

6. 追加のホット・スワップ・ドライブを取り付ける場合は、ここで実行してください。

7. サーバーを再始動します。 サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。

8. 26 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加手順を実行します。

タスクの結果

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。 そうでない場合は、88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

注:

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- すべてのアドオン・ビデオ・アダプター上の高品位のビデオ・アウト・コネクターまたはステレオ・コネクターは、サポートされません。
- このサーバーはレガシー 5 V PCI アダプターをサポートしません。

アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. アダプターを取り付ける拡張スロットを決定します。
7. 以下のステップは、PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを取り付ける手順を示しています。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

b. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させます。保持ラッチがアダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。

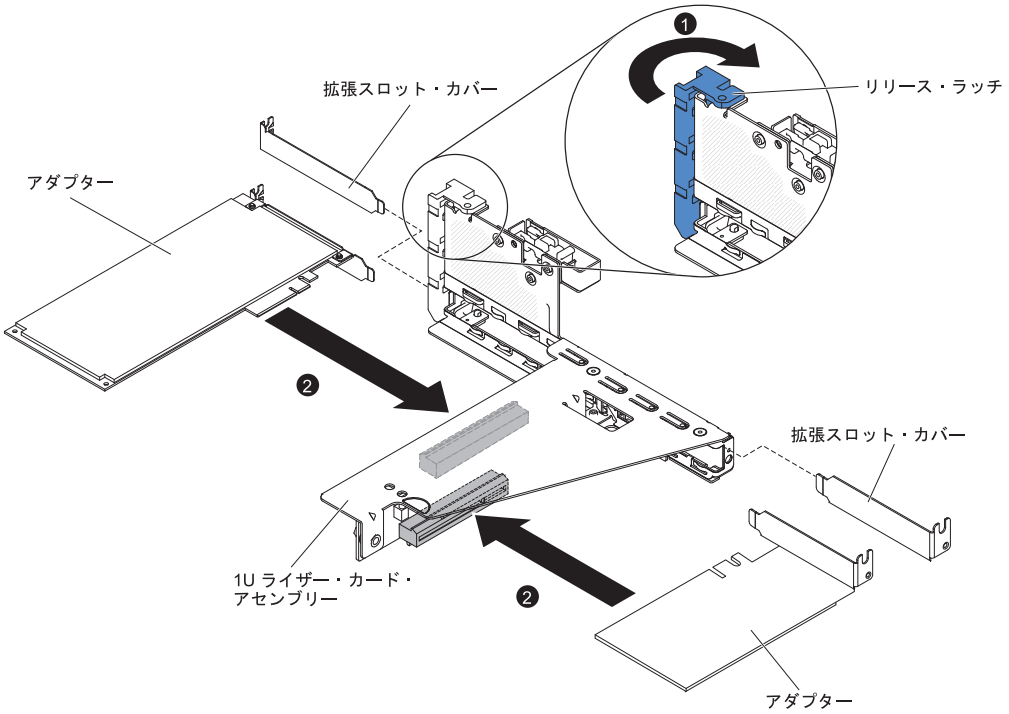


図 30. アダプターの取り付け

8. 必要なケーブルをアダプターに接続します。

   重要:

   - ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
   - ケーブルが PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部に配線されていないことを確認してください。
   - ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (90 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
10. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

シングル / デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き) の取り付け

シングル / デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き) を取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。

アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバー (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』 を参照) および接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

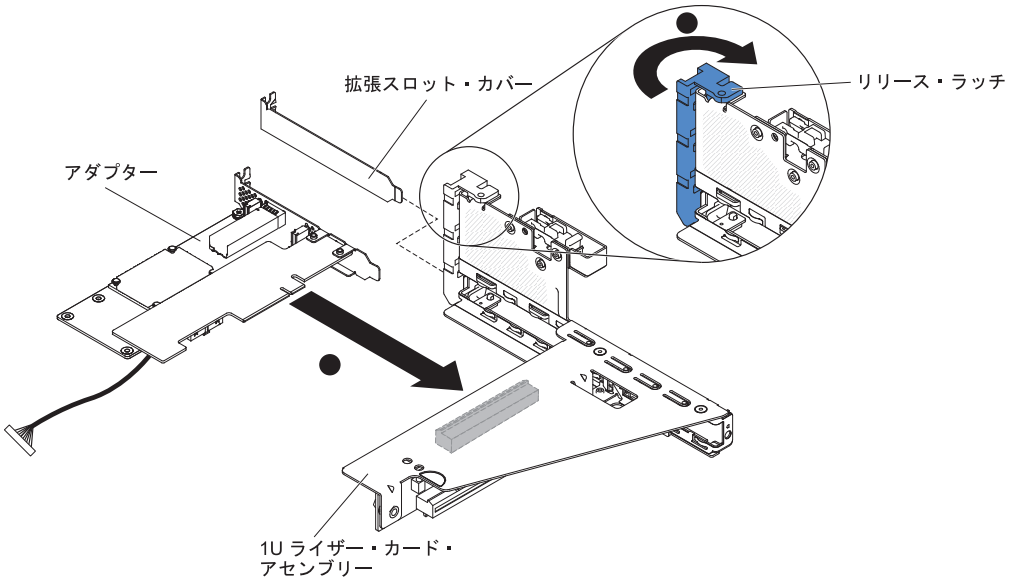


図 31. シングル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプターの取り付け

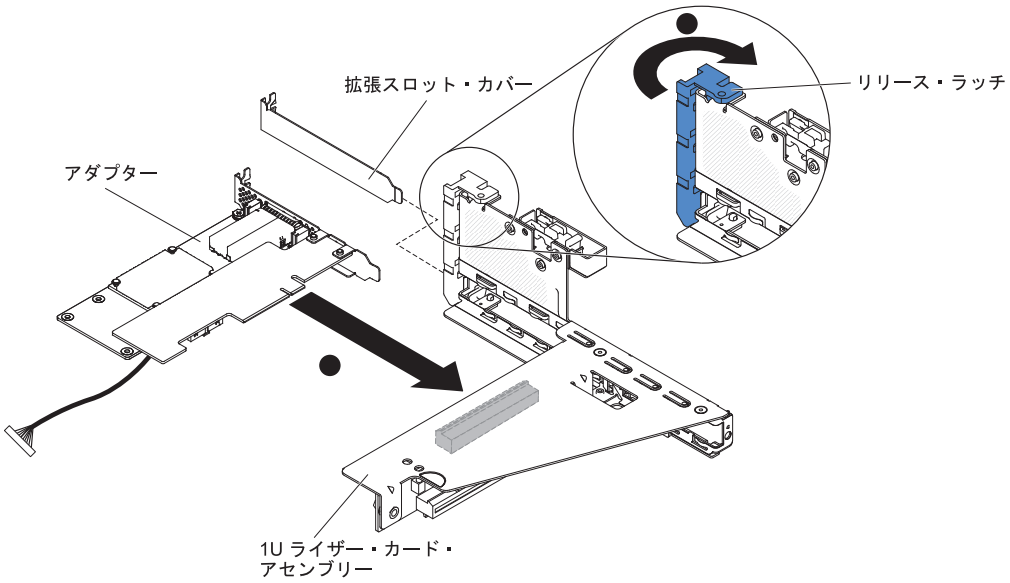


図 32. デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプターの取り付け

7. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させます。保持ラッチがアダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。
8. システム・ボード上のネットワーク・コントローラー側波帯コネクターにケーブルを接続します。 (28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

重要:

- ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
- ケーブルが PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部に配線されていないことを確認してください。
- ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (90 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
10. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーへの ServeRAID アダプターの取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付ける場合、以下のリストに示された順序で取り付けてください。

- スロット 3
- スロット 2 (後部バックプレーンまたは外部 ServeRAID アダプター専用)
- スロット 1 (外部 ServeRAID アダプター専用)

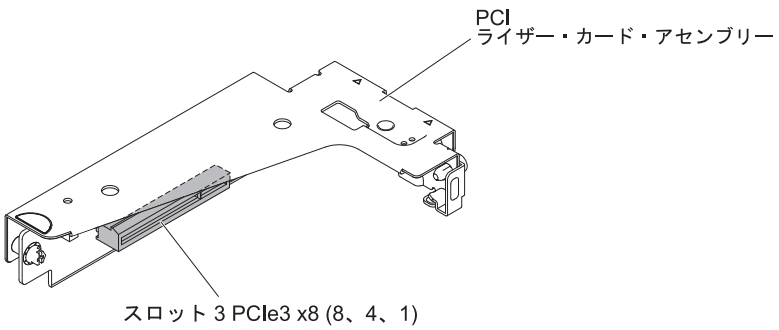


図 33. スロット 3

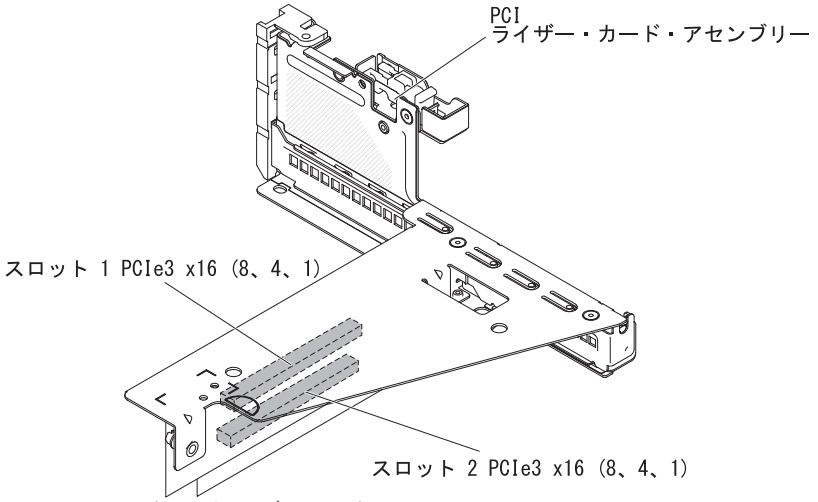


図 34. スロット 2 およびスロット 1

PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

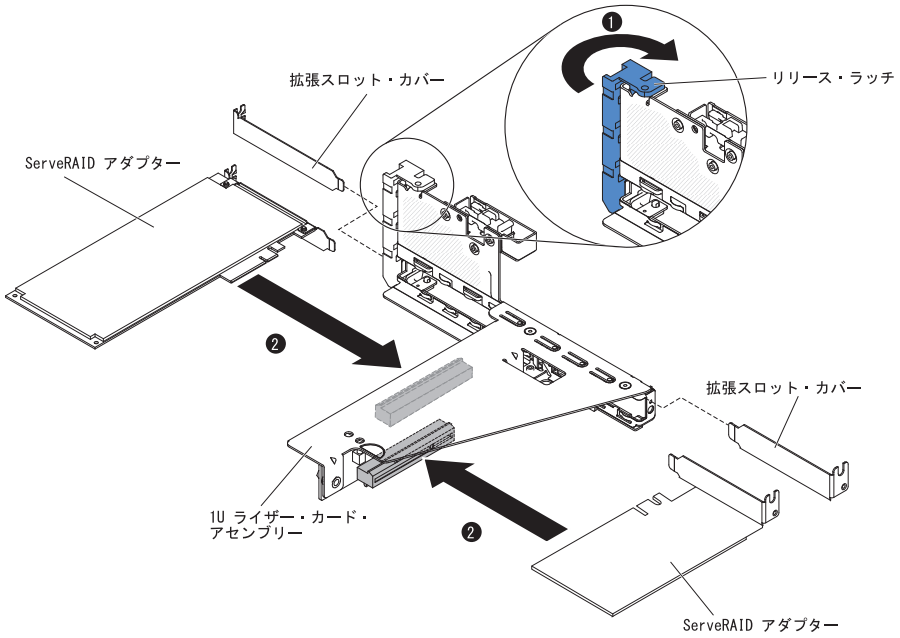
手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. トップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ServeRAID アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい ServeRAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージから ServeRAID アダプターを取り出します。
5. バッテリーを使用する、新品または交換用の ServeRAID コントローラーを取り付ける場合は、次のステップを実行してください。
   a. ServeRAID アダプター・パッケージ、またはバッテリー・パッケージからバッテリーを取り出します。
   b. ServeRAID コントローラーまたはバッテリーに付属の資料に従って、あるいは、 59 ページの『ServeRAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのリモート・バッテリー・トレイへの取り付け』を参照して、バッテリーを取り付けて ServeRAID コントローラーに接続します。
6. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付けるためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリ

ーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

b. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させます。保持ラッチがアダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。

図 35. ServeRAID アダプターの取り付け



- PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の場合:
  a. リリース・ピンを引いて、保持ラッチのロックを解除します。次に、保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
  b. 切り欠きが PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 のコネクターの位置に正しく合うように、ServeRAID アダプターの位置を合わせます。
  c. ServeRAID アダプターをライザー・カード上のコネクターに挿入して、しっかりと装着されるようにします。

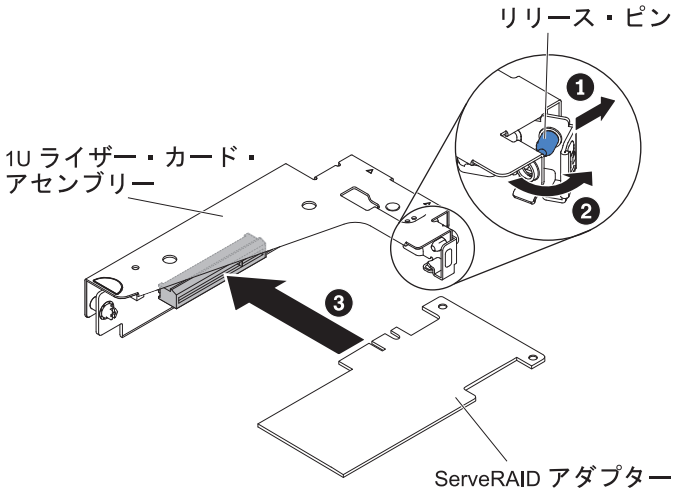


図 36. ServeRAID アダプターの取り付け

重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

7. 必要なケーブルを ServeRAID アダプターに接続します。

   重要:

   - ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
   - ケーブルが PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部に配線されていないことを確認してください。
   - ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

8. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させ、保持ラッチが ServeRAID アダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。次に、リリース・ピンを押して、保持ラッチを所定の位置にロックします。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2 を取り付けます (90 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

注:

1. バッテリー付きの ServeRAID アダプターを取り付けた後でサーバーを最初に再始動したとき、コントローラーがバッテリーを初期設定する間モニター画面はブランクのままになります。これには数分間を要し、その後に始動プロセスが続行します。これが起こるのは一回限りです。

   重要: 初期設定プロセスは必ず完了させてください。途中で中断すると、バッテリー・パックが作動せず、サーバーが始動しなくなることがあります。

バッテリーは容量の 30% またはそれ以下しか充電されないで出荷されます。バッテリーを完全に充電するためには、サーバーを 4 から 6 時間稼働させてください。コントローラーのバッテリーの真上の LED は、バッテリーが完全に充電されるまで点灯したままになります。

バッテリーが完全に充電されるまで、コントローラー・ファームウェアはコントローラー・キャッシュをライトスルー・モードに設定し、バッテリーが完全に充電された後、コントローラー・ファームウェアはライトバック・モードを再び使用可能に設定します。

2. サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新しい ServeRAID アダプターにインポートすることができます。

ServeRAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのリモート・バッテリー・トレイへの取り付け

ServeRAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをリモート・バッテリー・トレイに取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

Intelligent Battery Backup Unit (iBBU) は、ServeRAID アダプターのオプションのバッテリーです。このセクションでは今後はバッテリー と呼びます。オーバーヒートを避けるために、リモート・バッテリー・ケーブルを購入し、バッテリーを ServeRAID アダプターから離れた位置に取り付ける取り付ける必要があります。

シャーシのリモート・バッテリー・トレイには、最大 2 個のバッテリーを取り付けることができます。

バッテリーをリモート・バッテリー・トレイに取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. RAID バッテリー・トレイにバッテリーを取り付けます。
   a. 次の図に示すように、バッテリーの方向を合わせます。次に、バッテリーを下ろして RAID バッテリー・トレイの中に収めます。バッテリーにバッテリー・キャリアが付属している場合、スロット内でバッテリー・キャリアがしっかりと固定されるように、バッテリー・キャリアのポストがバッテリーの取り付けスロット上のリングの位置と合っていることを確認してください。
   b. バッテリーの保持クリップを、カチッと音を立ててしっかり収まるまで元の垂直位置に向かって押し、バッテリーを固定します。

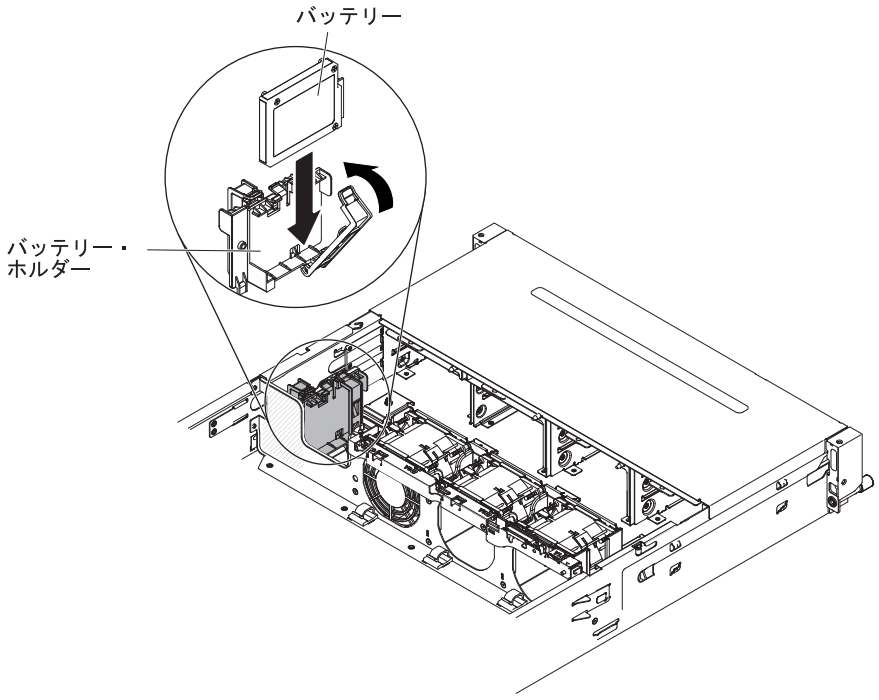


図 37. バッテリーの取り付け

5. ServeRAID アダプター上のリモート・バッテリー・ケーブル・コネクターにリモート・バッテリー・ケーブルを接続します。次の図に示すように、サーバー内でリモート・バッテリー・ケーブルを配線します。

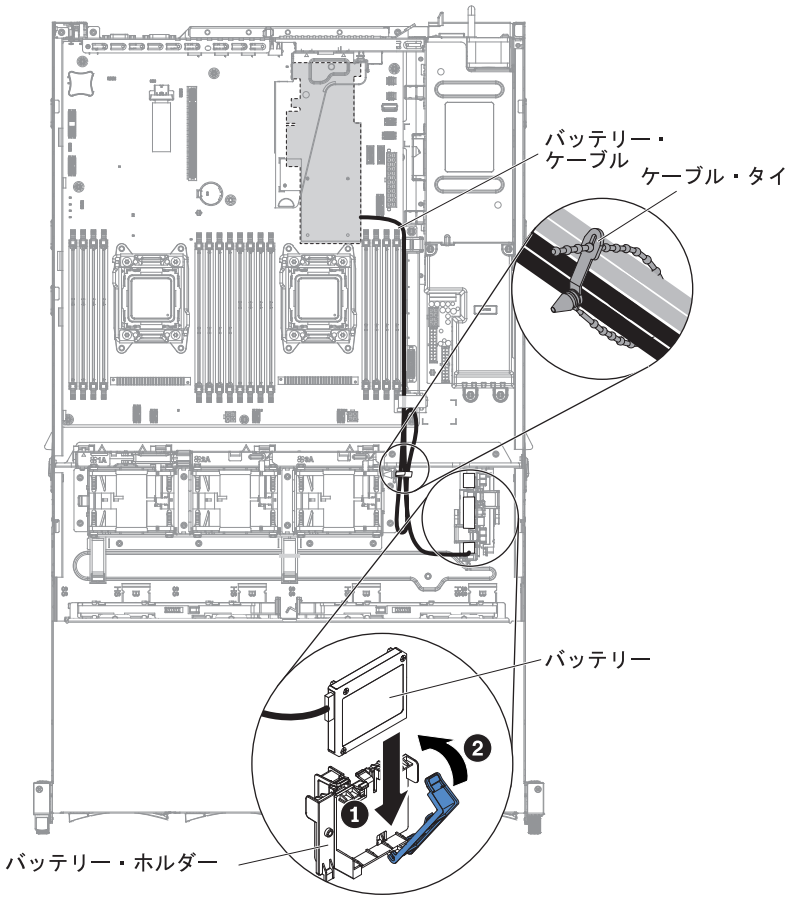


図 38. バッテリー・ケーブルの接続

重要:

- ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクターを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

背面ハード・ディスク・ケージへのホット・スワップ・バックプレーンの取り付け

ホット・スワップ・バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージに取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の図は、2 つの異なるタイプのホット・スワップ・バックプレーンについて示しています。

- タイプ 1 - SATA

  重要: マスター/スレーブ接続を行うには、このバックプレーンを前面バックプレーンとカスケードする必要があります。

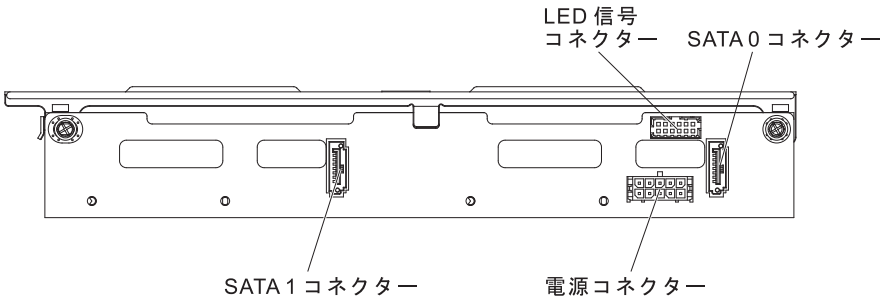


図 39. タイプ 1 - SATA

- タイプ 2 - SAS

  注: このバックプレーンは、独立して構成することができます (前面バックプレーンとのカスケードは不要です)

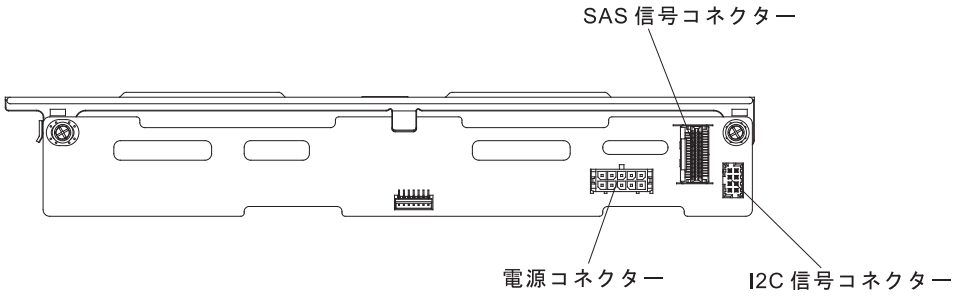


図 40. タイプ 2 - SAS

背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. バックプレーンにケーブルを接続します。
   - タイプ 1 - SATA
     - LED 信号ケーブル、SATA 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンに接続します。

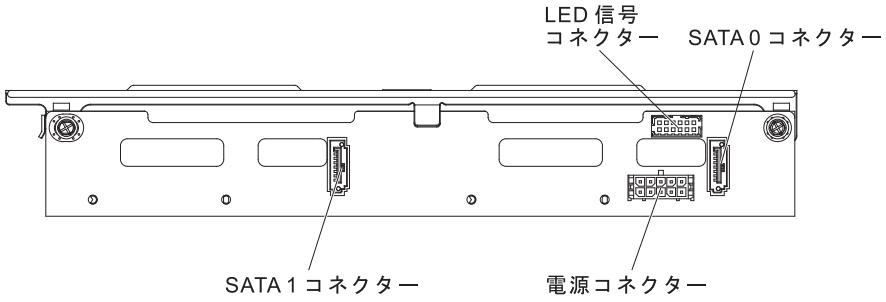


図 41. タイプ 1 - SATA

   - タイプ 2 - SAS
     - I^2C 信号ケーブル、SAS 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンに接続します。

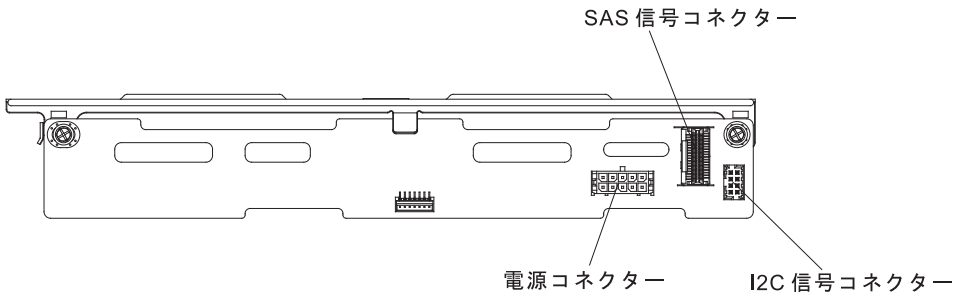


図 42. タイプ 2 - SAS

5. バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージのスロットと位置合わせします。
6. バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージに下ろします。 3 つの位置合わせピンがハード・ディスク・ケージ上の 3 つの穴としっかりかみ合っている

ことを確認します。

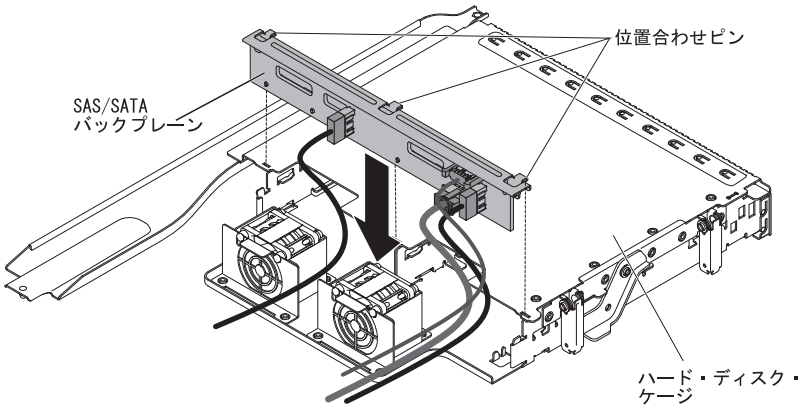


図 43. ホット・スワップ・バックプレーンの取り付け

7. バックプレーンとサーバー間での適切なケーブル接続方法については、 195 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの再取り付け』を参照してください。
8. ホット・スワップ・ハード・ディスクを背面ハード・ディスク・ケージに取り付けます (49 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

前面ファンの取り付け

前面ファンをサーバーに取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーでは、適切な冷却を確保するために、システムにあるすべてのファンが常に作動している必要があります。

重要: 適切なサーバーの動作を確保するために、ファンに障害が起きた場合は直ちに交換してください。

ファン・ケーブル・コネクターの位置については 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』 を参照してください。

前面ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。
2. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

3. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
5. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り外します (43 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. ファン 1A を取り付けます (ファン 2A またはファン 3A を取り付ける場合は、ステップ 10 に進みます)。

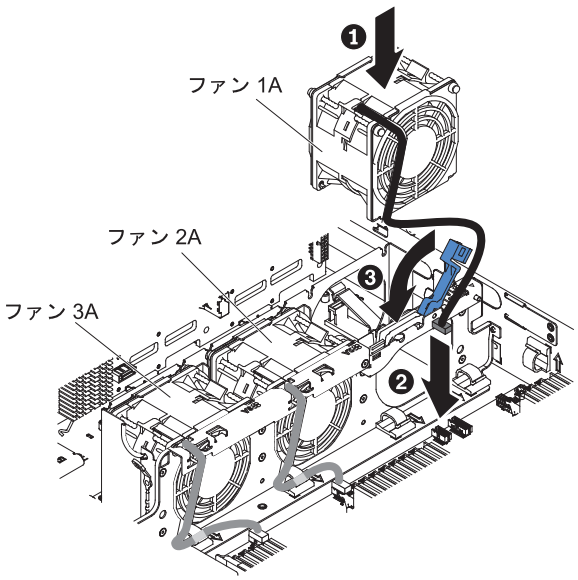


図 44. ファンの取り付け

   a. ファン・ケージ上の青いハンドルを引き上げます。
   b. ファン・ケーブルがシステム・ボードの方を向くようにファンの方向を合わせます。
   c. ファンを下ろしてサーバーのファン・スロット内に収め、正しく装着されていることを確認します。
   d. ファン・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに接続します。(28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

      注: ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
   e. ケーブル保持クリップにシステム・ケーブルを挿入します。
   f. 青いハンドルを元の水平位置に戻します。
9. 他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

10. ファン 2A または 3A の取り付け
    a. ファン・ケーブルがシステム・ボードの方を向くようにファンの方向を合わせます。
    b. ファンを下ろしてサーバーのファン・スロット内に収め、正しく装着されていることを確認します。
    c. ファン・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに接続します。(28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
    d. ケーブル保持クリップにシステム・ケーブルを挿入します。

    注: ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
11. 他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を説明しています。

このタスクについて

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバーの構成情報が変更されます。 サーバーを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムで表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3) - 1600 または 1866 MHz (構成により異なる)、SDRAM (synchronous DRAM) registered デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

  *ggg e*R*x**ff*-PC3-*wwwwwm-aa-bb-cc-dd*

  ここで、
  - *ggg* は、DIMM の合計容量です (例えば、1GB、2GB、または 4GB)。
  - *e* はランクの番号です。

    1 = single-rank

    2 = dual-rank
  - x *ff* はデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)

    4 = x4 編成 (SDRAM 当たり 4 DQ ライン)

    8 = x8 編成

    16 = x16 編成
  - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

    12800 = 12.80 GBps PC3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps PC3-1866 SDRAMS、8 バイト基本データ・バス)

– *m* は、DIMM のタイプです。

E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

R = registered DIMM (RDIMM)

U = ECC なしの unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)

L = 負荷低減 DIMM (LR-DIMM)

– *aa* は、DDR3 SDRAM CAS 待ち時間 (最大動作周波数のクロック単位) です。

– *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。

– *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。

– *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。このラベル上の情報は、xxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xx-xx の形式で記載されています。4 番目の数値位置の数表示は、この DIMM が single-rank (n=1) であるか dual-rank (n=2) であることを示しています。

- サーバー内で registered DIMM と unbuffered DIMM を混用しないでください。
- サーバー内で load reduced DIMM と他のタイプの DIMM を混用しないでください。
- サーバー内で ECC DIMM と非 ECC DIMM を混用しないでください。
- このサーバーは、1.35 ボルト (低電圧) および 1.5 ボルトの DIMM をサポートします。
- このサーバーは、基本システム・ボード上で最大 16 個の DIMM (single-rank および dual-rank) をサポートします。
- サーバーで使用可能な DIMM オプションは、4 GB、8 GB、16 GB、および 32 GB (使用可能な場合) です。
- このサーバーは、メモリー・スペアリングをサポートします。メモリー・スペアリングは、DIMM に障害が発生した場合のフェイルオーバー用にメモリー容量を予約します。予約された容量は、使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングでは、メモリー・ミラーリングの場合よりも冗長性が低くなります。事前に決められた訂正可能エラーのしきい値に達すると、障害のある DIMM の内容がスペア・メモリーにコピーされ、障害のある DIMM またはランクは使用不可になります。Setup ユーティリティーを使用してメモリー・スペアリングを使用可能にするには、「System Settings」>「Memory」を選択します。
- サーバー・システム・ボードは、最小 4 GB、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。 詳細は、97 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- 次の表に、各マイクロプロセッサーに関連付けられている DIMM コネクターを示します。

表 5. 各マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター

マイクロプロセッサー	マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター
マイクロプロセッサー 1	1 から 8
マイクロプロセッサー 2	9 から 16

- DIMM を交換する場合、サーバーが自動 DIMM 使用可能化機能を提供するため、新規 DIMM を手動で使用可能にするために Setup に進む必要はありません。
- サーバーの最大動作速度は、サーバーに取り付けられた最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- 各マイクロプロセッサーには、少なくとも 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、少なくとも 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。
- このサーバーは最小 1 つの DIMM がスロット 1 に取り付けられて出荷されます。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、次の表の情報に示される順序で取り付けてください。
- このサーバーは、独立モード、ランク・スペアリング・モード、およびミラーリング・モードをサポートします。

DIMM の取り付け順序

追加の DIMM を取り付ける場合は、システムのパフォーマンスを最適化するために、以下の表に示す順に取り付けてください。

このタスクについて

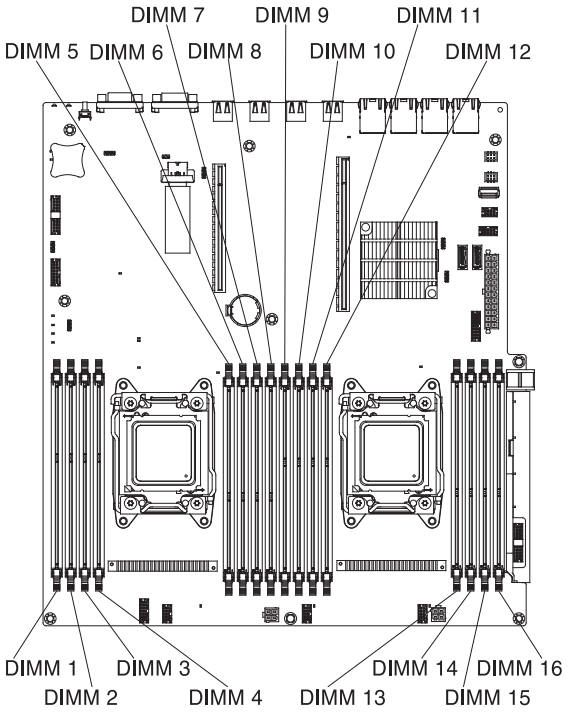


図 45. システム・ボード DIMM コネクター

表 6. 非ミラーリング (通常) モード DIMM の取り付け順序

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	**DIMM コネクターの装着順序**
1	8, 6, 1, 3, 7, 5, 2, 4
2	8, 16, 6, 14, 1, 9, 3, 11, 7, 15, 5, 13, 2, 10, 4, 12

次の表に、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストします。

表 7. 各メモリー・チャネル上の DIMM コネクター

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	**メモリー・チャネル**	**DIMM コネクター**
マイクロプロセッサー 1	チャネル 1	7, 8
	チャネル 2	5, 6
	チャネル 3	1, 2
	チャネル 4	3, 4

次の表に、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストします。

表 8. 各メモリー・チャネル上の *DIMM* コネクター

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	メモリー・チャネル	DIMM コネクター
マイクロプロセッサー 2	チャネル 1	15, 16
	チャネル 2	13, 14
	チャネル 3	9, 10
	チャネル 4	11, 12

メモリー・ミラーリング

メモリー・ミラーリング・モードでは、同時に 2 つのチャネル内で 2 対の DIMM にデータが複製されて保管されます。

このタスクについて

メモリー・ミラーリング・モードでは、同時に 2 つのチャネル内で 2 対の DIMM にデータが複製されて保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。メモリー・ミラーリングは、Setup ユーティリティーから使用可能にする必要があります。メモリー・ミラーリングの使用可能化について詳しくは、101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。

- DIMM は必ずペアで取り付けなければなりません。各ペアの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
- メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合、使用可能メモリーの最大量は、取り付けられているメモリーの 3 分の 1 に減ります。例えば、96 GB のメモリーを取り付けた場合、メモリー・ミラーリングを使用する際に使用できるのは 32 GB のアドレス可能メモリーのみです。
- チャネル 1 の DIMM コネクター 1、2、7、および 8 は、メモリー・ミラーリング・モードで使用されません。

次の表は、メモリー・ミラーリング・モードの DIMM 取り付け順序をリストしています。

表 9. *DIMM* 装着順序 *(*メモリー・ミラーリング・モード*)*

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクターの装着順序
1	8, 6
	1, 3
	7, 5
	2, 4
2	8, 6, 16, 14
	1, 3, 9, 11
	7, 5, 15, 13
	2, 4, 10, 12

DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステ

ムから表示されます。

ランク・スペアリング

スペアリングを使用すると、障害を起こしているランクを、未装着のスペースに取り付けたランクによって置き換えることができます。チャネル上の未使用のスペア・ランクを使用して、そのチャネル上で障害を起こしているランクの内容をコピーすることができます。

このタスクについて

メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。

- ランク・スペアリング・モードでは、装着されたチャネルごとに 1 つの DIMM ランクがスペア・メモリーとして予約されます。スペア・ランクは、アクティブ・メモリーとしては使用できません。アクティブ・ランク・メモリーで障害が発生した場合、その内容はスペア・ランク・メモリーにコピーされ、スペア・ランクがアクティブになります。スペア・ランクのメモリー容量は、同じチャネル上のその他すべてのランクと同一、またはそれより大きくなければなりません。
- DIMM は、3 つをセットにして取り付ける必要があります。各セットの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
- 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合のランク・スペアリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

次の表は、メモリー Online-spare モードで各マイクロプロセッサーごとに DIMM を取り付ける場合のインストール・シーケンスを示しています。

表 10. DIMM 装着順序 (ランク・スペアリング・モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	**DIMM コネクターの装着順序**
1	8, 7
	1, 2
	6, 5
	3, 4
2	8, 7, 16, 15
	6, 5
	14, 13
	1,2
	9, 10
	3, 4
	11, 12

DIMM の取り付け

以下の情報を使用して、DIMM を取り付けます。

このタスクについて

注: 各チャネルの最初の DIMM コネクターは白色で、各チャネルの 2 つ目の DIMM コネクターは黒色です。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (43 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. DIMM コネクターの両端にある保持クリップを慎重に開きます。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷したりしないように、クリップは丁寧に開閉してください。

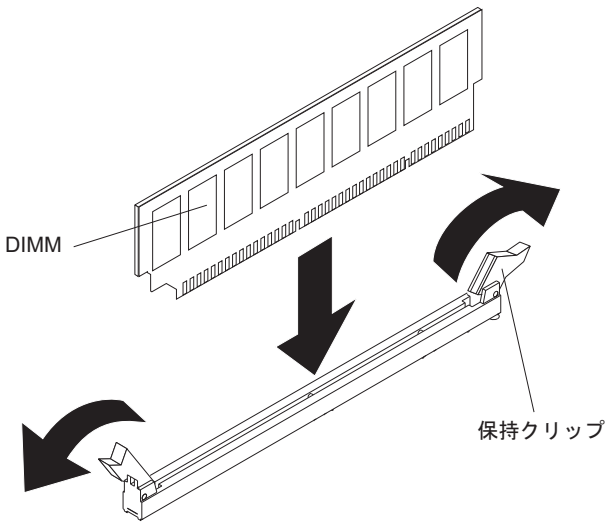


図 46. DIMM の取り付け

8. DIMM が入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DIMM をパッケージから取り出します。

9. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
10. DIMM の両端を DIMM コネクターの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクターに挿入します。DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

    重要: DIMM と保持クリップの間にギャップがある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているマイクロプロセッサーのタイプ、およびマイクロプロセッサーを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を説明しています。

- サーバーは、LGA 2011 ソケットに合うように設計された Intel スケーラブル・マルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。最大 10 コアまで拡張でき、内蔵メモリー・コントローラー、Quick Path Interconnect、および共有の Last Level Cache を備えています。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 両方のマイクロプロセッサーは、Quick Path Interconnect (QPI) のリンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コア周波数、電力セグメント、キャッシュ・サイズ、およびタイプが同一である必要があります。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうか判別してください。ご使用のサーバー用の現行レベルのサーバー・ファームウェア、およびその他の多くのコード更新をダウンロードするには、以下のステップを実行してください。
    1. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
    2. 「**Product support**」の下で、「**System x**」をクリックします。
    3. 「**Popular links**」の下で、「**Software and device drivers**」をクリックします。
    4. 「**System x3650 M4 BD**」をクリックして、サーバー用にダウンロード可能なファイルのマトリックスを表示します。

- (任意) SMP 可能なオペレーティング・システムを入手します。サポートされるオペレーティング・システムとオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサー・オプション・デバイスを発注する場合は、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。
- マイクロプロセッサーの速度はご使用のサーバーに自動的にセットされるため、マイクロプロセッサーの周波数選択ジャンパーやスイッチをセットする必要はありません。
- マイクロプロセッサーを交換する必要がある場合は、サービスを依頼してください。
- 熱伝導グリース保護カバー (例えば、プラスチック製キャップまたはテープの裏打ち) をヒートシンクから取り外した場合は、ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。
- 2 番目のマイクロプロセッサーを取り付けるために、最初のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。

重要:

- 始動 (ブート) マイクロプロセッサーは、必ずシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- マイクロプロセッサーを追加する場合、サーバーを正常に動作させるために、互換性のあるマイクロプロセッサーを使用し、マイクロプロセッサー 2 用の DIMM コネクターに少なくとも 1 つの DIMM を取り付けてください。

マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する「L」と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する「H」です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

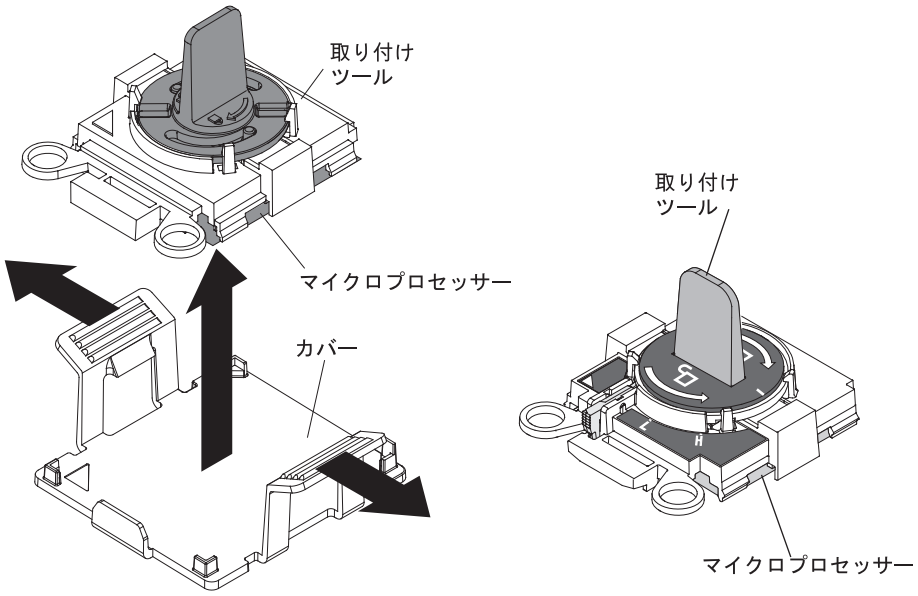


図 47. マイクロプロセッサー取り付けツール

追加のマイクロプロセッサーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (43 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. システム・ボード上の 2 番目のマイクロプロセッサー・ソケットを見つけます (28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』 を参照)。
8. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

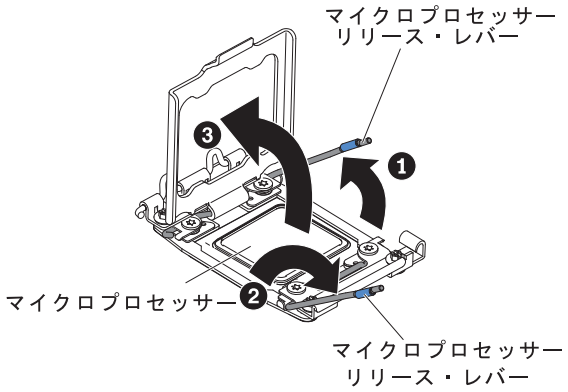


図 48. マイクロプロセッサー・リリース・レバーおよびマイクロプロセッサー・ブラケット・フレーム

a. どちらのリリース・レバーが最初のリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認します。次に、マイクロプロセッサー・リリース・レバーの端を押し下げ、水平に動かして、オープン (上方) 位置までリリース・レバー解放します。

b. マイクロプロセッサー・ソケット上の 2 つ目のリリース・レバーを開きます。

c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触れないでください。

9. 次のように、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。

a. 新規のマイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサーを慎重にパッケージから取り出します。

b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

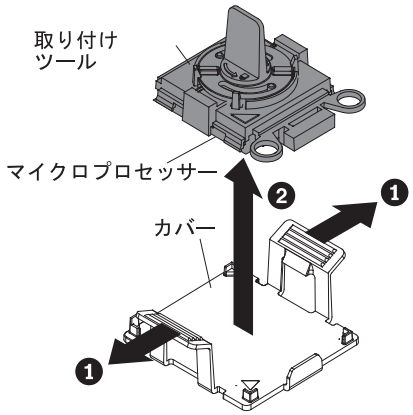


図 49. 取り付けツール・カバーの取り外し

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

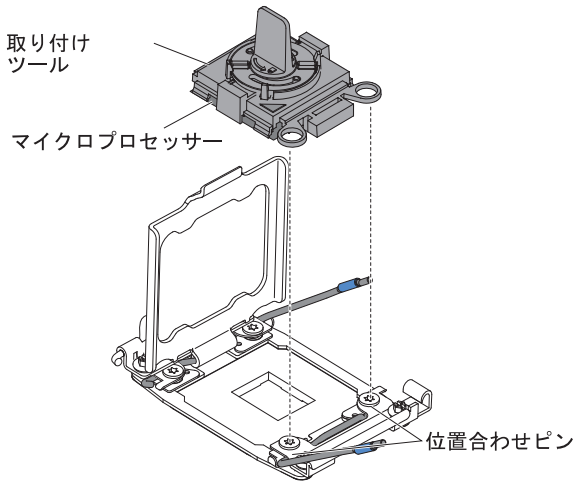


図 50. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

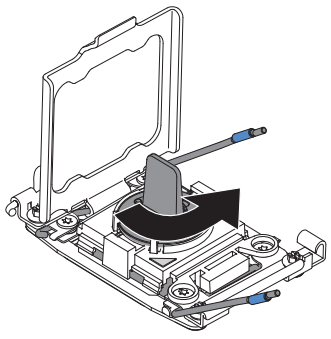


図 51. 取り付けツール・ハンドルの調整

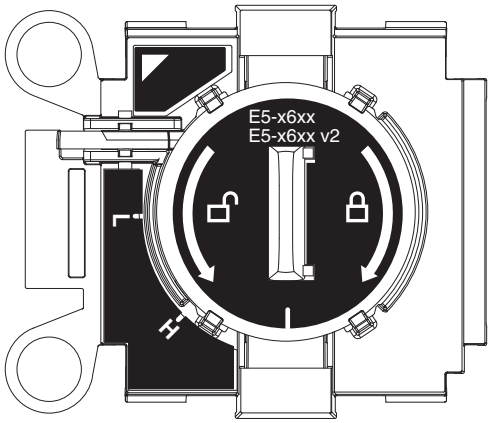


図 52. 取り付けツール B

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。 熱伝導材に触れると、熱伝導材が品質が劣化します。

10. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

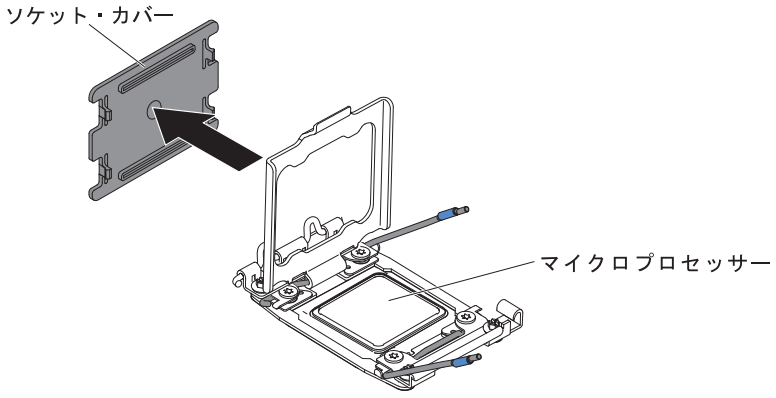


図 53. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

11. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

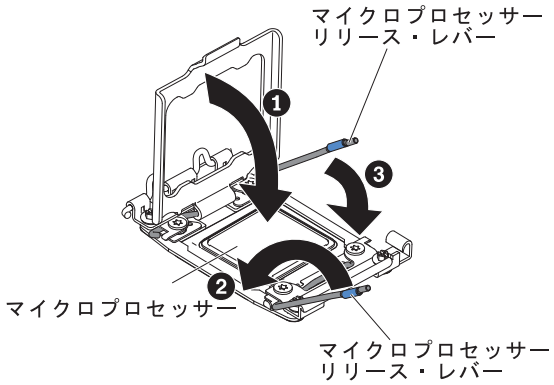


図 54. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。

b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。

c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

12. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。 熱伝導グリースが汚れた場合は、IBM サービスおよびサポートに連絡して、交換用の熱伝導グリース・キットを要求してください。交換用の熱伝導グリースを取り付ける方法については、81 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

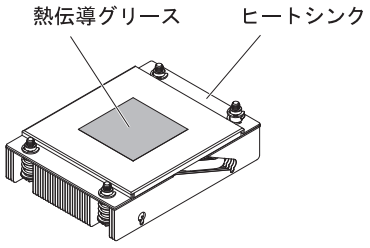


図 55. ヒートシンク

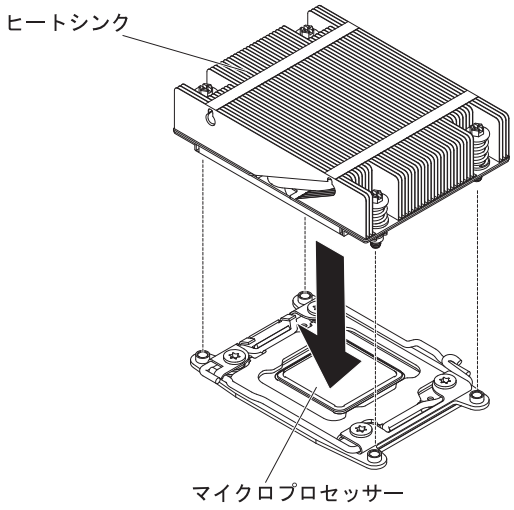


図 56. ヒートシンクの取り付け

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
c. 熱伝導グリース側を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサー上に置きます。
d. 拘束ねじをしっかり押し込んで、ドライバーでこれらのねじを締めます。次の図は、ねじを締める順序を示しています。この図はヒートシンクの上部にも示されています。「1」のラベルが付いたねじから始め、次に「2」、「3」、最後に「4」を締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力を加えて、ねじを締めすぎないでください。トルク・レンチを使用している場合は、8.5 ニュートン・メートル (Nm) から 13 Nm でねじを締めてください。

   注: ねじを締める場合は、プラス・ドライバー No.0 を使用してください。

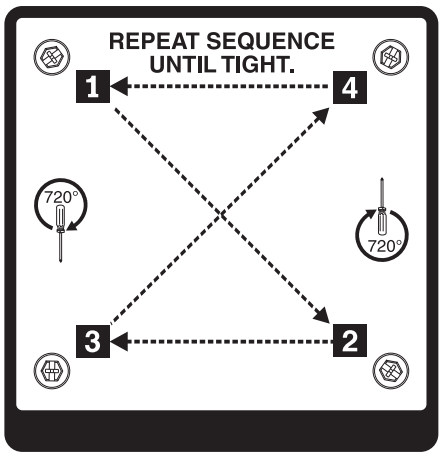


図 57. ねじの順序

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

- vii ページの『安全について』 をお読みください。
- 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
- 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーやヒート・エクスチェンジャー上の、傷んだあるいは汚れた熱伝導グリースを交換する場合は、次のステップを実行してください。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。

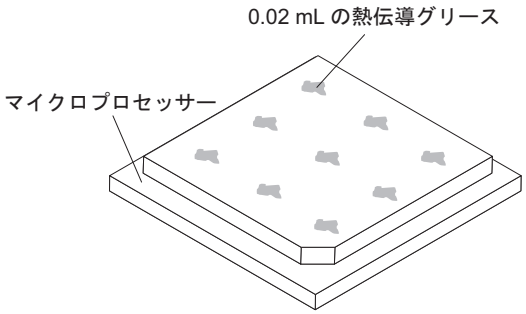


図 58. 熱伝導グリースの配分

5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

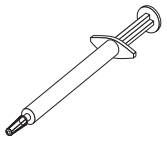


図 59. 注射器

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (273 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けます。

このタスクについて

以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- サーバーには、750 ワット、または 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 個付いています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。

  注: サーバーでは、110 V AC と 220 V AC、または 750 ワットと 900 ワットのパワー・サプライを混用することはできません。サポート対象外です。
- これらのパワー・サプライは、並列操作用に設計されています。 パワー・サプライに障害が発生した場合、冗長パワー・サプライがシステムに電力を供給し続けます。 このサーバーは、最大 2 個のパワー・サプライをサポートします。

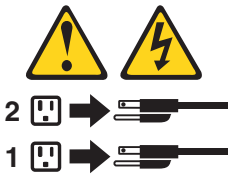
- サーバーは、1 個のパワー・サプライを使用して最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするためには、2 台目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。 装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切な冷却のために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを交換するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ホット・スワップ・パワー・サプライを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからそのパワー・サプライを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. ホット・スワップ・パワー・サプライを空のベイに取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラー・パネルを取り外します。一方、障害が起きたホット・スワップ・パワー・サプライを交換する場合は、ベイからパワー・サプライを取り外します。

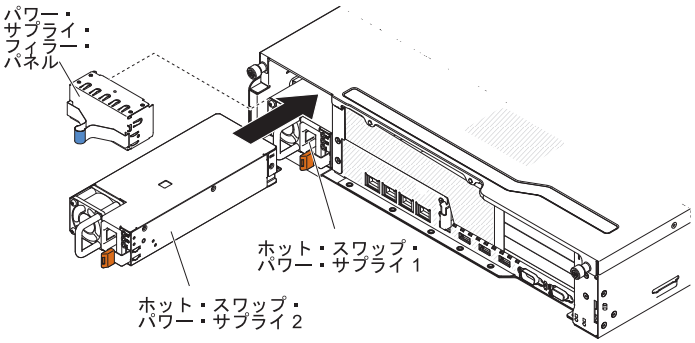


図 60. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
5. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
6. 電源コードが誤って抜けないように、ケーブル保持クリップを使用して電源コードを配線します。

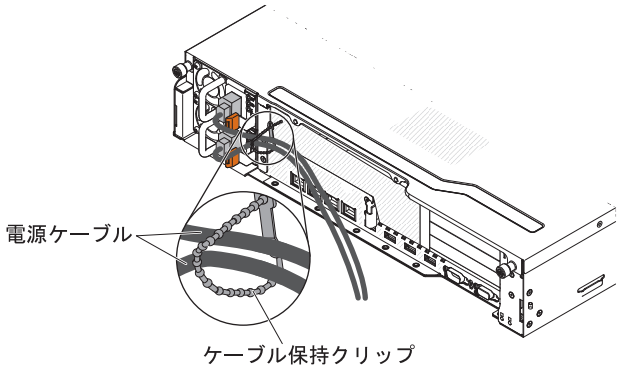


図 61. 電源コード

7. 正しく接地されたコンセントに電源コードを接続します。
8. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
9. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルを、パワー・サプライの近くのサーバー・トップ・カバーに貼り付けてください。

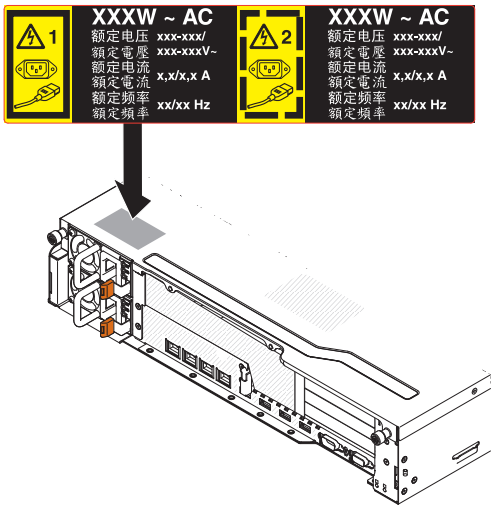


図 62. 電源情報ラベル

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

このタスクについて

ハイパーバイザーは仮想化プラットフォームの一種であり、一台のホスト・コンピューター上で同時に複数のオペレーティング・システムを稼働することができます。ハイパーバイザーのサポートは、ハイパーバイザー・ソフトウェアが組み込まれたオプションの USB ハイパーバイザー・メモリー・キーを購入、および取り付けることで有効になります。

USB ハイパーバイザー・メモリー・キーを取り付けるには、次の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. トップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。

4. オプションのホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージが取り付けられている場合は、上に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCIe ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (41 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 次の図に示されている、システム・ボード上の USB 組み込みハイパーバイザー フラッシュ・デバイス・コネクターの位置を確認します。

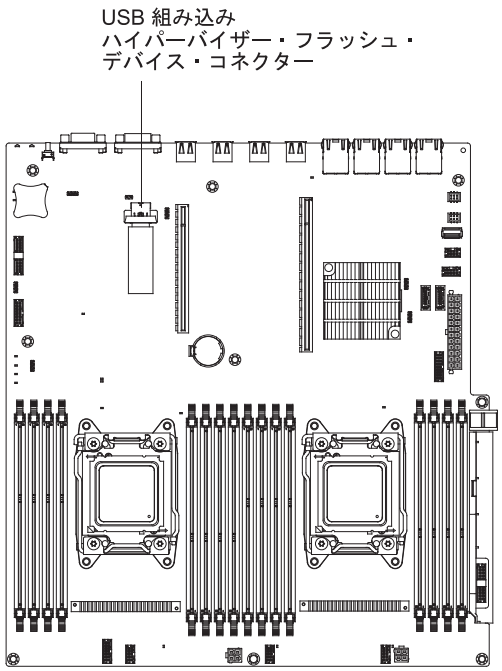


図 63. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター

7. ロック・バーをライザー・カード・アセンブリーに向かってロック位置までスライドさせ、しっかりと装着します。

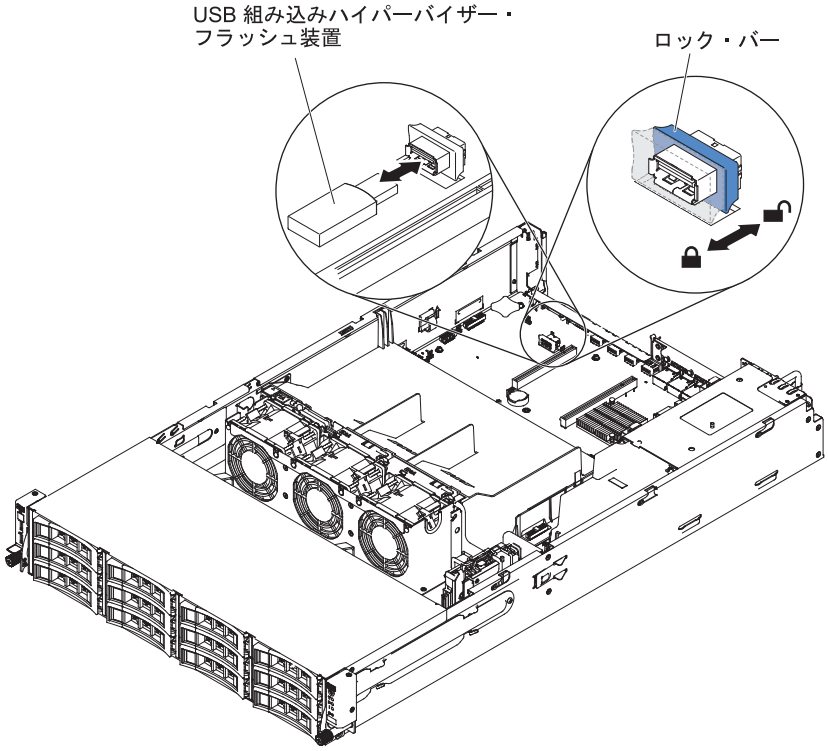


図 64. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

8. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し入れます。
9. ロック・バーをライザー・カード・アセンブリーに向かってロック位置までスライドさせ、しっかりと装着します。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

注: ハイパーバイザー USB ドライブから起動して、サーバーを構成する必要があります。組み込みハイパーバイザーの使用可能化については、 97 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

取り付けの完了

以下の情報を使用して、取り付けを完了します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (89 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
2. PCIe ライザー・カード・アセンブリーを取り外した場合は、再取り付けします (90 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
3. オプションのホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージが取り付けられている場合は、下に回転させます (91 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
4. サーバーのトップ・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (92 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り付け』を参照)。
5. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (手順については、サーバーに付属の「*ラック搭載手順*」を参照)。
6. 周辺装置を取り付け、電源コードを接続するには、 17 ページの『正面図』を参照してください。
7. サーバー構成を更新します (93 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
8. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
9. サーバーを始動します。 サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
10. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 26 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

    注: 電源コードが誤って抜けないように、ケーブル保持クリップを使用して電源コードを配線することを忘れないでください。

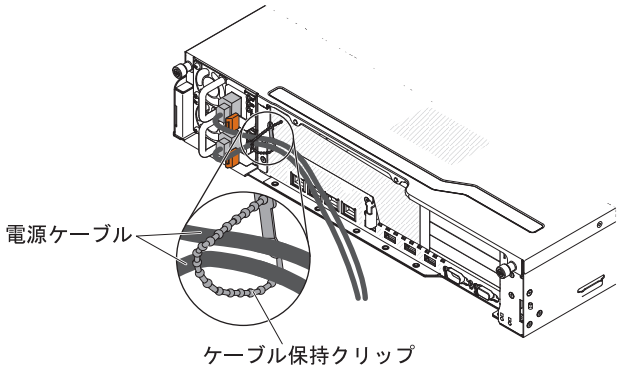


図 65. 電源コード

エアー・バッフルの取り付け

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り付けます。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. エアー・バッフルを下げてサーバーに収めます。エアー・バッフルにあるタブが、シャーシの穴に挿入されていることを確認します。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

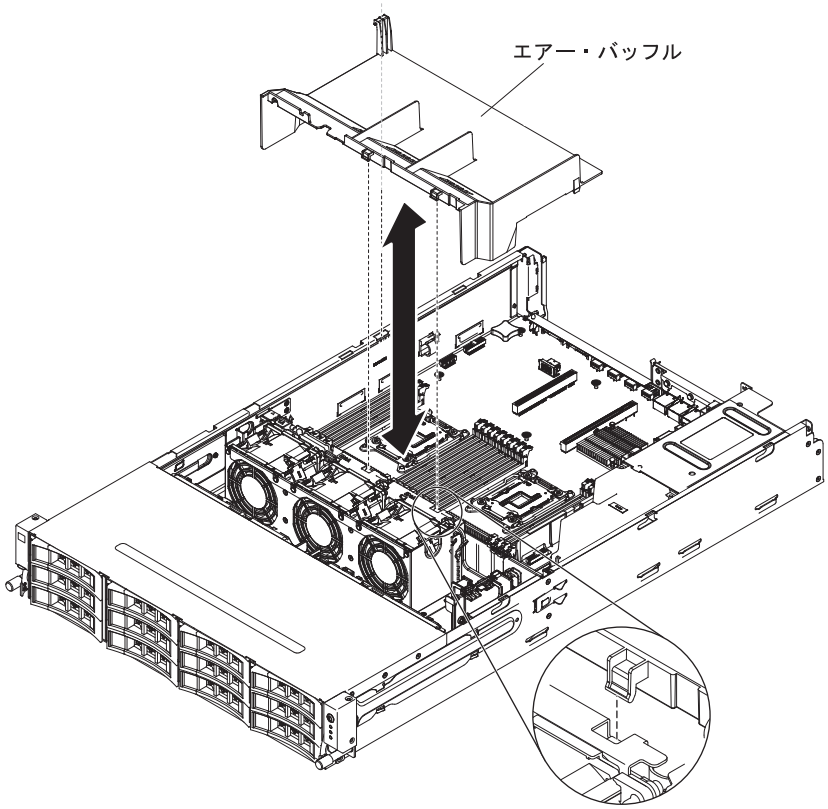


図 66.

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーとすべての周辺装置の電源がオフになっていること、および電源コードとすべての外部ケーブルが切り離されていることを確認します。
3. すべてのアダプターを再取り付けし、他の手順で取り外したすべての内部ケーブルを再接続します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、シャーシの位置合わせピンおよびガイド・レールと位置合わせします。

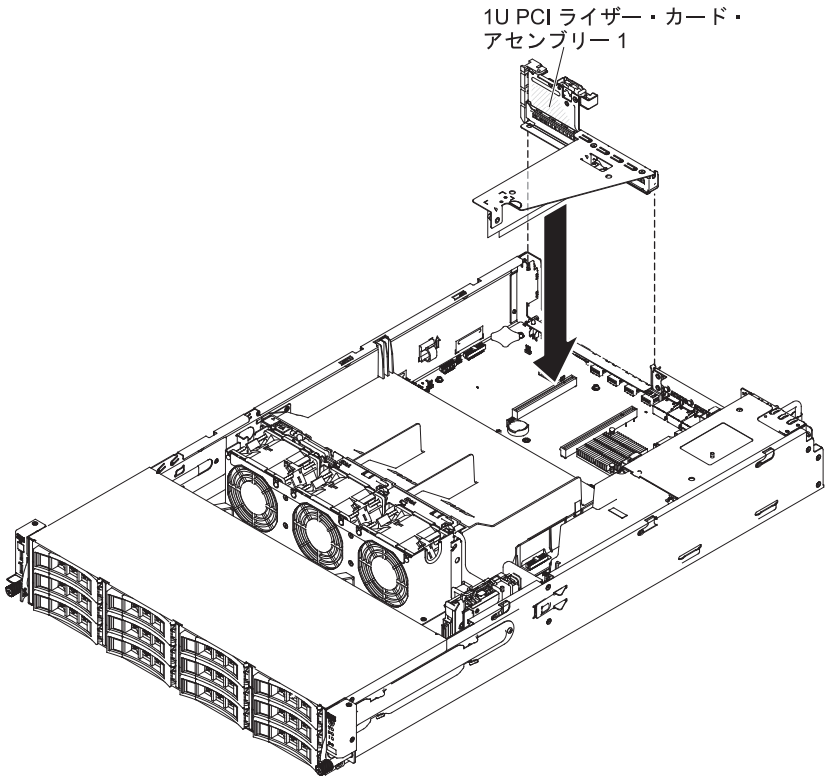


図 67. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の取り付け

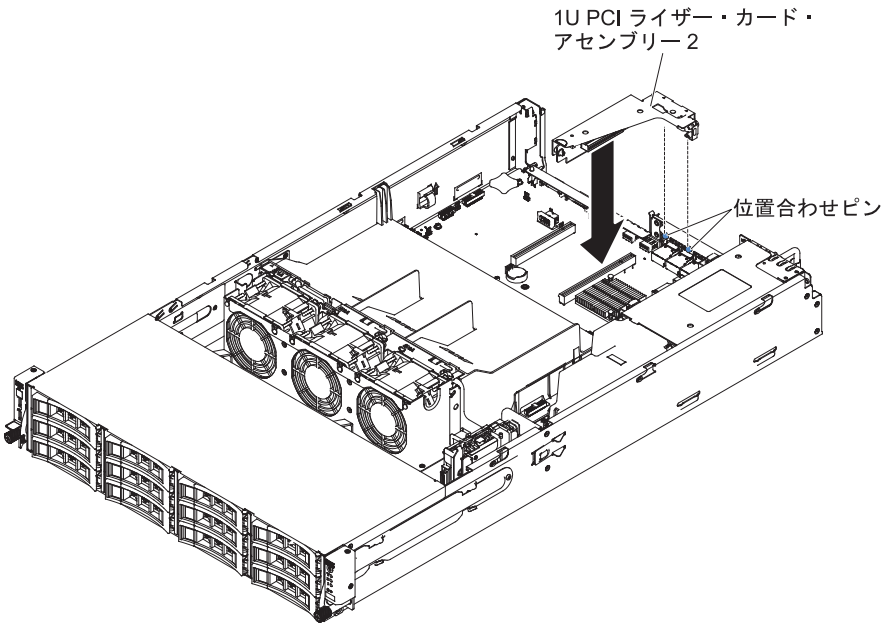


図 68. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の取り付け

5. PCI ライザー・カード・アセンブリーの青色のタッチ・ポイントを押し下げ、アセンブリーをサーバーに取り付けます。 PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上の PCI コネクターに完全に収まっていることを確認します。

   重要: ケーブルが挟まっていないことを確認してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転

オプションのホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下に回転させるには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションのホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを下に回転させるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチを切り替えてロック解除位置 **1** にします。
3. ケージを所定の位置に収まるまで下方にゆっくりと回転させます **2**。
4. シャーシ **3** の青色のラッチを閉じます。

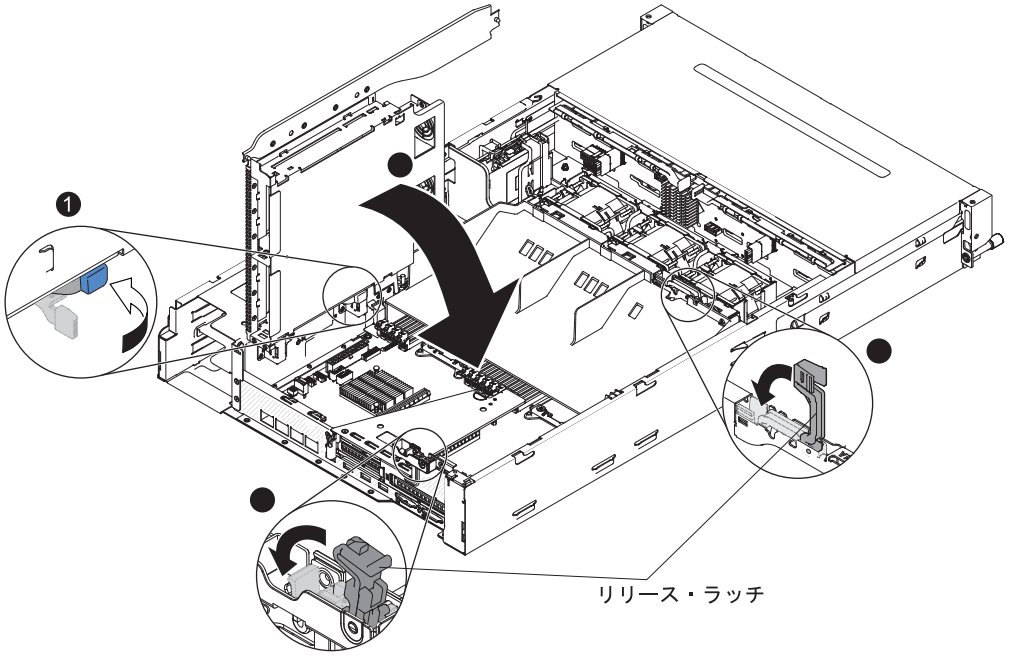


図 69. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの取り付け

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 88 ページの『取り付けの完了』に進みます。

サーバーのトップ・カバーの取り付け

サーバーのトップ・カバーを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。
2. カバーの端がシャーシ上の所定の位置に滑り込むまで、カバーをサーバーの上で (サーバーの後部に向かって) 位置合わせします。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシとしっかりかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが難しくなります。
3. カバーが完全に閉じるまで、カバーをサーバーの前部に向かってスライドさせます。

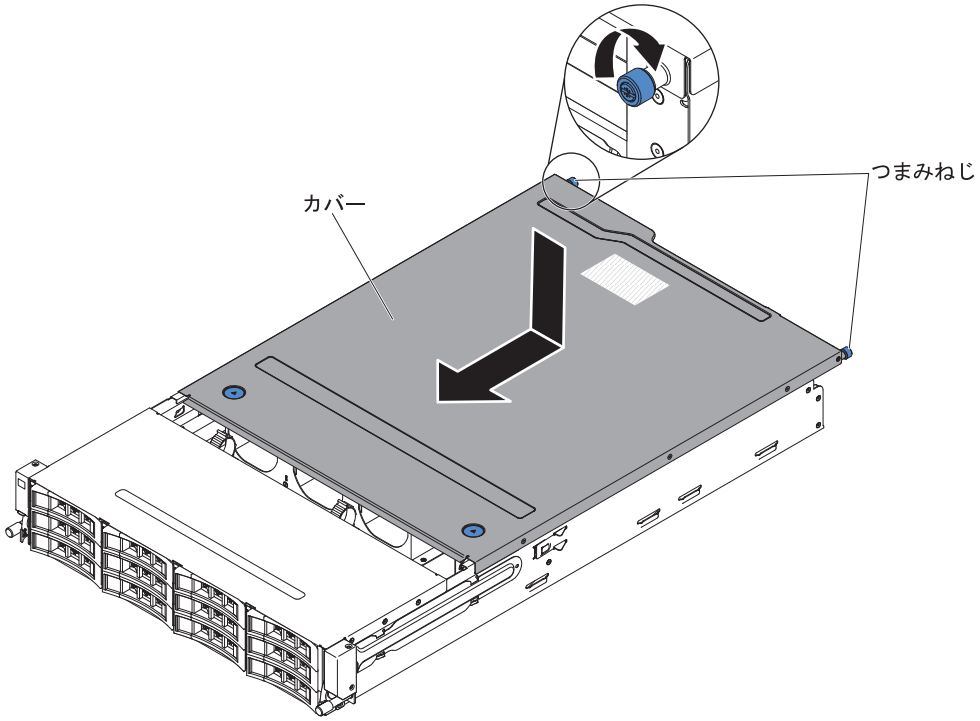


図 70. カバーの取り付け

4. カバー後部のつまみねじを締め、カバーをシャーシに固定します。
5. サーバーを格納装置に取り付け、2 つの前面つまみねじを締めてサーバーをラックに固定します。

   重要: ラック・キャビネットにシステムを取り付けるには、2 人以上の人員が必要です。

サーバー構成の更新

以下の情報を使用して、サーバー構成を更新します。

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。 お客様の新規構成設定値を保管できるように、Setup ユーティリティーが自動的に開始します。

一部のオプション装置の場合、インストールが必要なデバイス・ドライバーがあります。 デバイス・ドライバーのインストールについては、各装置に付属の資料を参照してください。

ご使用のサーバーにオプションの RAID アダプターが取り付け済みで、ハード・ディスクを取り付けまたは取り外した場合、ディスク・アレイを再構成するための情報については、RAID アダプターに付属の資料を参照してください。

内蔵の Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、117 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、システムのファームウェアを更新します。

重要:: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは定期的に更新され、IBM Web サイト上でダウンロードできます。 UEFI ファームウェア、重要プロダクト・データ (VPD) コード、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

重要: Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に保管されているすべてのデータのバックアップを取ってください。 手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

© Copyright IBM Corp. 2013

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、ディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の IMM2 の ROM に格納されます。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーの ROM に格納されます。
- ServeRAID ファームウェアは、ServeRAID アダプターの ROM に格納されます。
- SATA ファームウェアは、オンボード SATA コントローラーの ROM に格納されます。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

UEFI と互換性のあるデバイスの構成

UEFI と互換性のあるデバイスを構成するには、この情報を使用してください。

このタスクについて

UEFI と互換性のある拡張カードは、Setup ユーティリティーを使って構成することができます。 UEFI と互換性のある拡張カードを構成するには、次のステップを実行してください。

注: UEFI と互換性のあるデバイスを構成する前に、サーバーのファームウェアのアップデートを推奨します。 サーバーのファームウェアのアップデート方法については、 95 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

1. Setup ユーティリティーを実行します (101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。
2. アダプターのタイプにより、「**System Settings**」 → 「**Network**」または「**Storage**」を選択します。

   注: サーバーにインストールされた UEFI 2.0 (および旧バージョン) に準拠するアダプターとドライバーは、「**System Settings**」 → 「**Adapters and UEFI drivers**」を選択します。
3. 「**Please refresh this page first**」を選択し、Enter キーを押します。
4. 構成するデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
5. 設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  UEFI Setup ユーティリティー・プログラムは、基本入出力システム・ファームウェアの一部です。 このプログラムを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置の順序の変更、日時の設定、およびパスワードの設定を行います。このプログラムの使用については、 101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

  Boot Manager プログラムは、サーバー・ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。 このプログラムの使用法については、 110 ページの『Boot Manager プログラムの使用』を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを備えています。 RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。 この CD の使用については、 99 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM FastSetup**

  IBM FastSetup は、選択された IBM BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスカバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせずにすむ機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?brand=5000008&Indocid=TOOL-FASTSETを参照してください。

- **統合管理モジュール II**

  統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/技術員により交換される部品 (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM2 の使用については、 111 ページの『統合管理モジュール II の使用』および「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザーのフラッシュ・デバイスは、システム・ボードの USB コネクターに取り付けられています。 組み込みハイパーバイザーの使用法についての詳細は、 113 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。 リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

- **イーサネット・コントローラー構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 117 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 117 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーにアクセスするためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。 このプログラムの使用法については、 119 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。 ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。 ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

ここでは ServerGuide の機能の概要を説明します。

フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、 ServerGuide Setup and Installation CD を開始し、オンラインの概説を表示します。 すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付および時刻を設定します。
- RAID アダプターまたはコントローラーを検出し、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行します。
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) レベルを検査し、それ以降のレベルが CD から入手可能かどうかを判別する
- 取り付けられたハードウェアのオプションを検出し、ほとんどのアダプターおよびデバイスのための更新済みデバイス・ドライバーを提供します。
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントにリンクする、オンラインの README ファイルが含まれます。

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップおよび構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。 この CD を使用して、サポートされている IBM サーバー・モデルを構成できます。 セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。 ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。 このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。 このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了するとオペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。 (インストールを完了するためにはオペレーティング・システム CD が必要です。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。 その上で、プログラムはより新しいデバイス・ドライバーがないかどうか CD をチェックします。 この情報は保管された上で、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。 この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

このタスクについて

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 装置構成情報の表示
- 装置および入出力ポートの表示および割り当て変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動の特性と始動装置の順序の設定
- 拡張ハードウェア機能の設定の指定および変更
- 電源管理機能の設定の表示、指定、および変更
- エラー・ログの表示およびクリア
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成の競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「**<F1> Setup**」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合は、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、以下の選択項目があります。 IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) のバージョンによっては、メニュー選択項目の一部がここに記載の内容と少し異なる場合があります。

- **System Information**

  サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

  – **Product Data**

    システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    UEFI 1.10 および UEFI 2.0 に準拠する、サーバーに取り付け済みのアダプターおよびデバイス・ドライバーに関する情報を表示するには、この項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    メモリーの設定を表示または変更する場合、この項目を選択します。 メモリー・ミラーリングを構成するには、「**System Settings**」→「**Memory**」→「**Memory Mode**」→「**Mirrored**」の順に選択します。

  – **Devices and I/O Ports**

装置と入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この項目を選択します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA アダプター、SATA 光学式ドライブ・チャネル、および PCI スロットの使用可能または使用不可、およびシステム・イーサネット MAC アドレスの表示を行えます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

  消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Active Energy Manager**

    電源キャッピングを使用可能または使用不可にする場合に、この項目を選択します。 電源キャッピングを使用可能にすると、Active Energy Manager プログラムによって、サーバーが消費する最大電力が制限されます。

    注: この項目が使用可能になるのは、「**System Settings**」→「**Processors**」→「**Processor Performance States**」が有効になっている場合のみです。

  - **Power/Performance Bias**

    マイクロプロセッサーの電源管理の制御方法を決める場合に、この項目を選択します。 設定を制御するには、「Platform Controlled」(システム) または「OS Controlled」(オペレーティング・システム) のいずれかを選択できます。 すべてのオペレーティング・システムがこの機能をサポートしているわけではありません。

  - **Platform Controlled Type**

    パフォーマンスと電力使用量のバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum Performance」を選択すると、電源管理機能は無効になり、最も強力なターボの使用が可能になります。 「Minimal Power」を選択すると、電源管理機能を最大限に活用して電力使用量を最小に抑え、ターボを無効にすることができます。

    注: この項目が使用可能になるのは、「**System Settings**」→「**Power**」→「**Power/Performance Bias**」→「**Platform Controlled**」が有効になっている場合のみです。

  - **Workload Configuration**

    入出力処理能力と平衡ワークロードのバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「I/O sensitive」を選択すると、拡張カードの使用時の入出力処理能力が高くなります。 「Balanced」を選択すると、マイクロプロセッサー・コアがアイドルになっている間に十分な周波数をワークロードに利用できます。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。この選択項目は、事前設定された動作モードを指定して、省電力、効率性、およびパフォーマンスが最大になるようにサーバーを構成します。

- **Choose Operating Mode**

  ユーザーの好みに基づいて動作モードを選択します。 電力の節約とパフォーマンスは、システムで稼働中のハードウェアとソフトウェアにも大きく依存します。 現在のモードを選択すると、低レベル設定は変更不可能になり、ぼかし表示されます。

- **Memory Speed**

  使用するメモリー速度を選択します。 「Maximum」パフォーマンス・モードを選択すると、パフォーマンスが最大になります。「Balanced」モードでは、パフォーマンスと電力のバランスがよくなります。「Minimal」パワー・モードを選択すると、最大限に節電することができます。

- **Memory Power Management**

  メモリーの電源管理を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 「Disabled」を選択すると、パフォーマンスは最大になりますが電力の節約は最小になります。 「Automatic」を選択すると、ほとんどの応用に適した電源管理になります。

- **Proc Performance States**

  プロセッサー・パフォーマンス状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 プロセッサー・パフォーマンス状態を有効 (Intel Speedstep テクノロジー) にすると、使用されるマイクロプロセッサーが減少するにつれて速度と電圧を落とし、電力を節約します。

  注: 一部のオペレーティング・システムでは、この機能を利用するためには適正な電源プロファイルを選択する必要があります。

- **C1 Enhance Mode**

  C1E (C1 Enhanced) 状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 C1E (C1 Enhanced) 状態を有効にすると、アイドルになっている CPU コアを停止して電力を節約できます。

  注: この機能を利用するためには、C1E 状況をサポートするオペレーティング・システムをインストールする必要があります。 この設定を変更した場合、次回のシステム・リブート後に有効になります。

- **QPI Link Frequency**

  目的のマイクロプロセッサー QPI リンク周波数を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum」パフォーマンス・モードを選択すると、パフォーマンスが最大になります。 「Balanced」モードでは、パフォーマンスと電力のバランスがよくなります。 「Minimal」パワーでは、最大限に節電することができます。

- **Turbo Mode**

ターボ・モードを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 ターボ・モードを有効にすると、すべてのマイクロプロセッサー・コアが必ずしも十分に活用されていない場合に、マイクロプロセッサー全体のパフォーマンスが向上する可能性があります。 マイクロプロセッサー・コアは、ターボ・モードになっている短時間の間は定格周波数を超えて作動することができます。

- **CPU C-States**

  ACPI C2 プロセッサー・パワー状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 これは、次回のシステム・リブート後に有効になります。

- **Package ACPI CState Limit**

  C 状態のレベルを決める場合に、この項目を選択します。 C 状態の限度を高くすると、マイクロプロセッサーのアイドル時の電力消費が少なくなります。 レガシー・オペレーティング・システムに問題がある場合は、ACPI Cstate 限度を C2 に設定します。

- **Power/Performance Bias**

  マイクロプロセッサーの電源管理の制御方法を決める場合に、この項目を選択します。 設定を制御するには、「Platform Controlled」(システム) または「OS Controlled」(オペレーティング・システム) のいずれかを選択できます。 すべてのオペレーティング・システムがこの機能をサポートしているわけではありません。

- **Platform Controlled Type**

  パフォーマンスと電力使用量のバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum Performance」を選択すると、電源管理機能は無効になり、最も強力なターボの使用が可能になります。 「Minimal Power」を選択すると、電源管理機能を最大限に活用して電力使用量を最小に抑え、ターボを無効にすることができます。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

- **Force Legacy Video on Boot**

  この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

- **Rehook INT 19h**

  装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。 デフォルトは「**Disable**」です。

- **Legacy Thunk Support**

  この選択項目を選択して、UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にできます。

- **Infinite Boot Retry**

レガシー・ブート順序の無限再試行を無効にする場合に、この項目を選択します。

- **BBS Boot**

  BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。

– **System Security**

  Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

  Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Power Restore Policy**

    POST ウォッチドッグ・タイマーを表示または使用可能に設定するには、この項目を選択します。

  - **Commands on USB Interface Preference**

    この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。

  - **Network Configuration**

    この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

  - **Reset IMM to Defaults**

    IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

  - **Reset IMM**

    IMM 設定をリセットする場合に、この項目を選択します。

– **Recovery**

  リカバリー設定を構成するには、このオプションを選択します。

– **Storage**

  ストレージ・デバイス設定をすべて参照するには、このオプションを選択します。

– **Network**

この選択項目は、iSCSI、PXE、およびネットワーク・デバイスなどのネットワーク・デバイスのオプションを表示または構成する場合に選択します。 UEFI 2.1 以降に準拠するオプション・ネットワーク・デバイス用に追加の構成選択項目がある場合があります。

– **Driver Health**

対応するドライバーによって報告される、システムのコントローラーの状況を表示するには、このオプションを選択します。

- **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時*:*分*:*秒*) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは検出した最初のブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみあります。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択して、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。 エラー・ログのページ間を移動するには、矢印キーを使用します。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログを消去してください。

また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目は、POST イベント・ビューアーに入って、POST イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

- **User Security**

パスワードを設定、変更、またはクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、 109 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup utility の完全メニューおよび限定メニューに表示されます。

– **Power-on Password**

この選択項目を選択し、始動パスワードの設定または変更を行います。詳しくは、 109 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Administrator Password**

この選択項目を選択し、管理者パスワードの設定または変更を行います。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワードを入力したときにのみ、Setup ユーティリティーの完全メニューを使用できます。詳しくは、 110 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

変更した設定を保存するには、この項目を選択します。

- **Restore Settings**

変更した設定を取り消して、前回の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この選択項目を選択して、Setup ユーティリティーを終了します。 設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティーのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用に管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力することによりシステムの始動を完了できます。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティーの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。 パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。 Setup ユーティリティーを開始し、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーを取り外して再度取り付けます。バッテリーを取り外す手順については、 237 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照してください。
- クリア CMOS ジャンパーを使用して CMOS データを消去してください (詳しくは 30 ページの『システム・ボードのジャンパー』を参照)。

重要: スイッチの設定を変更したりジャンパーを動かしたりする場合は、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』 を参照してください。 本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

CMOS データを消去しても管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。 パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。 システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager プログラムの使用

Boot Manager については、この情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。ブート可能 USB 大容量ストレージ・デバイスが取り付けられている場合は、サブメニュー項目 (「**USB Key/Disk**」) が表示されます。
4. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して「**Boot Selection Menu**」から項目を選択し、**Enter** を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

以下の情報を使用して、バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始します。

このタスクについて

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。 これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにし、J2 ジャンパーをバックアップの位置 (ピン 2 および 3) に配置します。

1 次コピーが復元されるまで、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピーを使用します。1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、J2 ジャンパーを 1 次の位置に戻します (ピン 1 および 2)。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

統合管理モジュール II の使用

統合管理モジュール II (IMM2) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。 これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。 1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。 ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイ

ムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。 そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。 ASR は IPMI でサポートされています。

- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存とリストア。
- DIMM エラー・アシスタンス。 Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 仕様 V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CNFG) LED のサポート。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- PECI 3 サポート。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、IPMItool、管理ユーティリティー・プログラムを介して以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれでも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の PCI ライザー・スロット 1 の近くの USB コネクターに取り付けることができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザー機能をアクティブにするために必要です。

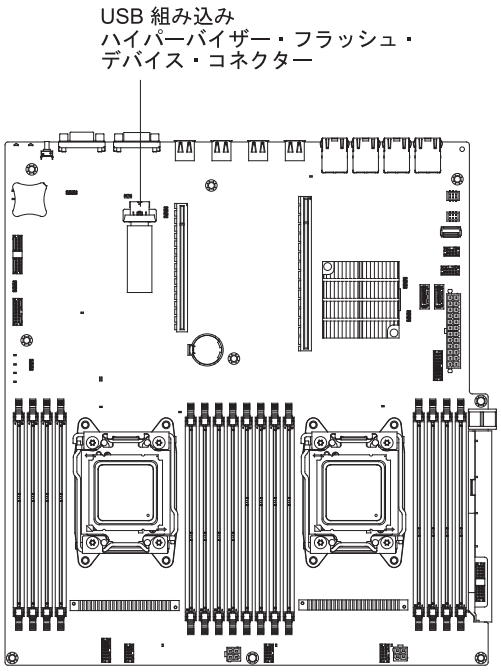


図 71. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**USB Storage**」を選択します。 Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」を選択し、次に「**Commit Changes**」を選択して、Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、システムに付属の *VMware Recovery* CD を使用してフラッシュ・デバイス・イメージを回復できます。 フラッシュ・デバイス・イメージを回復するには、以下のステップを実行します。

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. VMware のリカバリー CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入します。
3. 画面の指示に従います。

追加情報と手順については、「*VMware ESXi Server 31 Embedded Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

このタスクについて

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IBM ToolsCenter または IBM Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「IBM System x Features on Demand User's Guide」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

注: この機能をアクティブにするには、サーバーの再始動が必要になることがあります。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスが必要です。 この IMM IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。 サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。IP アドレスを特定するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で、「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを特定し、それを書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続しているコンピューター上で Web ブラウザーを開き、「**アドレス**」あるいは「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。 MAC アドレス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。 IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はイベント・ログにすべて記録されます。

   注: IMM の初期設定では、ユーザー名は USERID、パスワードは PASSW0RD になっています (passw0rd の 0 は文字の O ではなくゼロです)。 読み取り/書き込み権限が付与されています。 このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

3. ウェルカム・ページで、表示されているフィールドにタイムアウト値 (分数) を入力します。タイムアウト値に入力した分数の間だけブラウザーが活動状態にないと、IMM によって Web インターフェースからログオフされます。
4. 「**Continue**」をクリックして、セッションを開始します。 「System Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能化

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムを使用可能にするには、この情報を使用します。

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムは、サーバー・ファームウェアの一部です。 このプログラムを使用して、ネットワークを始動可能デバイスとして構成し、ネットワーク始動オプションを始動シーケンスのどこに位置付けるかをカスタマイズすることができます。 Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能および使用不可の設定は、Setup ユーティリティーから行います。

Gigabit Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。デバイス・ドライバーとイーサネット・コントローラーの構成に関する情報について、また、コントローラーの構成に関する更新情報を参照するには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overviewを参照してください。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティーを使用して、RAID を構成します。

このタスクについて

RAID アレイの構成および管理を行うには、構成ユーティリティー・プログラムを使用します。このプログラムを、必ず本書の説明通りに使用してください。

次の表は、各種のサーバー構成、および RAID の構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 11. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティー (Setup ユーティリティー、Ctrl+C を押す)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用の SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティー
ServeRAID-M1115 アダプター、ServeRAID-M1100 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5100、ServeRAID-M5110、ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

表 11. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション (続き)

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M5200	HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ServeRAID M コントローラー用の「Problem Determination and Service Guide (問題判別の手引き)」について詳しくは、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5085607を参照してください。
2. 「Configuration and Options Guide (COG)(構成とオプションのガイド)」についての詳細は、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SCOD-3ZVQ5W&brandind=5000019を参照してください。
3. ハード・ディスクのソフトウェア RAID アレイの作成方法について詳しくは、「ServeRAID C105」の資料 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089068) を参照してください。
4. ServeRAID アダプターが取り外されているときは、ソフトウェア RAID はサポートされません。このシステムでは、ハードウェア RAID 構成からのダウングレードとなるソフトウェア RAID 機能をサポートしません。

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムの開始

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムを開始するには、以下の手順を使用してください。

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムを開始するには、次のステップを完了してください。

1. サーバーの電源を入れ、サーバーがキーボード、ビデオ、マウスのオーナーであることを確認してください。
2. プロンプト・メッセージが表示されたら、以下のいずれかを実行します。
   a. **ServeRAID-H1110** の場合、Ctrl+C を押す。
   b. **ServeRAID-M5100**、**ServeRAID-M5110**、**ServeRAID-M5120**、**ServeRAID-M1100** または **ServeRAID-M1115** の場合、Ctrl+H を押す。

設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

Human Interface Infrastructure (HII) 構成アプリケーションの開始

Human Interface Infrastructure (HII) 構成ユーティリティー・プログラムを開始するには、以下の手順を使用してください。

Human Interface Infrastructure (HII) 構成ユーティリティー・プログラムを開始するには、次のステップを完了してください。

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED がゆっくりと点滅し、その後に電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力するようにプロンプトが出されます。

3. 「**System Settings**」で「**Storage**」を選択します。

設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティーの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM 設定を構成することもできます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を提供します。

さらに、ASU プログラムでは、コマンド・ライン・インターフェースから IMM の IPMI 機能を構成するための限定された設定も提供されます。

セットアップ・コマンドを発行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。任意の設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下にリストされたものがあります。

- ディスカバリー
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニタリング
- アップデート
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、この設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成します。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、 IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (http://www.ibm.com/systems/management/) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。必ず、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     – *ibm_rndis_server_os.inf*
     – *device.cat*
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     – *cdc_interface.sh*
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。`asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

   ここで、

<uuid_value>
ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]
以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  ```
  [host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_internal_ip
  IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
  --password <password>
  ```
  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
  ```
- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
  ```

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。 この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。 一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。 詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。 「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
  --user <user_id> --password <password>
  ```

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
  ```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。 ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 必ず、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

     注: IBM はブート可能メディアを作成するための方式を提供しています。 Tools Center Web サイトから Bootable Media Creator (BoMC) アプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成できます。 また、Windows および Linux ベースのツールキットもブート可能メディアを作成するために使用できます。 これらのツールキットは、Windows Professional Edition または Master Control Program (MCP) ベースのブート可能メディア (これに ASU アプリケーションが組み込まれる) を作成するための代替方式を提供します。
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh

4. ASU をインストールした後で、以下のコマンドを入力して DMI を設定してください。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>
サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。 `mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

<s/n> サーバーのシリアル番号。 `sn zzzzzzz` と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

<asset_method>
サーバーの資産タグ番号。 `asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

[access_method]
以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip
IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id
IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に以下の非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
```

```
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。 この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

  注: IBM Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

  a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
  b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
  ```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
--host <imm_ip> --user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  Tools Center Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンして該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、『ここから開始します』 および 753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』 を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、 17 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、 140 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
   - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

© Copyright IBM Corp. 2013

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 95 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMCを参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

      1) **既存のコード・レベルを判別します。**

         DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。 このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。 サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。 チェックアウト手順の実行については、133 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、97 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。 トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、 149 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。 最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。 その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3650 M4 BD サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM IBM System x3650 M4 BDサーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスして、`Type 5466` と `retain` を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。 これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。 問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。 マイクロプロセッサー問題の診断については、157 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- 診断プログラムを実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 631 ページの『付録 B. UEFI/POST エラー・コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、 149 ページの『現象別トラブルシューティング』および 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、 167 ページの『電源の問題の解決』および 22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 140 ページの『イベント・ログ』および 653 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/で確認します。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。 サーバーが始動しない場合は、 149 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点滅している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (138 ページの『Light Path 診断』を参照)。

      注: Light Path 診断パネルをサーバーの外にスライドして引き出して LED またはチェックポイント・コードを検査するときは、Light Path 診断パネルをサーバーから出した状態でサーバーを連続的に稼働させないでください。 パネルをサーバーの外部に置くのは短時間だけにしてください。 サーバーが稼働しているときは、冷却を確保するために Light Path 診断パネルはサーバーの中に置く必要があります。

i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
   - POST の正常終了 (詳しくは、 145 ページの『UEFI/POST』を参照)
   - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)

3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
   - **いいえ:** 149 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の徴候を見つけ出します。必要があれ、 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
   - **はい:** DSA を実行します (147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
     – DSA がエラーを報告する場合は、 653 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。
     – DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、 138 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、 140 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール II**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  – Common Information Model (CIM)
  – Web ブラウザー

  統合管理モジュール (IMM) の詳細については、 111 ページの『統合管理モジュール II の使用』、 297 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラ

ー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

  問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

  – DSA Portable

    DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。 DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

    - ドライブ・ヘルス情報
    - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
    - IMM2 構成情報
    - IMM2 環境情報
    - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
    - インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
    - カーネル・モジュール
    - Light Path 診断状況
    - マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
    - ネットワーク・インターフェースおよび設定
    - オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
    - RAID コントローラー構成
    - サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
    - システム構成
    - 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

    DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サービスに送信する (サービスに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

    注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。 DSA の資料およびダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/management/を参照してください。

    追加情報については、 145 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

  – DSA Preboot

    DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。 DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を

収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブ・ヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサー
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ
8. テープ・ドライブ (SCSI)
9. LSI コントローラー
10. Broadcom ネットワーク・アダプター
11. FusionIO ストレージ
12. Intel GPU
13. Nvidia GPU

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

- **現象別トラブルシューティング**

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、149 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。

エラーが発生すると、サーバー全体で LED が点灯します。多くの場合、特定の順序で LED を確認することで、エラーの発生源を識別することができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していて、トップ・カバーが閉じた状態で正しくラッチで固定されていれば、点灯したままになっています。

Light Path 診断 LED を確認するためにサーバー内部で作業する前に、 vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』および 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を見てください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます。
   - ログ LED が点灯している場合、IMM システム・イベント・ログまたはシステム・イベント・ログで、サーバーが最適状態にないことについての情報が入手可能であることを示しています。
   - システム・エラー LED が点灯している場合、エラーが発生したことを示しています。ステップ 2 に進んでください。

     注: 初期サーバー構成には Light Path 診断パネルが組み込まれていません。ステップ 2 は、オペレーター情報パネルを拡張オペレーター情報パネルにアップグレードしたユーザーを対象としています。サーバーにオペレーター情報パネルのみ装備されている場合は、ステップ 3 へ進んでください。
2. 拡張オペレーター情報パネルを見るには、オペレーター・パネルの右にある青いラッチを押します。このパネル上の点灯した LED は、発生したエラーのタイプを示しています。

   点灯している LED をメモし、Light Path 診断パネルをサーバーに再取り付けします。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED があり、点灯して問題の場所を示します。

   下図は、システム・ボード上の LED を示しています。

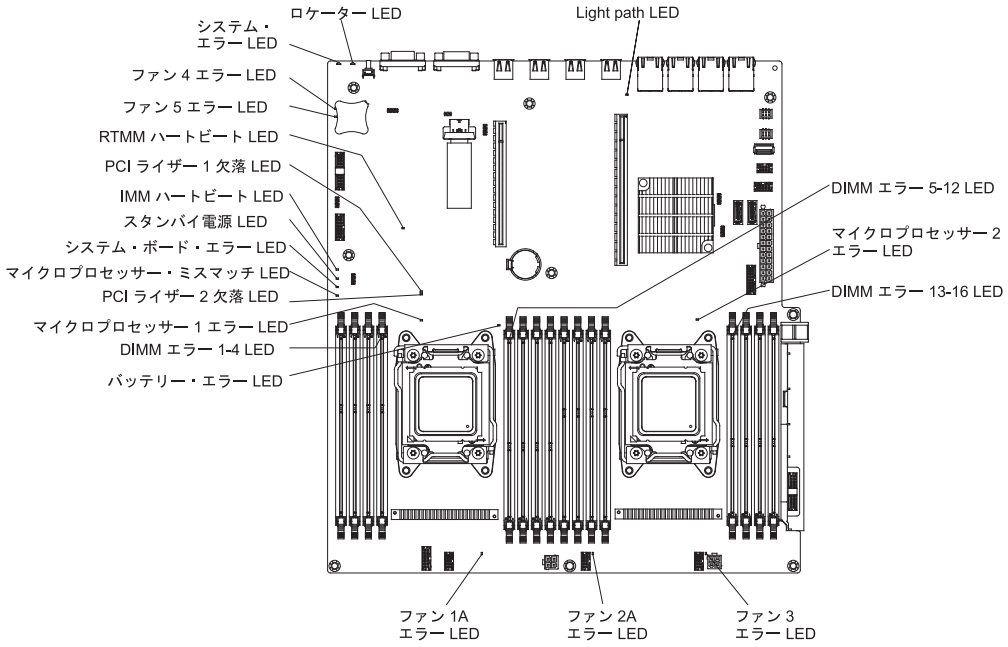


図 72. システム・ボード LED

LED 名	**説明**
エラー LED	エラー LED が点灯しているときは、対応するコンポーネントで障害が発生したことを示します。
RTMM ハートビート LED	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。
IMM 2 ハートビート LED	IMM2 のブート・プロセスの状況を示します。 サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを始動できます。
スタンバイ電源 LED	この LED が点滅している場合、サーバーが AC 電源に接続されていることを示しています。 この LED が点灯している場合、サーバーの DC 電源がオンになっていることを示します。
システム・ボード・エラー LED	システム・ボードに障害が発生しています。
マイクロプロセッサー・ミスマッチ LED	この LED が点灯しているときは、マイクロプロセッサー 1 が取り付けられていないか、マイクロプロセッサーのキャッシュ・サイズとタイプ、およびクロック速度が同じでないことを示します。
DIMM エラー LED	メモリー DIMM に障害があるか、誤って取り付けられています。
マイクロプロセッサー・エラー LED	マイクロプロセッサーに障害が発生しているか、欠落しているか、または正しく取り付けられていません。

LED 名	説明
Light path LED	Light Path ボタンが機能しているかどうかを示しています。Light Path ボタンを押した後に Light Path LED が点灯する場合、Light Path ボタンが正常に機能していることを示しています。一方、Light Path ボタンを押しても Light Path LED が点灯しない場合は、Light Path ボタンが正常に機能していないことを示しています。

イベント・ログ

エラー・コードおよびメッセージは、POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されます。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (101 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、631 ページの『付録 B. UEFI/POST エラー・コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、297 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細が画面の右側に表示されます。 1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

  一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。 設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。
- **統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。 詳しくは、116 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。 IMM エラー・メッセージについて詳しくは、297 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (142 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、653 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』および 145 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照してください。

ログの表示またはログの消去について詳しくは、『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』、 142 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』、および 144 ページの『エラー・ログの消去』を参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定した場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewer**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。 また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。サーバーの出荷時には、内蔵 USB メモリー内に DSA Preboot が格納されています。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

タスクの結果

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。 最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。 IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール (IMM) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、116 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。 最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 12. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	以下の方法のいずれかを使用します。 • Portable DSA を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (ローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。詳しくは、 115 ページの『IMM 用の IP アドレスの取得』および 116 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
統合管理モジュール (IMM) はネットワークに接続されており、AC 電源が供給されている。サーバーは、ハング、非ハング、または電源オフの状態である可能性がある。	以下の方法のいずれかを使用します。 • IPMItool をネットワーク全体で IMM の外部 IP アドレスに使用して、システム・イベント・ログを表示します。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログを表示します。Web ブラウザーで IMM の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。 詳しくは、 115 ページの『IMM 用の IP アドレスの取得』および 116 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

表 12. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始して、診断イベント・ログを表示します (詳しくは、 147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。 詳しくは、 141 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照してください。

エラー・ログの消去

エラー・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびごとに、POST イベント・ログが自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定した場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 以下のいずれかの手順を使用します。
   - IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」**-->** 「**System Event Log**」を選択します。「**Clear System Event Log**」を選択してから、Enter を 2 度押します。

UEFI/POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出された場合は、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、UEFI/POST エラー・コードを参照してください。

POST が問題を検出すると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、140 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブ・ヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスに関する詳細
- RAID およびコントローラーの構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェアの情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、148 ページの『診断テキスト・メッセージ』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、169 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注:

1. マルチノード環境では、各サーバーは固有の DSA インターフェースを備えています。これらの固有の DSA インターフェースから、サーバー特定の情報 (イベント・ログなど) を表示することができます。

2. DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。 このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。 このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

  サーバーを始動できない場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。 DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。 詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。 このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

  – Broadcom ネットワーク・アダプター
  – 光ディスク装置 (CD または DVD)
  – テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
  – メモリー
  – マイクロプロセッサー
  – チェックポイント・パネル
  – I2C バス
  – SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

IBM System x3650 M4 BD サーバーには、内蔵 USB フラッシュ・メモリー上に DSA Preboot 診断コードが付属しています。 診断パーティションが損傷を受け DSA Preboot 診断プログラムが開始できない場合、内蔵 USB フラッシュ・デバイス上の診断コードをリセットおよび更新するためにユーティリティーが使用可能です。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。 問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

サーバーの内蔵フラッシュ・メモリーに格納されている DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再始動する必要があります。
5. 「**gui**」を選択するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」を選択して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。 問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログの結果表示

テスト・ログ結果を表示するには、この情報を使用します。

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は **:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。 DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで **copy** コマンドを入力します。

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、**:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

コール・ホーム (自動化サービス要求)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

IBM サービスによる問題の診断処理の迅速化にこれらのツールが役に立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Service Advisor

サーバーには、Service Advisor 機能が備わっています。この機能は、システムによる障害検出時に、システムに関するデータを収集し、そのデータを問題判別のために IBM サービスに送信します。

さらに、この機能には問題発生時、自動的に IBM サービスを呼び出すコール・ホーム機能も含まれています。 Service Advisor 機能は統合管理モジュール (IMM) に組み込まれています。 Service Advisor 機能は、使用する前にセットアップして構成する必要があります。 Service Advisor 機能のセットアップおよび構成方法についての詳細は、「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www.ibm.com/support/electronic/portal/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されている DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。 問題の解決に役立つ追加情報については、129 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (138 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。

4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

ハイパーバイザーの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (225 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 226 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

一般的な問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品のいずれであるかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品が FRU の場合は、トレーニングを受けたサービス技術員が部品を交換する必要があります (部品が消耗部品、構造部品、または FRU であるかどうかを判別するには、 185 ページの『第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換』を参照してください)。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 174 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 171 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。
サーバーの稼働中にサーバー・カバーを取り外したため、サーバーがシャットオフしました。	サーバーのカバーを交換し、サーバーを再始動します。

ハード・ディスクの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
DSA ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	DSA で示されたドライブを取り外し (44 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)、もう一度ハード・ディスク診断テストを実行します (DSA メッセージを参照)。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	DSA で示されたドライブを取り外し (44 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)、もう一度ハード・ディスク診断テストを実行します (DSA メッセージを参照)。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。	障害が起きたハード・ディスクを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
新たに取り付けたハード・ディスクが認識されない。	1. 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 2. LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 3. 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。 DSA ハード・ディスク・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 • いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 151 ページの『ハード・ディスクの問題』 に進む)。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。 LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 151 ページの『ハード・ディスクの問題』 に進んでください。 LED の活動に変化がある場合は、ステップ 1 に戻ります。 4. ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 5. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 6. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 7. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 a. 対象のバックプレーン信号ケーブルを交換します。 b. 対象のバックプレーンを交換します。 8. SAS/SATA アダプターおよびハード・ディスクに対して DSA テストを実行します (147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • アダプターがテストにパスしたがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。 • バックプレーンを交換します。 • アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから取り外してから再度テストを実行します。 • アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。 9. 170 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
複数のハード・ディスクに障害が起こりました。	ハード・ディスク、SAS/SATA RAID アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	1. ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 2. 170 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	1. ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 2. SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 2. 以下のいずれかの手順を使用します。 • ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。 • ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 a. サーバーの電源をオフにします。 b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 c. バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 d. ハード・ディスクを取り付け直します。 e. サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 2. 170 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

再現性の低い問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. イベント・ログを検査します (140 ページの『イベント・ログ』を参照)。 3. 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティーで「**System Settings**」-->「**Integrated Management Module**」-->「**POST Watchdog Timer**」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (**POST Watchdog Timer**) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、UEFI/POST エラー・コードおよび DSA メッセージを参照してください。 2. オペレーティング・システムの始動後にリセットが発生する場合は、IBM Automatic Server Restart IPMI Application for Windows などの自動サーバー再始動 (ASR) ユーティリティー、または ASR 装置 (取り付けられている場合) を使用不可にしてください。 **注:** ASR ユーティリティーはオペレーティング・システム・ユーティリティーとして作動し、IPMI デバイス・ドライバーに関連しています。 オペレーティング・システム始動後のリセットが続く場合は、オペレーティング・システムに問題がある可能性が考えられます。 166 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。 3. どちらの条件も当てはまらない場合は、イベント・ログをチェックしてください (140 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行してキーボードなし操作を有効にします。 3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 4. キーボードを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** メモリーを変更する場合は、セットアップ・ユーティリティーを使用してメモリー構成を更新する必要があります。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネル、メモリー・トレイ、または MAX5 メモリー拡張モジュール上のどのエラー LED も点灯していない。 • メモリーのミラーリングが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている (211 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 212 ページの『メモリー・モジュールの再取り付け』を参照)。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。 サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 2. 以下のようにして、POST イベント・ログをチェックします。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 3. メモリー診断を実行します (147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 4. サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがないことを確認します (DIMM の規則および装着順序については、 66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 5. DIMM を取り付け直します。 6. サーバーを再始動します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
1 つのブランチ内の複数の DIMM 列で障害の発生が確認された。	1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 識別されたうちの最も低い番号の DIMM ペアを取り外し、良品であることが判明している同一の DIMM ペアと交換して、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべてのペアを交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 ペアずつ元のコネクターに戻し、各ペアごとにサーバーを再始動し、あるペアが障害を起こすまで繰り返します。障害を起こしたペアの各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM を取り付けた後、そのつどサーバーを再始動します。 障害のある DIMM を交換します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 確認された DIMM ペアのうち、最も数字の小さいものを交換し、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (138 ページの『Light Path 診断』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度、タイプ、およびキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行して「**System Information**」→「**System Summary**」→「**Processor**」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。 モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源がきていない場合は、163 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 3. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 4. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 95 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 5. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 6. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 7. 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (147 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **注:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。. b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (95 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	1. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクターを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (140 ページの『イベント・ログ』を参照)、次のことを確認します。 a. 室温が高すぎないこと (7 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照)。 b. 通風孔がふさがれていないこと。 c. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 2. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します (203 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し』および 204 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの再取り付け』を参照)。 3. サーバーの電源をオフにして給電部から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 4. 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
Wake on LAN 機能が使用不可状態になっている。	1. サーバーの電源をオンにします。 **注:** サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED がゆっくりと点滅し、その後に電源制御ボタンがアクティブになります。 2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力するようにプロンプトが出されます。 3. 「**System Configuration and Boot Management**」で「**System Settings**」を選択します。 4. 「**System Settings**」で「**Network**」を選択します。 5. 「**Network**」でポート番号を選択します。 6. 選択したポート番号の下で、「**Intel (R) I350 Gigabit Network Connection**」を選択します。 7. 「**Main Configuration Page**」で「**NIC configuration**」を選択します。 8. 「**NIC configuration**」で、「**Wake on Lan**」機能を「**Disabled**」から「**Enabled**」に変更します。 9. 「 **System Configuration and Boot Management** 」ウィンドウが表示されるまで、ESC キーを数回押します。 10. 「**Save Setting**」を選択します。 11. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 Wake on Lan 機能を使用可能にするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。 2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。 外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
電源制御ボタンが機能せず、リセット・ボタンも機能しない (サーバーが始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが AC 電源に接続された後、約 1 分から 3 分経過するまで機能しません。	1. トップ・カバーが閉じており、正しくラッチで固定されていることを確認します。 2. トップ・カバー/電源遮断スイッチ・ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. サーバーの電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 3a と 3b を繰り返します。 • サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。 それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 4. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 3a と 3b を繰り返します。 • サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 5 に進みます。 5. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 6. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DIMM b. パワー・サプライ 7. ステップ 6 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 8. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。 これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 9. 22 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 10. 169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーが始動しない。	1. システム・ボード上の電源 LED をチェックしてください。 LED の位置については、 31 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。 2. パワー・サプライを取り付け直します。 3. パワー・サプライを交換します。
サーバーが始動しない。 (続き)	
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 a. Ctrl+Alt+Delete を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. サーバーの POST が失敗し、電源制御ボタンが機能しない場合は、AC 電源コードを 20 秒間取り外しておき、AC 電源コードを再接続して、サーバーを再始動します。 2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	169 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクターに接続されているか (19 ページの『背面図』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、 1 次ドライブとして 1 つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。 サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスし、「IBM Service and Support Site」をクリックし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

• **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。** • **コンポーネントが消耗部品、構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**	
現象	**処置**
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、 101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

158 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。 例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。 電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. システム・ボード上のシステム・エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行します。
   a. IMM2 イベント・ログを確認します。Web インターフェースにアクセスするには、 116 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
   b. 電源レール障害があることがログに示されている場合、システム・ボード上で障害のある電源レールの位置を見つけます。
   c. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (186 ページの『内部ケーブルのルーティング』を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。

d. 障害の原因が特定されるまで、障害のある電源コンポーネントに関連した各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

e. 識別したコンポーネントを交換します。

4. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ再接続します。

タスクの結果

最小構成でもサーバーが始動しない場合は、問題が特定されるまで、最小構成に含まれるコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

以下の手順を実行してみてください。

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
  - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
  - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
  - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。

– イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

このタスクについて

ソフトウェア問題が障害 (連続的または断続的) の原因であると思われる場合は、163 ページの『電源問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS ジャンパーを使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。30 ページの『システム・ボードのジャンパー』を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、171 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバー・カバーが閉じており、正しくラッチで固定されていることを確認します。
3. サーバーのトップ・カバー/電源遮断スイッチ・ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
4. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
5. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
   - 各アダプター
   - ハード・ディスク

- メモリー・モジュール。 1 個のマイクロプロセッサーがサーバーに取り付けられている場合の必要最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。

6. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能ならば、IBM に支援を要求するときにこの情報を準備しておいてください。

以下の図には、モデル番号およびシリアル番号が示されています。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

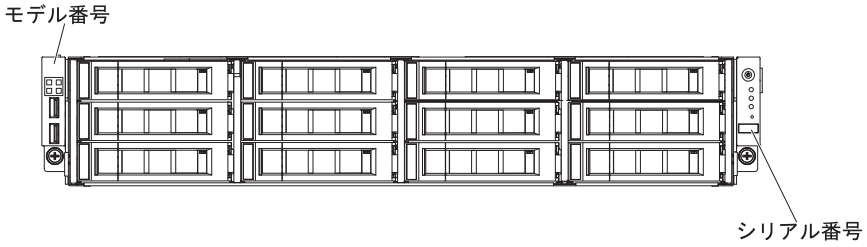


図 73. モデル番号およびシリアル番号

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは Dynamic System Analysis の診断テストに失敗しましたか?
  - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
  - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
  - その障害は再現可能か。
  - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
  - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
  - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)

- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- Setup ユーティリティーの設定値
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: 以下のソースのいずれかからサーバー更新パッケージを入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) のブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。 1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、ブート・ブロック・ジャンパーでバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、 Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
2. サーバーのカバーを取り外します。詳しくは、 289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照してください。
3. システム・ボード上で UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー (J2) を見つけます。

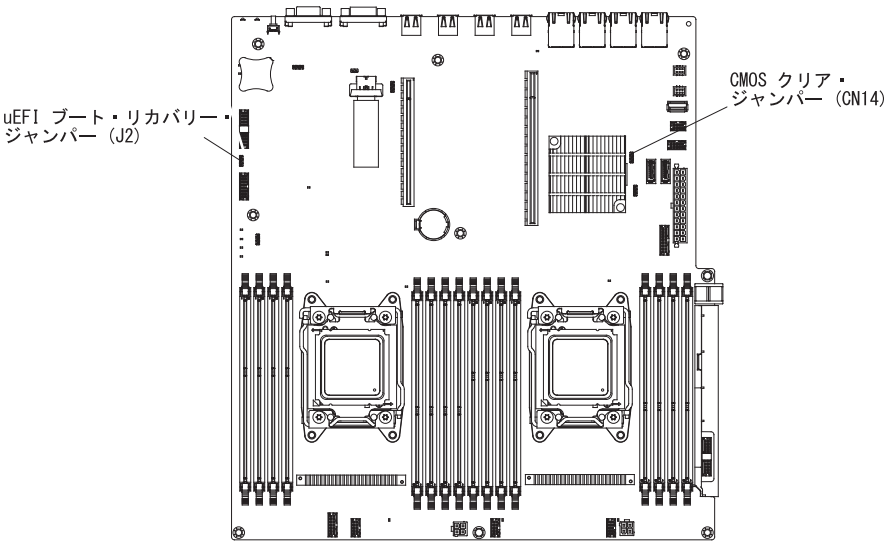


図 74. ジャンパーの位置

4. ジャンパーをピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
5. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
6. サーバーを再始動します。 電源オン自己診断テスト (POST) を開始します。

7. ダウンロードした IBM フラッシュ UEFI 更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
8. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
9. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージを、ディレクトリーへコピーします。
10. コマンド・ラインで、*filename*-s と入力します。*filename* は、ファームウェア更新パッケージとともにダウンロードした実行可能ファイルの名前です。
11. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外してから、サーバーのカバーを取り外します。
12. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパーをプライマリー位置 (ピン 1 および 2) に戻してください。
13. サーバーのカバーを取り付け直し、電源ケーブルをすべて再接続します。
14. サーバーを再始動します。

タスクの結果

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

注: Light Path 診断パネルの BOARD LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または `Booting Backup Image` がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクにリストアするようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式: IMM2 の資料を参照してください。

UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、171 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. プロンプトの `press F3 to restore to primary` が表示されたら、プライマリー・バンクを回復するために F3 を押します。F3 を押すとサーバーが再始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト

System x3650 M4 BD Type 5466 の部品リスト。

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』 で特に指定されている場合を除き、IBM System x3650 M4 BD Type 5466 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

System x3650 M4 BD Type 5466 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、消耗部品、構造部品、および技術員により交換される部品 (FRU) から構成されています。

- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **技術員により交換される部品 (FRU):** FRU の取り付け作業は、お客様による交換が可能な部品 (CRU) に分類されていない限り、トレーニングを受けた技術員のみが行う必要があります。
  - **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
  - **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。 サービスと支援を受ける方法について詳しくは、 753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

次の図は、サーバー内の主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

© Copyright IBM Corp. 2013

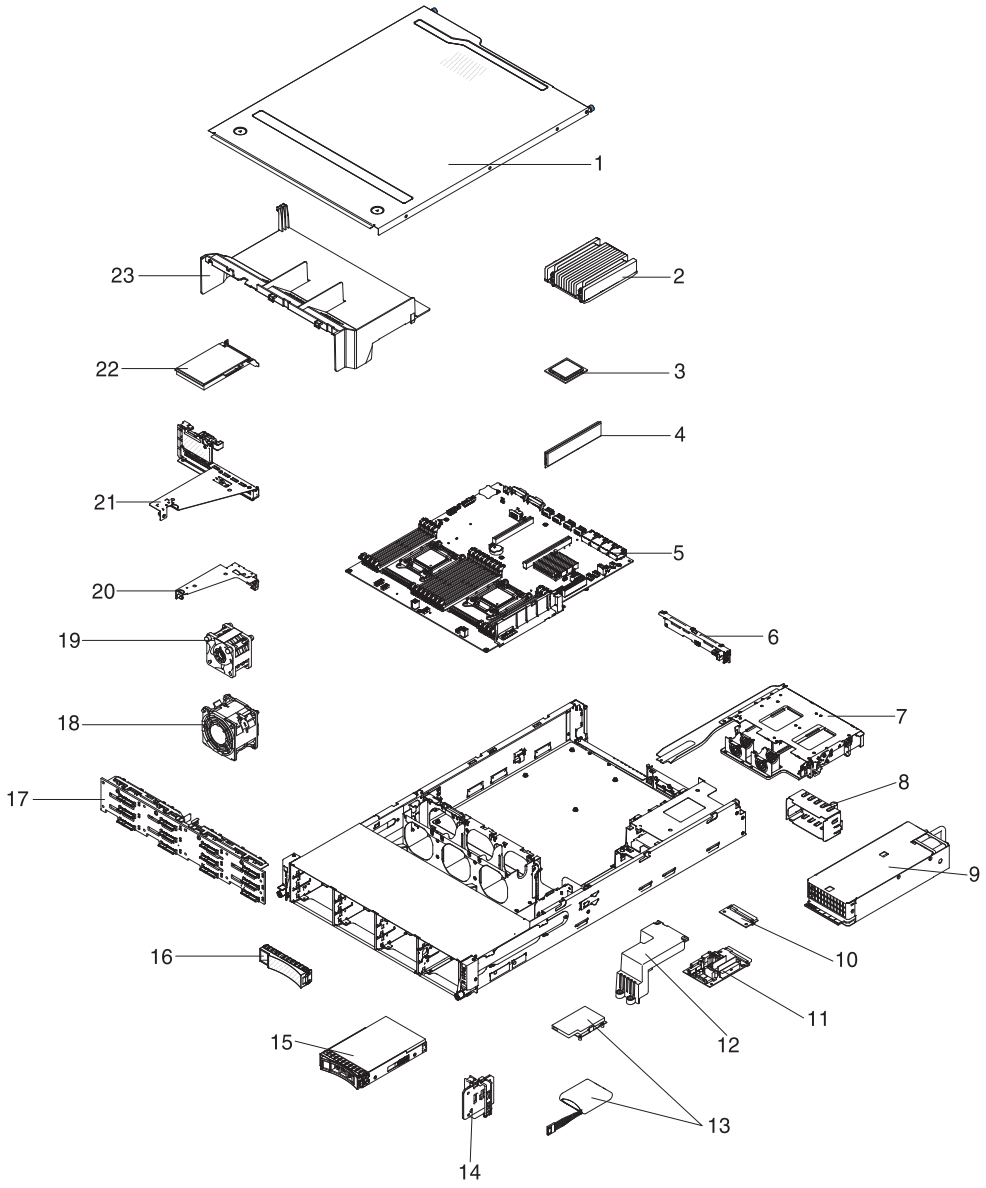


図 75. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー・コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 13. 部品リスト、Type 5466

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	ヒートシンク・アセンブリー、95 W		90Y4967
2	ヒートシンク・アセンブリー、115 W		46W2702
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2603 v2、1.8GHz、10MB、1333MHz、80W (4 コア)		00Y2778
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2609 v2、2.5GHz、10MB、1333MHz、80W (4 コア)		00Y2779
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2620 v2、2.1GHz、15MB、1600MHz、80W (6 コア)		00Y2780

表 13. 部品リスト、Type 5466 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630 v2、2.6GHz、15MB、80W (6 コア)		00Y2781
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630L v2、2.4GHz、15MB、1600MHz、60W (6 コア)		00Y2792
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2640 v2、2.0GHz、20MB、95W (8 コア)		00Y2782
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650 v2、2.6GHz、20MB、95W (8 コア)		00Y2783
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650L v2、1.7GHz、25MB、70W (10 コア)		00Y2793
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2660 v2、2.2GHz、25MB、1866MHz、95W (10 コア)		00Y2784
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2670 v2、2.5GHz、25MB、1866MHz、115W (10 コア)		00Y2785
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2680 v2、2.8GHz、25MB、115W (10 コア)		00Y2786
3	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2695 v2、2.4GHz、30MB、1866MHz、115W (12 コア)		00Y2776
4	メモリー、4GB single-rank 1.35V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5026	
4	メモリー、4GB single-rank 1.5V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5022	
4	メモリー、8GB single rank 1.35V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5038	
4	メモリー、8GB single-rank 1.5V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5034	
4	メモリー、8GB dual-rank 1.35V、DDR3、1600MHz、UDIMM	00D5018	
4	メモリー、8GB dual-rank 1.35V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5046	
4	メモリー、16GB dual-rank 1.35V、DDR3、1600MHz、RDIMM	46W0674	
4	メモリー、16GB dual-rank 1.5V、DDR3、1866MHz、RDIMM	46W0670	
5	システム・ボード		00AL196
6	バックプレーン、2x3.5 型 HDD 分離アレイ	00AL197	
6	バックプレーン、2x3.5 型 HDD 前面アレイへの拡張 (14HDD アレイ)	90Y5145	
9	パワー・サプライ、750 W、AC	69Y5872	
9	パワー・サプライ、750 W、AC	94Y8114	
9	パワー・サプライ、750 W、AC	94Y8116	
9	パワー・サプライ、900 W、AC	94Y8118	
9	パワー・サプライ、900 W、AC	94Y8120	
10	上部パワー・サプライ・パドル・カード	69Y5790	
11	下部パワー・サプライ・パドル・カード	69Y5790	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	49Y6093	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、450 GB、15 K	49Y6098	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SATA、500 GB、7.2K	81Y9787	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	49Y6103	

表 13. 部品リスト、Type 5466 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、1 TB、7.2K	90Y8568	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1 TB、7.2K	81Y9791	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2K	90Y8573	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SATA、2 TB、7.2K	81Y9795	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、3 TB、7.2K	90Y8578	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SATA、3 TB、7.2K	81Y9799	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SATA、4 TB、7.2 K	49Y6003	
15	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、SAS、4 TB、7.2 K	49Y6211	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、ホット・スワップ、64 GB	00W1287	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、ホット・スワップ、128 GB	00W1292	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、ホット・スワップ、256 GB	00W1297	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、ホット・スワップ、512 GB	00W1302	
18	前面ファン、80x56 mm	00D2566	
19	後部ファン、40x28 mm	00AL760	
20	1U ライザー・カード、1 つの PCIe x8 スロット (スロットなし RAID 専用)	00Y7542	
21	1U ライザー・カード、2 つの PCIe x8 スロット (butterfly)	00Y7539	
21	1U ライザー・カード、1 つの PCIe x16 スロット	00Y7540	
22	365GB High IOPS MLC Mono アダプター	00AE814	
22	365GB High IOPS MLC Mono アダプター	46C9079	
22	785GB High IOPS MLC Mono アダプター	00AE815	
22	1.2TB High IOPS MLC Mono アダプター	00AE812	
22	Mellanox ConnectX-3 VPI IB/E アダプター	00D9552	
22	Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター	00D9692	
22	Solarflare SFN5162F MR デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9955	
22	Solarflare SFN6122F LL デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9963	
22	Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7912	
22	NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
22	NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
22	Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	49Y7962	
22	Intel X540-T2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7972	
22	ServeRAID H1110 SAS/SATA アダプター	81Y4494	
	ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー	00AE807	
	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
	ServeRAID F5115 200GB SAS/SATA コントローラー	00AE885	
	ServeRAID F5115 800GB SAS/SATA コントローラー	00AE889	
	N2115 SAS/SATA コントローラー	46C8989	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512MB キャッシュ/RAID 5 アップグレード	81Y4485	

表 13. 部品リスト、Type 5466 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ServeRAID M5100 シリーズ 512MB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	46C9027	
	ServeRAID M5100 シリーズ 1GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	46C9029	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB キャッシュ/RAID 5 アップグレード	47C8657	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	47C8661	
	ServeRAID M5200 シリーズ 2GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	47C8665	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	ラベル、シャーシ GBM	00AL765	
	ラベル、GBM	00AL757	
	ケーブル、I2C プレーナーから背面バックプレーン、2x 3.5 型 HDD - SAS 信号	00AL764	
	ケーブル、EIA USB	00AL766	
	ケーブル、HDD 電源 (Y ケーブル)	00D8668	
	ケーブル、背面 HDD SATA 信号	00D9030	
	ケーブル、12G V から mini SAS V 820mm	00Y8433	
	コード、4m から 4.3m 回線	39M5076	
	コード、4.3m 回線	39M5378	
	コード、1.5m 回線	39M5375	
	ケーブル、電力配分装置ジャンパー	39M5392	
	ケーブル、CRU 1M	39R6530	
	ケーブル、CRU 3M	39R6532	
	ケーブル、SAS 信号、760 mm	81Y7300	
	ケーブル、オペレーター情報パネル、サイド	81Y7342	
	ケーブル、背面 HDD 構成	81Y7344	
	ケーブル、HS 12 HDD 電源、590 mm	81Y7346	
	ケーブル、HS 12 HDD 構成	81Y7350	
	6Gb Performance Optimized HBA	46C8937	
	N2125 SAS/SATA HBA	46C9011	
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	Emulex 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1658	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1665	
	Qlogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3440	

表 13. 部品リスト、Type 5466 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Qlogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	ケーブル、ServeRAID 電源モジュール	90Y7310	
	US E 103P-RoHS キーボード	94Y6050	
	UltraNav キーボード USB	94Y6108	
	Intel X520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き)	00FK895	
	Broadcom シングル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き)	00FK896	
	Broadcom デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター (変換コネクター付き)	00AL195	

消耗部品および構造部品

IBM 保証の内容と制限では消耗部品および構造部品はカバーされません。構造部品は、IBM 小売店で注文することができます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 14. 消耗部品および構造部品、Type 5466

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	00D8660
7	HDD ケージ、3.5 型 HS HDD、背面	00D8667
8	パワー・サプライ・フィラー	94Y7610
12	240VA カバー (パドル・カード安全カバー)	00D8657
13	ServeRAID M5110 シリーズ・バッテリー・キット	81Y4491
14	バッテリー・キャリア	00D8655
16	フィラー、3.5 型ホット・スワップ HDD	69Y5364
17	ブラケット・キット	69Y4524
23	エアー・バッフル	00AL761
	EIA LED カバー・キット	00AL762
	前面 EIA USB カバー・キット	00AL763
	機械的シェル・アセンブリー	00AL759
	オペレーター情報パネル・アセンブリー、サイド	00D8623
	USB パネル・アセンブリー、サイド	00D8624
	3.5 型 HDD ブラケット	00D8652
	配送用ブラケット・アセンブリー・キット	00D8659
	BP ストッパー・ブラケット	00D8665
	各種部品キット	00Y7347
	テープ・ドライブ	40K6449
	レール・キット	94Y6790
	シャーシ・サポート・キット	94Y6974

消耗部品または構造部品を注文するには、http://www.ibm.com にアクセスしてください。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。 感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される本製品の電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) によってリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	**説明**
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14

電源コードの 部品番号	説明
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela

電源コードの 部品番号	説明
39M5076	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5226	India
39M5240	Brazil

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

消耗部品、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から成る交換可能コンポーネント:

- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **技術員により交換される部品 (FRU):** FRU の取り付け作業は、お客様による交換が可能な部品 (CRU) に分類されていない限り、トレーニングを受けた技術員のみが行う必要があります。
  - **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
  - **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが消耗部品、構造部品、Tier 1 CRU、Tier 2 CRU、または FRU のいずれであるかを判別するには、175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2013

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

内部ケーブルのルーティング

重要: ケーブルの取り付けまたは取り外しは慎重に行ってください。そうしないとシステム・ボードのコネクターが損傷する場合があります。コネクターが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になることがあります。

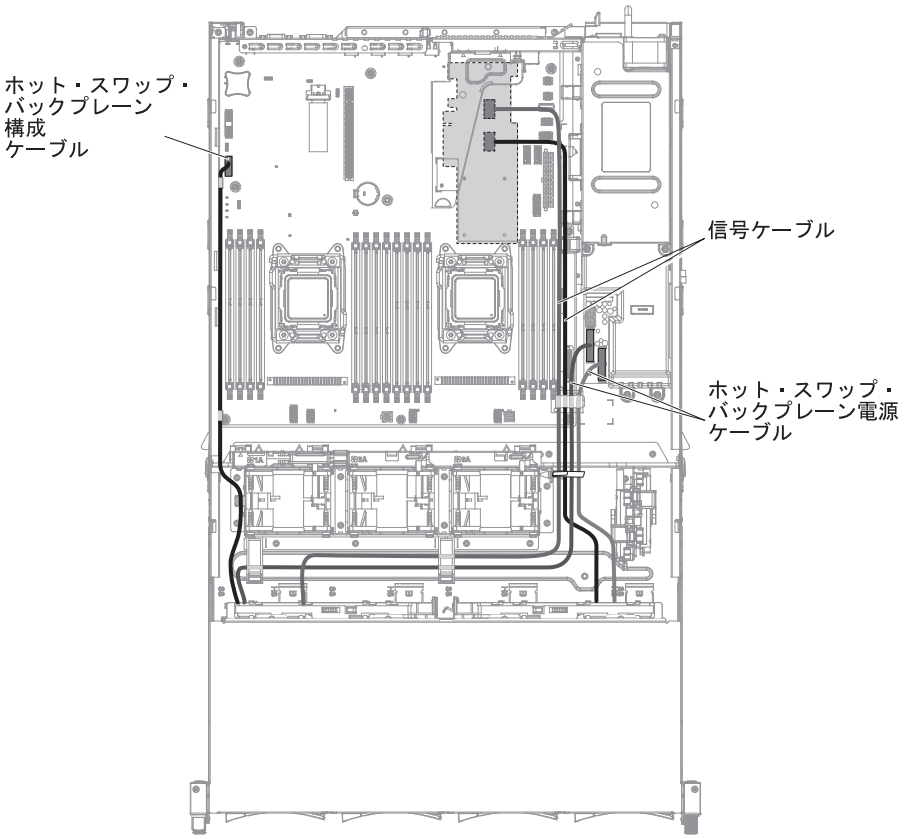
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン・ケーブルの接続

このセクションでは、サーバーに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

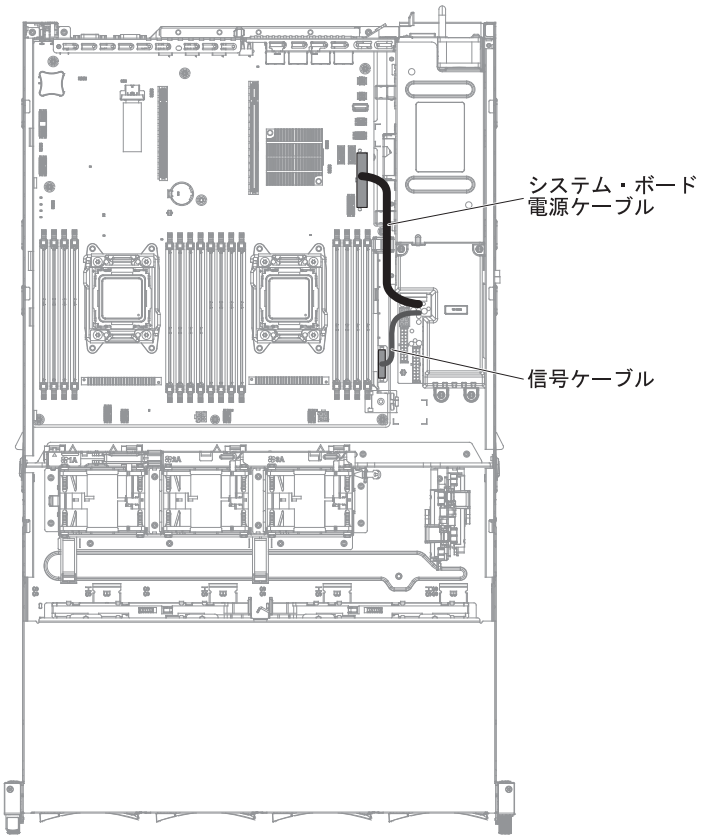
ケーブルおよびデバイス接続の要件について詳しくは、そのデバイスに付属の資料を参照してください。

注: ホット・スワップ・バックプレーンが使用中の場合、ハードウェア ServeRAID またはシステム・ボードのポート 1 が、バックプレーンのポート 1 に接続されていることを確認してください。同様に、ハードウェア ServeRAID またはシステム・ボードのポート 0 が、バックプレーンのポート 0 に接続されている必要があります。

次の図は、12 個の 3.5 型ホット・スワップ・ドライブで構成されるバックプレーン・アセンブリーのハードウェア ServeRAID のケーブル配線についての情報を示しています。



次の図は、電源パドル・カードのケーブル配線についての情報を示しています。



コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

消耗部品、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から成る交換可能コンポーネント:

- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **技術員により交換される部品 (FRU):** FRU の取り付け作業は、お客様による交換が可能な部品 (CRU) に分類されていない限り、トレーニングを受けた技術員のみが行う必要があります。
  - **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

– **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが消耗部品、構造部品、Tier 1 CRU、Tier 2 CRU、または FRU のいずれであるかを判別するには、175 ページの『第 5 章 部品リスト』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、753 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注意:

- ドライブ・コネクターを損傷しないように、ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにドライブかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 ページから始まる『安全について』、 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』 および 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ドライブ前部の側面にある解放ラッチを押します。

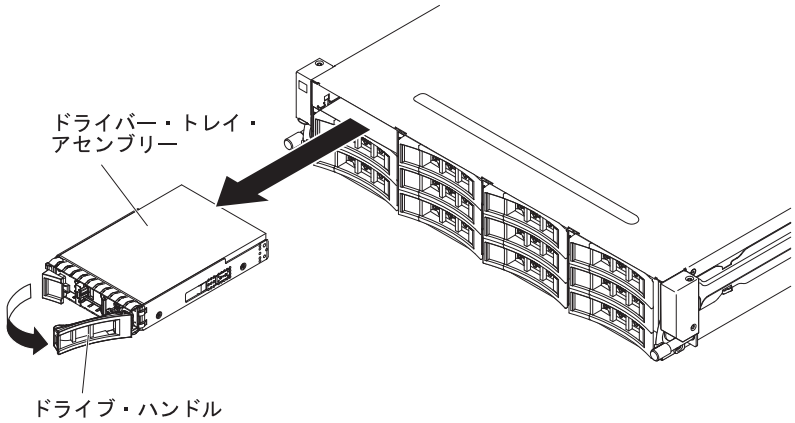


図 76. ホット・スワップ・ドライブの取り外し

3. ハンドルをつかんで、ホット・スワップ・ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイから引き抜きます。
4. ホット・スワップ・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの再取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注意書きは、サーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ドライブを取り付けるときに考慮するべきその他の情報について説明します。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- サーバーは、最大 14 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク (2 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクはサーバー背面に配置されます) をサポートします。サポートされるハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければなりません。速度定格が異なるハード・ディスクを使用すると、すべてのドライブが最も遅いドライブのスループット速度で作動することになります。

ホット・スワップ SAS または SATA ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

重要: このサーバーには SCSI ハード・ディスクは取り付けられません。

手順

1. vii ページの『安全について』 ページから始まる『安全について』、 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』 および 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

2. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. サーバー前面からフィラー・パネルを取り外します。
4. 図に示すようにドライブの方向を合わせます。

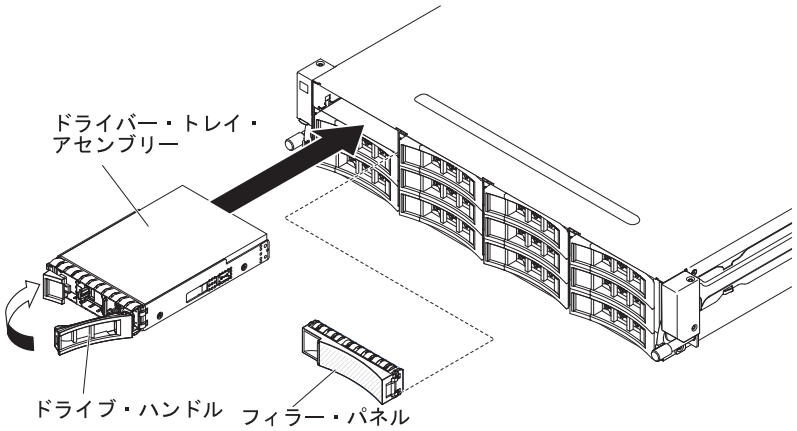


図 77.

5. トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
6. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。
7. ドライブ・アセンブリーを、ドライブが停止するまで静かにベイに挿入します。
8. トレイ・ハンドルを閉じた (ロックされた) 位置に押します。
9. システムの電源をオンにしたら、ハード・ディスクの状況 LED を調べて、ハード・ディスクが正しく動作していることを確認します。

タスクの結果

故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。 およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED がゆっくり点滅し、再構築のプロセス中は緑色の活動 LED が点灯します。黄色の LED が点灯したままの場合は、151 ページの『ハード・ディスクの問題』を参照してください。

注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。 RAID コントローラーについては、IBM *ServeRAID Support* CD に収められている RAID の資料を参照してください。

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上に回転させるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを上に回転させるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. シャーシ **1** の 2 個の青色のラッチをそれぞれ開きます。
5. 背面ハード・ディスク・ケージを、止まるまで **2** 外側に回転させます。
6. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチをロック位置に切り替え、ハード・ディスク・ケージが固定されるようにします **3** 。

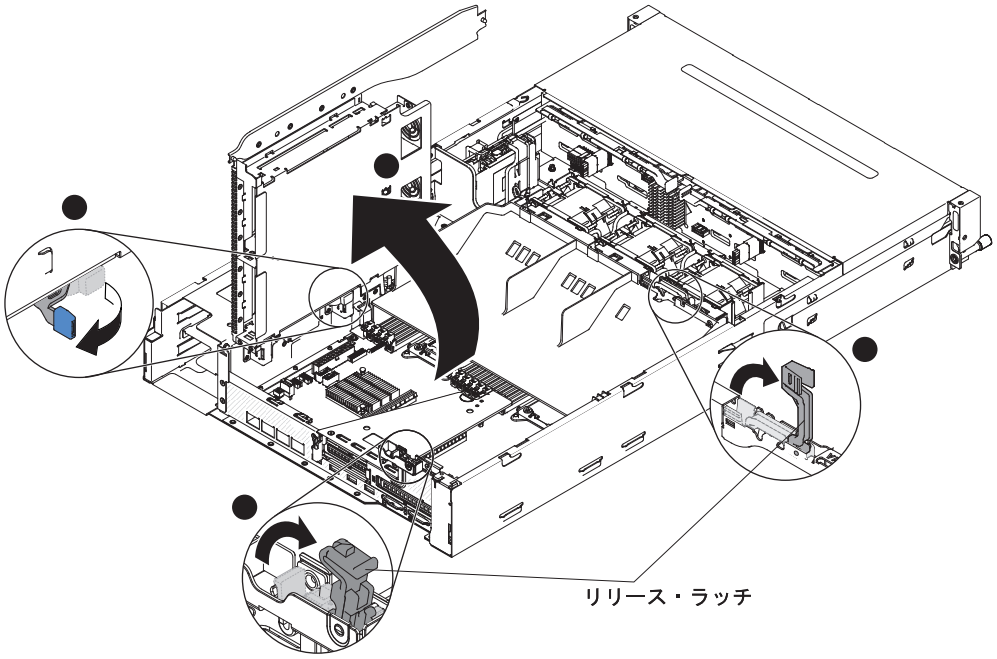


図 78. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージ

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下に回転させるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを下に回転させるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチを切り替えてロック解除位置 **1** にします。
3. ケージを所定の位置に収まるまで下方にゆっくりと回転させます **2**。
4. シャーシ **3** の青色のラッチを閉じます。

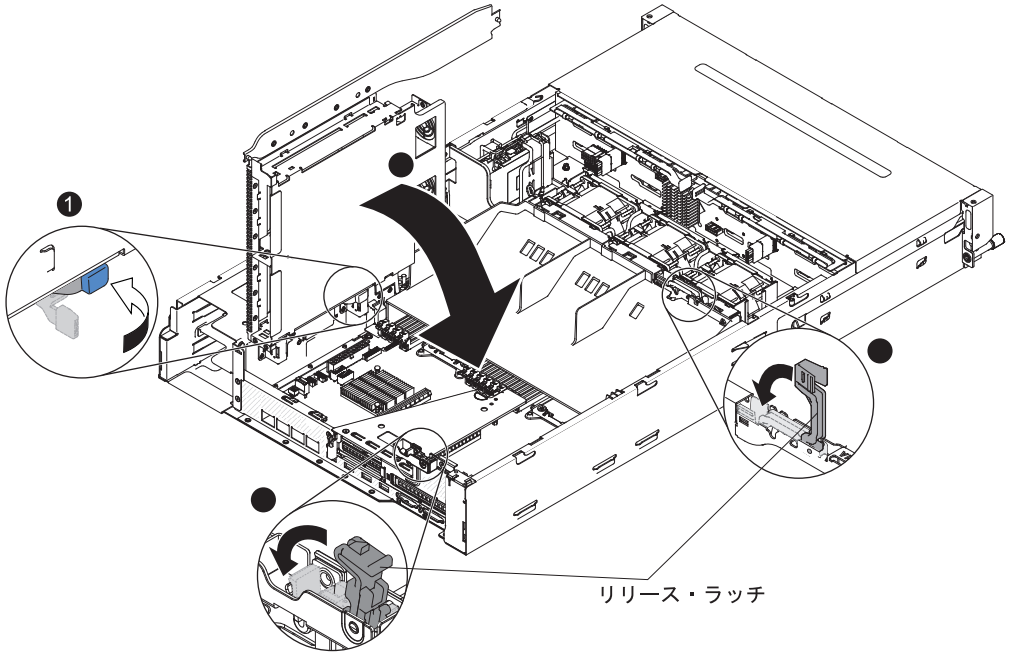


図 79. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージ

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの取り外し

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. シャーシの青いラッチ **1** を開きます。

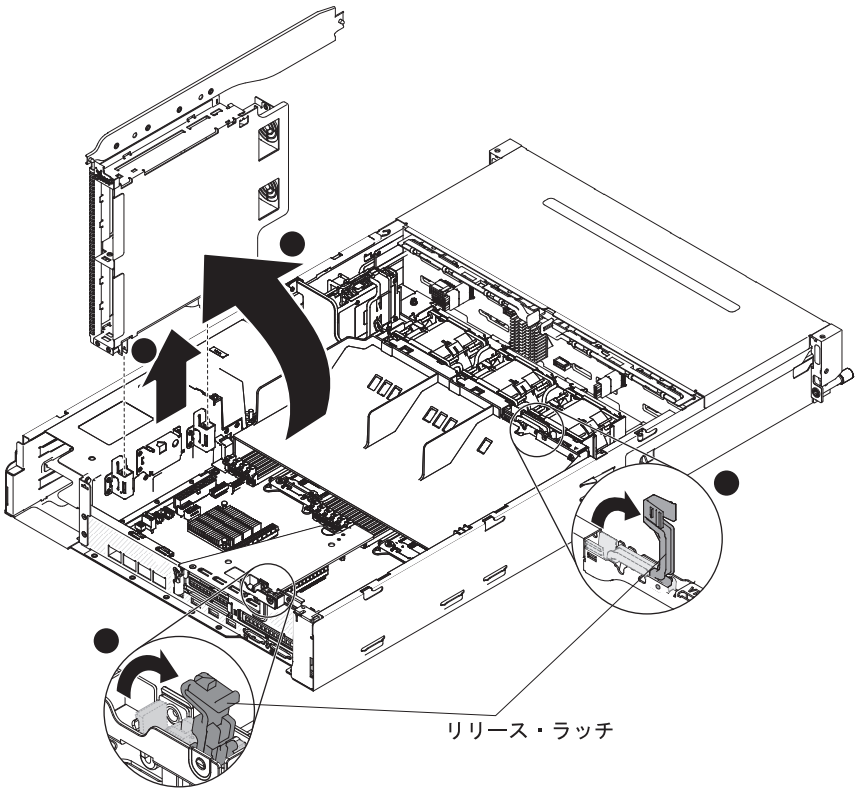


図 80. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの取り外し

5. 背面ハード・ディスク・ケージを外側に **2** 回転させます。
6. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチがロック解除ロック位置にあることを確認します。
7. 背面ハード・ディスク・ケージ **3** を慎重にシャーシから引き出します。

8. 背面ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの再取り付け

ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを再取り付けするための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. シャーシ **1** の 2 個の青色のラッチをそれぞれ開きます。
5. 背面ハード・ディスク・ケージの 2 つの可動レバーを 2 つのシャーシ・サポート・ブラケットに位置合わせします。ケージをスライドさせ、所定の位置にしっかり収まるまでシャーシ・サポート・ブラケットに差し込みます **2**。
6. 背面ハード・ディスク・ケージのスイッチがロック解除ロック位置にあることを確認します。
7. 所定の位置にしっかり収まるまでケージを内側に回転させます **3**。

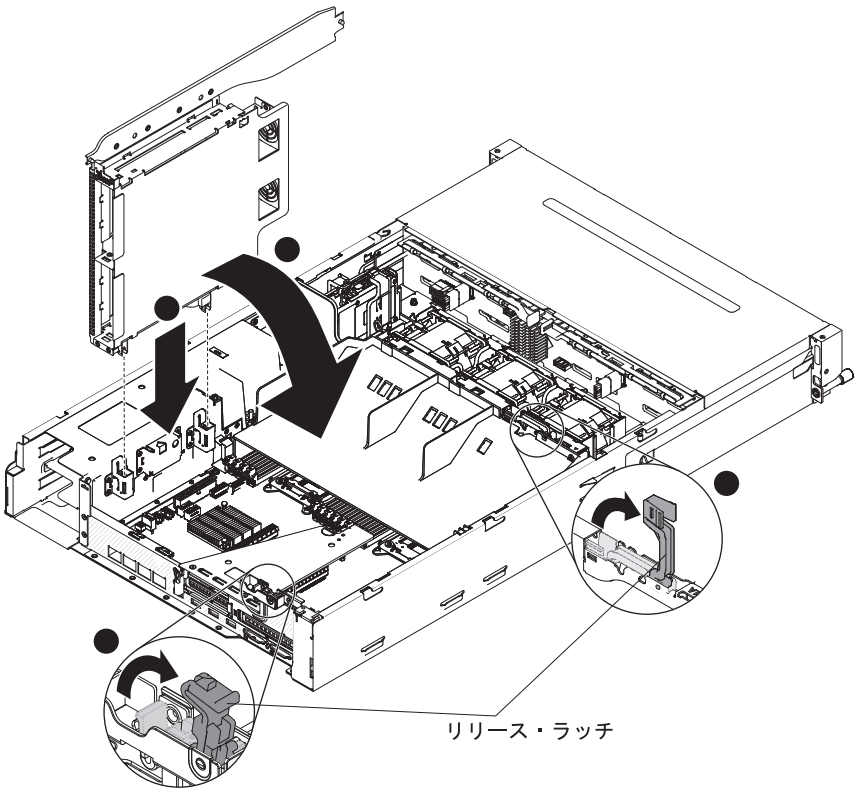


図 81. 背面ハード・ディスク・ケージの取り付け

8. シャーシのラッチを閉じます。
9. サーバーのホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンと電源パドル・カードを接続している電源ケーブルを取り外します。
   - タイプ 1 - SATA

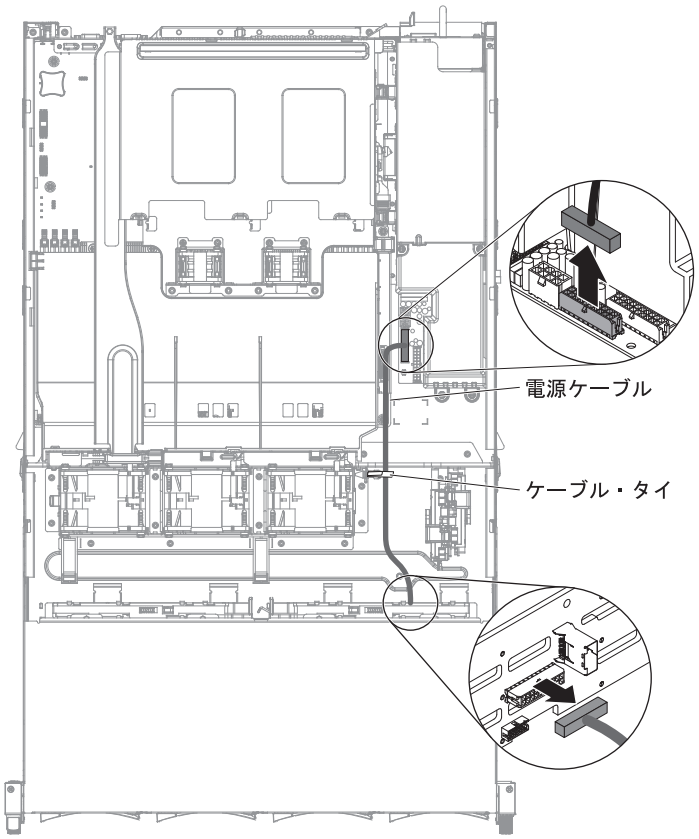


図 82. ケーブル配線

- タイプ 2 - SAS

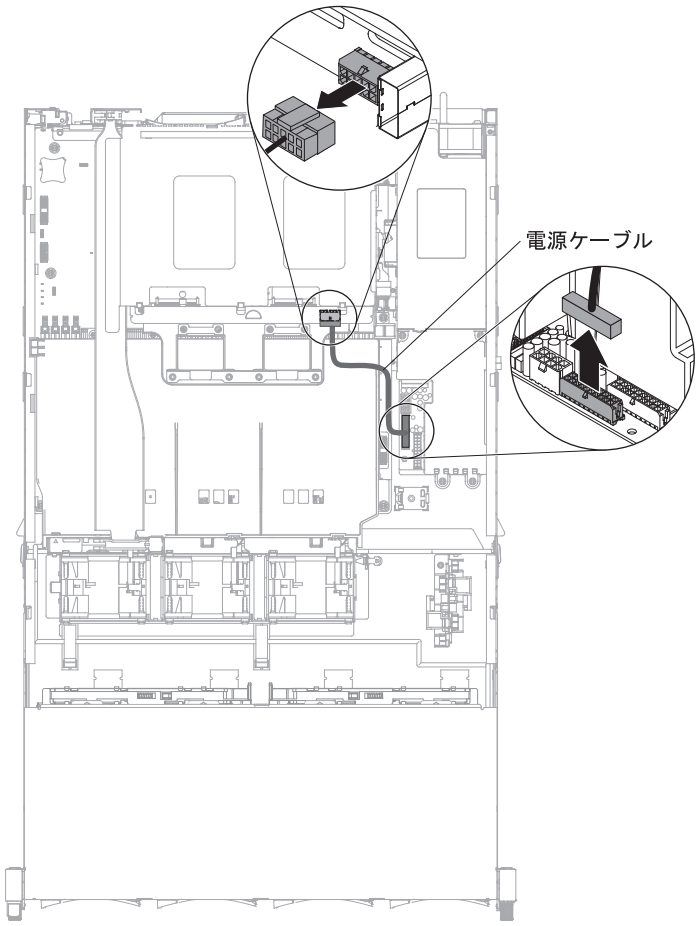


図 83. ケーブル配線

10. バックプレーンにケーブルを接続します。
    - タイプ 1 - SATA
      a. LED 信号ケーブル、SATA 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンに接続します。

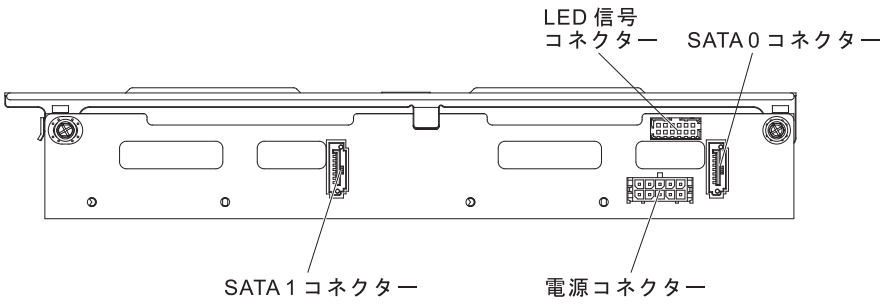


図 84. タイプ 1

      b. ホット・スワップ・バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージに挿入します (264 ページの『背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンの再取り付け』を参照)。

c. LED 信号ケーブルのもう一方の端をサーバーのホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンに接続します。

d. システム・ファン・ケージの近くにあるホット・スワップ・バックプレーン信号 (I^2C) ケーブルの背面ハード・ディスク検出ピンを見つけ、オプション・パッケージから取り出した LED 信号ケーブルの背面ハード・ディスク検出ピンに接続します。

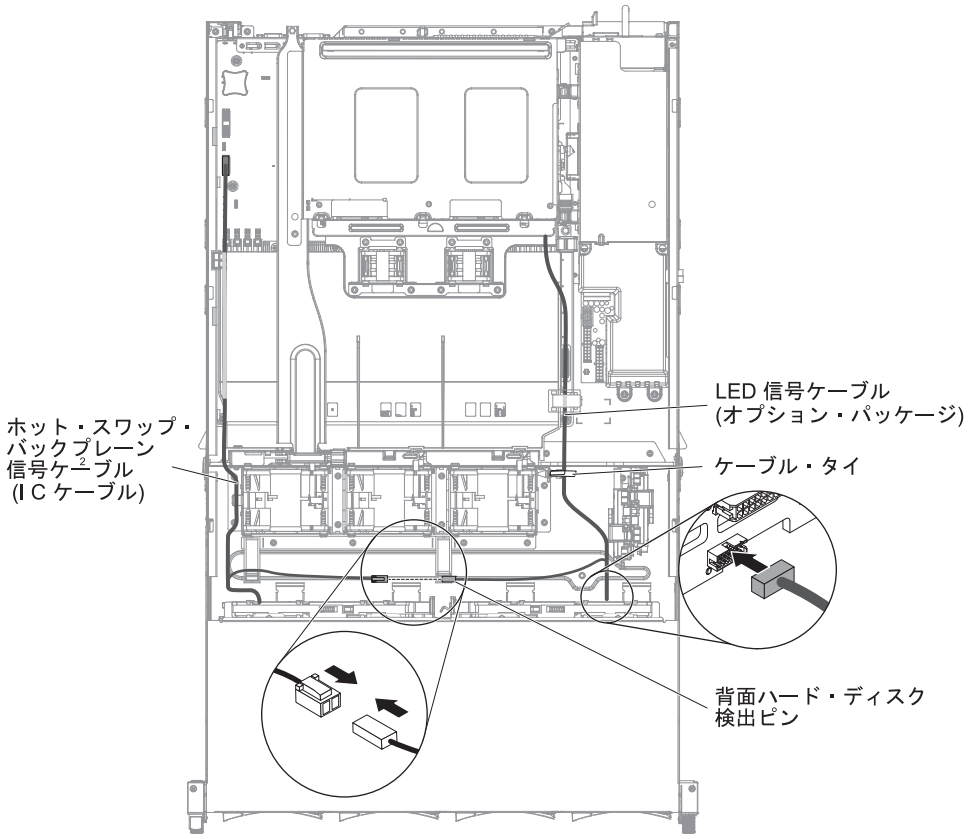


図 85. ケーブル配線

e. SATA 信号ケーブルと電源ケーブルのもう一方の端を、電源パドル・カードおよびサーバーのホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンに接続します。両方のコネクターのラベルが一致していることを確認します。

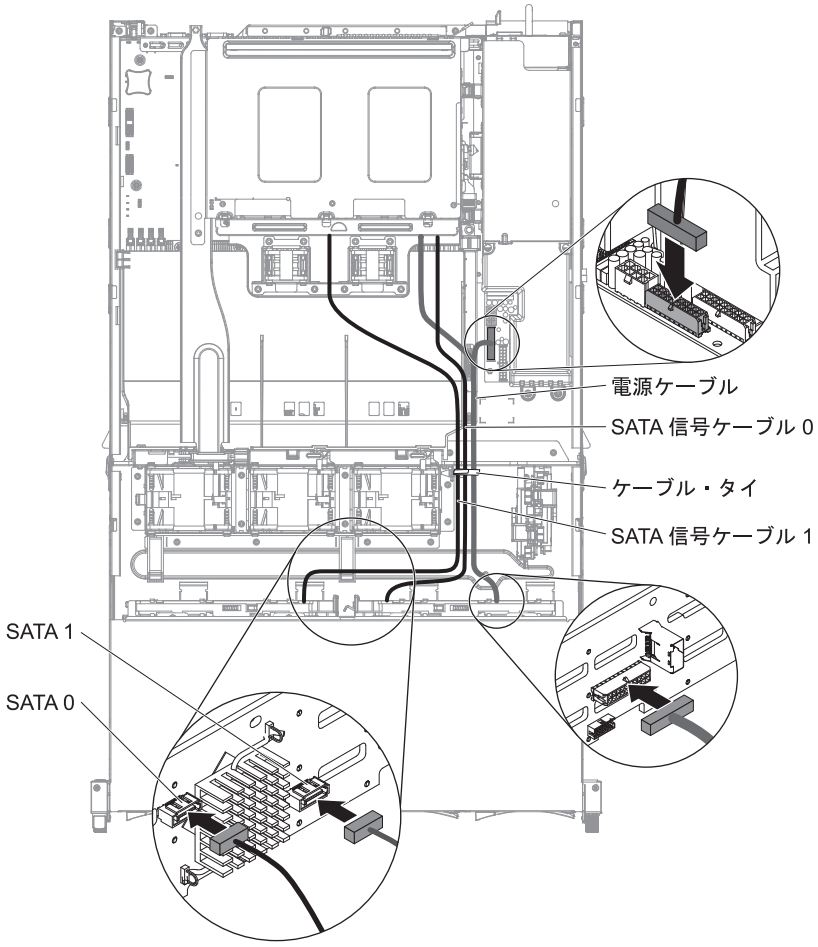


図 86. ケーブル配線

注: ポート 1 が両方のバックプレーンのポート 1 に接続されていることを確認します。同様に、ポート 0 が両方のバックプレーンのポート 0 に接続されていることを確認します。

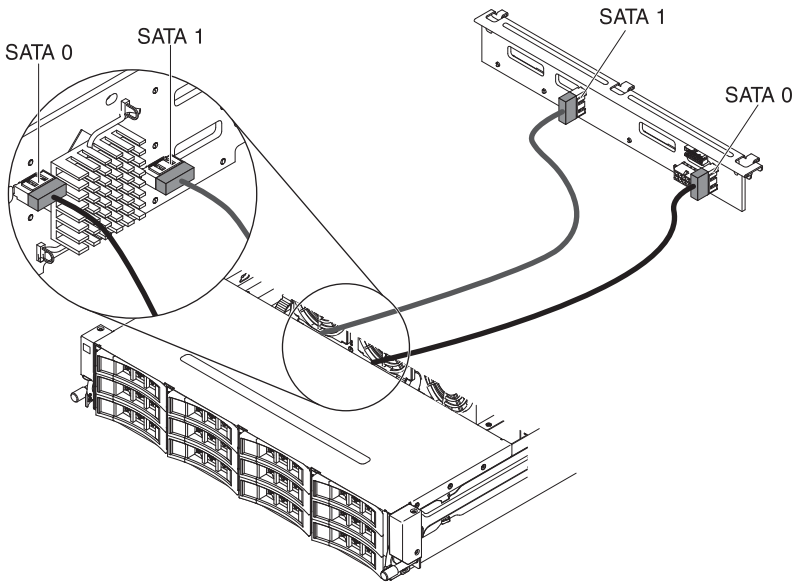


図 87. ケーブル配線

注: ケーブルが通気を妨げないように適切な位置に配線されていることを確認します。すべてのケーブルを下に押し、ケーブル配線を容易にすることをお勧めします。ケーブル保持クリップでケーブルを固定します。

- タイプ 2 - SAS
  a. I^2C 信号ケーブル、SAS 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンに接続します。

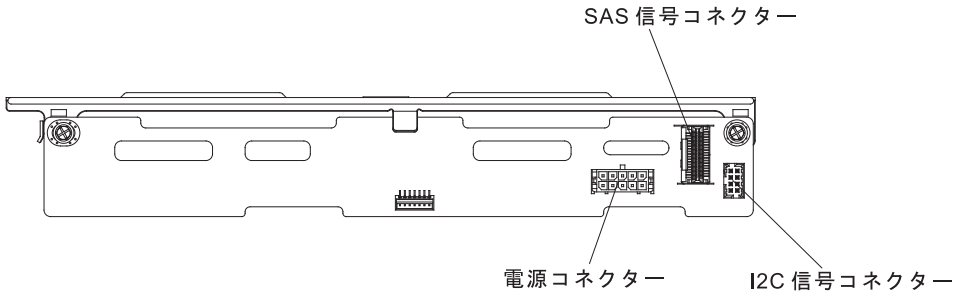


図 88. タイプ 2

  b. ホット・スワップ・バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージに挿入します (264 ページの『背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンの再取り付け』を参照)。
  c. I^2C 信号ケーブル、SAS 信号ケーブル、および電源ケーブルの他方の端を接続します。

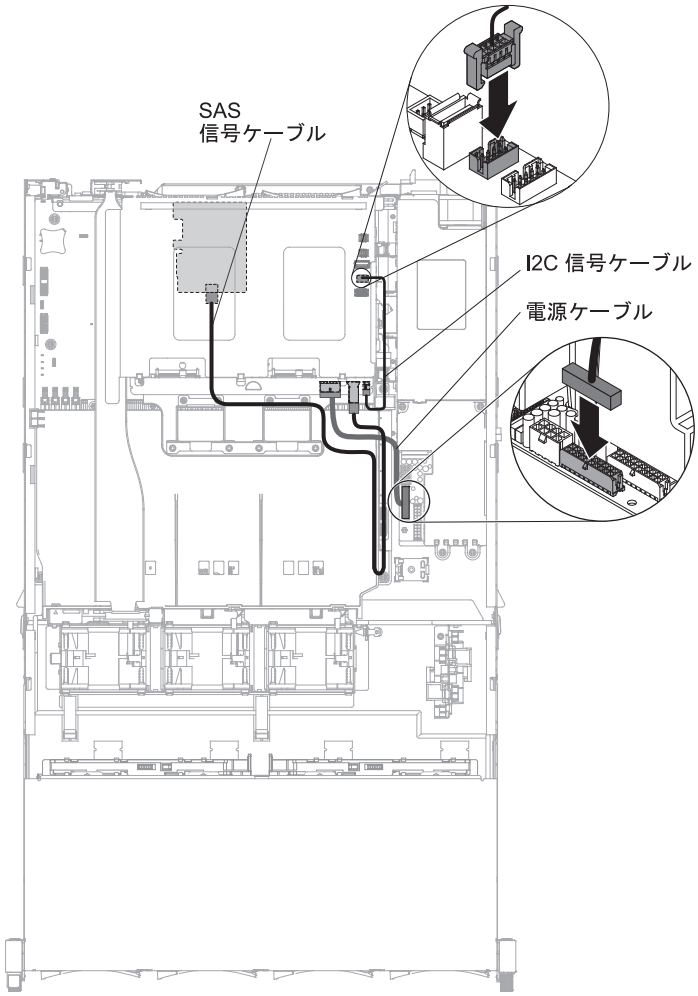


図 89. ケーブル配線

注: ケーブルが通気を妨げないように適切な位置に配線されていることを確認します。すべてのケーブルを下に押し、ケーブル配線を容易にすることをお勧めします。ケーブル保持クリップでケーブルを固定します。

11. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
12. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

PCI 拡張スロットからアダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスクを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. アダプターからケーブルを切り離します (後でアダプターを再取り付けする場合は、ケーブル・ルーティングをメモしておきます)。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2 を取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
     b. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

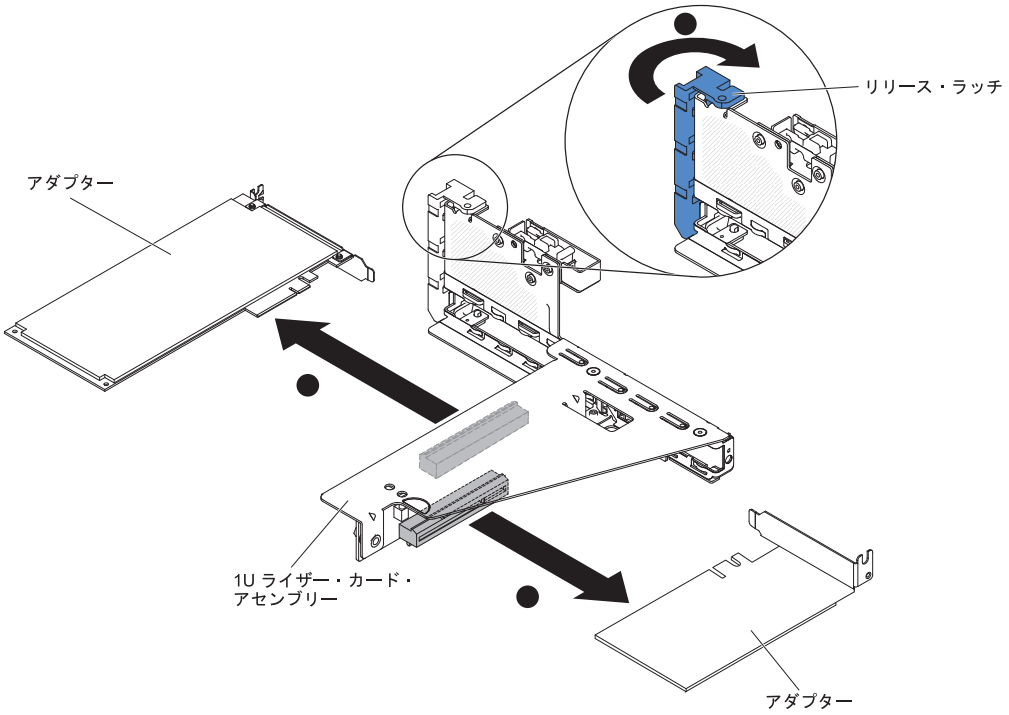


図 90. アダプターの取り外し

8. アダプターを平らな静電防止板の上に置きます。
9. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの再取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーのアダプターを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

- このセクションの説明は、サポートされているすべてのアダプター (例えば、ビデオ・グラフィックス・アダプターまたはネットワーク・アダプター) に適用されます。
- アダプターをサーバーに取り付けるときに考慮すべき追加の注意事項および詳細については、 51 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け』を参照してください。
- LCD モニター用のデジタル・ビデオ・アダプター最大解像度を、75 Hz で 1600 x 1200 より大きく設定しないでください。 この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクターおよびステレオ・コネクターはいずれもサポートされません。

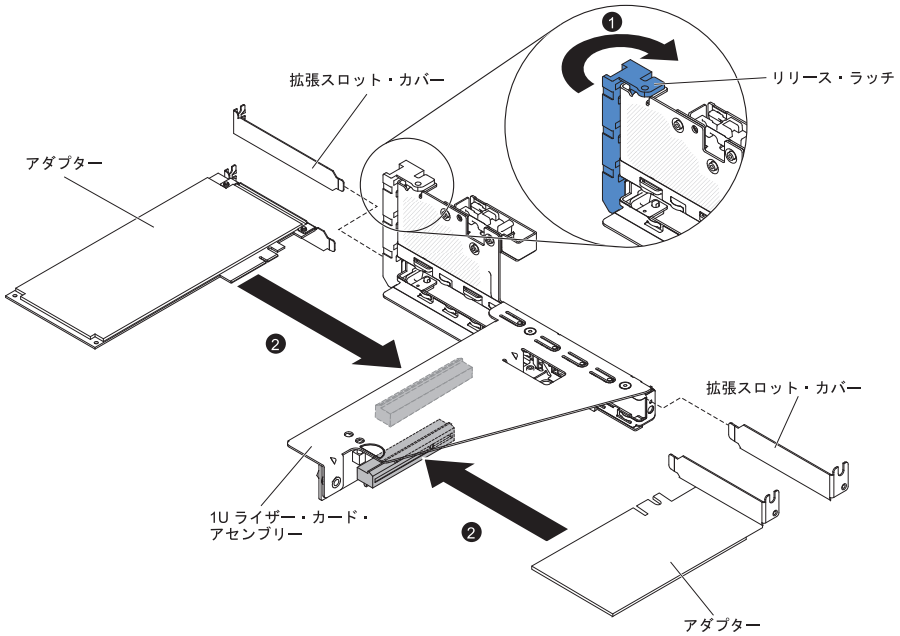
アダプターを再取り付けするには、次のステップを実行します。

重要: アダプターの取り付け時に、アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーに正しく収まっていること、および PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかり取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、PCI ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
3. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを取り付けるためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。
     b. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させます。保持ラッチがアダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。

図 91. アダプターの取り付け



4. PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバー内に取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。

5. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
6. カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
7. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (手順については、サーバーに付属の「*ラック搭載手順*」を参照)。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面ファンの取り外し

前面ファンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: サーバーの正しい作動を保証するために、ファンに障害が発生した場合はまずサーバーの電源をオフにし、ただちにそのファンを交換してください。

前面ファンを取り外すには、最初に以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 以下の手順で、ファン 1A を取り外します。

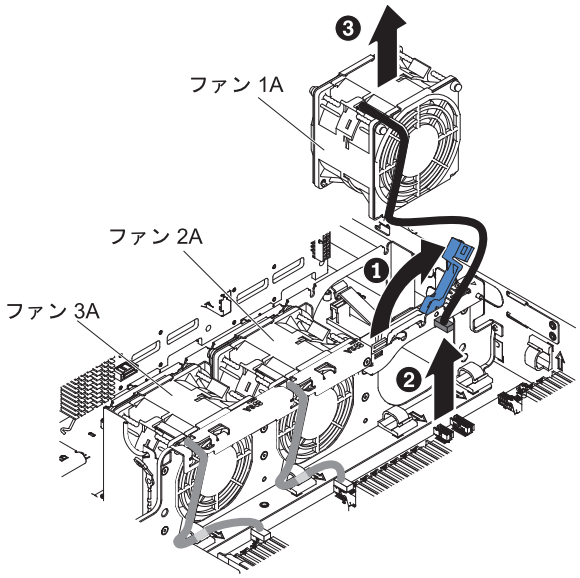


図 92. ファンの取り外し

a. ファン・ケージ上の青いハンドルを引き上げます。
b. ファン・ケーブルを、システム・ボードのコネクターから取り外します。 (28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
c. ファン・ケーブルをケーブル保持クリップから引き出します。
d. ファンの上部を人差し指と親指でつかみ、ファンをゆっくり持ち上げてサーバーから取り出します。

7. ファン 2A またはファン 3A の取り外し
   a. ファン・ケーブルを、ファン・ボードのコネクターから切り離します。 (28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
   b. ファン・ケーブルをケーブル保持クリップから引き出します。
   c. 人差し指と親指でファンの上部をつまんで、ファンを持ち上げてサーバーから外します。
8. ファンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

前面ファンの再取り付け

前面ファンを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーでは、適切な冷却を確保するために、システムにあるすべてのファンが常に作動している必要があります。

重要: 適切なサーバーの動作を確保するために、ファンに障害が起きた場合は直ちに交換してください。

ファン・ケーブル・コネクターの位置については 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』 を参照してください。

vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

ファン 1A を取り付けるためのステップ:

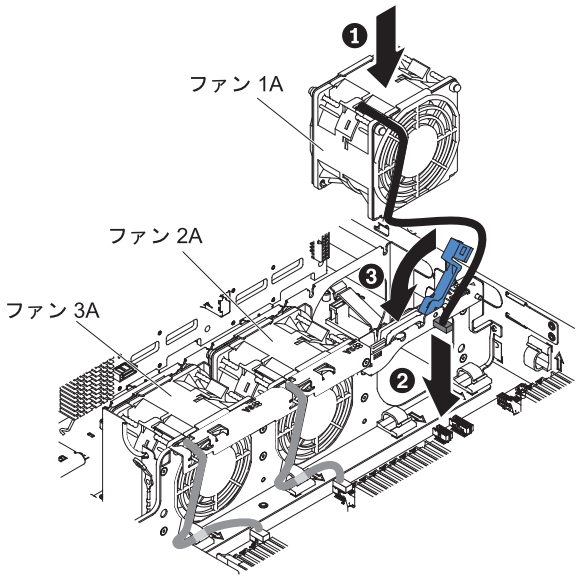


図 93. ファンの取り付け

前面ファンを取り付けまたは交換するには、次のステップを実行してください。

1. 新しいファンが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規のファンをパッケージから取り出します。
2. ファン・ケージ上の青いハンドルを引き上げます。
3. ファン・ケーブルがシステム・ボードの方を向くようにファンの方向を合わせます。
4. ファンを下ろしてサーバーのファン・スロット内に収め、正しく装着されていることを確認します。
5. ファン・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに接続します。(28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

6. ケーブル保持クリップにシステム・ケーブルを挿入します。
7. 青いハンドルを元の水平位置に戻します。
8. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
9. ホット・スワップ背面ハード・ディスクを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
10. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
11. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ファン 2A または 3A を取り付けるためのステップ:

1. 新しいファンが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規のファンをパッケージから取り出します。
2. ファン・ケーブルがシステム・ボードの方を向くようにファンの方向を合わせます。
3. ファンを下ろしてサーバーのファン・スロット内に収め、正しく装着されていることを確認します。
4. ファン・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに接続します。(28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
5. ケーブル保持クリップにシステム・ケーブルを挿入します。
6. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
7. ホット・スワップ背面ハード・ディスクを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
8. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
9. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

後部ファンの取り外し

後部ファンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: サーバーの正しい作動を保証するために、ファンに障害が発生した場合はまずサーバーの電源をオフにし、ただちにそのファンを交換してください。

後部ファンを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバー (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』 を参照) および接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。

3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. ファン・ケーブルを、システム・ボードのコネクターから取り外します。 (28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)
6. ファンの上部を人差し指と親指でつまみ、ファン・ケージからファンを取り出します。

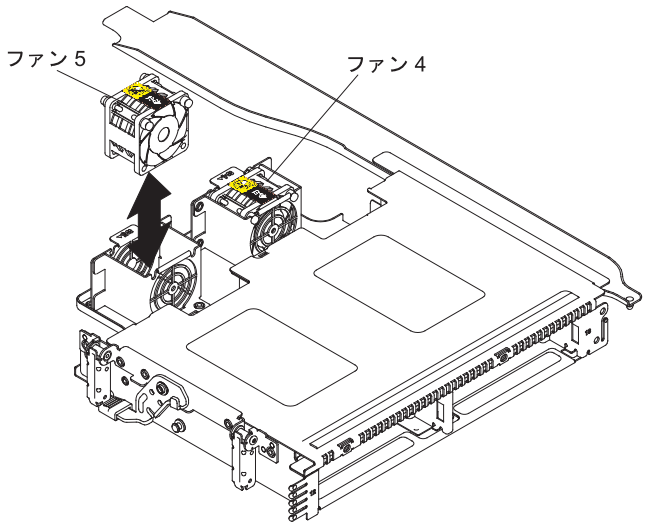


図 94. 後部ファンの取り外し

7. ファンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

後部ファンの再取り付け

後部ファンを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーでは、適切な冷却を確保するために、システムにあるすべてのファンが常に作動している必要があります。

重要: 適切なサーバーの動作を確保するために、ファンに障害が起きた場合は直ちに交換してください。

ファン・ケーブル・コネクターの位置については 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』 を参照してください。

vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。

後部ファンを取り付けまたは交換するには、次のステップを実行してください。

1. 新しいファンが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規のファンをパッケージから取り出します。
2. 以下の図に従って、ファンの向きを合わせます。

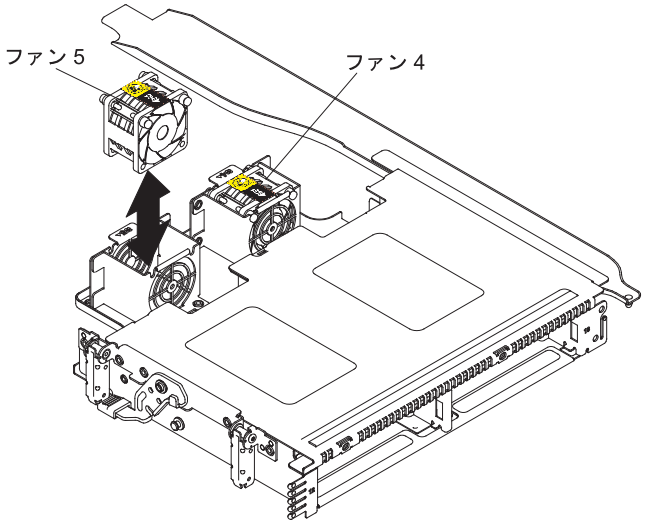


図 95. 後部ファンの取り付け

3. ファンを下ろしてサーバーのファン・スロット内に収め、正しく装着されていることを確認します。
4. システム・ファン・ケーブルをシステム・ボード上のコネクターに接続します。(28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)
5. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
6. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。

4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. DIMM コネクターの両端にある保持クリップを慎重に裏返して開き、DIMM をコネクターから持ち上げます。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷したりしないように、クリップは丁寧に開閉してください。

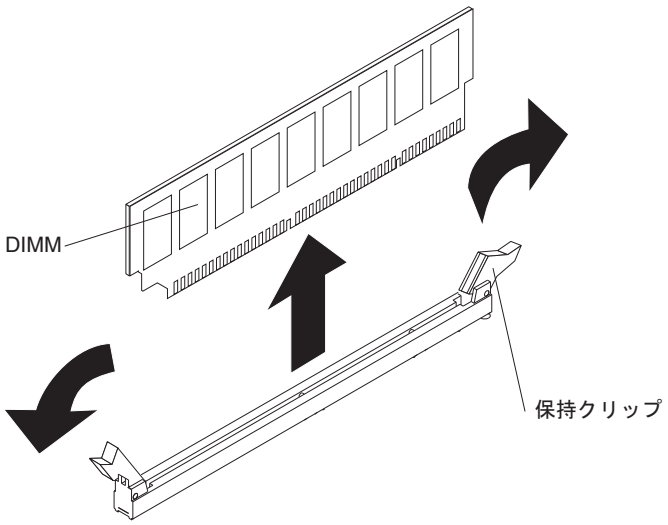


図 96. DIMM の取り外し

8. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの再取り付け

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを再取り付けします。

このタスクについて

注:

- DIMM を取り付けるときに考慮すべき注意事項および情報については、 66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

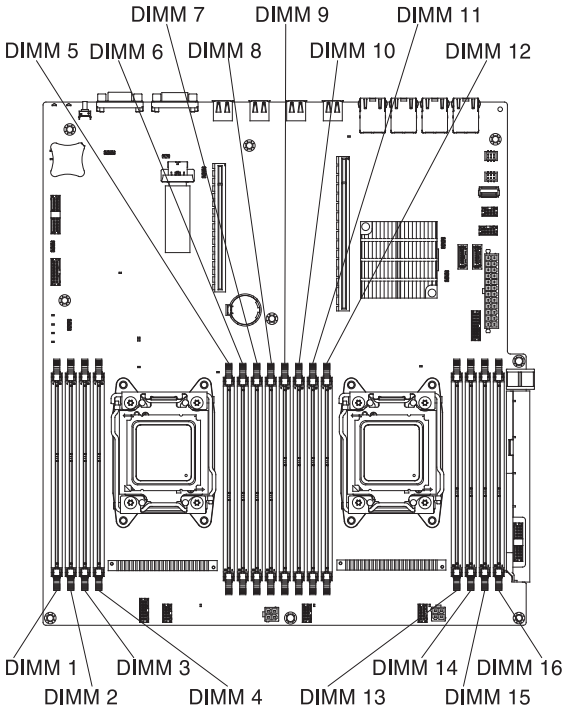


図 97. DIMM コネクター

DIMM を取り付けるには、次のステップを行います。

注: 奇数番号の DIMM コネクターは白色で、偶数番号の DIMM コネクターは黒色です。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを再取り付けするための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. DIMM コネクターの両端にある保持クリップを慎重に開きます。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷したりしないように、クリップは丁寧に開閉してください。

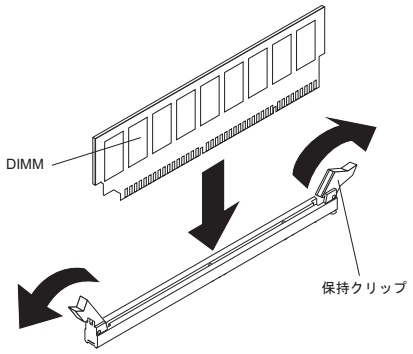


図 98. DIMM の取り付け

5. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 次に DIMM をパッケージから取り出します。
6. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
7. DIMM の両端を DIMM コネクターの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクターに挿入します。 DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

   重要: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
8. ステップ 5 から 7 までを繰り返して、すべての新規または交換用の DIMM を取り付けてください。
9. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
10. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
11. ホット・スワップ背面ハード・ディスクを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
12. サーバーのトップ・カバーを再取り付けします (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
13. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
14. Setup ユーティリティーで、取り付けたすべての DIMM が表示され、使用可能になっていることを確認します。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからの ServeRAID アダプターの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーから ServeRAID アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのカバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2 を取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外すためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
     b. ServeRAID アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

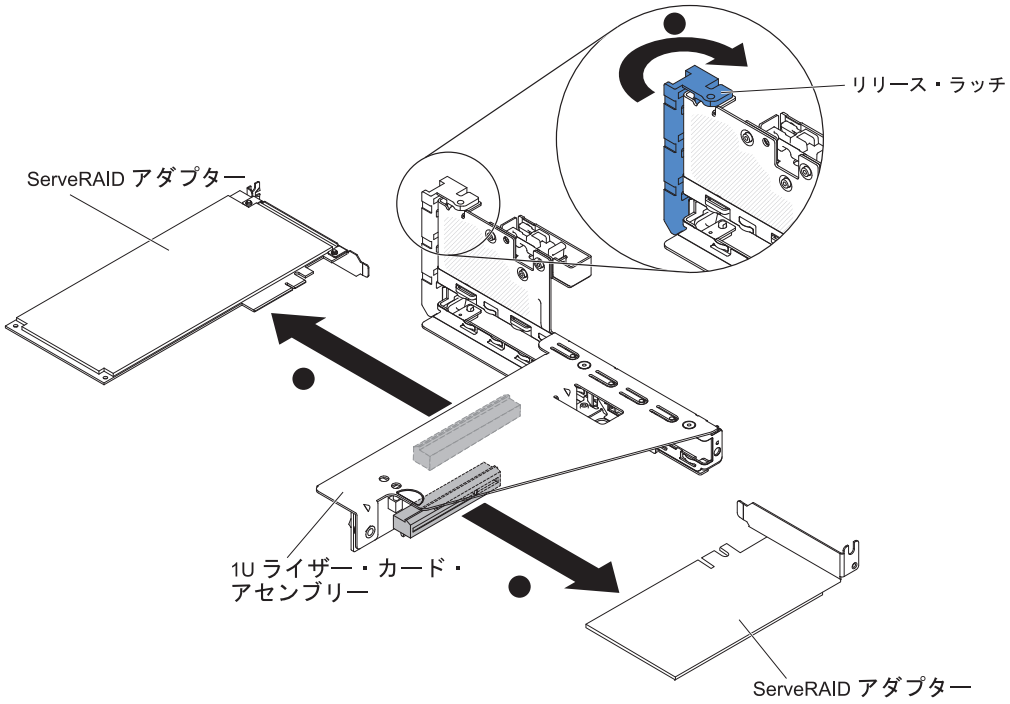


図 99. ServeRAID アダプターの取り外し

- PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の場合:
  a. リリース・ピンを引いて、保持ラッチのロックを解除します。次に、保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
  b. ServeRAID アダプターの端を慎重につかんで、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 から引き出します。

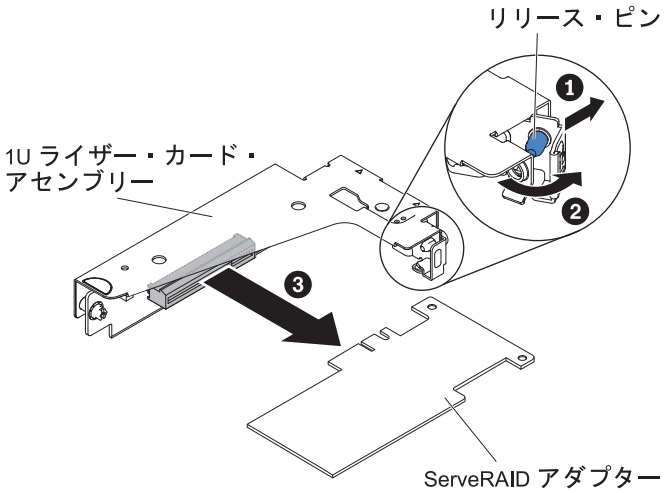


図 100. ServeRAID アダプターの取り外し

7. ServeRAID アダプターの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

注: ServeRAID アダプターが取り外されているときは、ソフトウェア RAID はサポートされません。このシステムでは、ハードウェア RAID 構成からのダウングレードとなるソフトウェア RAID 機能をサポートしません。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの ServeRAID アダプターの再取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーの ServeRAID アダプターを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付ける場合、以下のリストに示された順序で取り付けてください。

- スロット 3
- スロット 2 (後部バックプレーンまたは外部 ServeRAID アダプター専用)
- スロット 1 (外部 ServeRAID アダプター専用)

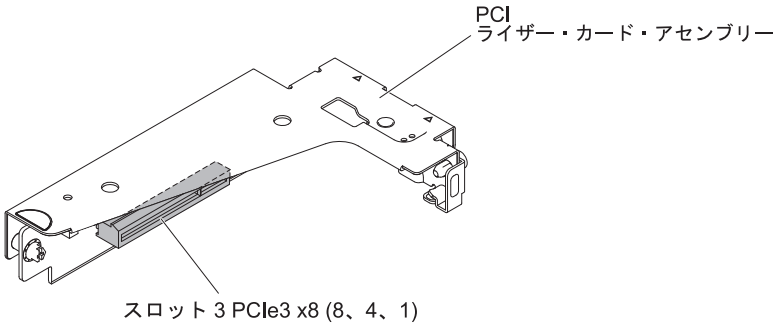


図 101. スロット 3

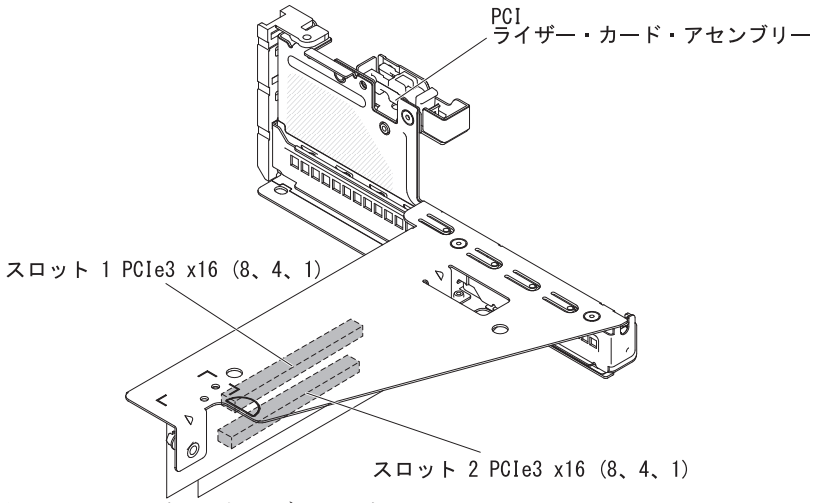


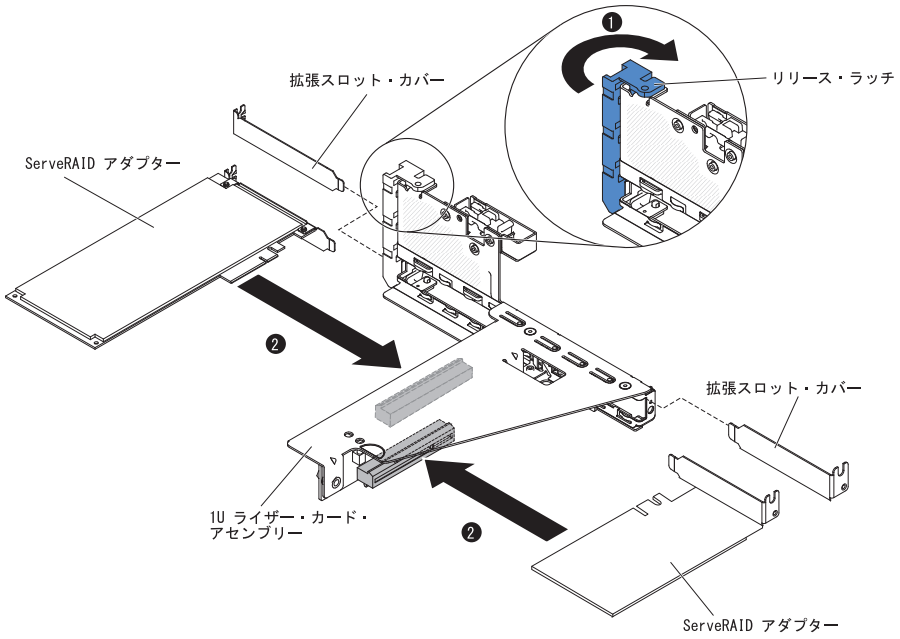
図 102. スロット 2 およびスロット 1

PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ServeRAID アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい ServeRAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージから ServeRAID アダプターを取り出します。
5. バッテリーを使用する、新品または交換用の ServeRAID コントローラーを取り付ける場合は、次のステップを実行してください。
   a. ServeRAID アダプター・パッケージ、またはバッテリー・パッケージからバッテリーを取り出します。
   b. ServeRAID コントローラーまたはバッテリーに付属の資料に従って、あるいは、 59 ページの『ServeRAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのリモート・バッテリー・トレイへの取り付け』を参照して、バッテリーを取り付けて ServeRAID コントローラーに接続します。
6. 以下に、PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを取り付けるためのステップを示します。
   - PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の場合:
     a. 保持ラッチをオープン位置まで回転させます。アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、PCI ライザー・カード・アセンブリーに ServeRAID アダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。
     b. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させます。保持ラッチがアダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。

図 103. ServeRAID アダプターの取り付け



- PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の場合:
  a. リリース・ピンを引いて、保持ラッチのロックを解除します。次に、保持ラッチをオープン位置まで回転させます。
  b. 切り欠きが PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 のコネクターの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
  c. アダプターをライザー・カード上のコネクターに挿入して、しっかりと装着されるようにします。

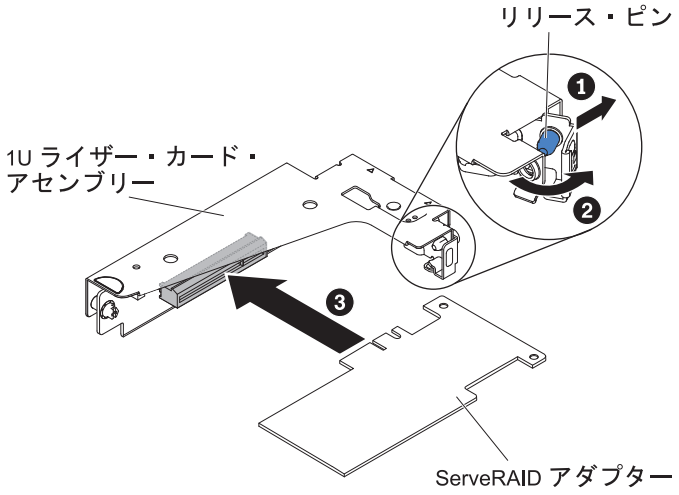


図 104. ServeRAID アダプターの取り付け

重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

7. 必要なケーブルを ServeRAID アダプターに接続します。

重要:

- ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
- ケーブルが PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部に配線されていないことを確認してください。
- ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

8. 保持ラッチをクローズ位置まで回転させ、保持ラッチが ServeRAID アダプターとしっかりかみ合っていることを確認します。次に、リリース・ピンを押して、保持ラッチを所定の位置にロックします。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り付けます (90 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

タスクの結果

注:

1. バッテリー付きの ServeRAID アダプターを取り付けた後でサーバーを最初に再始動したとき、コントローラーがバッテリーを初期設定する間モニター画面はブランクのままになります。これには数分間を要し、その後に始動プロセスが続行します。これが起こるのは一回限りです。

   重要: 初期設定プロセスは必ず完了させてください。途中で中断すると、バッテリー・パックが作動せず、サーバーが始動しなくなることがあります。

   バッテリーは容量の 30% またはそれ以下しか充電されないで出荷されます。バッテリーを完全に充電するためには、サーバーを 4 から 6 時間稼働させてください。コントローラーのバッテリーの真上の LED は、バッテリーが完全に充電されるまで点灯したままになります。

   バッテリーが完全に充電されるまで、コントローラー・ファームウェアはコントローラー・キャッシュをライトスルー・モードに設定し、バッテリーが完全に充電された後、コントローラー・ファームウェアはライトバック・モードを再び使用可能に設定します。
2. サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新しい ServeRAID アダプターにインポートすることができます。

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの RAID バッテリー・トレイからの取り外し

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを RAID バッテリー・トレイから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID バッテリー・トレイから RAID アダプター・バッテリーを取り外す場合は、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. 指または親指を軽く使って、バッテリー・ホルダーからバッテリー保持クリップのロックを解除します。ロック解除プロセス中に「カチッ」という音が聞こえます。

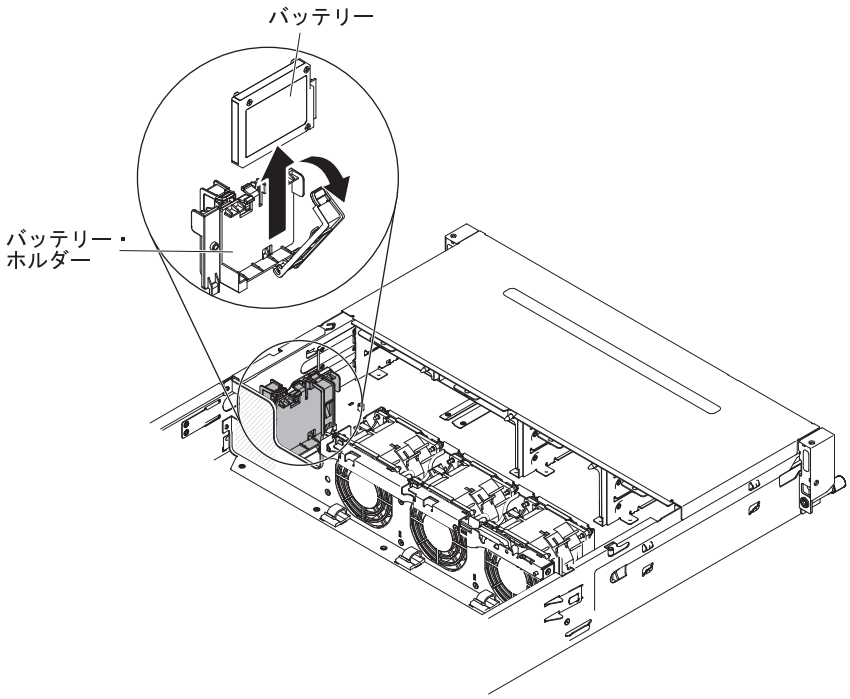


図 105. RAID アダプター・バッテリーの取り外し

5. バッテリー・ケーブルがある場合は、バッテリーのケーブル・コネクターからバッテリー・ケーブルを慎重に取り外します。
6. バッテリーを持ち上げて、バッテリー・ホルダーから取り外します。

7. RAID アダプター・バッテリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID バッテリー・トレイの RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの再取り付け

RAID バッテリー・トレイの RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリーが付いている ServeRAID アダプターをサーバーに取り付ける場合、過熱を防止するために、そのバッテリーを離して取り付ける必要があります。

RAID アダプター・バッテリーを RAID バッテリー・トレイに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 指または親指を軽く使って、バッテリー・ホルダーからバッテリー保持クリップのロックを解除します。ロック解除プロセス中に「カチッ」という音が聞こえます。
3. RAID バッテリー・トレイにバッテリーを取り付けます。
   a. 次の図に示すように、バッテリーの方向を合わせます。次に、バッテリーを下ろして RAID バッテリー・トレイの中に収めます。バッテリーにバッテリー・キャリアが付属している場合、スロット内でバッテリー・キャリアがしっかりと固定されるように、バッテリー・キャリアのポストがバッテリーの取り付けスロット上のリングの位置と合っていることを確認してください。
   b. バッテリーの保持クリップを、カチッと音を立ててしっかり収まるまで元の垂直位置に向かって押し、バッテリーを固定します。

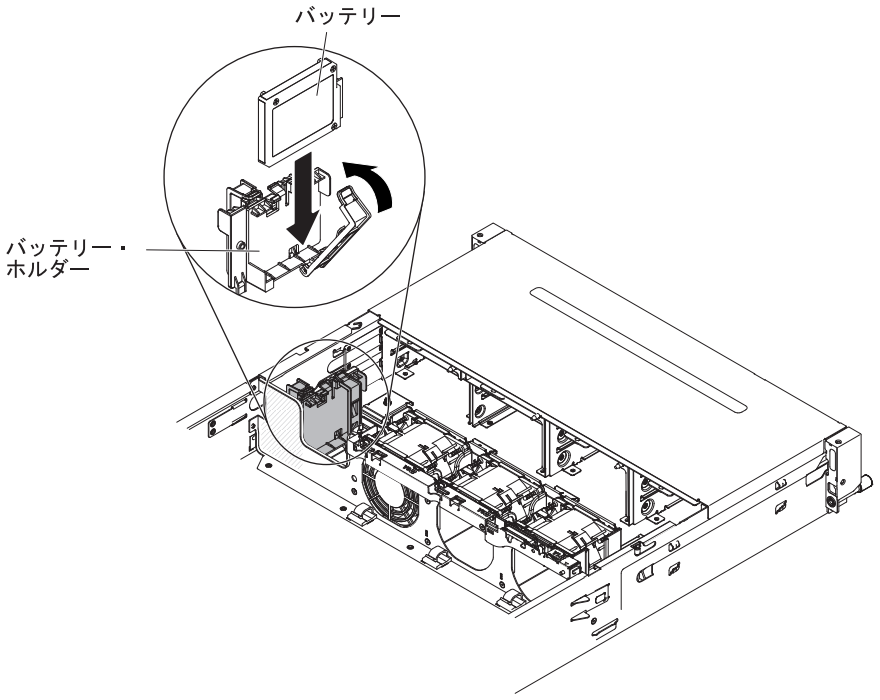


図 106. RAID アダプター・バッテリーの取り付け

4. ServeRAID アダプターのリモート・バッテリー・ケーブル・コネクターにリモート・バッテリー・ケーブルを接続します。次の図に示すように、サーバー内でリモート・バッテリー・ケーブルを配線します。

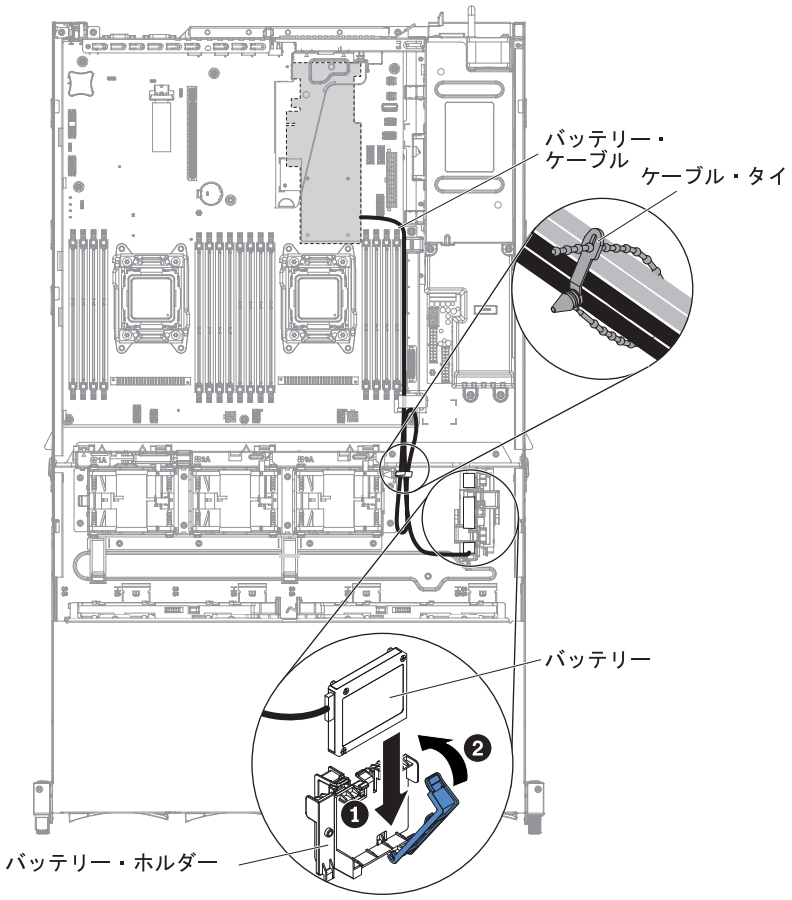


図 107. ケーブル配線

重要:

- 該当のケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクターを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。

5. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
6. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーから USB ハイパーバイザー・キーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクターを見付けます。

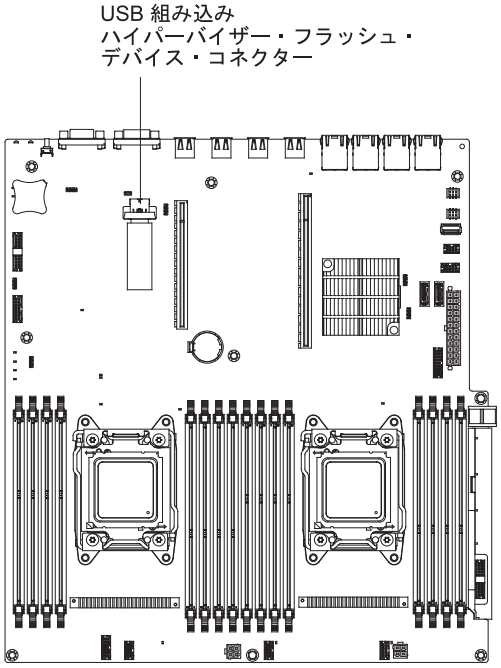


図 108. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター

7. フラッシュ・デバイス・コネクター上のロック・バーをスライドさせてロック解除位置にし、USB フラッシュ・デバイスをコネクターから引き出します。

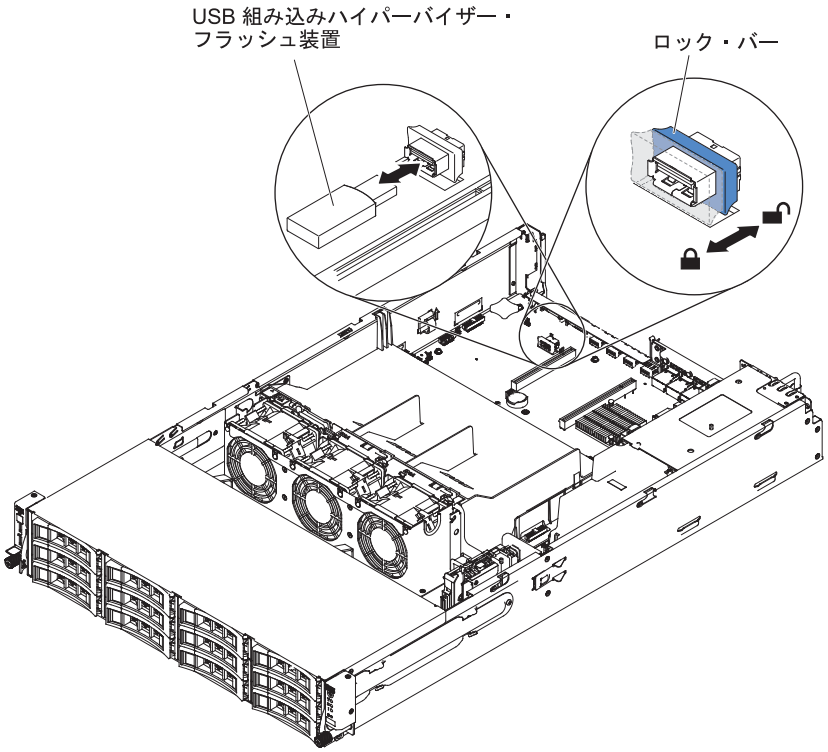


図 109. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

8. ハイパーバイザー・メモリー・キーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

   注: サーバーがハイパーバイザー USB ドライブを探さないように構成する必要があります。ハイパーバイザーのサポートを使用不可にする方法については、97 ページの『サーバーの構成』 を参照してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・キーをサーバーに取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コード

を取り外します。それから、デバイスを再取り付けするための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクターを見付けます。

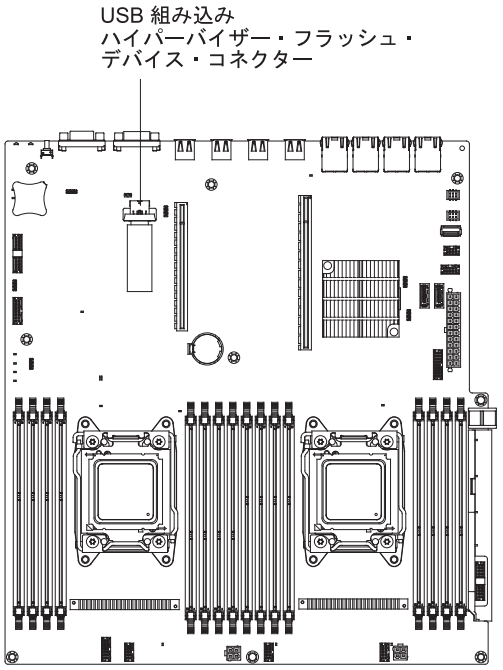


図 110. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクター

7. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクターに押し入れます。
8. ロック・バーをライザー・カード・アセンブリーに向かってロック位置までスライドさせ、しっかりと装着します。

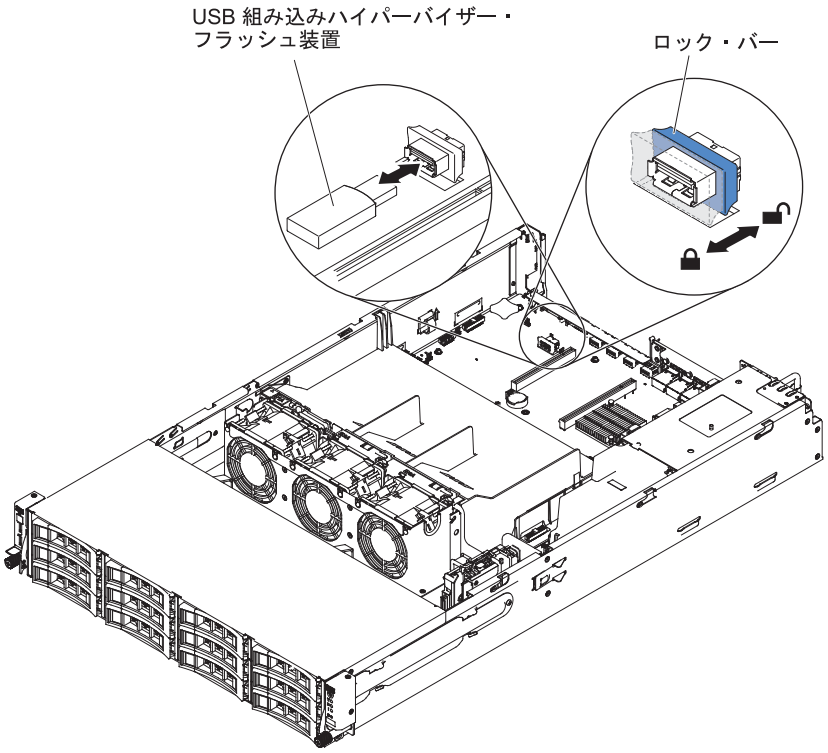


図 111. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
10. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
11. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

注: ハイパーバイザー USB ドライブからブートするには、サーバーを構成する必要があります。ハイパーバイザー・メモリー・キーを使用可能にする方法については、97 ページの『サーバーの構成』 を参照してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

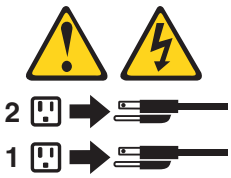
このタスクについて

重要: サーバーに 2 台のパワー・サプライがある場合、その一方を取り外すと、サーバーには冗長電源がなくなります。そのときにサーバーの電源負荷が 750W または 900W (サーバー・モデルに応じて) を超えると、サーバーが始動しなかったり、正しく機能しなかったりする可能性があります。

安全 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。 装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。一方、2 台のパワー・サプライが取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離す必要はありません。
3. パワー・サプライのハンドルを持ち、同時にオレンジ色のリリース・ラッチを左方に押します。
4. オレンジ色のリリース・タブを左に向かって押したままにします。ハンドルをつかみ、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

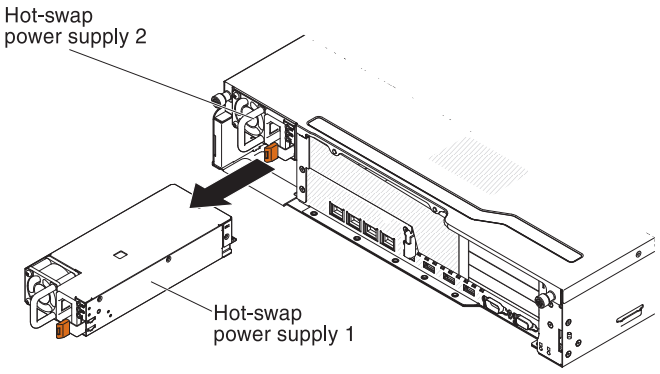


図 112. パワー・サプライの取り外し

5. ラッチを解放し、もう一方の手を使ってパワー・サプライを支えながら、残りの部分をベイから引き出します。
6. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの再取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを再取り付けします。

このタスクについて

以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- サーバーには、750 ワット、または 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 個付いています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。

注: サーバーでは、110 V AC と 220 V AC、または 750 ワットと 900 ワットのパワー・サプライを混用することはできません。サポート対象外です。

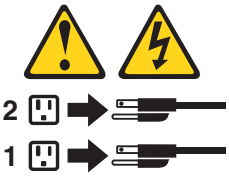
- これらのパワー・サプライは、並列操作用に設計されています。 パワー・サプライに障害が発生した場合、冗長パワー・サプライがシステムに電力を供給し続けます。 このサーバーは、最大 2 個のパワー・サプライをサポートします。
- サーバーは、1 個のパワー・サプライを使用して最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするためには、2 台目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。 装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置内の電流を完全にカットするには給電部からすべての電源コードを取り外してください。



安全 8



注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切な冷却のために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを再取り付けするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ホット・スワップ・パワー・サプライを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからそのパワー・サプライを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. ホット・スワップ・パワー・サプライを空のベイに取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラー・パネルを取り外します。一方、障害が起きたホット・スワップ・パワー・サプライを交換する場合は、ベイからパワー・サプライを取り外します。

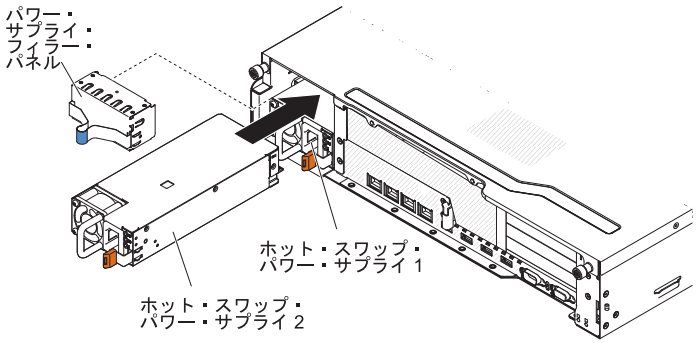


図 113. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
5. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
6. 電源コードが誤って抜けないように、ケーブル保持クリップを使用して電源コードを配線します。

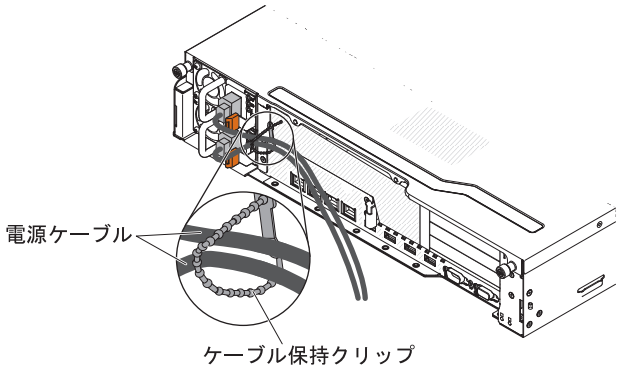


図 114. 電源コード

7. 正しく接地されたコンセントに電源コードを接続します。
8. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
9. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルを、パワー・サプライの近くのサーバー・トップ・カバーに貼り付けてください。

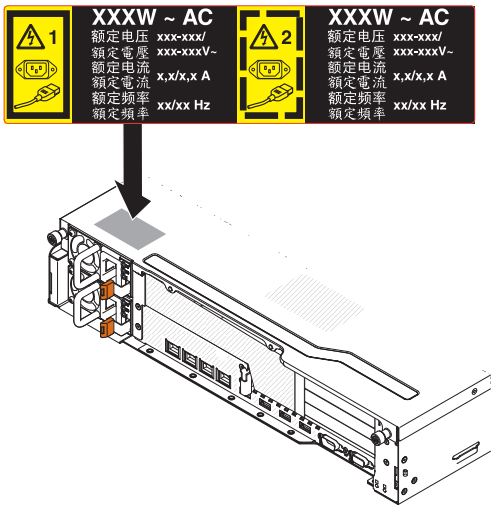


図 115. 冗長電源情報ラベル

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのカバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部と後部にある青いタッチ・ポイントをつかみ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・コネクターから出します。

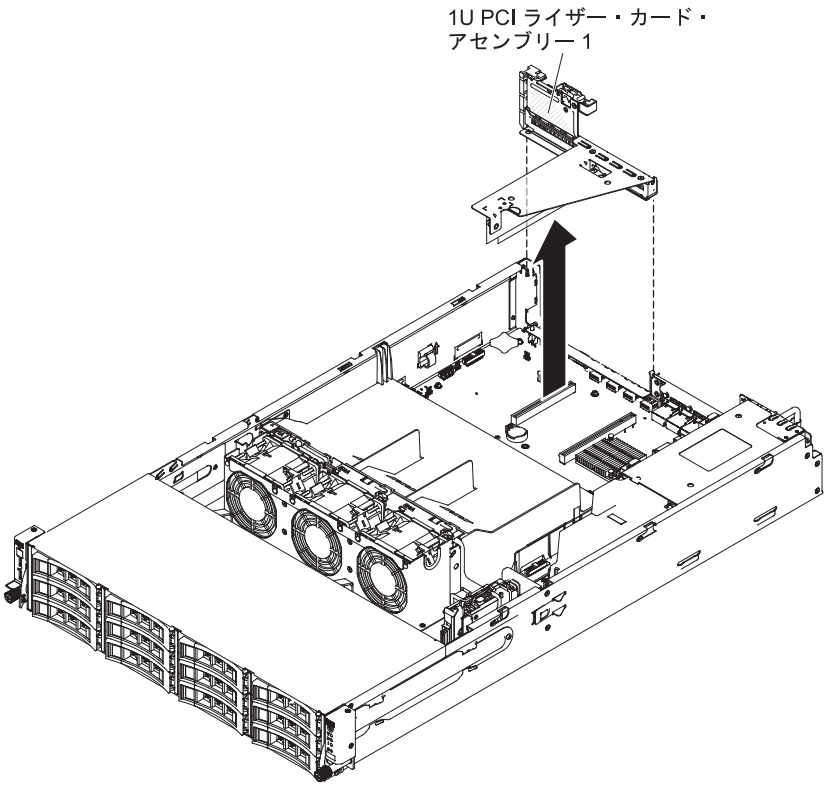


図 116. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の取り外し

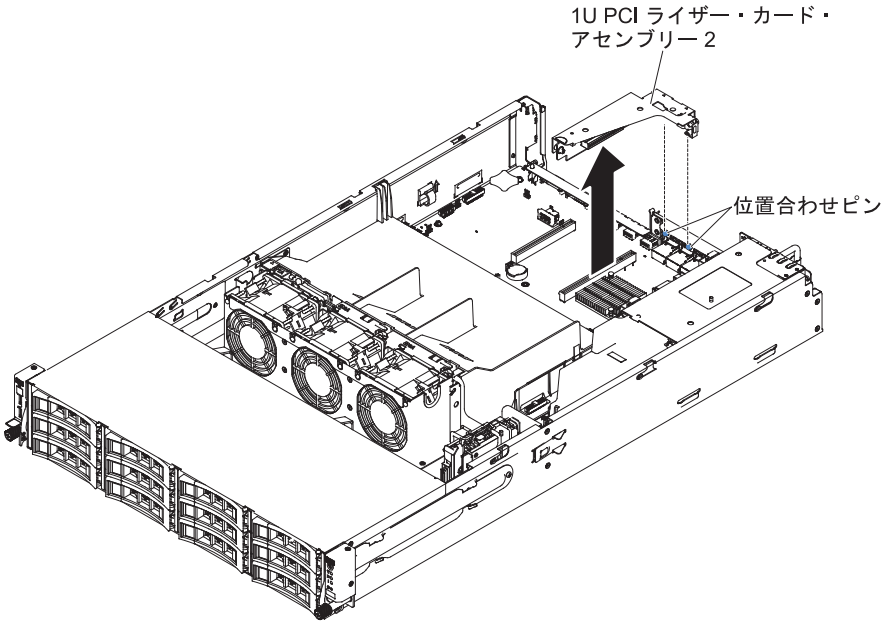


図 117. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の取り外し

7. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリーからアダプターを取り外します。
8. PCI ライザー・カード・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーとすべての周辺装置の電源がオフになっていること、および電源コードとすべての外部ケーブルが切り離されていることを確認します。
3. すべてのアダプターを再取り付けし、他の手順で取り外したすべての内部ケーブルを再接続します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーをシステム・ボード上の PCI ライザー・コネクターおよびサーバーのガイド・ピンと位置合わせし、PCI ライザー・カード・アセンブリーの青色のタッチ・ポイントを押し下げて、アセンブリーをサーバーに取り付けます。PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上の PCI コネクターに完全に収まっていることを確認します。

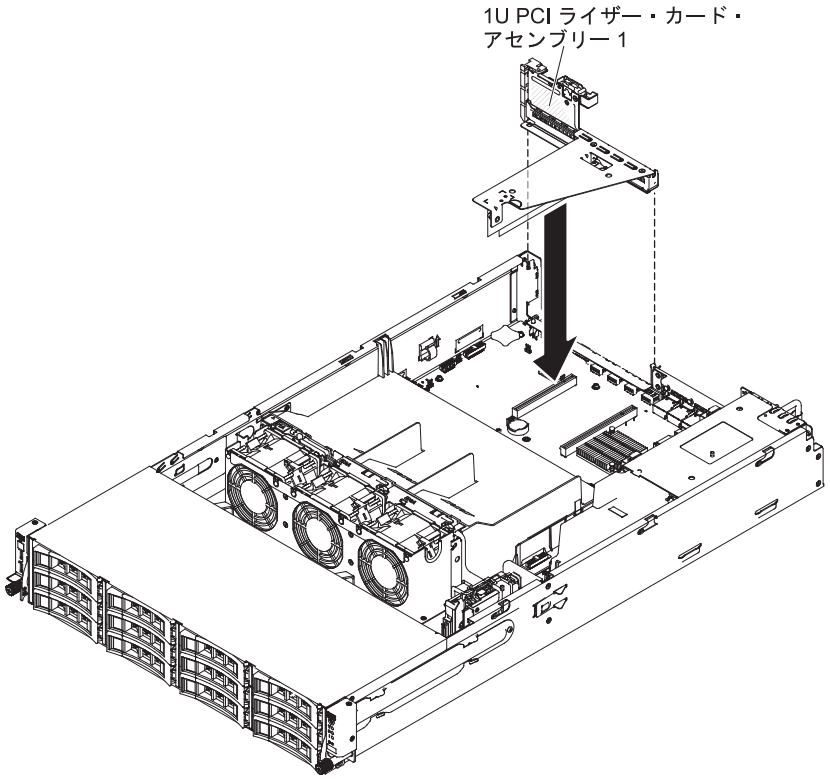


図 118. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 の取り付け

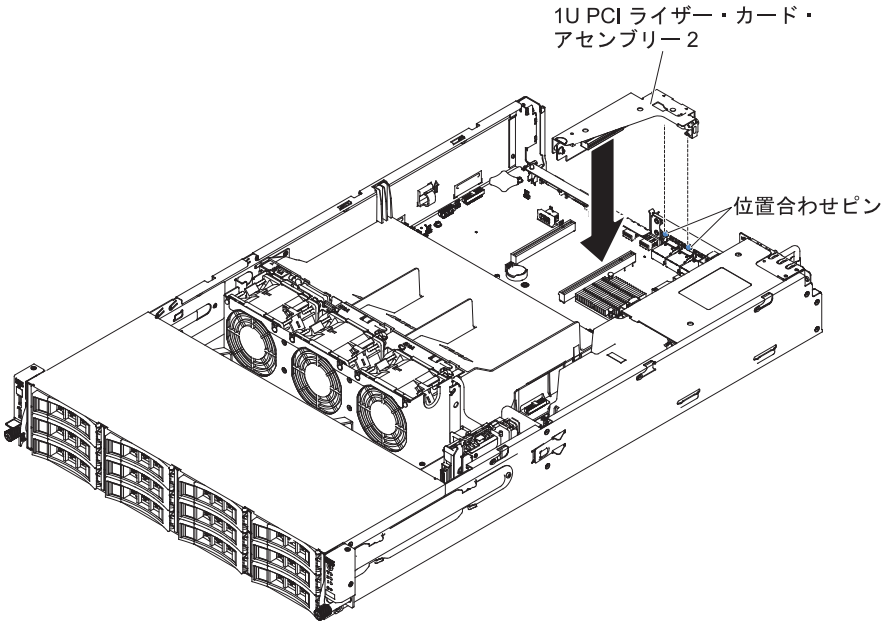


図 119. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 の取り付け

5. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
6. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
7. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。
- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。

- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

  注意:
  リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

  次のことはしないでください。
  - **水に投げ込む、あるいは浸す**
  - **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
  - **修理または分解**

  バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・ボード・バッテリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
3. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
4. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上のバッテリーを見つけます。

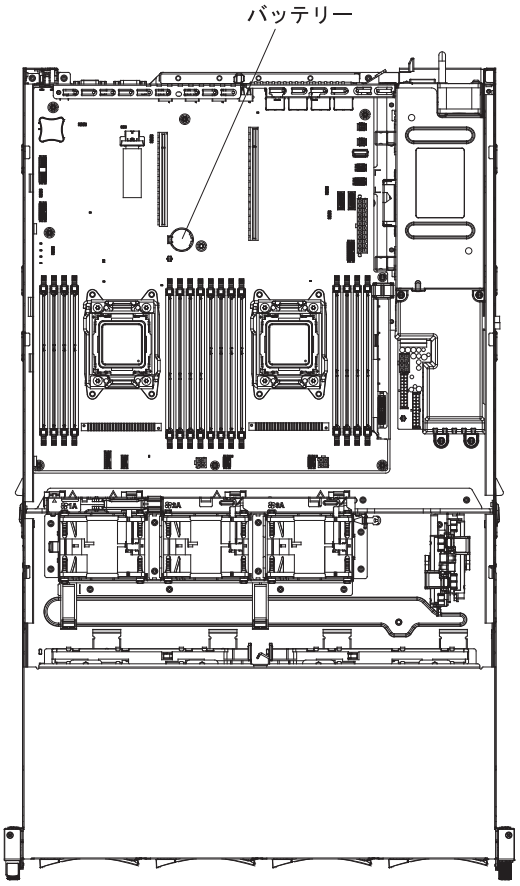
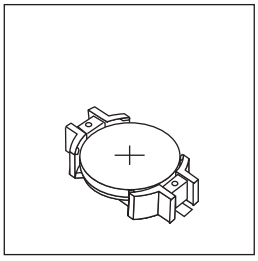
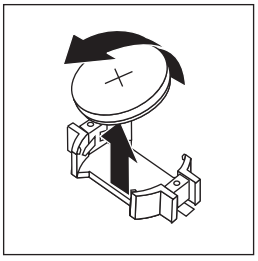


図 120. バッテリーの位置

7. システム・ボード・バッテリーを取り外します。
   a. バッテリーを指で水平方向に押して、ハウジングから引き出します。





   b. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。
8. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、IBM *Documentation* CD の「*IBM Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

システム・バッテリーの再取り付け

システム・バッテリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・ボード・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・ボード・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または IBM販売店にご連絡ください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2



注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・ボード・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

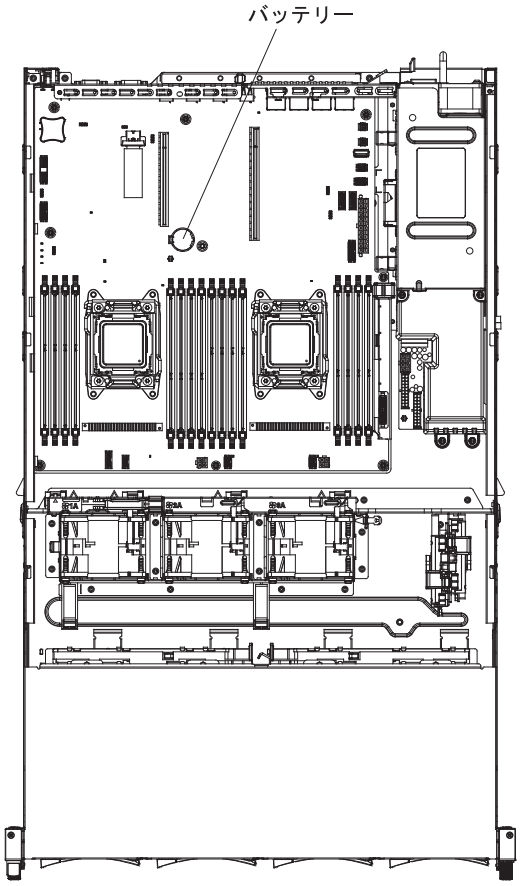
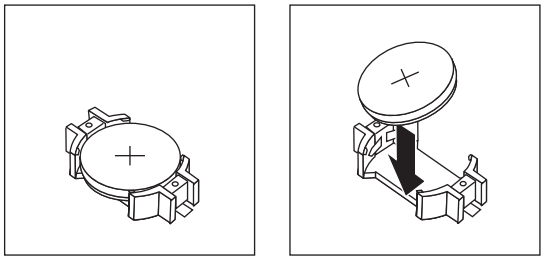


図 121. バッテリーの位置

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
   a. 正 (+) 記号が向こう側になるようにバッテリーを置きます。



   b. バッテリーをソケットに入れ、カチッと音がして所定の位置に収まるまでハウジングの方へ押します。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかりと保持していることを確認します。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
4. カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。

5. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーを給電部に接続した後、約 1 分から 3 分待たないと、電源制御ボタンがアクティブになりません。

6. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
   - システムの日付と時刻を設定します。
   - 始動パスワードを設定します。
   - サーバーを再構成します。

   詳しくは、 101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの取り外し

このタスクについて

サーバーの側面にある前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルを取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. システム・ボードに接続されている前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを取り外します。

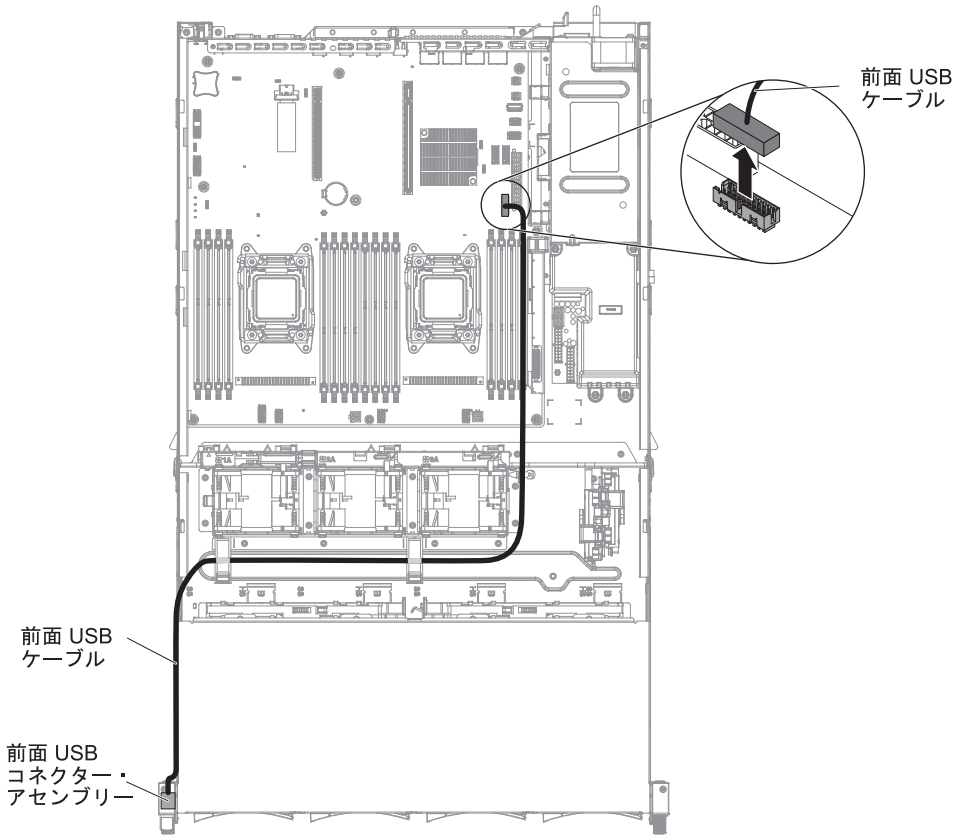


図 122. 前面 USB ケーブルの切り離し

8. ケーブル・アーム・カバーからねじを取り外します。次に、ケーブル・アーム・カバーをサーバーの背面に向けてスライドさせて取り外し、横に置きます。

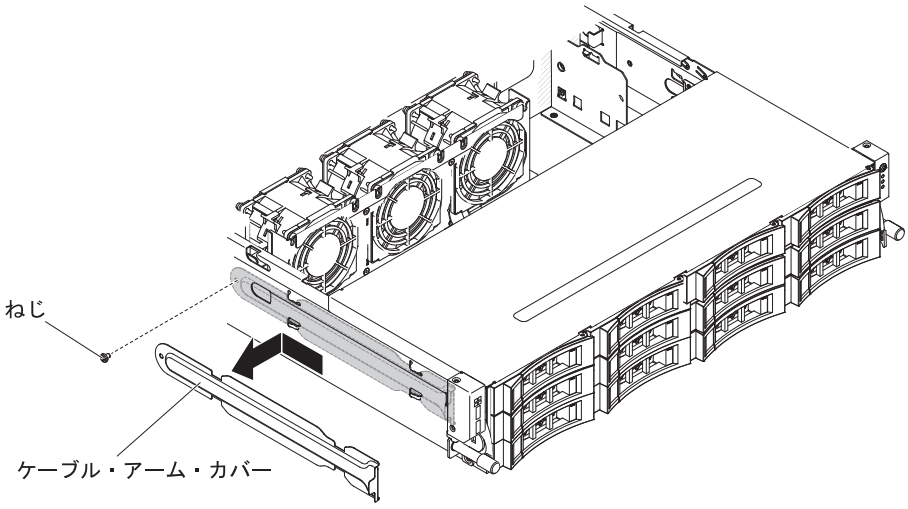


図 123. ねじの取り外し

9. 前面 USB コネクター・アセンブリーからねじを取り外します。

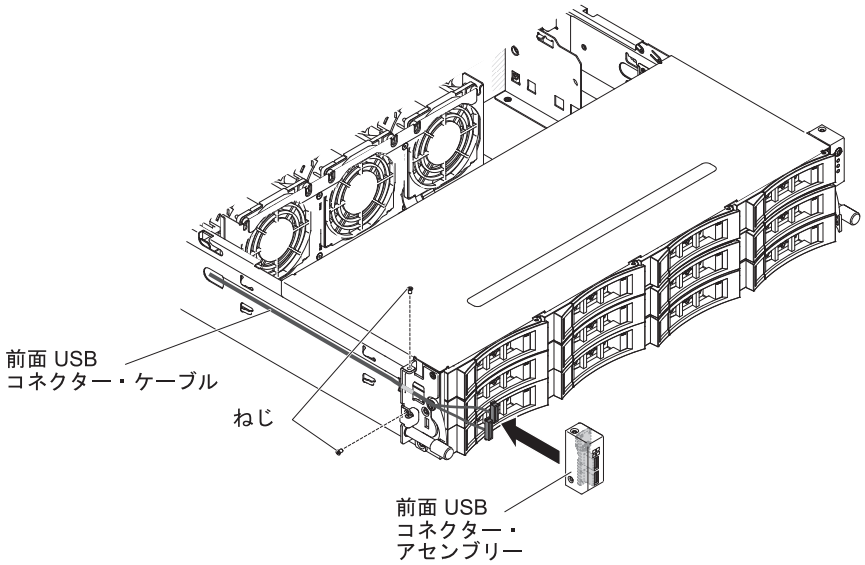


図 124. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

10. 前面 USB コネクター・アセンブリーに接続されているケーブルを外します。
11. 前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルの再取り付け

前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのこの側面にある前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルを取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードに接続し、次の図に示すように、内部ケーブルを配線します。

   重要: 該当のケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

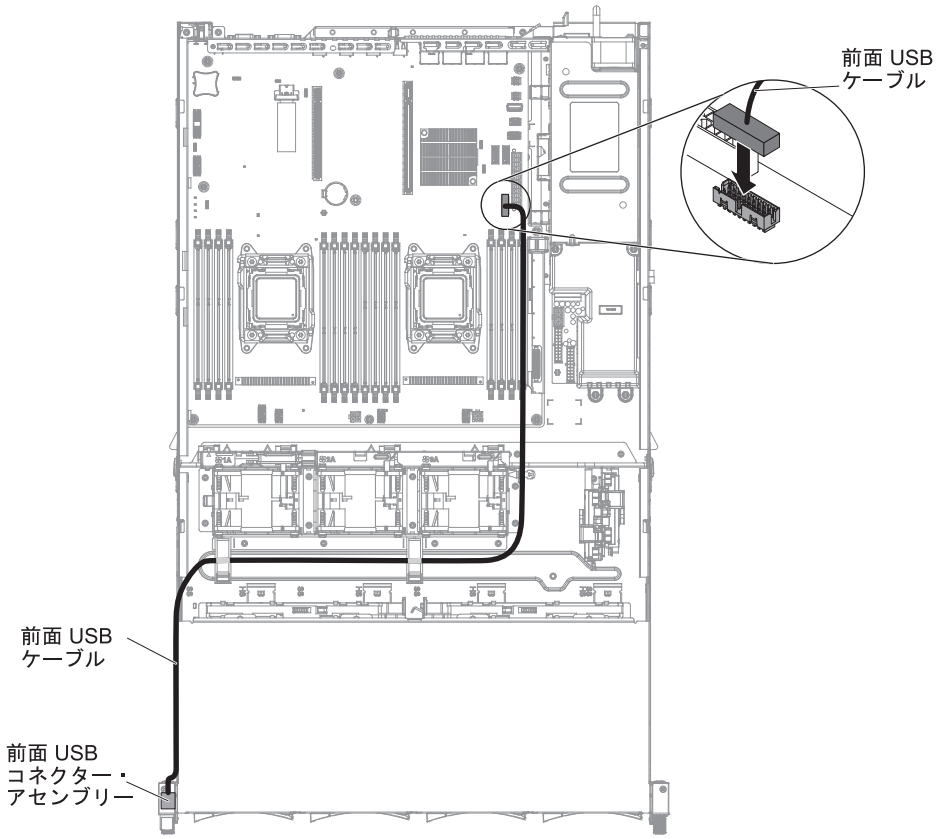
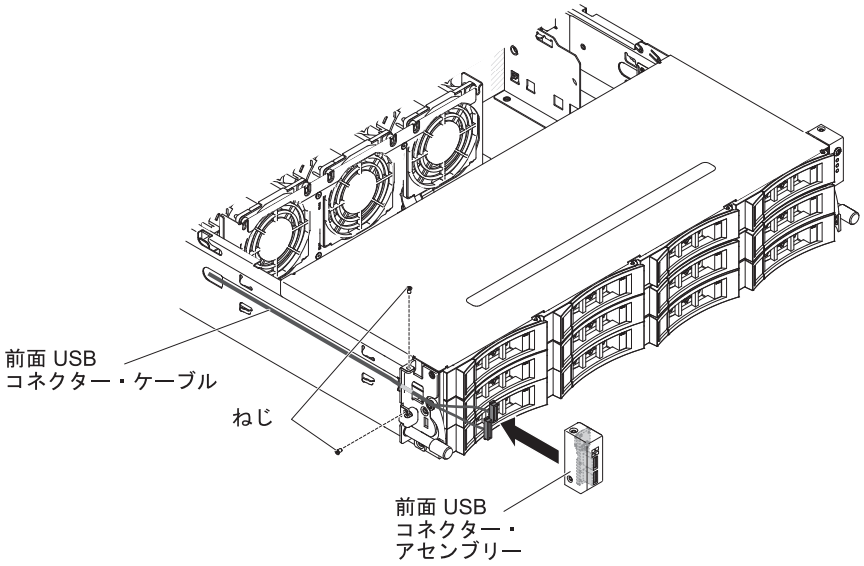


図 125. 前面 USB ケーブルの接続

3. 前面 USB コネクター・アセンブリーにケーブルを再接続します。

図 126. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け



4. 前面 USB コネクター・アセンブリーをサーバーの側面に固定するねじを取り付けます。
5. ケーブル・アーム・カバーをスライドさせて保持スロットに挿入し、ねじを取り付けてシャーシの側面に固定します。

   注: ケーブルはシャーシの外側をルート指定され、システム・ボードに接続されています。ケーブルは、シャーシ側面ではケーブル・カバーで保護する必要があります。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
8. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
9. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーの側面にある前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. ケーブル・アーム・カバーからねじを取り外します。次に、ケーブル・アーム・カバーをサーバーの背面に向けてスライドさせて取り外し、横に置きます。

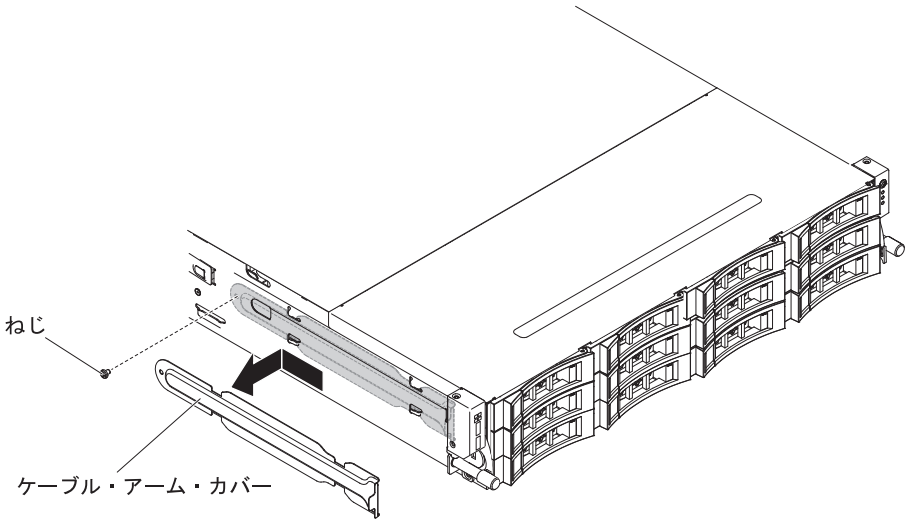


図 127. ねじの取り外し

4. 前面 USB コネクター・アセンブリーをサーバーの側面に固定しているねじを取り外します。
5. 前面 USB コネクター・アセンブリーに接続されているケーブルを外します。

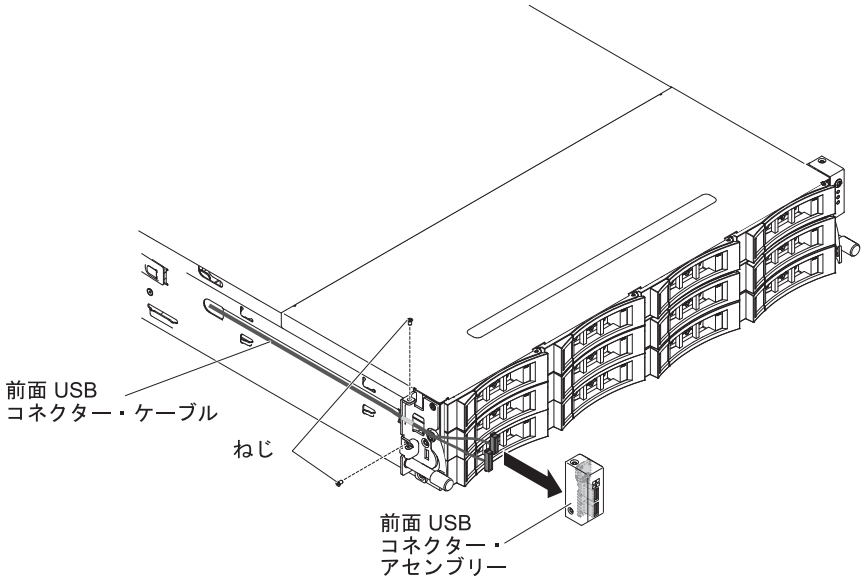


図 128. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

6. 前面 USB コネクター・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

前面 USB コネクター・アセンブリーの再取り付け

前面 USB コネクター・アセンブリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのこの側面にある前面 USB コネクター・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 前面 USB コネクター・アセンブリーの入った帯電防止パッケージを、シャーシの外側の塗装されていない 金属面に接触させます。その後で、前面 USB コネクター・アセンブリーをパッケージから取り出します。
3. 前面 USB コネクター・アセンブリーにケーブルを再接続します。

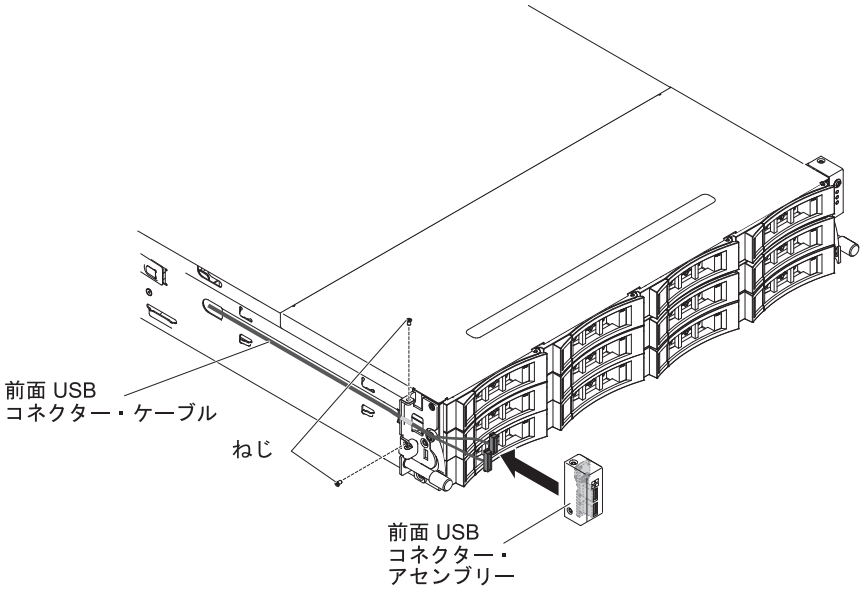


図 129. 前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

4. 前面 USB コネクター・アセンブリーをサーバーの側面に固定するねじを取り付けます。
5. ケーブル・アーム・カバーをサーバーに固定するねじを取り付けます。

   注: ケーブルはシャーシの外側をルート指定され、USB コネクター・ボードに接続されています。ケーブルは、シャーシ側面ではケーブル・カバーで保護する必要があります。
6. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
7. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

上部パワー・サプライ・カードのパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーからの取り外し

上部パワー・サプライ・カードをパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーには、上部パワー・サプライ・パドル・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードが組み込まれています。

上部パワー・サプライ・カードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのカバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. パワー・サプライをサーバーから取り外し、パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーから切り離します。
5. 安全カバー (240VA カバー) をシャーシに固定しているねじを取り外して、安全カバーを取り外します。

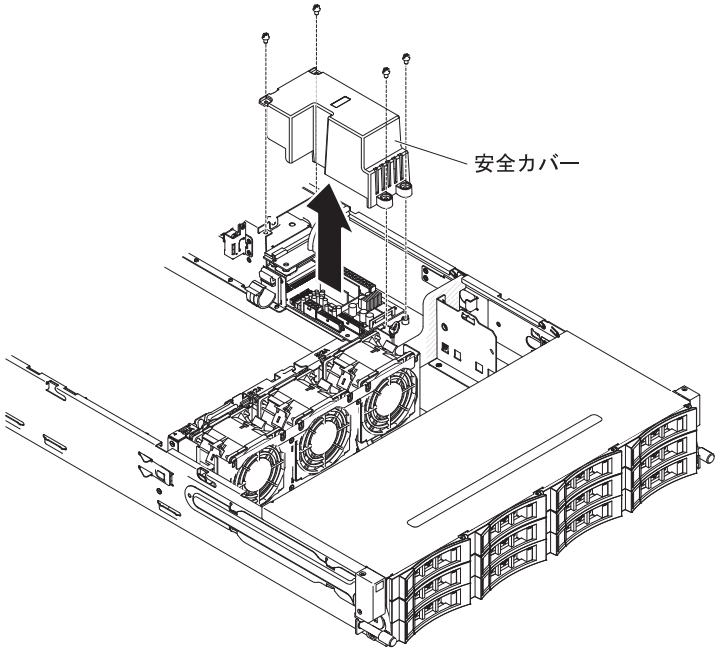


図 130. ねじの取り外し

6. 安全カバーを取り外すと、上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードが見えます。

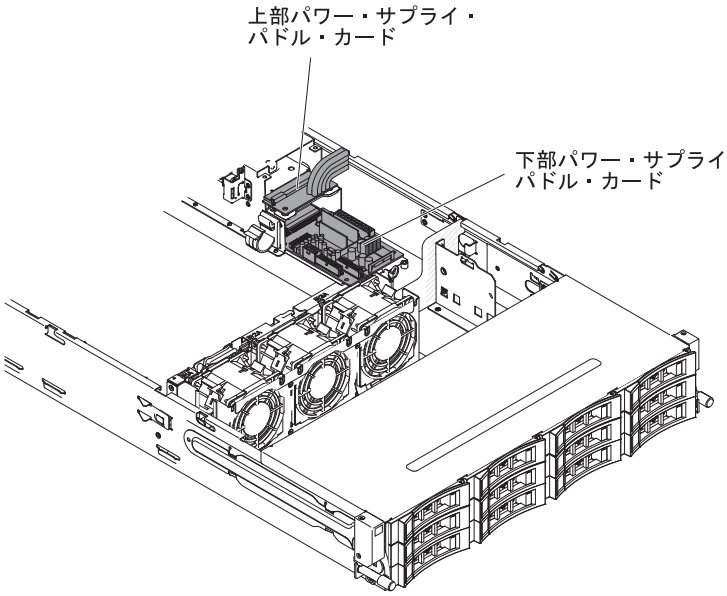


図 131. 上部パワー・サプライ・カードおよび下部パワー・サプライ・パドル・カード

7. 上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・カードの間のケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを取り外します。
8. 上部パワー・サプライ・カードをシャーシに固定しているねじを取り外します。
9. 上部パワー・サプライ・カードを持ち上げて、サーバーから取り出します。

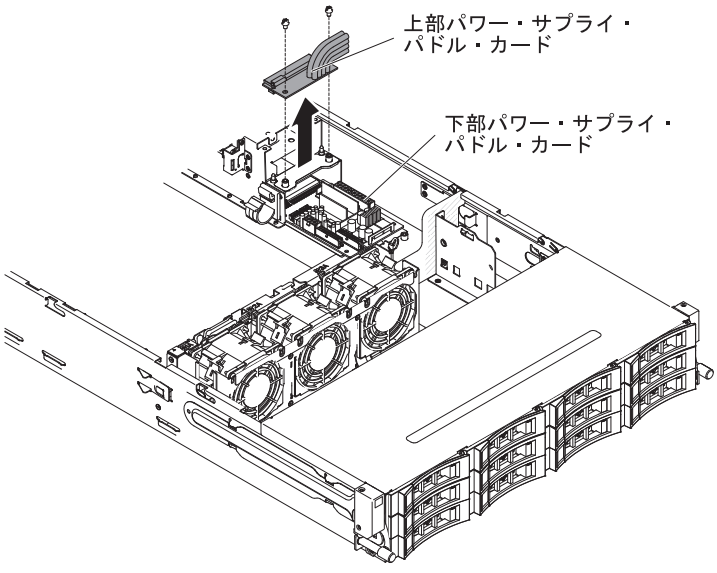


図 132. 上部パワー・サプライ・カードの取り外し

10. 上部パワー・サプライ・カードの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーの上部パワー・サプライ・カードの再取り付け

パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーで上部パワー・サプライ・カードを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

上部パワー・サプライ・カードを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. 上部パワー・サプライ・カードの入った帯電防止パッケージを、シャーシの外側の *塗装されていない* 金属面に接触させます。その後で、上部パワー・サプライ・カードをパッケージから取り出します。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを再取り付けするための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 上部パワー・サプライ・カードの 2 つの先端とホルダーの 2 つのねじ穴を位置合わせし、ねじを取り付けます。

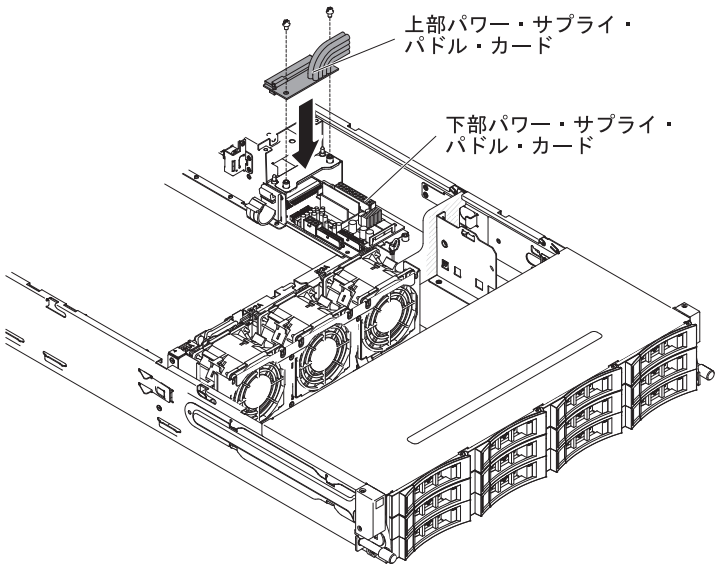


図 133. 上部パワー・サプライ・カードの取り付け

4. 上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードの間のケーブルを再接続します。
5. 安全カバー (240VA カバー) のねじ穴とシャーシのねじ穴を位置合わせして、ねじを取り付けます。
6. 安全カバーを固定するねじを取り付けます。

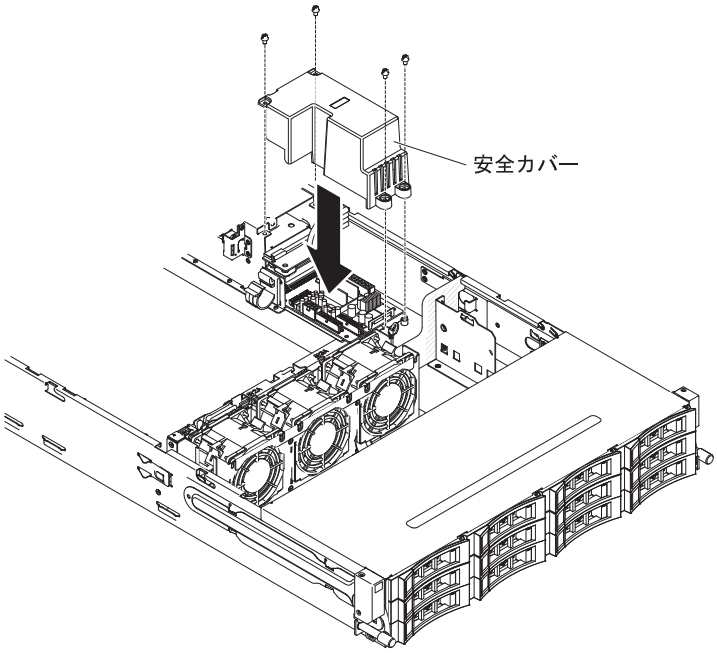


図 134. 安全カバーの取り付け

7. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
8. パワー・サプライを取り付けます。
9. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

下部パワー・サプライ・カードのパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーからの取り外し

下部パワー・サプライ・カードをパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーには、上部パワー・サプライ・パドル・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードが組み込まれています。

下部パワー・サプライ・カードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。

4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (40 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. パワー・サプライをサーバーから取り外し、パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーから切り離します。
8. 安全カバー (240VA カバー) をシャーシに固定しているねじを取り外して、安全カバーを取り外します。

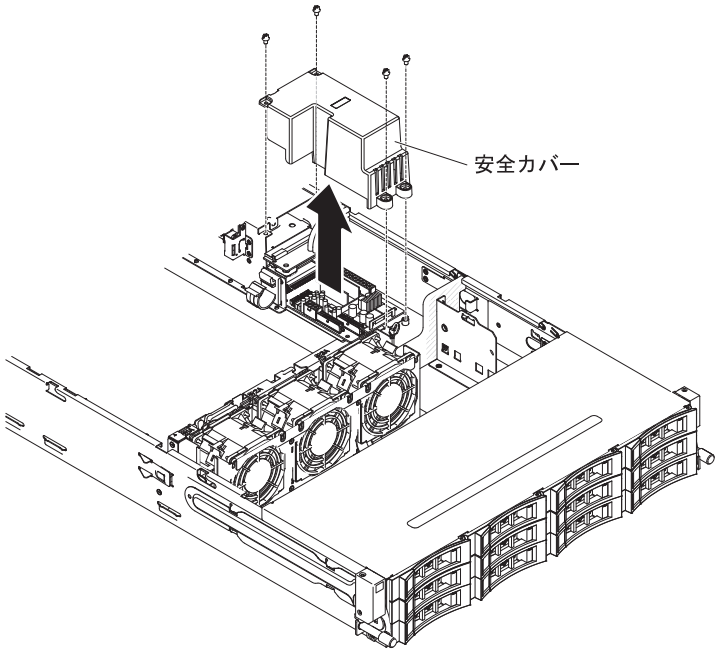


図 135. ねじの取り外し

9. 安全カバーを取り外すと、上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードが見えます。

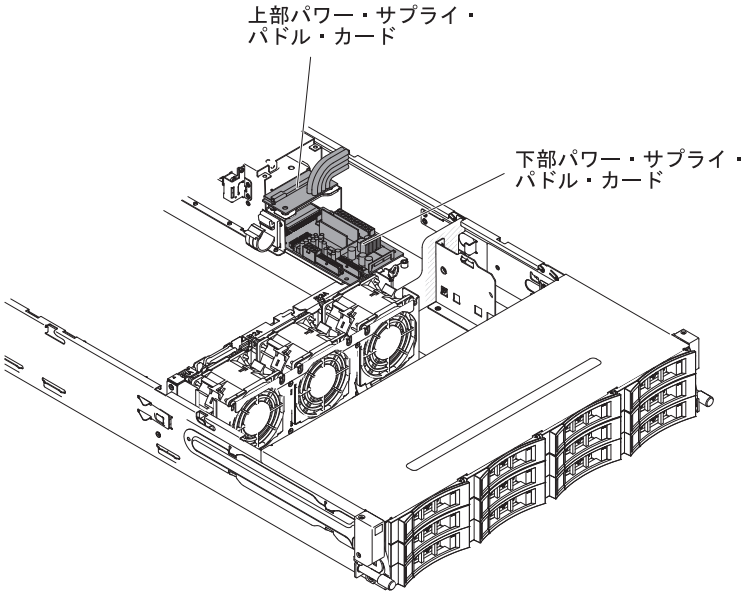
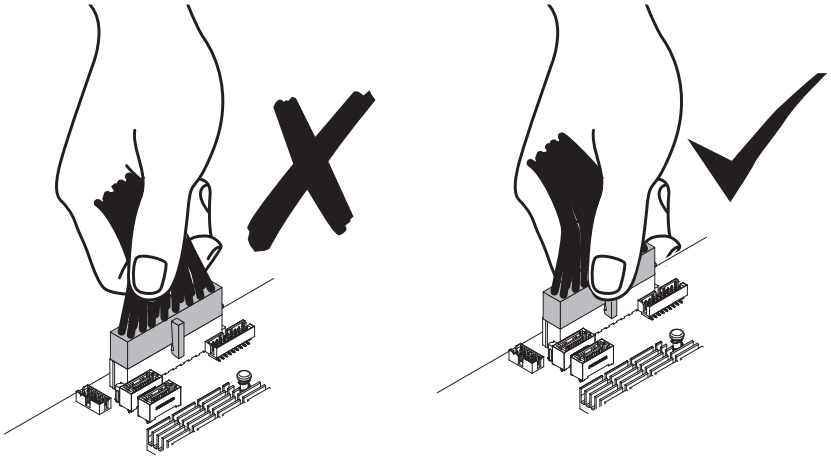


図 136. 上部パワー・サプライ・カードおよび下部パワー・サプライ・パドル・カード

10. 上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・カードの間のケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを取り外します。
11. 下部パワー・サプライ・パドル・カードに接続されているケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを取り外します。
12. 下部パワー・サプライ・カードとシステム・ボードの間のケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルをシステムから取り外します。

    重要: 電源ケーブル・コネクターをシステム・ボードから切断するときは、ワイヤー部分をつかまないでください。コネクターの中央をつかんで、システム・ボードから電源ケーブル・コネクターを垂直に取り外してください。



13. 下部パワー・サプライ・カードをシャーシに固定しているねじを取り外します。
14. 下部パワー・サプライ・カードを持ち上げて、サーバーから取り出します。

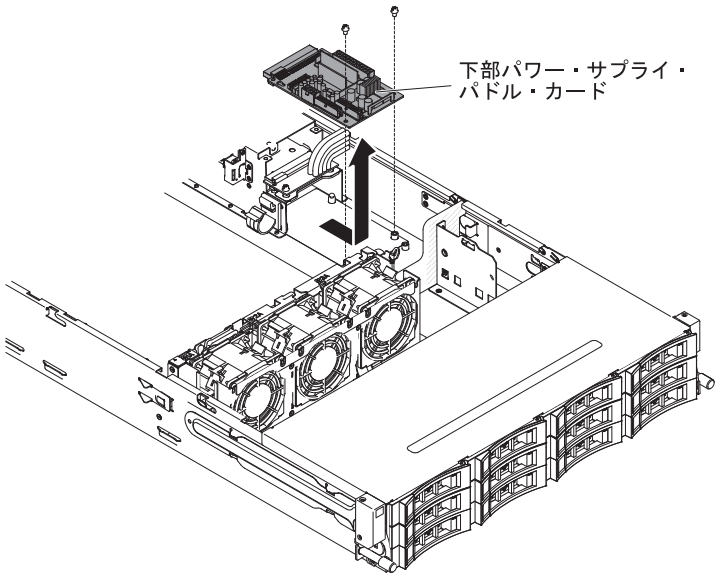


図 137. 下部パワー・サプライ・カードの取り外し

15. パワー・サプライ・パドル・カードの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーの下部パワー・サプライ・カードの再取り付け

パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーで下部パワー・サプライ・カードを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

下部パワー・サプライ・カードを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. パワー・サプライ・パドル・カードの入った帯電防止パッケージを、シャーシの外側の塗装されていない 金属面に接触させます。その後で、パワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーをパッケージから取り出します。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを再取り付けするための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 下部パワー・サプライ・カードをシャーシの止め金具の上に置き、下部パワー・サプライ・カードの背面の 2 つの穴とシャーシの 2 つのねじ穴を位置合わせして、ねじを取り付けます。取り付けを容易にするために、下部パワー・サプライ・パドル・カードを少し傾ける必要がある場合があります。

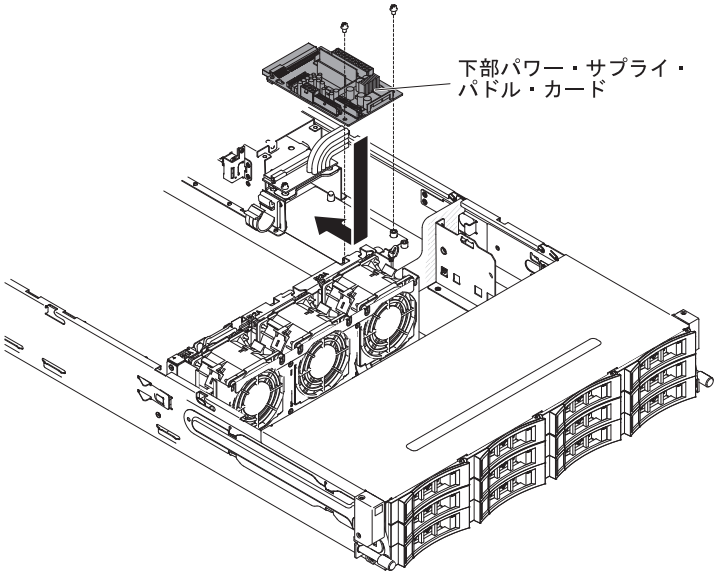


図 138. 下部パワー・サプライ・カードの取り付け

4. 上部パワー・サプライ・カードと下部パワー・サプライ・パドル・カードの間のケーブルを再接続します。
5. 安全カバー (240VA カバー) のねじ穴とシャーシのねじ穴を位置合わせして、安全カバーを固定するねじを取り付けます。

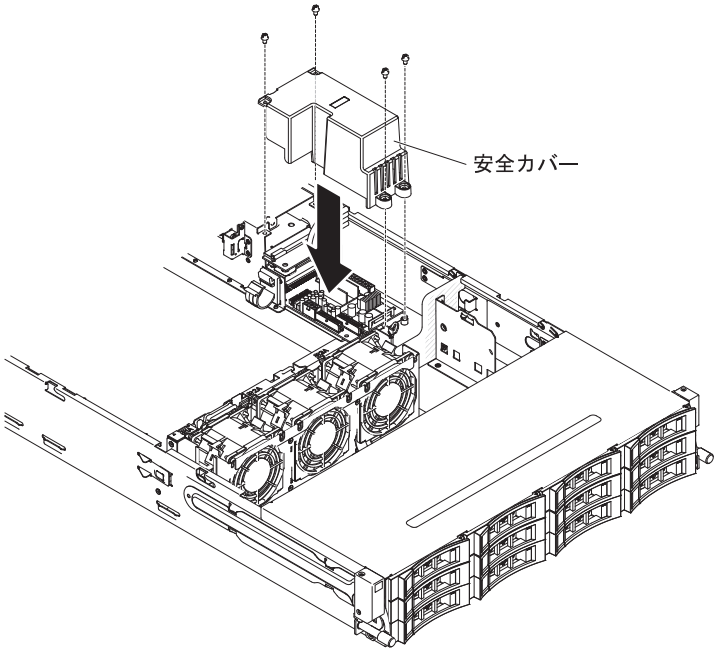
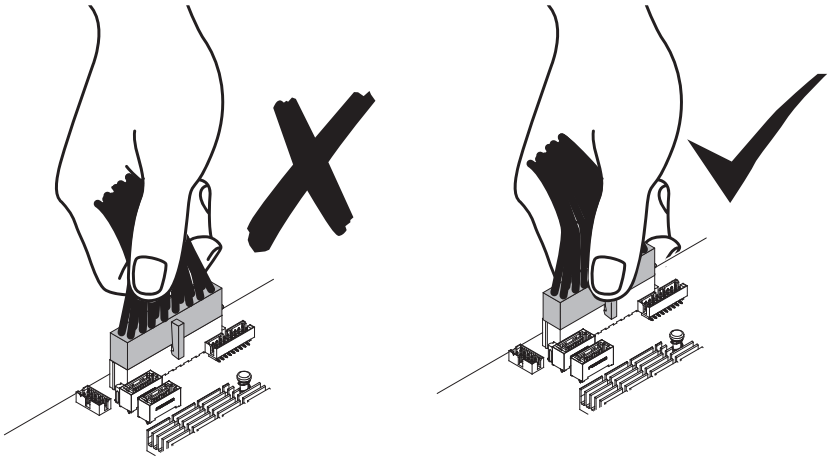


図 139. ねじの取り付け

6. 下部パワー・サプライ・パドル・カードから取り外したケーブルをすべて再接続します。
7. 下部パワー・サプライ・パドル・カードのケーブルをシステム・ボードに再接続します。詳しくは、内部ケーブルの配線セクション (186 ページの『内部ケーブルのルーティング』) を参照してください。

重要: 電源ケーブル・コネクターをシステム・ボードに再接続するときは、ワイヤー部分をつかまないでください。コネクターの中央をつかんで、システム・ボードに電源ケーブル・コネクターを垂直に挿入してください。



8. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
10. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
11. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
12. パワー・サプライを取り付けます。
13. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. ドライブまたはフィラー・パネルをサーバーから少しだけ引き出して、バックプレーン・アセンブリーから離します。
4. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
5. ファン・ケージの裏側の 2 つのケーブル保持クリップを開いて、ケーブル配線を解放します。

   注: 詳しくは、内部ケーブルの配線セクション (186 ページの『内部ケーブルのルーティング』) を参照してください。

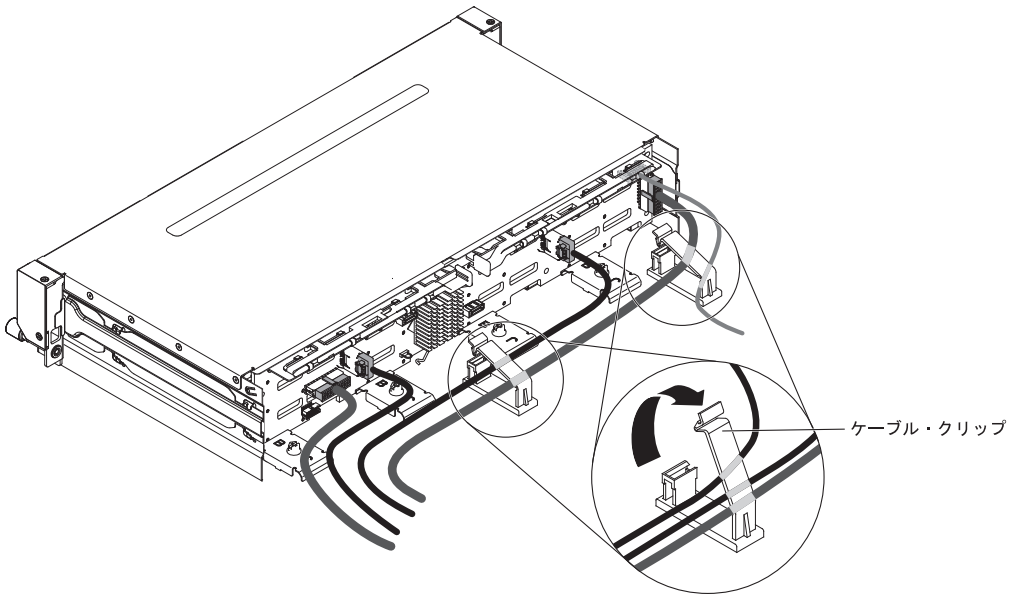


図 140. ケーブル・クリップ

6. リリース・ラッチを押し、バックプレーンの上部を外側に回転させます。次にバックプレーンを少し持ち上げ、外側に引いてサーバーから取り外します。

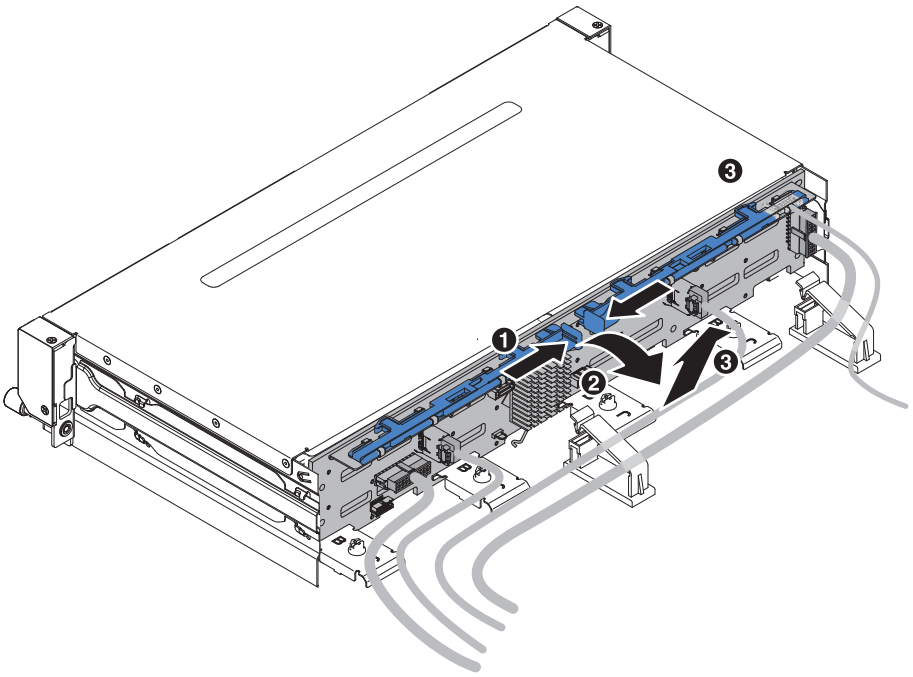


図 141. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

7. 電源ケーブルおよび信号ケーブルのバックプレーンへの接続位置を書き留めてから、ケーブルを取り外します。

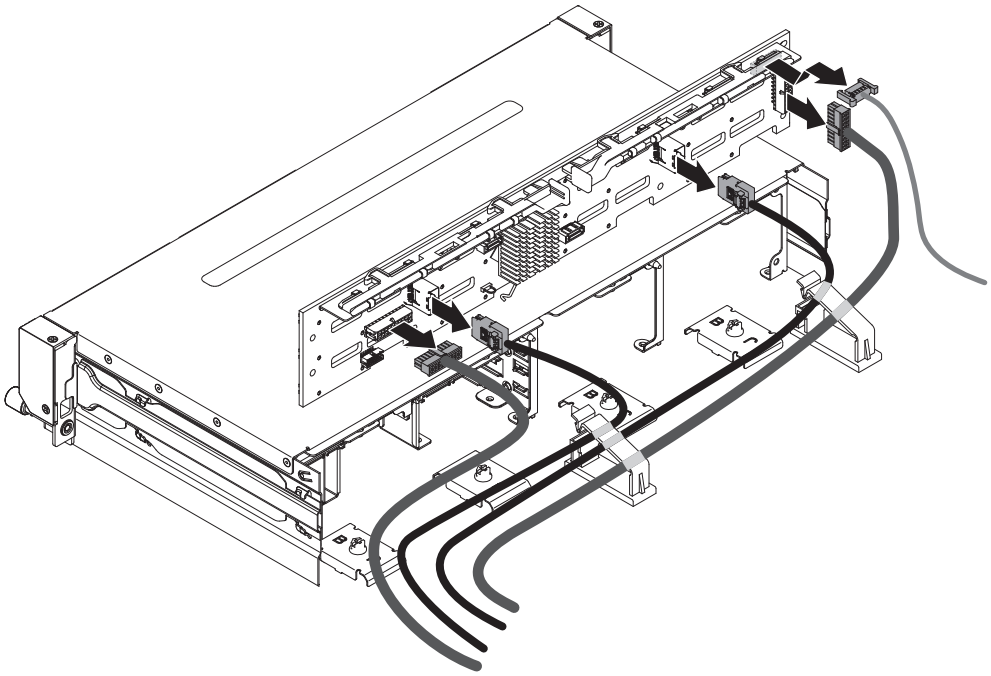


図 142. 電源ケーブルおよび信号ケーブル

8. バックプレーンをサーバーから取り外します。

9. バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの再取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. バックプレーンから取り外した電源ケーブルおよび信号ケーブルを再接続します。

   注:

   a. ハードウェア ServeRAID またはシステム・ボードのポート 1 が、バックプレーンのポート 1 に接続されるようにします。同様に、ハードウェア ServeRAID またはシステム・ボードのポート 0 がバックプレーンのポート 0 に接続されている必要があります。

   b. 詳しくは、内部ケーブルの配線セクション (186 ページの『内部ケーブルのルーティング』) を参照してください。

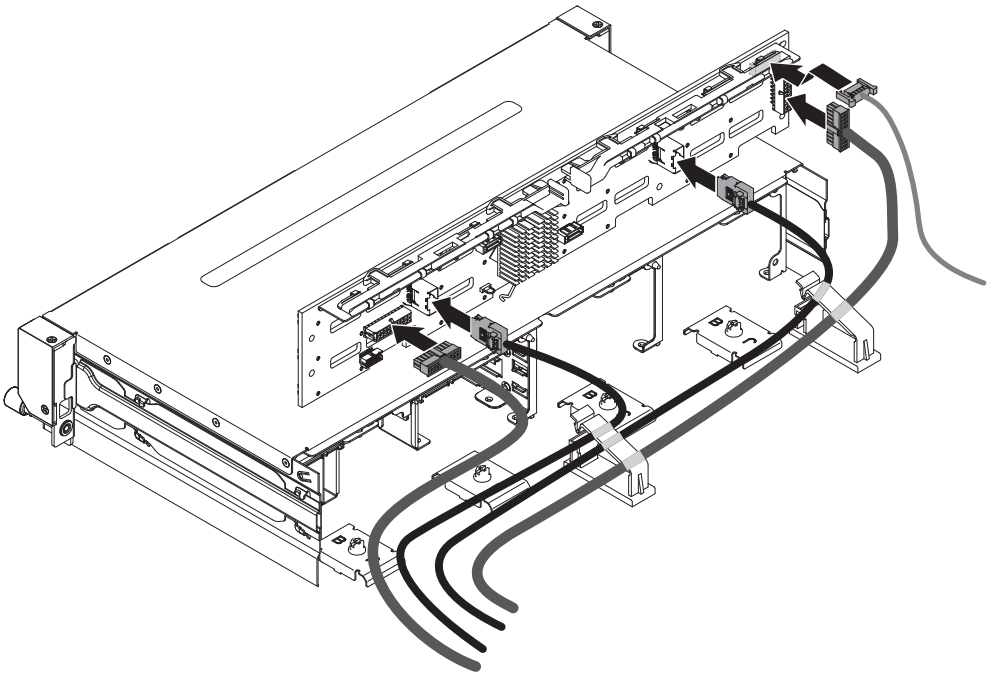


図 143. 電源ケーブルおよび信号ケーブル

3. バックプレーンをシャーシ上のスロットと位置合わせします。
4. バックプレーンを下げて、サーバーに収めます。バックプレーン・コネクターが損傷を受けないように、バックプレーンに仰角を残しておきます。位置決めプレートによって、バックプレーン下部がしっかり固定されていることを確認します。
5. リリース・ラッチを押します。次に、所定の位置に固定されるまでバックプレーン上部をサーバー前面に向かって回転させます。

   注: 位置決めプレートによってバックプレーンが所定の位置に固定されていること、およびサーバーにしっかり取り付けられていることを確認します。

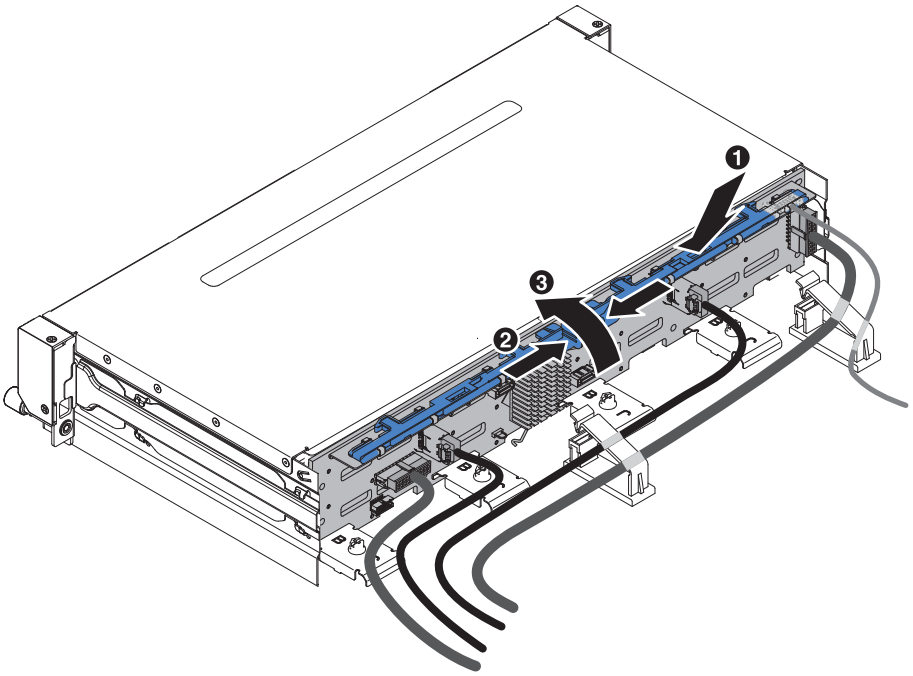


図 144. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

6. ファン・ケージの裏側の 2 つのケーブル保持クリップを閉じて、ケーブル配線を固定します。
7. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
8. ケーブル配線を 2 つのケーブル・クリップに挿入し、ケーブル・クリップをしっかり留めます。
9. ドライブまたはフィラー・パネルを再取り付けします。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

背面ハード・ディスク・ケージにあるホット・スワップ・バックプレーンの取り外し

背面ハード・ディスク・ケージにあるホット・スワップ・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の図は、2 つの異なるタイプのホット・スワップ・バックプレーンについて示しています。

- タイプ 1 - SATA

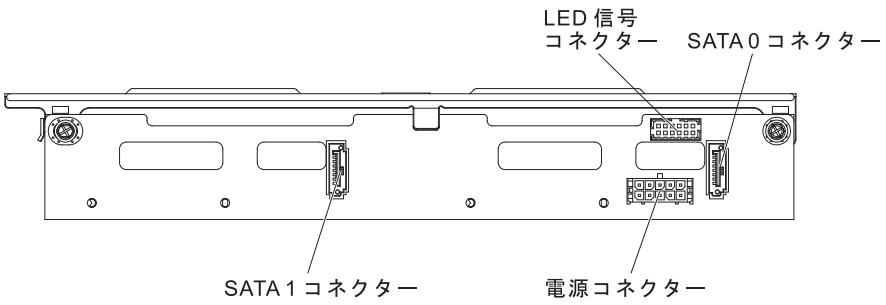


図 145. タイプ 1 - SATA

- タイプ 2 - SAS

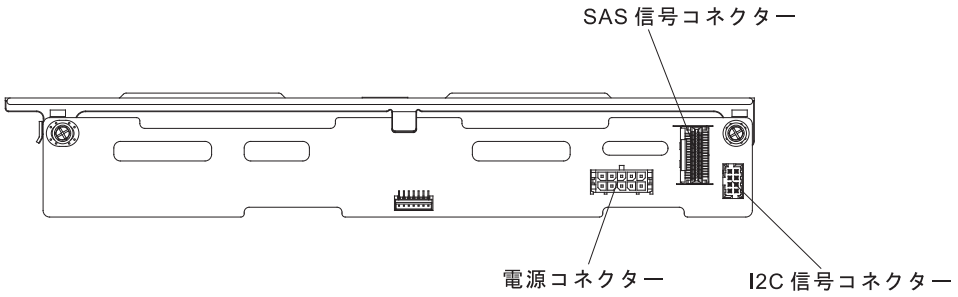


図 146. タイプ 2 - SAS

背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。

3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (38 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. 背面ハード・ディスク・ケージからホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (189 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. バックプレーンを持ち上げて、背面ハード・ディスク・ケージから取り外します。

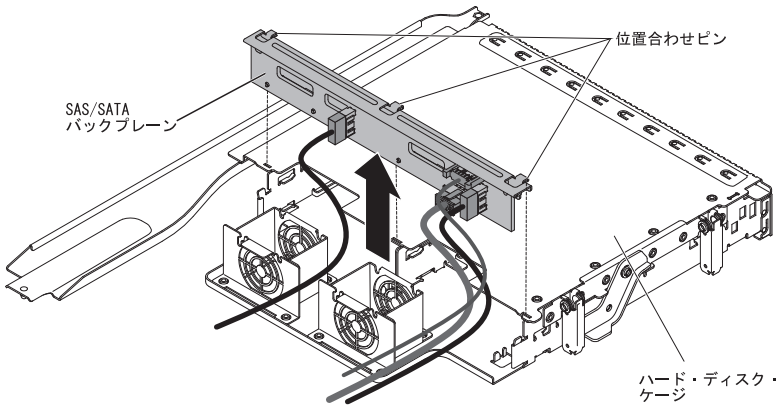


図 147. ホット・スワップ・バックプレーンの取り外し

6. ケーブルを切り離します。
   - タイプ 1 - SATA
     - LED 信号ケーブル、SATA 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンから取り外します。どのケーブルがどのコネクターに接続されているかを書き留めてください。

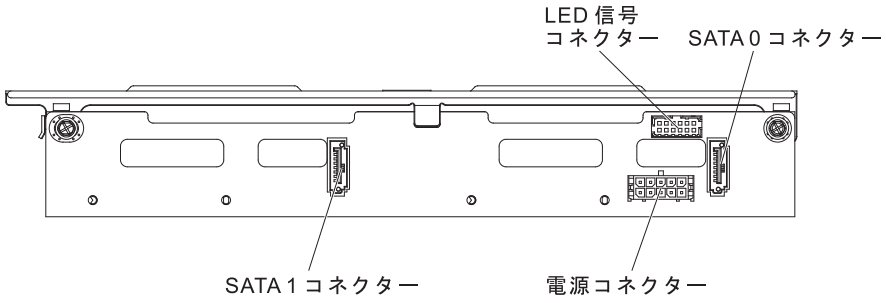


図 148. タイプ 1 - SATA

   - タイプ 2 - SAS
     - I^2C 信号ケーブル、SAS 信号ケーブル、および電源ケーブルをバックプレーンから取り外します。どのケーブルがどのコネクターに接続されているかを書き留めてください。

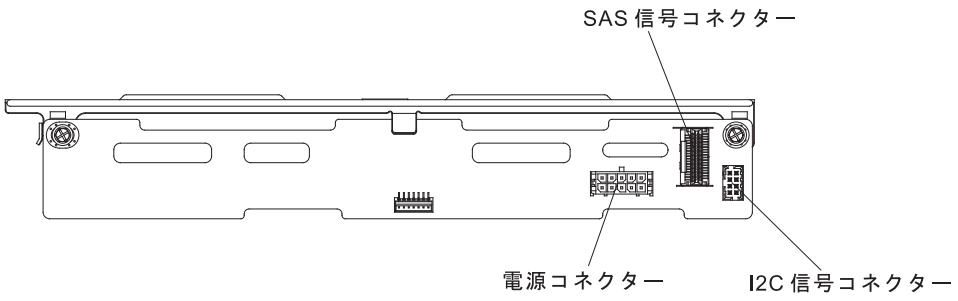


図 149. タイプ 2 - SAS

7. バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

背面ハード・ディスク・ケージのホット・スワップ・バックプレーンの再取り付け

背面ハード・ディスク・ケージにあるホット・スワップ・バックプレーンを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の図は、2 つの異なるタイプのホット・スワップ・バックプレーンについて示しています。

- タイプ 1 - SATA

  重要: マスター/スレーブ接続を行うには、このバックプレーンを前面バックプレーンとカスケードする必要があります。

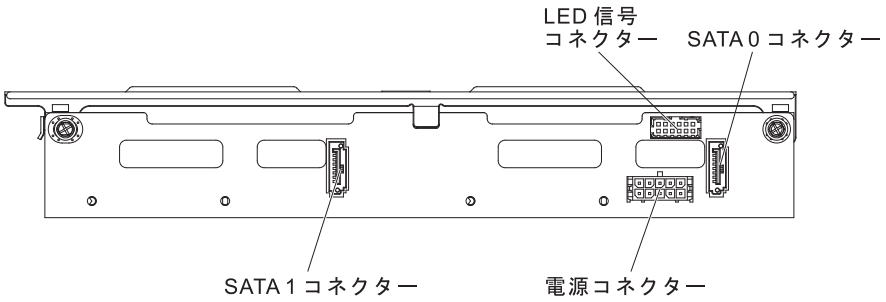


図 150. タイプ 1 - SATA

- タイプ 2 - SAS

  注: このバックプレーンは、独立して構成することができます (前面バックプレーンとのカスケードは不要です)

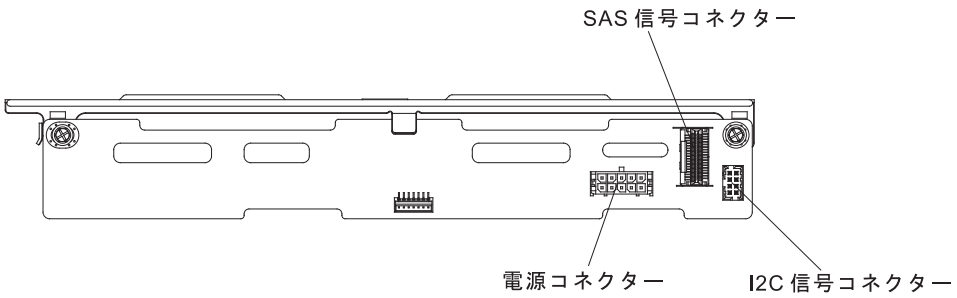


図 151. タイプ 2 - SAS

背面ハード・ディスク・ケージの交換用ホット・スワップ・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ケーブルを再接続します。
   - タイプ 1 - SATA
     - LED 信号ケーブル、SATA 信号ケーブル、および電源ケーブルを再接続します。

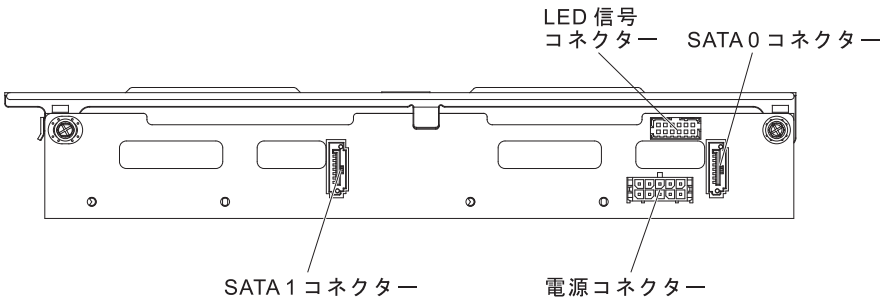


図 152. タイプ 1 - SATA

   - タイプ 2 - SAS
     - I^2C 信号ケーブル、SAS 信号ケーブル、および電源ケーブルを再接続します。

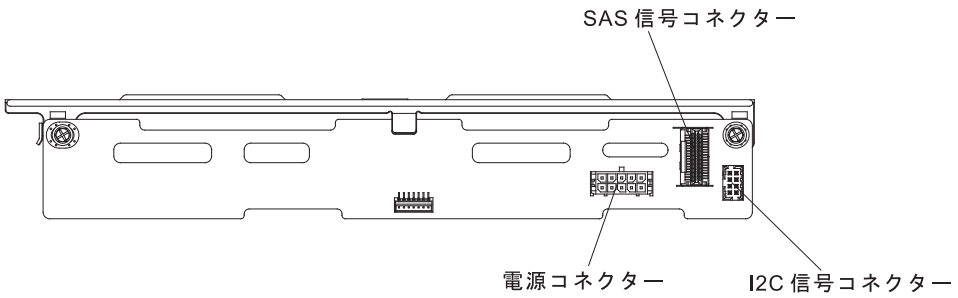


図 153. タイプ 2 - SAS

3. バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージのスロットと位置合わせします。
4. バックプレーンを背面ハード・ディスク・ケージに下ろします。 3 つの位置合わせピンがハード・ディスク・ケージ上の 3 つの穴としっかりかみ合っていることを確認します。

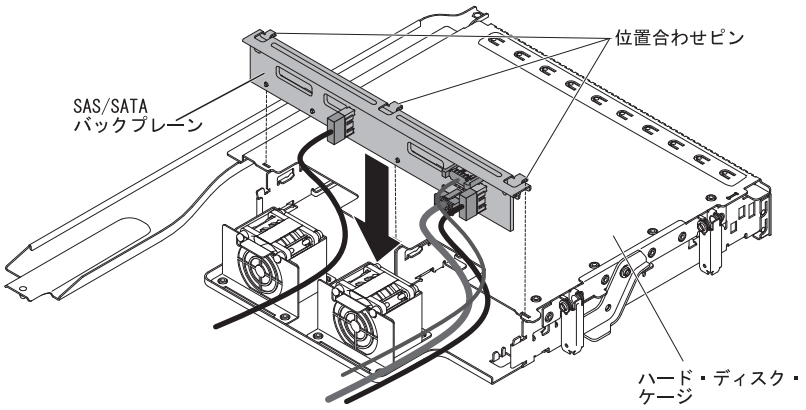


図 154. バックプレーンの取り付け

5. バックプレーンとサーバー間での適切なケーブル接続方法については、 195 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの再取り付け』を参照してください。
6. ホット・スワップ・ハード・ディスクを背面ハード・ディスク・ケージに取り付けます (190 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの再取り付け』を参照)。
7. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
8. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- マイクロプロセッサーの取り外しは、トレーニングを受けた技術員のみが行うものとします。
- ソケット上のピンは壊れやすいので特に注意してください。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。
- マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーの取り外しおよび取り付けを行う際は、新しいマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー・ツールを使用しないと、ソケットのピンが損傷するおそれがあります。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。 どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

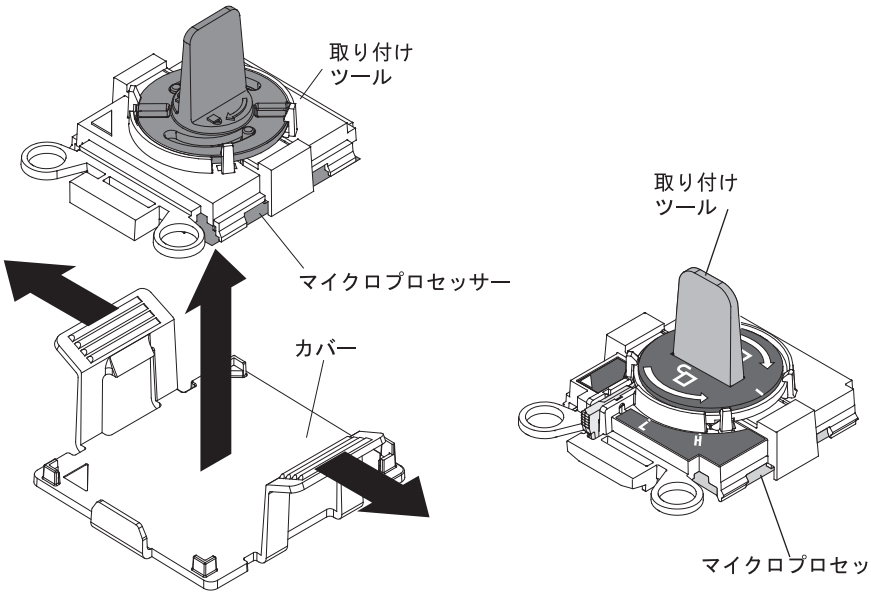


図 155. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ヒートシンクとマイクロプロセッサーへのアクセスの邪魔になるすべてのケーブルを取り外します。
8. マイクロプロセッサー 1 を取り外す場合は、DIMM コネクター 4 および 5 からメモリー・モジュールを取り外します。マイクロプロセッサー 2 を取り外す場合は、DIMM コネクター 12 および 13 からメモリー・モジュールを取り外します。手順については、 211 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照してください。

9. ヒートシンクを取り外します。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

   a. マイクロプロセッサー保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。

      注: ねじを緩める場合は、プラス・ドライバー No.0 を使用してください。

   b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。ヒートシンクがマイクロプロセッサーに張り付いている場合は、ヒートシンクを少し前後にひねって引き離します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

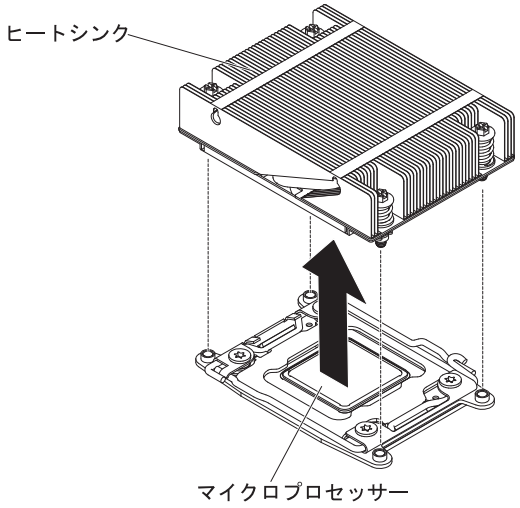


図 156. ヒートシンクの取り外し

10. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

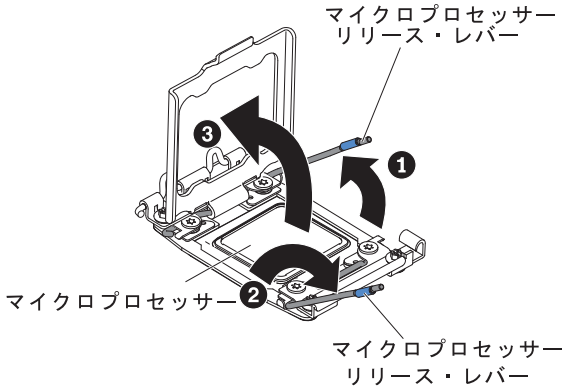


図 157. マイクロプロセッサー・リリース・レバーおよびマイクロプロセッサー・ブラケット・フレーム

a. どちらのリリース・レバーが最初のリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認します。次に、マイクロプロセッサー・リリース・レバーの端を押し下げ、水平に動かして、オープン (上方) 位置までリリース・レバー解放します。

b. マイクロプロセッサー・ソケット上の 2 つ目のリリース・レバーを開きます。

c. 上端にあるタブを持ち上げて、マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを開きます。 ブラケット・フレームを開いた位置のままにします。

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

11. マイクロプロセッサーをソケットから取り外します。

a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。取り付けツールのハンドルが開いた位置になっていない場合は、ご使用の取り付けツールに以下の手順を使用します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させます。

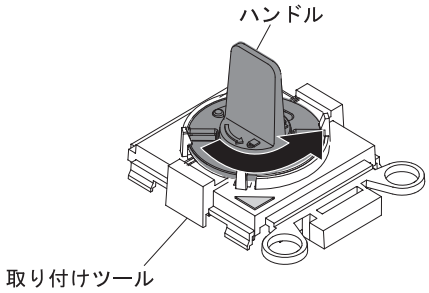


図 158. 取り付けツール・ハンドルの調整

- 取り付けツール B を使用している場合は、インターロック・ラッチを持ち上げたまま **1** 、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させてから **2** 、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサーのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

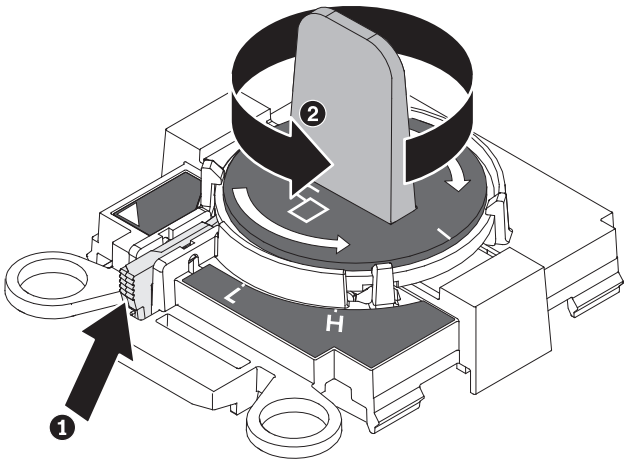


図 159. 取り付けツール・ハンドルの調整

b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサーの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。

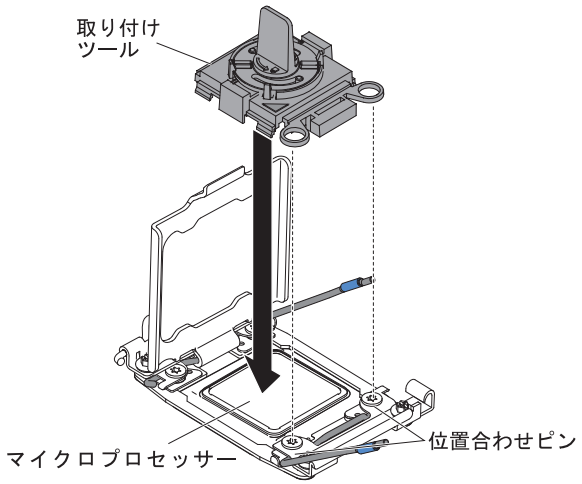


図 160. 取り付けツールの位置合わせ

c. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り外します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、ハンドルを右回りに閉鎖位置までゆっくりと回転させ、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツールのハンドルをゆっくり右回りに回転させ、マイクロプロセッサーのサイズに応じて『H』 または 『L』 の位置にロックさせます。その後、マイクロプロセッサーを持ちあげてソケットから抜きます。

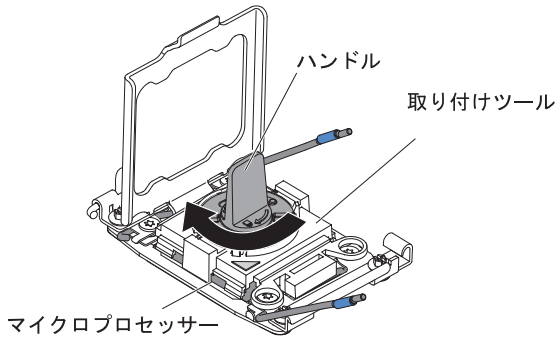


図 161. 取り付けツール・ハンドルの調整

d. マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。

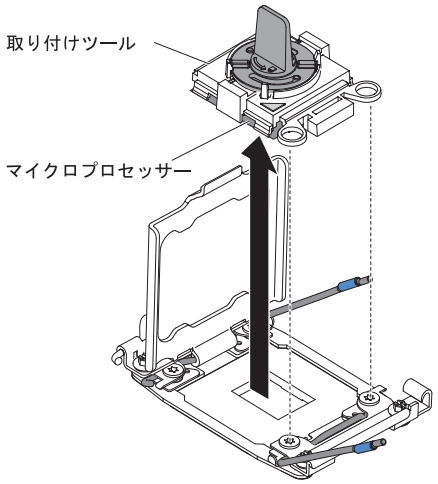


図 162. 取り付けツールの取り外し

12. マイクロプロセッサーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。 マイクロプロセッサー取り付けツールは返却しないでください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

重要:

- 始動 (ブート) マイクロプロセッサーは、必ずシステム・ボードのマイクロプロセッサー・コネクター 1 に取り付ける必要があります。
- 適切なサーバーの運用を保証するために、互換性のあるマイクロプロセッサーを使用し、マイクロプロセッサー 2 用の追加の DIMM を取り付けていることを確認してください。互換性のあるマイクロプロセッサーは、QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラー周波数、コア周波数、電源セグメント、キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じです。
- このサーバーでは異なるステッピング・レベルのマイクロプロセッサーはサポートされます。異なるステッピング・レベルのマイクロプロセッサーを取り付ける場合、マイクロプロセッサー・コネクター 1 あるいは 2 にどちらのマイクロプロセッサーを取り付けても問題ありません。
- いったん取り外したマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサーは、必ず元のヒートシンクまたは新しい交換用ヒートシンクと組み合わせて使用してください。他のマイクロプロセッサーからのヒートシンクを再利用しないでください。熱伝導グリースの分布が異なり、導電性が劣化することがあります。
- 新規のヒートシンクを取り付ける場合は、新規ヒートシンクの底面に付いている熱伝導材から保護バッキングを取り外します。
- 熱伝導グリースが付属していない新規ヒートシンク・アセンブリーを取り付ける場合、熱伝導グリースの塗布方法については、81 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。
- 汚れた熱伝導グリースの付いたヒートシンクを取り付ける場合、熱伝導グリースの交換方法については、81 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

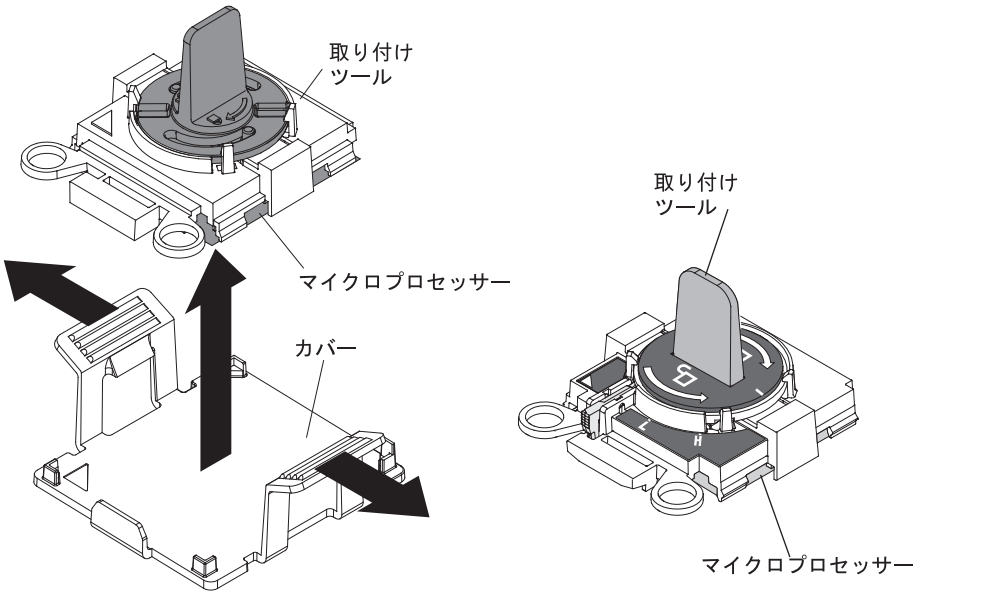


図 163. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、以下の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

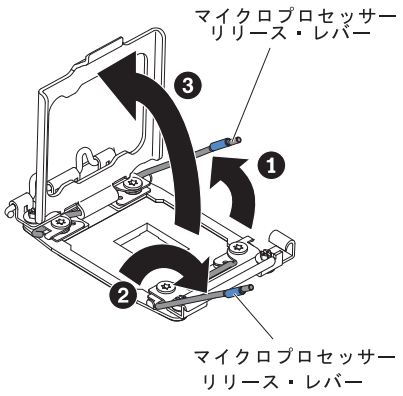


図 164. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

a. どちらのリリース・レバーが最初のリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認します。次に、マイクロプロセッサー・リリース・レバーの端を押し下げ、水平に動かして、オープン (上方) 位置までリリース・レバー解放します。

b. マイクロプロセッサー・ソケット上の 2 つ目のリリース・レバーを開きます。

c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触れないでください。

3. 次のように、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。

a. 新規のマイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサーを慎重にパッケージから取り出します。

b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

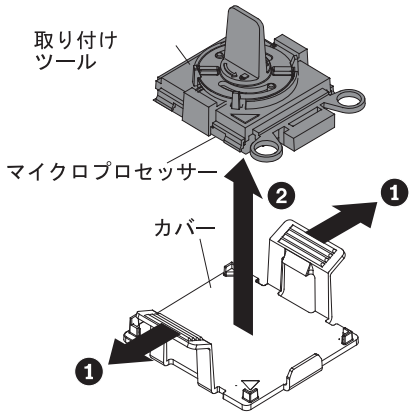


図 165. 取り付けツール・カバーの取り外し

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

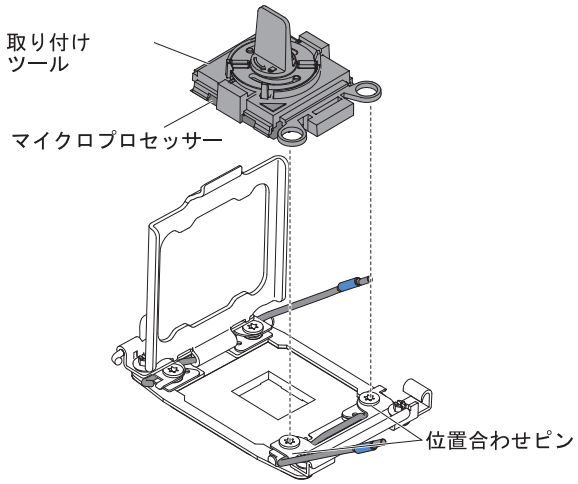


図 166. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

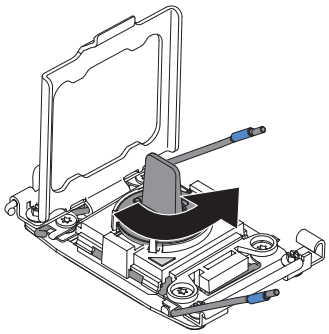


図 167. 取り付けツール・ハンドルの調整

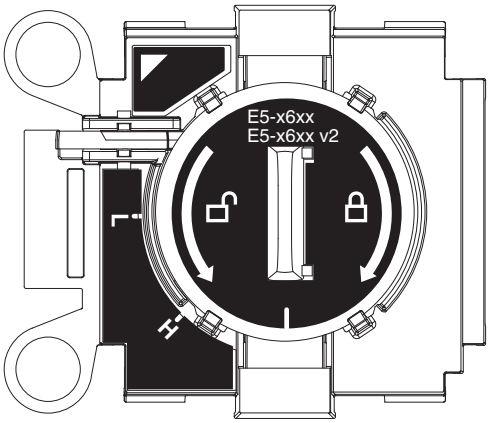


図 168. 取り付けツール B

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。 熱伝導材に触れると、熱伝導材が品質が劣化します。

4. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

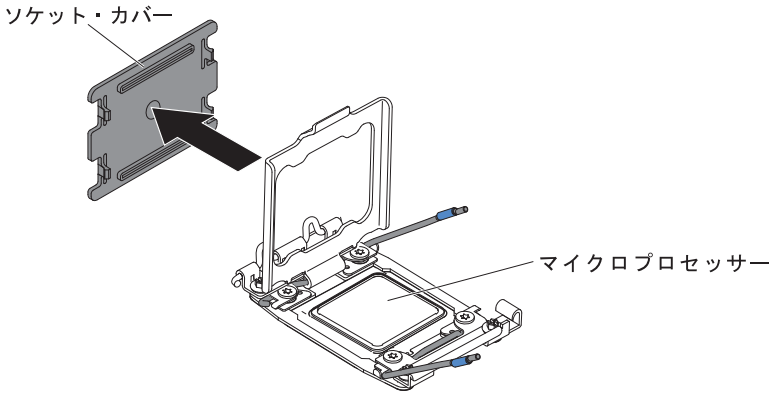


図 169. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

5. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

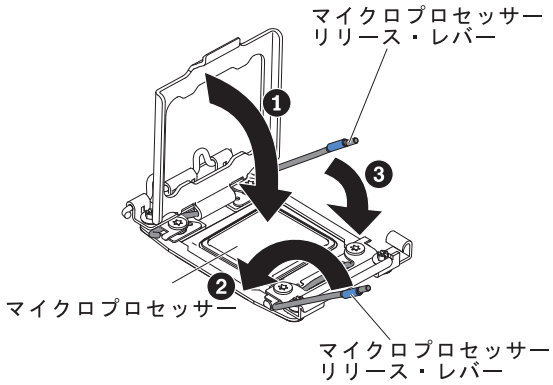


図 170. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。

b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。

c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

6. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを取り付けます。

   重要:

   - プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
   - プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。 熱伝導グリースが汚れた場合は、IBM サービスおよびサポートに連絡して、交換用の熱伝導グリース・キットを要求してください。交換用の熱伝導グリースを取り付ける方法については、81 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

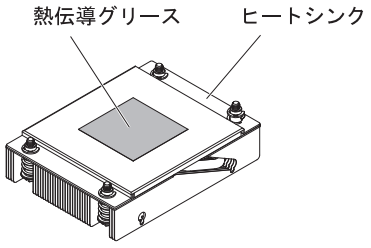


図 171. ヒートシンク

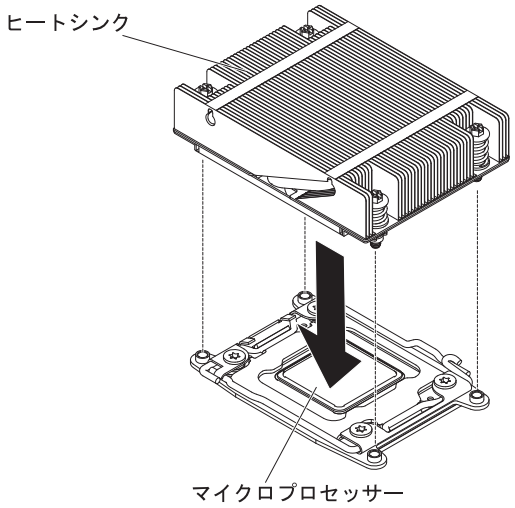


図 172. ヒートシンクの取り付け

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
c. 熱伝導グリース側を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサー上に置きます。
d. 拘束ねじをしっかり押し込んで、ドライバーでこれらのねじを締めます。次の図は、ねじを締める順序を示しています。この図はヒートシンクの上部にも示されています。「1」のラベルが付いたねじから始め、次に「2」、「3」、最後に「4」を締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力を加えて、ねじを締めすぎないでください。トルク・レンチを使用している場合は、8.5 ニュートン・メートル (Nm) から 13 Nm でねじを締めてください。

   注: ねじを締める場合は、プラス・ドライバー No.0 を使用してください。

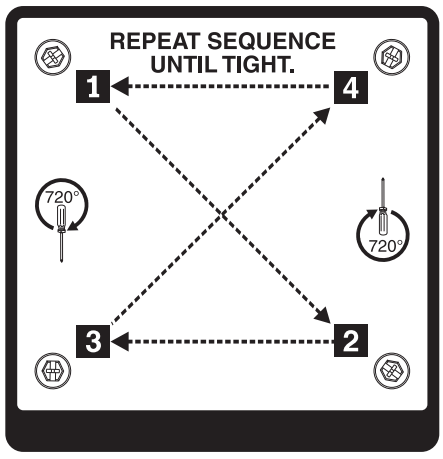


図 173. ねじの順序

7. マイクロプロセッサー 1 を再取り付けする場合、前に取り外したメモリー・モジュールを DIMM コネクター 6 に取り付けます。マイクロプロセッサー 2 を再取り付けする場合、前に DIMM コネクター 12 から取り外したメモリ

ー・モジュールを取り付けます。手順については、 212 ページの『メモリー・モジュールの再取り付け』を参照してください。

8. エアー・バッフルを取り付けます (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
10. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。
11. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
12. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース:

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

- vii ページの『安全について』 をお読みください。
- 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
- 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーやヒート・エクスチェンジャー上の、傷んだあるいは汚れた熱伝導グリースを交換する場合は、次のステップを実行してください。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニ

ング・パッドを廃棄してください。

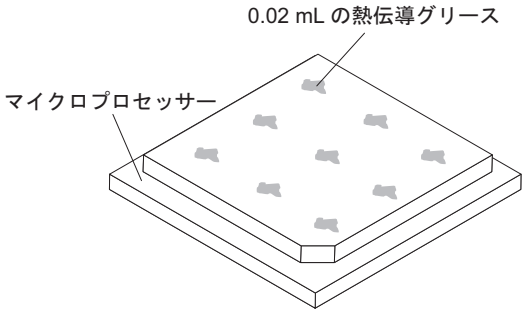


図 174. 熱伝導グリースの配分

5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

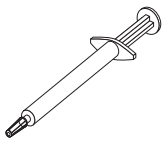


図 175. 注射器

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (273 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

1. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。新しいシステム・ボードを取り付けた後で、Features on Demand (FoD) キーを再び使用可能にする必要があります。IBM ToolsCenter または IBM Systems Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM Features on Demand User's Guide*」 (/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

サーバーからシステム・ボードを取り外す前に、以下の手順を実行してデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- IMM IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、システム構成を外部メディアに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

システム・ボードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
4. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
5. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを取り外します (194 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの取り外し』を参照)。
6. すべての PCI ライザー・カード・アセンブリーおよびアダプターを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』、 203 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し』 および 215 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーからの ServeRAID アダプターの取り外し』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り外します (292 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. すべてのヒートシンクおよびマイクロプロセッサーを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (267 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。

   注:

   a. 古いシステム・ボードのマイクロプロセッサーとヒートシンクは、マイクロプロセッサー・ソケットごとにひとまとめにして、新しいシステム・ボードに一緒に取り付けられるようにしてください。例えば、古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 からヒートシンクとマイクロプロ

セッサーを取り外した場合は、それらを両方とも新しいシステム・ボード上の同じソケットに取り付けてください。

b. 古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ブラケット・フレームのタブに熱伝導グリースが付いていた場合は、アルコール・ワイプを使用してふき取ります。

9. すべての DIMM を取り外して、再取り付けのために帯電防止性のある平らな面に置いてください (211 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

   重要: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクターに再取り付けできるようにします。

10. システム・バッテリーを取り外します (237 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
11. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外します (225 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』を参照)。
12. システム・ボードに接続されたすべてのケーブルを取り外します。 ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。このリストを、新しいシステム・ボードの取り付け時にチェックリストとして使用できます (詳しくは、 186 ページの『内部ケーブルのルーティング』および 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
13. システム・ボードをシャーシに固定している 9 個のねじを緩めます。

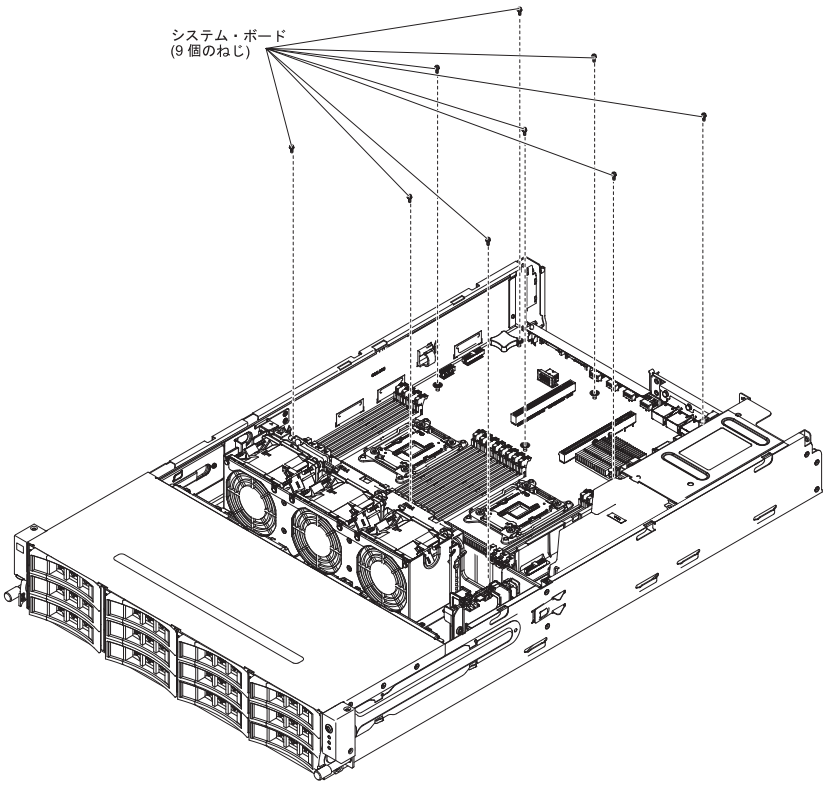


図 176. 9 個のねじ

14. 2 つのホルダーをつかみ、システム・ボードを少し持ち上げます。

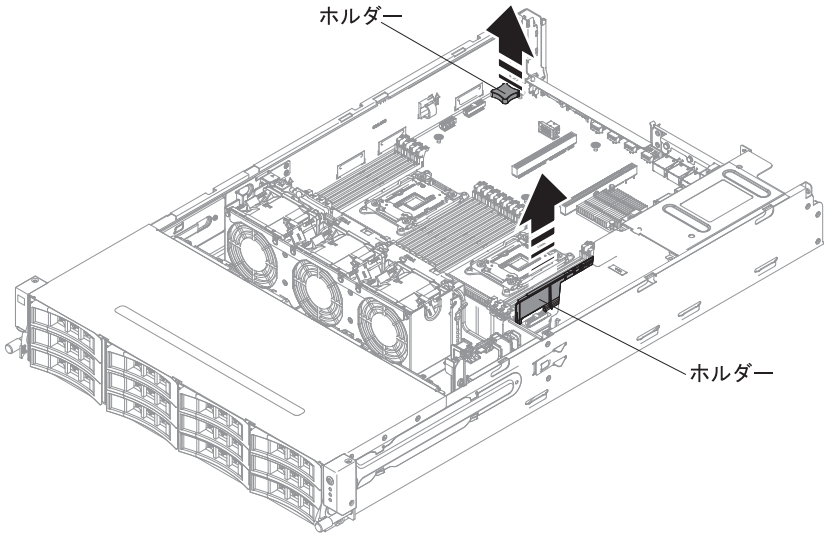


図 177. システム・ボードの取り外し

15. 外部入出力コネクターを静かに押して、シャーシのそれぞれの穴から外します。

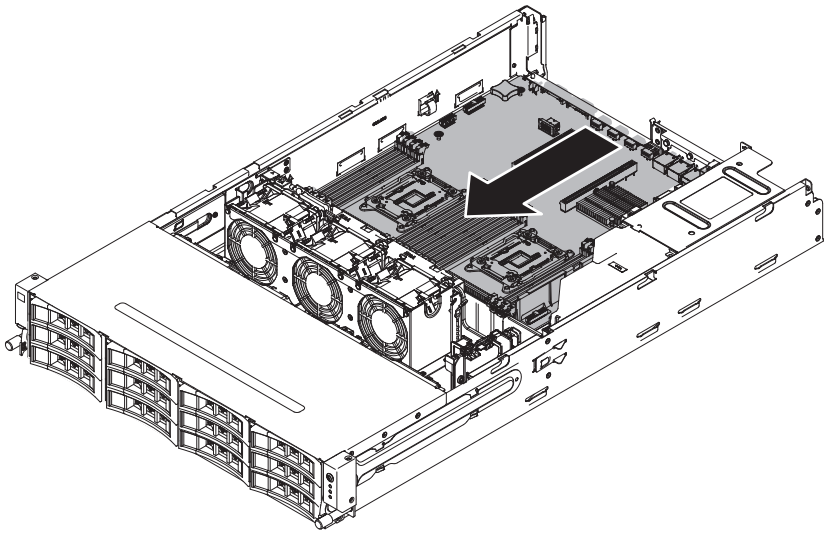


図 178. システム・ボードの取り外し

16. システム・ボードのホルダーをつかんで、システム・ボードを注意深く持ち上げ、シャーシから取り外します。周囲のコンポーネントに損傷を与えないように慎重に行ってください。

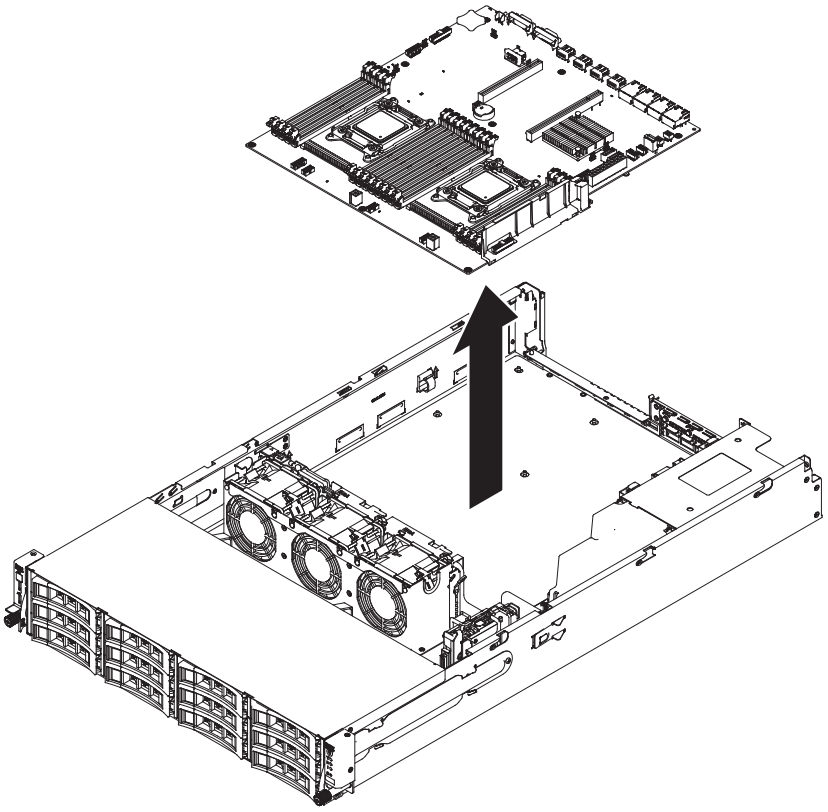


図 179. システム・ボードの取り外し

17. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・ダスト・カバーを取り外し、取り外す古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。
18. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

    重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットにソケット・カバーが付いていることを確認してください。

システム・ボードの再取り付け

システム・ボードを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

1. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。新しいシステム・ボードを取り付けた後で、Features on Demand (FoD) キーを再び使用可能にする必要があります。IBM ToolsCenter または IBM Systems Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM Features on Demand User's Guide*」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。
2. サーバーのコンポーネントを再組み立てする際は、すべてのケーブルを注意深く配線して、ケーブルに過度の力がかかったり、システム・ボードの再取り付け時にケーブルが挟まれたりしないようにしてください (詳しくは、 186 ページの『内部ケーブルのルーティング』および 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。また、ケーブルが該当するケーブル・クリップに挿入されていることを確認してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。先へ進む前に、必ず、最新のファームウェアか、または既存のファームウェアのコピーを用意しておいてください。詳細については、 95 ページの『ファームウェアの更新』、 121 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 124 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. ホルダーをつかみ、システム・ボードをシャーシ内に下ろします。

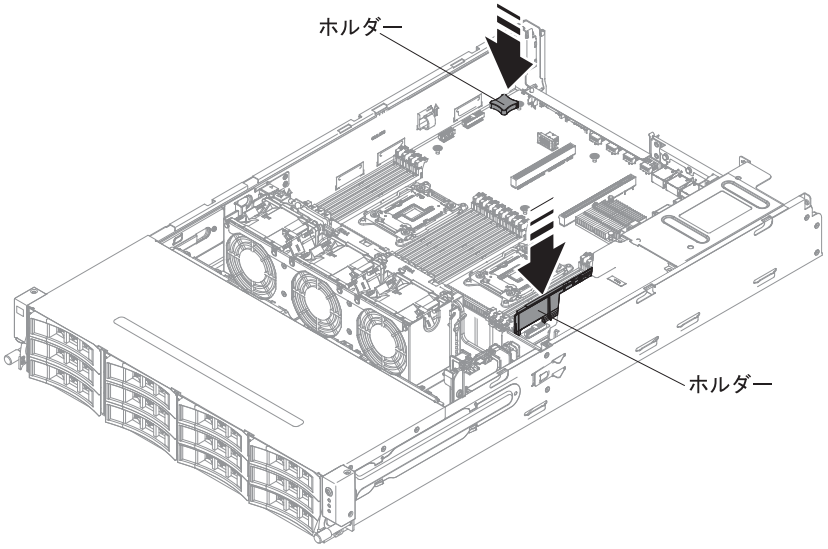


図 180. システム・ボードの取り付け

3. システム・ボードのホルダーを慎重に押して、外部入出力コネクターをシャーシ内のそれぞれの穴に挿入します。

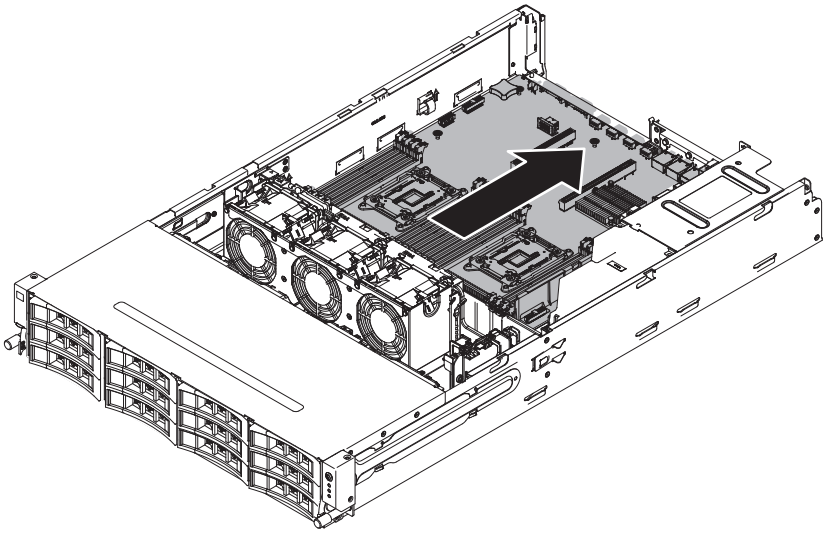


図 181. システム・ボードの取り付け

4. システム・ボードをシャーシに固定するねじを取り付けます。

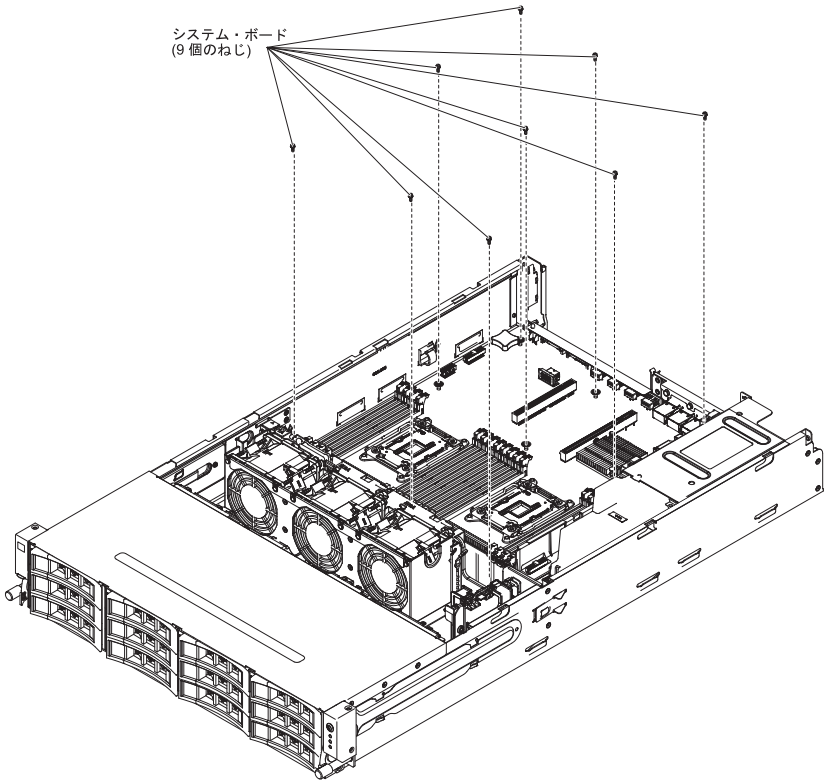


図 182. 9 個のねじ

5. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます (226 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの再取り付け』を参照)。
6. システム・バッテリーを取り付けます (240 ページの『システム・バッテリーの再取り付け』を参照)。
7. DIMM を取り付けます (212 ページの『メモリー・モジュールの再取り付け』を参照)。
8. 各マイクロプロセッサーを、対応するヒートシンクと一緒に取り付けます (273 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
9. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットから取り外したソケット・カバーを、古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます (まだこの作業を行っていない場合)。
10. 281 ページの『システム・ボードの取り外し』のステップ 12 で取り外したケーブルを、システム・ボードに再接続します (詳しくは、186 ページの『内部ケーブルのルーティング』 および 28 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
11. エアー・バッフルを取り付け (294 ページの『エアー・バッフルの再取り付け』を参照)、すべてのケーブルが邪魔になっていないことを確認します。
12. 取り外したアダプターを、特定の PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます (204 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの再取り付け』および 217 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの ServeRAID アダプターの再取り付け』を参照)。

13. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
14. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを取り付けます (195 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの再取り付け』を参照)。
15. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
16. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
17. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
18. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
    - システムの日付と時刻を設定します。
    - 始動パスワードを設定します。
    - サーバーを再構成します。

    101 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
19. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、あるいはディスケットまたは CD のイメージから既存のファームウェアを復元します (95 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。
20. UUID を更新してください (121 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
21. DMI/SMBIOS を更新してください (124 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。

消耗部品および構造部品の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の消耗部品および構造部品の取り外しと交換について説明します。

消耗部品および構造部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が消耗部品または構造部品の取り付けを行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

サーバーのトップ・カバーの取り外し

サーバーのトップ・カバーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのトップ・カバーを取り外すには、次の手順に従ってください。

手順

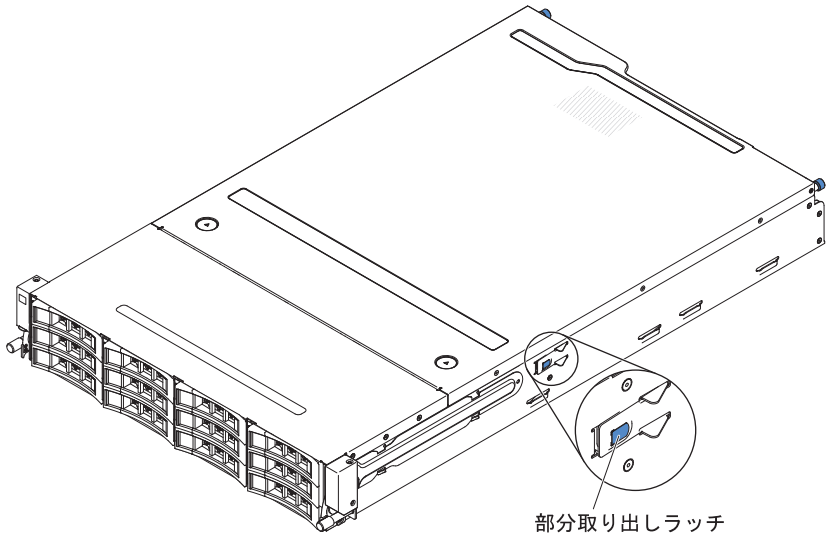
1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバー前面の 2 つのリリース・ラッチを押し、ラックからサーバーを取り出します。

   重要:

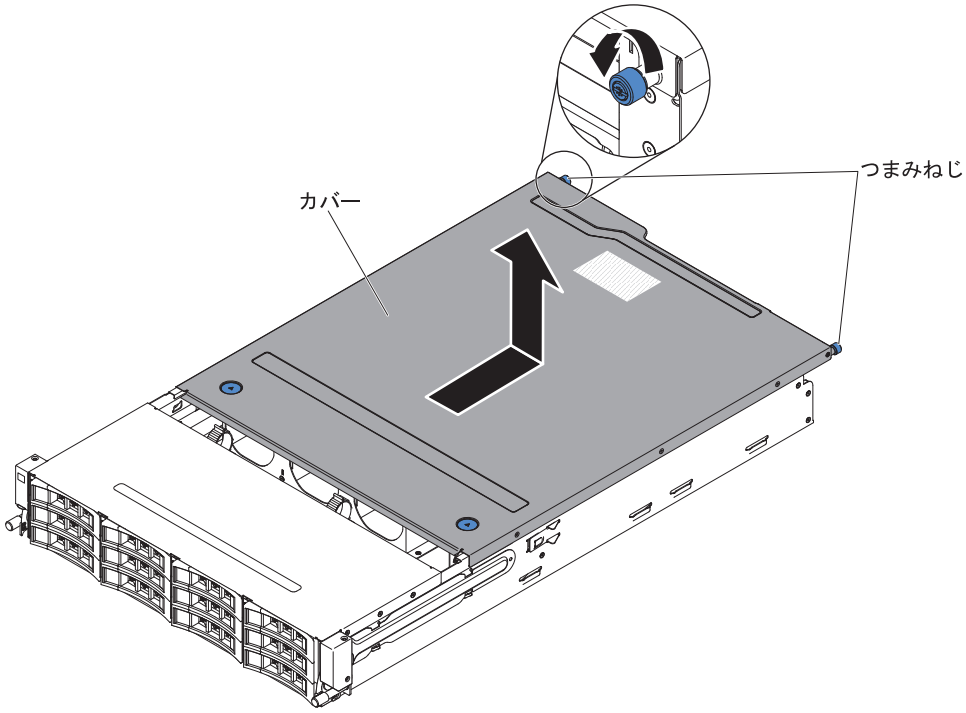
   - ラック・キャビネットからシステムを取り外すには、2 人以上の人員が必要です。
   - ラックから完全にサーバーを取り外すには、スライド・レールの側面にあるラッチを押します。

図 183. 部分取り出しラッチ



4. カバーをシャーシに固定している 2 つのつまみねじを緩めます。
5. 2 つの青色のグリップ・ポイントを押し、カバーを後方にスライドさせます。次に、サーバーからカバーを持ち上げます。カバーを横に置きます。

図 184. カバーの取り外し



6. サーバーのトップ・カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

サーバーのトップ・カバーの再取り付け

サーバーのトップ・カバーの再取り付けを行うには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのトップ・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。
2. カバーの端がシャーシ上の所定の位置に滑り込むまで、カバーをサーバーの上で (サーバーの後部に向かって) 位置合わせします。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシとしっかりかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシに正しくかみ合っていないと、後でサーバー・トップ・カバーを取り外すのが難しくなります。
3. カバーが完全に閉じるまで、カバーをサーバーの前部に向かってスライドさせます。
4. カバー後部のつまみねじを締め、カバーをシャーシに固定します。

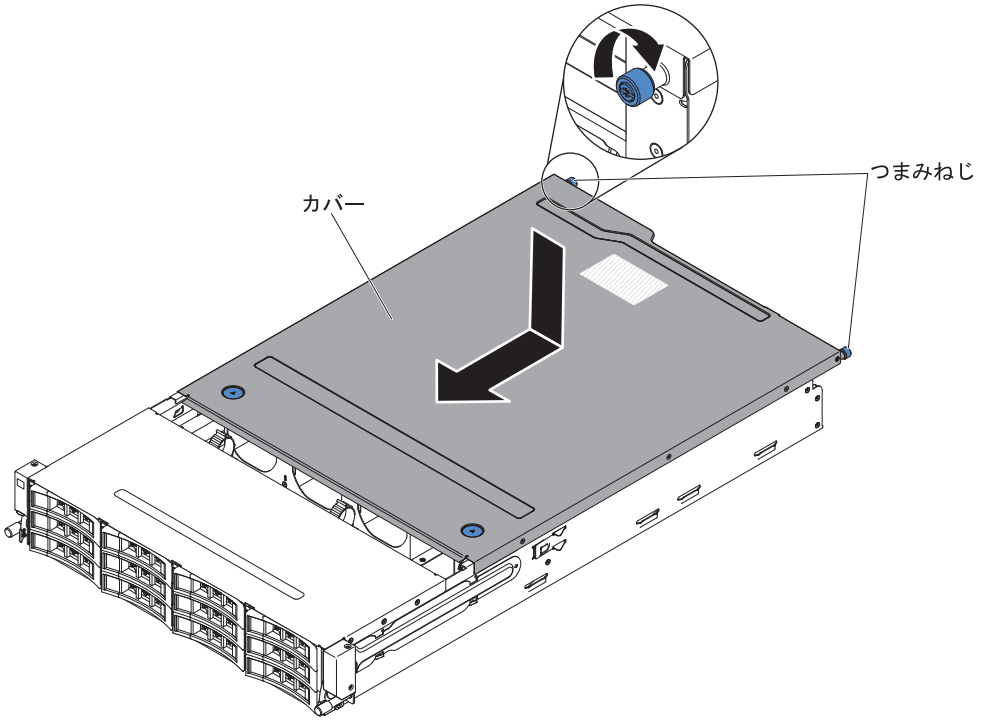


図 185. カバーの取り付け

5. サーバーを格納装置に取り付け、2 つの前面つまみねじを締めてサーバーをラックに固定します。

   重要: ラック・キャビネットにシステムを取り付けるには、2 人以上の人員が必要です。
6. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバー (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』 を参照) および接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを上側に回転させます (192 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの上への回転』を参照)。

5. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (234 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルの上部をつかみ、エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

   重要: 適切な冷却と通気を確保するために、サーバーの電源を入れる前に、エアー・バッフルを再取り付けし、すべてのケーブルが邪魔になっていないことを確認してください。エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

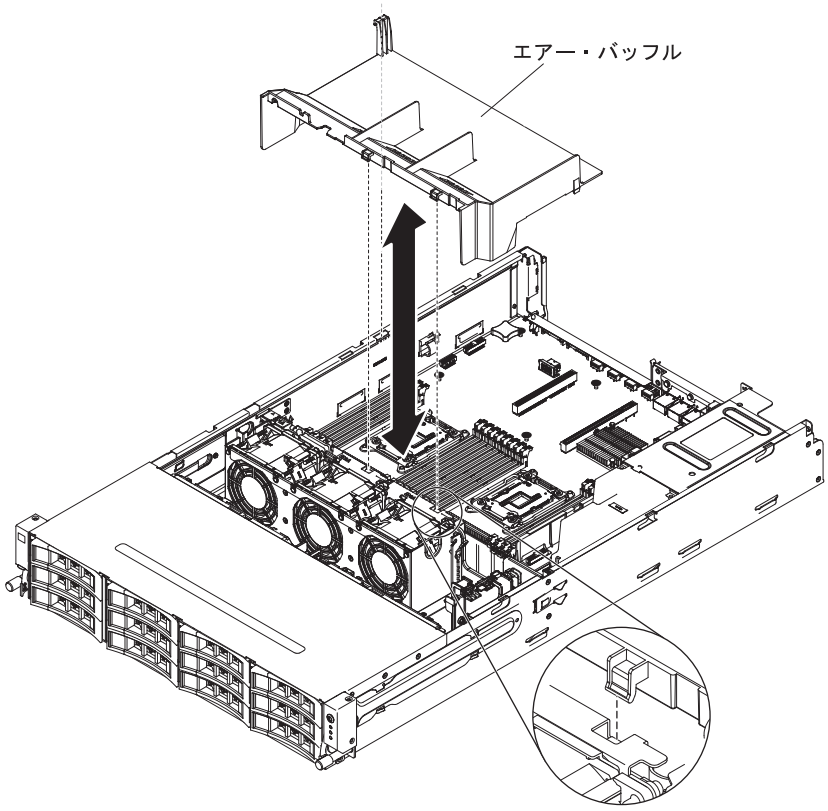


図 186. エアー・バッフルの取り外し

7. エアー・バッフルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

エアー・バッフルの再取り付け

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを再取り付けします。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. エアー・バッフルのタブをシャーシのスロットと位置合わせします。
3. エアー・バッフルを下げてサーバーに収めます。エアー・バッフルにあるタブが、シャーシの穴に挿入されていることを確認します。 (図を参照)。

   重要: 適切な冷却と通気を確保するために、サーバーの電源を入れる前に、エアー・バッフルを再取り付けしてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

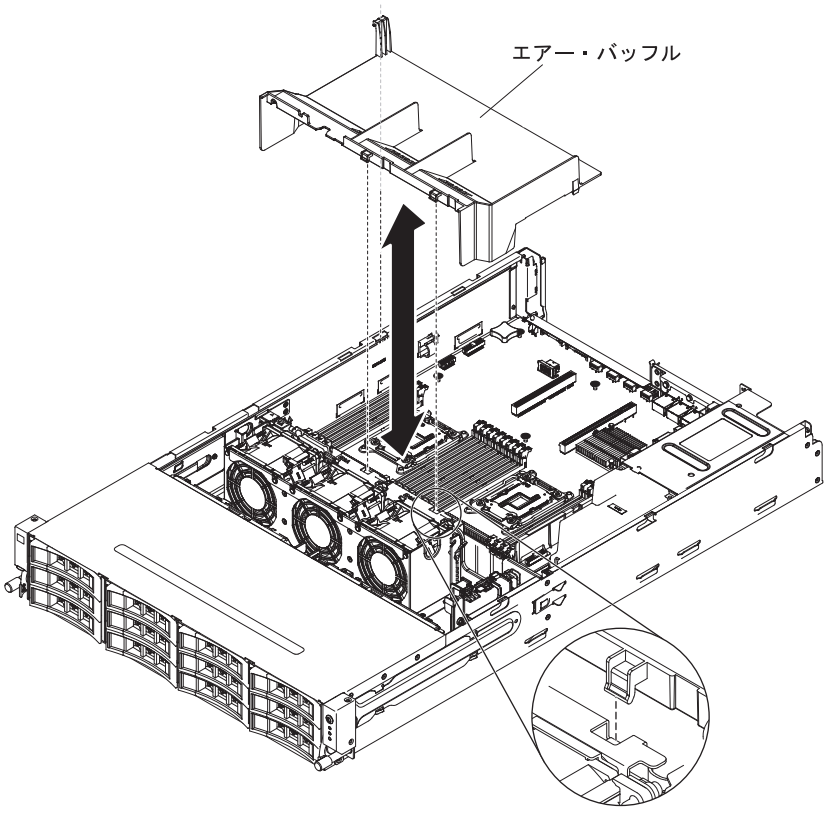


図 187. エアー・バッフルの取り付け

4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (236 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
5. ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージを下側に回転させます (193 ページの『ホット・スワップ背面ハード・ディスク・ケージの下への回転』を参照)。

6. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
7. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

パドル・カード安全カバー (240VA カバー) の取り外し

サーバーからパドル・カード安全カバー (240VA カバー) を取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

パドル・カード安全カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (24 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (289 ページの『サーバーのトップ・カバーの取り外し』を参照)。
4. 安全カバーをシャーシに固定しているねじを取り外して、安全カバーを取り外します。

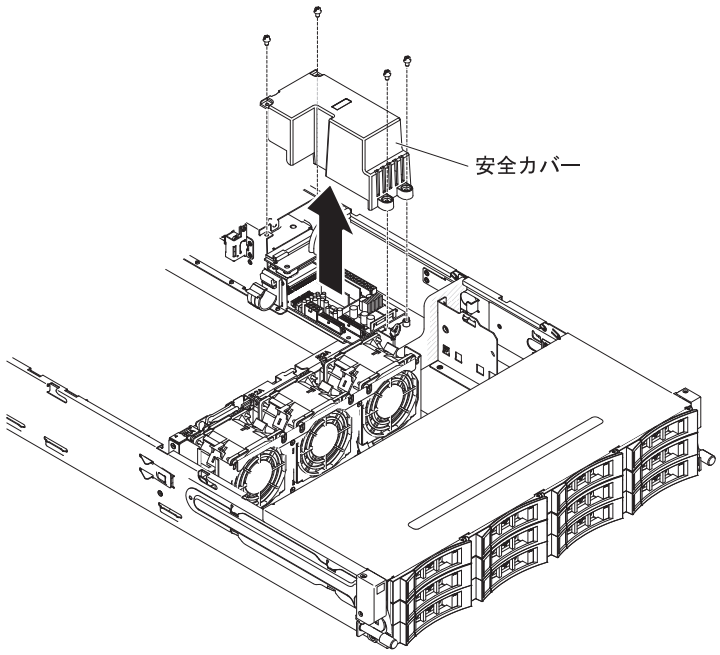


図 188. ねじの取り外し

5. エアー・バッフルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

パドル・カード安全カバー (240VA カバー) の再取り付け

パドル・カード安全カバー (240VA カバー) を再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

パドル・カード安全カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 35 ページの『取り付けに関するガイドライン』をお読みください。
2. 安全カバーをパワー・サプライ・パドル・カード・アセンブリーに固定するねじを取り付けます。

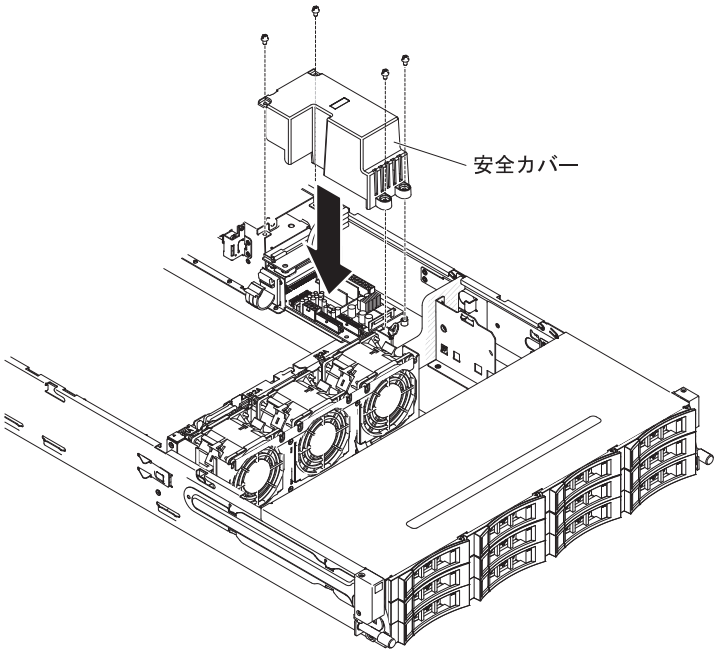


図 189. ねじの取り付け

3. サーバーのトップ・カバーを取り付けます (291 ページの『サーバーのトップ・カバーの再取り付け』を参照)。
4. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)
あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、その追加情報は [arg1] あるいは [arg2] などの変数として表示されます。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:
イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

© Copyright IBM Corp. 2013

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. IMM のネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがなかった場合は、問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。

4. ウォッチドッグを使用不可にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. IMM のネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created.

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed..

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified.

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed.

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーである場合は、システム・バッテリーを交換します。 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d05xxxx または 0x800102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d06xxxx または 0x800102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d07xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d07xxxx または 0x800102041d07xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d08xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 5 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d08xxxx または 0x800102041d08xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010701-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010702xxxx または 0x800107010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010703xxxx または 0x800107010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010704xxxx または 0x800107010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010c01xxxx または 0x800107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011401xxxx または 0x800107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011402xxxx または 0x800107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011403xxxx または 0x800107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011404xxxx または 0x800107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011405xxxx または 0x800107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011406xxxx または 0x800107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012c01xxxx または 0x800107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012d01xxxx または 0x800107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010702xxxx または 0x800109010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010703xxxx または 0x800109010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010704xxxx または 0x800109010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010c01xxxx または 0x800109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011401xxxx または 0x800109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011402xxxx または 0x800109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011403xxxx または 0x800109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011404xxxx または 0x800109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011405xxxx または 0x800109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011406xxxx または 0x800109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012c01xxxx または 0x800109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012d01xxxx または 0x800109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010702xxxx または 0x80010b010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010703xxxx または 0x80010b010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010704xxxx または 0x80010b010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010c01xxxx または 0x80010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011401xxxx または 0x80010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011402xxxx または 0x80010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011403xxxx または 0x80010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011404xxxx または 0x80010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011405xxxx または 0x80010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011406xxxx または 0x80010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012c01xxxx または 0x80010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012d01xxxx または 0x80010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301080a01xxxx または 0x800301080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (No PCI I/O Space)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582xxxx または 0x8007010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。

1. F1 Setup に進みます
2. System Settings
3. Device and I/O ports
4. PCI 64 bit Resource に進み、「enable」を選択します。

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201xxxx または 0x800701142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のある装置をすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。
3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

PS 1 温度障害 :

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。
3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

PS 2 温度障害 :

8007020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201xxxx または 0x8007020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (No PCI I/O Space)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582xxxx or 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。

1. F1 Setup に進みます
2. System Settings
3. Device and I/O ports
4. PCI 64 bit Resource に進み、「enable」を選択します。

80070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201xxxx または 0x800702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. システム・イベント・ログで指示された、障害のあるすべての装置を交換します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0301xxxx または 0x8007021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、マイクロプロセッサーを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0302xxxx または 0x8007021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、マイクロプロセッサーを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。
2. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。
2. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201xxxx or 0x800706142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101xxxx or 0x8008010f2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and **ID:** 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。
2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

800b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81xxxx または 0x800b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e82xxxx または 0x800b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e83xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e83xxxx または 0x800b010a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e84xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 4)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e84xxxx または 0x800b010a1e84xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e85xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 5)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e85xxxx または 0x800b010a1e85xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b03091301xxxx または 0x800b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。
2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301xxxx または 0x800b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。
2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e81xxxx または 0x800b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e82xxxx or 0x800b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e83xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e83xxxx または 0x800b050a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e84xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 4)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e84xxxx または 0x800b050a1e84xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e85xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 5)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e85xxxx または 0x800b050a1e85xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。
2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0408xxxx または 0x806f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0409xxxx または 0x806f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040axxxx または 0x806f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040bxxxx or 0x806f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040cxxxx または 0x806f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040dxxxx または 0x806f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が消えるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのつどサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。

2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f001e-2201xxxx No bootable media available for system [ComputerSystemElementName]. (No Boot Device)

説明: このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f001e2201xxxx または 0x806f001e2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0286

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けたアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けたアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの PCI エラー。

806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けたアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI 2 : PCI 3 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101xxxx または 0x806f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200dxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dxxxx または 0x806f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200exxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200exxxx または 0x806f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200fxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200fxxxx または 0x806f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2010xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010xxxx または 0x806f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが All DIMMs または One of the DIMMs である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。

3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0408xxxx または 0x806f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0409xxxx または 0x806f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040axxxx または 0x806f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040bxxxx または 0x806f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040cxxxx または 0x806f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040dxxxx または 0x806f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301xxxx または 0x806f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302xxxx または 0x806f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (Front USB)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b0701xxxx または 0x806f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。 指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。
2. 電源パドル・ケーブルを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号)
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0b01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01250b01xxxx または 0x806f01250b01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-0b02xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01250b02xxxx または 0x806f01250b02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01250c01xxxx または 0x806f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01252c01xxxx または 0x806f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02072584xxxx または 0x806f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

いずれかの CPU。

806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0408xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408xxxx または 0x806f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0409xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409xxxx または 0x806f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040axxxx または 0x806f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bxxxx or 0x806f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cxxxx または 0x806f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dxxxx または 0x806f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dxxxx または 0x806f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200exxxx または 0x806f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fxxxx または 0x806f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010xxxx または 0x806f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581xxxx または 0x806f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが All DIMMs または One of the DIMMs である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバーをチェックします。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dxxxx または 0x806f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200exxxx または 0x806f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fxxxx または 0x806f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010xxxx または 0x806f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが All DIMMs または One of the DIMMs である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05072584xxxx または 0x806f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

いずれかの CPU。

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dxxxx または 0x806f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200exxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200exxxx または 0x806f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fxxxx または 0x806f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010xxxx または 0x806f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが All DIMMs または One of the DIMMs である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
7. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にし、設定を保存してからサーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。

5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx or 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0408xxxx または 0x806f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0409xxxx または 0x806f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040axxxx または 0x806f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040bxxxx または 0x806f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040cxxxx または 0x806f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040dxxxx または 0x806f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けたアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。 サポートするオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が消えるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのつどサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06072584xxxx または 0x806f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。

4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

いずれかの CPU。

806f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301xxxx または 0x806f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。
2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0408xxxx または 0x806f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0409xxxx または 0x806f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040axxxx または 0x806f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040bxxxx または 0x806f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040cxxxx または 0x806f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040dxxxx または 0x806f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx or 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200dxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dxxxx または 0x806f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200exxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200exxxx or 0x806f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200fxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200fxxxx または 0x806f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2010xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010xxxx または 0x806f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが All DIMMs または One of the DIMMs である場合は、DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0408xxxx または 0x806f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0409xxxx または 0x806f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040axxxx または 0x806f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040bxxxx または 0x806f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040cxxxx または 0x806f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040dxxxx または 0x806f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2101xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM Promotion)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2101xxxx または 0x806f072b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 IMM リカバリー :

806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201xxxx または 0x806f072b2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ROM リカバリー :

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. DIMM エラー LED を確認します。
3. 障害のある DIMM をシステム・ボードから取り外します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

5. 取り付けられた DIMM がサポートされていて、正しく構成されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. PCI LED を確認します。
3. 対象の PCI スロットからアダプターを取り外します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001xxxx または 0x806f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002xxxx または 0x806f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003xxxx または 0x806f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004xxxx または 0x806f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005xxxx または 0x806f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006xxxx または 0x806f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007xxxx または 0x806f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008xxxx または 0x806f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009xxxx または 0x806f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200axxxx または 0x806f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bxxxx または 0x806f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cxxxx または 0x806f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dxxxx または 0x806f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200exxxx または 0x806f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fxxxx または 0x806f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010xxxx or 0x806f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で作動させる必要があります。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で作動させる必要があります。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001xxxx または 0x806f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002xxxx または 0x806f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003xxxx または 0x806f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004xxxx または 0x806f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005xxxx または 0x806f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006xxxx または 0x806f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007xxxx または 0x806f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008xxxx または 0x806f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009xxxx または 0x806f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200axxxx または 0x806f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bxxxx または 0x806f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cxxxx または 0x806f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200dxxxx または 0x806f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200exxxx or 0x806f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200fxxxx または 0x806f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2010xxxx or 0x806f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。
4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301xxxx または 0x806f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302xxxx または 0x806f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3Aa Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d05xxxx または 0x810102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3Ab Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d06xxxx または 0x810102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d07xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d07xxxx または 0x810102041d07xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d08xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 5 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d08xxxx または 0x810102041d08xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010702xxxx または 0x810107010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010703xxxx または 0x810107010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010704xxxx または 0x810107010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010c01xxxx または 0x810107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011401xxxx または 0x810107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011402xxxx または 0x810107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011403xxxx または 0x810107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011404xxxx または 0x810107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011405xxxx または 0x810107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011406xxxx または 0x810107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012c01xxxx または 0x810107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012d01xxxx または 0x810107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010702xxxx または 0x810109010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010703xxxx または 0x810109010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010704xxxx または 0x810109010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010c01xxxx または 0x810109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011401xxxx または 0x810109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011402xxxx または 0x810109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8810109011403xxxx または 0x810109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011404xxxx または 0x810109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011405xxxx または 0x810109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011406xxxx または 0x810109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012c01xxxx または 0x810109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012d01xxxx または 0x810109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8101090207 01xxxx または 0x8101090207 01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0702xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (FHHL Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010702xxxx または 0x81010b010702xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0703xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (LowProfile Amb)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010703xxxx または 0x81010b010703xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0704xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (RAID Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010704xxxx または 0x81010b010704xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010c01xxxx または 0x81010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011401xxxx または 0x81010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011402xxxx または 0x81010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011403xxxx または 0x81010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011404xxxx または 0x81010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011405xxxx または 0x81010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011406xxxx または 0x81010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012c01xxxx または 0x81010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012d01xxxx または 0x81010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301080a01xxxx または 0x810301080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (No PCI I/O Space)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582xxxx または 0x8107010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS 1 温度障害 :

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS 2 温度障害 :

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201xxxx または 0x8107020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (No PCI I/O Space)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201xxxx または 0x810702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301xxxx または 0x8107021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302xxxx または 0x8107021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS1 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault : PS1 12Vaux Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS2 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault : PS2 12Vaux Fault :

810b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81xxxx または 0x810b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e82xxxx または 0x810b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e83xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e83xxxx または 0x810b010a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e84xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 4)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e84xxxx または 0x810b010a1e84xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e85xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 5)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e85xxxx または 0x810b010a1e85xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301xxxx または 0x810b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301xxxx または 0x810b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81xxxx または 0x810b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e82xxxx または 0x810b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e83xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e83xxxx または 0x810b050a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e84xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 4)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e84xxxx または 0x810b050a1e84xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e85xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 5)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e85xxxx または 0x810b050a1e85xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0408xxxx または 0x816f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0409xxxx または 0x816f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040axxxx または 0x816f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040bxxxx または 0x816f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040cxxxx または 0x816f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040dxxxx または 0x816f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 2 : PCI 3 :

816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101xxxx または 0x816f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200dxxxx または 0x816f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200exxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200exxxx または 0x816f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fxxxx または 0x816f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010xxxx または 0x816f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0408xxxx または 0x816f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0409xxxx または 0x816f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040axxxx または 0x816f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040bxxxx または 0x816f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040cxxxx または 0x816f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040dxxxx または 0x816f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301xxxx または 0x816f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。 (n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302xxxx or 0x816f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。 (n = マイクロプロセッサー番号)

816f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired. (Front USB)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成が修復されたことが実装環境で検出されたユース・ケースで表示されます。

816f011b0701xxxx または 0x816f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0267

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0b01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01250b01xxxx または 0x816f01250b01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0b02xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01250b02xxxx または 0x816f01250b02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01250c01xxxx または 0x816f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01252c01xxxx または 0x816f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02072584xxxx または 0x816f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。いずれかの CPU。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx or 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0408xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0408xxxx または 0x816f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0409xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0409xxxx または 0x816f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040axxxx または 0x816f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040bxxxx または 0x816f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040cxxxx または 0x816f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040dxxxx または 0x816f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200dxxxx または 0x816f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200exxxx または 0x816f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200fxxxx または 0x816f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2010xxxx または 0x816f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2581xxxx または 0x816f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dxxxx または 0x816f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200exxxx または 0x816f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fxxxx または 0x816f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010xxxx または 0x816f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05072584xxxx または 0x816f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dxxxx または 0x816f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200exxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200exxxx または 0x816f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fxxxx または 0x816f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010xxxx または 0x816f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0408xxxx または 0x816f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0409xxxx または 0x816f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040axxxx または 0x816f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040bxxxx または 0x816f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040cxxxx または 0x816f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040dxxxx または 0x816f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06072584xxxx or 0x816f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301xxxx または 0x816f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0408xxxx または 0x816f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0409xxxx または 0x816f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040axxxx または 0x816f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040bxxxx または 0x816f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040cxxxx または 0x816f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040dxxxx または 0x816f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dxxxx または 0x816f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200exxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200exxxx または 0x816f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200fxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fxxxx または 0x816f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2010xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010xxxx または 0x816f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0408xxxx または 0x816f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0409xxxx または 0x816f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040axxxx または 0x816f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040bxxxx または 0x816f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040cxxxx または 0x816f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040dxxxx または 0x816f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2001xxxx または 0x816f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2002xxxx または 0x816f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2003xxxx または 0x816f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2004xxxx または 0x816f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2005xxxx または 0x816f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2006xxxx または 0x816f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2007xxxx または 0x816f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2008xxxx または 0x816f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2009xxxx または 0x816f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200axxxx または 0x816f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200bxxxx または 0x816f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200cxxxx または 0x816f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200dxxxx または 0x816f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200exxxx or 0x816f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200fxxxx または 0x816f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2010xxxx または 0x816f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001xxxx または 0x816f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002xxxx または 0x816f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003xxxx または 0x816f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004xxxx または 0x816f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005xxxx または 0x816f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006xxxx または 0x816f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007xxxx または 0x816f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008xxxx または 0x816f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009xxxx または 0x816f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200axxxx または 0x816f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bxxxx または 0x816f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cxxxx または 0x816f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200dxxxx または 0x816f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200exxxx または 0x816f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200fxxxx または 0x816f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2010xxxx または 0x816f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301xxxx または 0x816f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302xxxx または 0x816f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

付録 B. UEFI/POST エラー・コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 15. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメインテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するためにとるべき処置。

問題が解決するまで、ステップを順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

© Copyright IBM Corp. 2013

I.11002 **[I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.**

説明: 1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 **[I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.**

説明: プロセッサーのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサーが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 **[I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサー CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサーの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサーの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] A mismatch has been detected between Processors frequency and DDR3 DIMMs frequency.

説明: プロセッサーの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.

説明: プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサーを取り付けます。
2. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのプロセッサー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーに関するセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup が表示された場合は、システムの電源をオフにする必要があります。次に、IMM Web インターフェースを使用して UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM の追加、変更、無効化、再有効化のいずれも行っていない場合は、システム・イベント・ログで未修正の DIMM 障害がないかを確認し、障害がある場合は解決します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサー CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. 最新のデバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. 最新のデバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。 システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定は、まだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (追加した設定やデバイス) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup が表示された場合は、システムの電源をオフにする必要があります。次に、IMM Web インターフェースを使用して UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %. [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined. [S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.

説明: 致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。 (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。

5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 **[S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.**

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再消去します。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 セットアップを使用して、日時をリセットします。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings > Settings > Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見付けます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. Requires 'Reboot'.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM をリセットします。
2. システムから電源を取り外した後、再取り付けします。次に、システム全体をリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. システムから電源を取り外した後、再取り付けします。次に、システム全体をリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. システムから電源を取り外した後、再取り付けします。次に、システム全体をリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.381800D [W.381800D] TPM physical presence is in asserted state

説明: TPM 物理プレゼンスが表明状態です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とするすべての管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元して、システムをリブートします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が続く場合は、ノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

© Copyright IBM Corp. 2013

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543--4-Channel I2C スイッチ (BUS 3) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が電源パドル・カード (BUS 4) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9557 バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、IBM および IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

IBM に IBM 製品の保証サービスを依頼する必要がある場合、お客様が依頼する前に準備されていると、IBM サービス技術員はより効率的にお客様を支援できます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないか確認してください。IBM の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくと定めています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。 ソフトウェアを更新することで、お客様の問題に文書化された解決方法が示される場合、IBM サービス技術員は、お客様によるソフトウェアおよびファームウェアの更新を要求する場合があります。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サービスに提供する次の情報を収集してください。IBM サポートは、このデータを使用してお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供し、また、お客様の契約に基づく適切なレベルのサービスを保証できるようになります。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2013

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。 IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。 IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。 大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。 ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。 資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。 これらのページにアクセスするには、http://www.ibm.com/supportportalに進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ にあります。 IBM BladeCenter 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/ にあります。 IBM IntelliStation 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM に診断データを送信します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www-05.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications/ にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services/ をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide/ でサポート電話番号をご覧ください。 米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができます。

保証サービスを提供する IBM 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/pwhome.nsf/weblook/index_us.html にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。 IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide/ を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。 本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。 これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。 ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。 国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2013

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度には、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。 実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーにするには、標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」 (TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。 これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。 以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。 以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。 本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。 お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 16. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法*。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。 *プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質*。 Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方法での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

機器にモニターを接続する際は、指定されたモニター・ケーブル、およびモニターに付属の干渉抑止装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: **Warnung:** Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen.

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A を超える機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

電源コードの安全に関する注意書き

重要: No. 26 AWG またはこれ以上の UL 登録あるいは CSA 認定の通信回線コードを使用します。

© Copyright IBM Corp. 2013

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アダプター
  取り付け 51
  ServeRAID
    取り外し 47, 215
  ServeRAID SAS
    取り付け 55, 217
アダプター、 再取り付け 204
アダプターの再取り付け 204
安全と注意 6
安全について vii, ix
イーサネット 11
  コントローラー
    トラブルシューティング 168
イーサネット活動
  LED 18
イーサネット・サポート 11
イベント・ログ 140
  Setup ユーティリティーを使用して表示 141
イベント・ログ、システム 140
イベント・ログ、表示の方式 142, 143
イベント・ログ、POST 140
イベント・ログの表示 142
インフォメーション・センター 754
上に回転
  ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ 40, 192
エアー・バッフル
  交換 89
  再取り付け 294, 296
  取り外し 43, 292
エラー
  フォーマット、診断コード 148
エラー現象
  一般 150
  オプション装置 162
  キーボード 154
  偶発的 153
  シリアル・ポート 164
  ソフトウェア 166
  電源 163
  ネットワーク 160
  ハード・ディスク 151
エラー現象 (続き)
  ハイパーバイザー・フラッシュ装置 150
  マイクロプロセッサー 157
  マウス 154
  メモリー 156
  モニター 158
  ServerGuide 165
  USB デバイス 154
  USB ポート 167
エラー・コードとメッセージ 149
  メッセージ、診断 145
  IMM2 297
  UEFI/POST 631
エラー・ログ
  消去 144
  表示 141
お客様による交換が可能な部品 (CRU)、サーバー 175
汚染、 微粒子およびガス 7
汚染、微粒子およびガス 7, 760
オプション
  取り付け 25
オプション装置の問題 162
オペレーター情報パネル 17
  コントロールおよび LED 18
オペレーティング・システム・イベント・ログ 11, 140, 142
音響放出ノイズ 7, 10
オンライン資料 1, 5

[カ行]

開始
  バックアップ・ファームウェア 111
  Setup ユーティリティー 101
ガイドライン
  システム信頼性 37
外部、システム・ボード・コネクター 29
概要 1
拡張
  ベイ 7
拡張ベイ 7
ガス汚染 7, 760
カスタム・サポート Web ページ 755
カバー
  取り外し 38, 289
カバー、サーバー
  取り付け 92, 291
カバーの取り外し 38, 289
下部パワー・サプライ・カード
  再取り付け 255
  取り外し 252
可用性、サーバー 15
環境 7, 9
管理、システム 11
管理者
  パスワード 110
管理者パスワード 108
完了
  オプションの取り付け 88
関連資料 5
危険の注記 6
技術員により交換される部品 (FRU)、サーバー 175
機能 7
  ServerGuide 99
機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 11, 97
キャッシュ 7
組み込みハイパーバイザー
  使用 113
グリース、熱伝導 81, 280
現行ファームウェアの適用
  ベスト・プラクティスの使用 25
検索
  更新された資料 5
コール・ホーム機能
  IBM Electronic Service Agent 149
  Service Advisor 149
コール・ホーム・ツール 148
交換
  サーバー・コンポーネント 185, 188
  バッテリー、システム 237
  ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け 62
  PCI ライザー・カード・アセンブリー 90
  Tier 2 CRU 267
更新
  サーバー構成 93, 95
  汎用固有 ID (UUID) 121
  DMI/SMBIOS 124
構成
  サーバーの更新 95
  RAID アレイ 117
  ServerGuide Setup and Installation CD 95
  ServerGuide を使用する場合 100
  Setup ユーティリティー 95
  UEFI 互換デバイス 96

© Copyright IBM Corp. 2013

構成、サーバー
　更新　93
構造部品　180
構造部品の取り外し
　交換　289
後部ファン
　再取り付け　210
コネクター
　内部ケーブルのルーティング　186
　DIMM　28
　PCI ライザー・カード・アダプター　33
コネクター、外部、システム・ボード　29
コネクター、内部、システム・ボード　28
個別設定したサポート Web ページの作成　755
コントローラー
　イーサネット　117
コントロール、LED、および電源　17
コントロール・ボタンおよび LED
　オペレーター情報パネル　18
　前面図　17
コンポーネント
　サーバー　27, 175
コンポーネントの返却　186

［サ行］

サーバー
　エラー・コードとメッセージ　149
　構成　97
　提供　11
　電源オン状態での内部での作業　37
　電源をオンにする　23
サーバー、バックアップ・ファームウェア
　開始　111
サーバーが提供する機能　11
サーバー構成
　更新　93
サーバー構成、更新　95
サーバー電源および IMM　23
サーバーの交換可能部品　175
サーバーの交換用部品　175
サーバーの構成　95, 97
サーバーのコントロール、LED、および電源　17
サーバーのシャットダウン　24
サーバーの電源をオフにする　24
サーバーの電源をオンにする　23
サーバー・カバー
　取り付け　291
サーバー・コンポーネント　27, 175
サーバー・ファームウェアのリカバリー　171
サービスおよびサポート
　依頼する前に　753
サービスおよびサポート *(続き)*
　ソフトウェア　755
　ハードウェア　756
再現性の低い問題　153
サイズ　7, 10
再取り付け
　エアー・バッフル　89, 294, 296
　下部パワー・サプライ・カード　255
　後部ファン　210
　システム・ボード　286
　　考慮すべき注意事項　286
　上部パワー・サプライ・カード　251
　前面 USB コネクター・ボード　244, 248
　前面ファン　208
　背面ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク　195
　背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン　264
　バッテリー、システム　240
　ヒートシンク　273
　フラッシュ電源モジュール　222
　ホット・スワップ AC パワー・サプライ　230
　ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン　260
　マイクロプロセッサー　273
　メモリー DIMM　212
　PCI ライザー・カード・アセンブリー　236
　RAID アダプター・ バッテリー　222
　USB ハイパーバイザー・キー　226
サポート Web ページ、カスタム　755
支援、入手　753
事項、重要　758
システム
　エラー LED (前面)　18
　情報 LED　18
システム管理　11
システム管理ツール
　IBM Systems Director　16, 120
システムの信頼性に関するガイドライン　37
システム・イベント・ログ　140, 141
システム・イベント・ログ、Assertion イベント　140
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント　140
システム・ファン　10
システム・ボード
　コネクター
　　DIMM　28
　再取り付け　286
　始動パスワード・スイッチ　109
　ジャンパー　30
　取り外し　281
システム・ボード *(続き)*
　LED　31
システム・ボードの外部コネクター　29
システム・ボードのジャンパー
　説明　30
システム・ボードの内部コネクター　28
次世代テクノロジー　11
下に回転
　ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ　91, 193
室温　7, 9
湿度　7, 9
質量　7, 10
始動
　パスワード　109
始動パスワード　108
自動ブート失敗リカバリー (ABR)　174
ジャンパー　27
　システム・ボードの位置　30
　UEFI ブート・リカバリー　171
ジャンパー、システム・ボード上の　30
重要な注　6
重要の注記　6, 758
取得
　IMM 用の IP アドレス　115
仕様　7
使用　111
　組み込みハイパーバイザー　113
　リモート・プレゼンス機能　114
　Boot Manager プログラム　110
　Setup ユーティリティー　101
冗長
　イーサネット接続　11
　冷却　11
　vNIC　11
冗長性サポート
　パワー・サプライ　11
商標　758
上部パワー・サプライ・カード
　再取り付け　251
　取り外し　249
消耗部品　180
消耗部品の取り外し
　交換　289
シリアルおよびモデル番号
　ロケーション　170
シリアル・ポートの問題　164
資料
　使用　754
　Documentation Browser　4
　Documentation CD　4
資料、更新された
　検索　5
診断
　ツール、概要　135
　テキスト・メッセージ書式　148

診断 *(続き)*
テスト・ログ、表示 148
診断プログラム
DSA Preboot 11
信頼性、サーバー 15
スロット 7
PCI 拡張 7
寸法 7, 10
静電気に弱い装置
取り扱いのガイドライン 38
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 38
前面 USB コネクター・ アセンブリー
取り外し 246
前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブル
取り外し 242
前面 USB コネクター・ボード
再取り付け 244, 248
前面ファン
再取り付け 208
取り付け 64
装置、静電気に弱い
取り扱いのガイドライン 38
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 755
ソフトウェアの問題 166

[タ行]

対称マルチプロセッシング 11
チェックアウト手順 133
実行 134
チャネル、メモリー
DIMM コネクターに関連付けられた 66
注 6
注意の注記 6
注記と安全 6
ツール、コール・ホーム 148
ツール、診断 135
通信規制の注記 761
粒子汚染 7, 760
データ収集 129
データの収集 129
ディスプレイの問題 158
手順、チェックアウト 134
テスト・ログ、表示 148
デバイス
取り付け 25
デバイス・ドライバー 111
電源
機構 10
仕様 9
電源制御ボタン 18
要件 7
電源オン状態でのサーバー内部での作業 37
電源オン状態での内部での作業 37
電源コード 181
電源入力 7, 9
電源の問題 163, 167
電子情報技術産業協会表示 764
電話番号 755, 756
統合管理モジュール
イベント・ログ 11
概要 11
統合管理モジュール II 111
イベント・ログ 140, 142
エラー・メッセージ 297
使用 111
特記事項 757
電磁波放出 761
FCC、Class A 761
ドライブ 7
ホット・スワップ SAS/SATA
取り外し 44, 189
ドライブ、ホット・スワップ 49, 190
取り外し 44, 189
ドライブ、SAS/SATA
ホット・スワップ 49, 190
トラブルシューティング 129
現象 149
取り外し
アダプター 45, 203
エアー・バッフル 43, 292
下部パワー・サプライ・カード 252
後部ファン 209
サーバー・コンポーネント 185, 188
システム・ボード 281
上部パワー・サプライ・カード 249
前面 USB コネクター・ アセンブリー 246
前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブル 242
前面ファン 206
背面ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク 194
背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン 262
バッテリー、システム 237
パドル・カード安全カバー 295
ヒートシンク 267
フラッシュ電源モジュール 221
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 229
ホット・スワップ・ドライブ 44, 189
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン 257
マイクロプロセッサー 267
DIMM 211
PCI アダプター 45, 203
取り外し *(続き)*
PCI ライザー・カード・アセンブリー 234
RAID アダプター・ バッテリー 221
RAID コントローラー 47, 215
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 225
取り外しと交換
構造部品 289
消耗部品 289
Tier 1 CRU 189
取り付け 1, 59
アダプター 51
エアー・バッフル 89, 294, 296
サーバー・カバー 92, 291
前面ファン 64
ハイパーバイザー・フラッシュ装置 85
背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン 62
バッテリー、システム 240
ヒートシンク 73
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 82
ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ 49, 190
マイクロプロセッサー 73
メモリー・モジュール 66, 72
DIMM 72
PCI アダプター 51
RAID コントローラー 55, 217
SAS コントローラー 55, 217
取り付け、オプション 25
完了 88
取り付け、DIMM 66
取り付け順序
dimm 69
取り付けに関するガイドライン 35

[ナ行]

内蔵機能 7, 8
内部 LED 27
内部、システム・ボード・コネクター 28
内部ケーブルのルーティング 186
内部コネクター 27
熱伝導グリース 81, 280
ネットワークの問題 160

[ハ行]

ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 756
ハード・ディスク
問題 151

配線
内部ルーティング 186
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
取り付け 85
問題 150
背面
図 19
背面図
コネクター 19
LED の位置 19
背面ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク、再取り付け 195
背面ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク、取り外し 194
背面ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン
再取り付け 264
取り外し 262
取り付け 62
パスワード
管理者 109
始動 109
パスワード、始動
システム・ボード上のスイッチ 109
バックアップ・ファームウェア
開始 111
バッテリー
取り付け、リモート 59
バッテリー、再取り付け 240
バッテリー、システム
交換 237
取り付け 240
発熱量 (消費電力) 7
パドル・カード安全カバー
取り外し 295
パワーオン LED 18
パワー・サプライ 7
冗長性サポート 11
AC 82, 229, 230
再取り付け 230
取り外し 229
取り付け 82
パワー・サプライ LED 22
パワー・サプライ LED および問題の検出 22
ヒートシンク
再取り付け 273
取り外し 267
取り付け 73
ビジネス・パートナーの手順 25, 26
ビデオの問題 158
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 7, 8
表示
イベント・ログ、Setup ユーティリティーを使用して 141
表明イベント、システム・イベント・ログ 140
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 140
ブート・マネージャー・プログラム
使用 110
ファームウェア、更新 95
ファームウェア、サーバー、リカバリー 171
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 25
ファームウェアの更新 1, 95
ファン 7, 11
シンプル・スワップ 7
取り外し 206, 209
部品、構造 180
部品、消耗 180
部品リスト 175
部品リスト、サーバー 175
部品リスト、IBM System x3650 M4 BD 175
フラッシュ電源モジュール 59
再取り付け 222
取り外し 221
取り付け 59
ブルー・スクリーン機能 114
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 11, 97
概要 11, 97, 114
プレゼンス検出ボタン 18
文書化されていない問題 132
ベイ 7
ベスト・プラクティス
現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 25
ベスト・プラクティスの使用
ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 25
ヘルプ
ソース 753
IBM への診断データの送信 26, 755
WWW から 754
方式、イベント・ログの表示 142, 143
保守容易性、サーバー 15
ボタン、プレゼンス検出 18
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 82, 229, 230
再取り付け 230
取り外し 229
取り付け 82
ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ
取り付け 49, 190
ホット・スワップ・ドライブ、SAS/SATA
取り外し 44, 189
ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ
上に回転 40, 192
下に回転 91, 193
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン
再取り付け 260
取り外し 257
ホット・スワップ・パワー・サプライ 10

[マ行]

マイクロプロセッサー 11
および熱伝導グリース 81, 280
再取り付け 273
仕様 7
取り外し 267
取り付け 73
問題 157
未解決問題 169
ミラーリング 11
ミラーリング・モード 70
メッセージ
診断 145
メッセージ、エラー
POST 631
メニュー選択
Setup ユーティリティー 102
メモリー 7, 11
再取り付け 212
仕様 7
取り外し 211
メモリー、Online-spare
説明 71
メモリーの問題 156
メモリー・サポート 11
メモリー・スペアリング 11
メモリー・ミラーリング
説明 70
DIMM 取り付け順序 70
メモリー・モジュール
取り付け 66, 72
モデルおよび製造番号
ロケーション 170
モニターの問題 158
問題
イーサネット・コントローラー 168
オプション装置 162
キーボード 154
偶発的 153
シリアル・ポート 164
ソフトウェア 166
電源 163, 167
トラブルシューティング 129
ネットワーク 160
ハード・ディスク 151

問題 *(続き)*
ハイパーバイザー・フラッシュ装置 150
ビデオ 158, 167
マイクロプロセッサー 157
マウス 154
未解決 169
メモリー 156
モニター 158
IMM2 297
USB ポート 167

[ヤ行]

ユーティリティー、セットアップ
開始 101
使用 101
メニュー選択 102
ユーティリティー・プログラム
IBM Advanced Settings 119
要件
アダプター 51

[ラ行]

ライザー・カード・アセンブリー
取り外し 41
ランク・スペアリング 71
リセット・ボタン 18
リモート・バッテリー、取り付け 59
リモート・プレゼンス機能 97
使用 114
冷却 7, 11
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 11
ロケーター・ボタン
LED、前面 18

A

ABR、自動ブート失敗リカバリー 174
AC パワー・サプライ 82, 229, 230
Active Energy Manager プラグイン 11
ASM イベント・ログ 11, 142
Australia Class A statement 762

C

Canada Class A electronic emission statement 762
China Class A electronic emission statement 765
Class A electronic emission notice 761
CRU、交換
サーバー・カバー 291
CRU、交換 *(続き)*
システム・バッテリー 237
メモリー 211
DIMM 211

D

DIMM
再取り付け 212
取り外し 211
取り付け 66, 72
dimm
取り付け順序 69
DIMM コネクター 28
各メモリー・チャネル 66
DIMM の取り付け順序
メモリー・ミラーリング 70
DMI/SMBIOS データ、更新 124
DSA 26
プログラム、概要 145
DSA Portable 135, 146
DSA Preboot 135, 146
DSA Preboot 診断プログラム 11
DSA ログ 11, 140, 142
DSA、IBM へのデータの送信 26, 755
DVD イジェクト・ボタン 17
DVD ドライブ活動 LED 17
Dynamic System Analysis 26
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 11

E

electronic emission Class A notice 761
European Union EMC Directive conformance statement 762

F

FCC Class A notice 761

G

Germany Class A statement 763

H

Human Interface Infrastructure 構成ユーティリティー・プログラム 119

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
概要 119
IBM Electronic Service Agent 149
IBM Systems Director 11
システム管理ツール 16, 120
IBM ビジネス・パートナー用の手順 25, 26
IBM への診断データの送信 26, 755
IBM、次世代テクノロジー 11
IMM IP アドレス
取得 115
IMM2 111
エラー・メッセージ 297
IP アドレス
取得、IMM 用 115
IPMI イベント・ログ 11, 140, 142
IPMItool 142

J

JEITA 表示 764

K

Korea Class A electronic emission statement 764

L

LED
イーサネット活動 18
システム情報 18
システム・エラー 18
システム・ボード上の 31
始動 18
パワー・サプライ 22
パワー・サプライで検出される問題 22
ロケーター・ボタン 18
LED およびコントロール
前面図 17
Light Path 診断 11, 138
LSI Configuration ユーティリティー・プログラム 118

N

New Zealand Class A statement 762
NMI ボタン 19
NOS インストール
ServerGuide を使用しない 101
ServerGuide を使用する場合 100

O

Online-spare モード 71

P

PCI
  拡張スロット・コネクターの位置 21
PCI アダプター
  取り外し 45, 203
  取り付け 51
PCI 拡張
  スロット 7
PCI 拡張スロット 7
PCI ライザー・カード・アセンブリー
  交換 90
  再取り付け 236
  取り外し 41, 234
PCI ライザー・カード・アダプター
  コネクター 33
People's Republic of China Class A electronic emission statement 765
POST
  エラー・コード 631
  エラー・ログ 141
POST イベント・ログ 140
POST テスト 145
Preboot、DSA 診断プログラム 11

R

RAID アダプター・ バッテリー
  再取り付け 222
  取り外し 221
RAID アレイ
  アダプター 49
  構成 117
RAID コントローラー
  取り外し 47, 215
  取り付け 55, 217
RAS 機能、サーバー 15
Russia Class A electronic emission statement 764

S

SAS コントローラー
  取り付け 55, 217
SAS コントローラーのバッテリー、取り付け、リモート 59
SAS/SATA ドライブ
  ホット・スワップ
    取り外し 44, 189
SAS/SATA ホット・スワップ・ドライブ
  取り付け 49, 190
ServeRAID コントローラー
  仕様 8
ServeRAID コントローラー・アップグレード
  仕様 8
ServeRAID サポート 11
ServerGuide
  機能 99
  使用 99
  セットアップ 100
  NOS インストール 100
  Setup and Installation CD 95
ServerGuide CD 11
Service Advisor 機能 149
Service Bulletin 132
Setup ユーティリティー 95
  開始 101
  使用 101
  メニュー選択 102
SMP 11
Systems Director、IBM
  システム管理ツール 16, 120

T

Taiwan Class A electronic emission statement 765
Tier 1 CRU
  取り外しと交換 189
Tier 2 CRU、交換 267

U

UEFI
  エラー・コード 631
  ブート・リカバリー・ジャンパー 171
UEFI 互換デバイス
  構成 96
United States FCC Class A notice 761
Universal Serial Bus (USB) の問題 167
UpdateXpress 111
USB コネクター 17
USB ハイパーバイザー・キー
  再取り付け 226
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
  取り外し 225

V

VCCI クラス A 情報技術装置 764

W

Wake on LAN 機能 23
Web サイト
  UEFI フラッシュ・ディスケット 171

X

x3650 M4 BD
  概要 1



部品番号: 00FK751

Printed in Japan

(1P) P/N: 00FK751



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21